

静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第295集

有 東 遺 跡

(第17次発掘調査)

第二東名建設事業に伴う本線の代替地

第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

静岡市-2

2011

中日本高速道路株式会社東京支社
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所



SR01 出土遺物

静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第235集

有 東 遺 跡

(第17次発掘調査)

第二東名建設事業に伴う本線の代替地

第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

静岡市 - 2

2011

中日本高速道路株式会社東京支社
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所

序

有東遺跡は、静岡平野南東部の久能街道微高地に位置する弥生時代の拠点集落の一つと考えられています。有東遺跡周辺には、国指定特別史跡登呂遺跡をはじめ小黒遺跡、鷹ノ道遺跡、汐入遺跡、曲金遺跡、豊田遺跡などが認められます。これらの遺跡からは住居跡、墓、水田などが発見され、静岡平野における弥生中期から後期にかけての弥生時代遺跡群の中核の一つであったことが推定されます。

現地における調査は、第二東名高速道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査業務として、日本道路公団静岡建設局（現中日本高速道路株式会社東京支社）の委託により、平成9年5月から平成9年7月にかけて実施しました。調査範囲から建物跡に伴う柱穴群・土坑群・溝状遺構を検出したため、空中写真測量を導入して迅速な記録保存に配慮し、効率的な発掘調査を行うことができました。

本遺跡の資料は静岡平野の歴史を明らかにするだけでなく、静岡県の弥生時代を研究する上で非常に重要なものと考えられます。有東遺跡では現在までに多数の調査が行われており、今回の調査内容を報告書としてまとめるにあたっては、他の研究機関の成果も合わせ、総合的な考察を行うことを目的としました。この報告書が研究者のみならず広く県民の方々に活用され、埋蔵文化財への理解と郷土への愛着が一段と深められることを願うものです。

今回の発掘調査ならびに本書の作成にあたって、中日本高速道路株式会社東京支社、静岡市教育委員会、静岡県教育委員会等の関係機関各位、地元住民の方々より多大な御理解と御協力をいただきました。さらに、多くの方々から御指導、御助言をいただきました。この場を借りて、心よりお礼申し上げます。最後に、現地調査、資料整理に関わった調査研究員、作業員諸氏にも感謝の意を表する次第です。

平成23年1月

財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所

所長 石田 彰

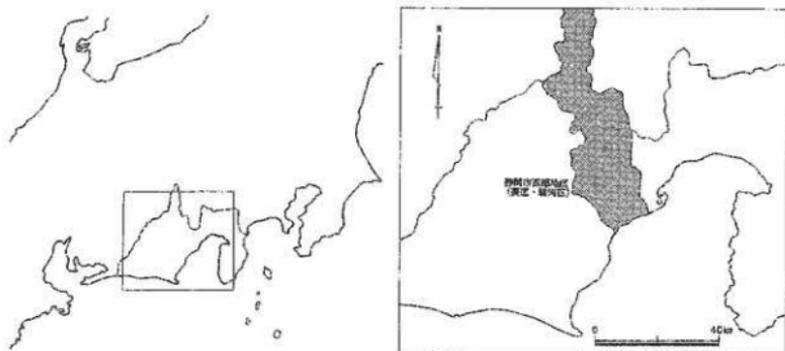
例 言

1. 本書は、静岡県静岡市富士見台1丁目に所在する有京遺跡の発掘調査報告書である。
2. 第二東名高速道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査は地区（市町村）単位で実施している。静岡市域では本書が第2冊目であるため「第二東名高速道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 静岡市－2」とした。
3. 調査は第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査として、中日本高速道路株式会社（旧日本道路公団静岡建設局）の委託を受け、静岡県教育委員会の指導のもと、財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所が実施した。現地調査・資料整理の期間と担当者は以下のとおりである。なお、調査体制は第2章に明記した。

本調査：平成9年5月～平成9年7月	足立順司、鈴木利明、宮崎寛、伊藤祐啓、福手絵里
資料整理：平成9年8月～平成10年3月	伊藤祐啓、福手絵里
資料整理：平成21年12月～平成22年3月	前嶋秀張
資料整理・報告書作成：平成22年4月～平成23年1月	五味奈々子
4. 本書の執筆は常勤嘱託員五味奈々子が行った。
5. 調査における協力者などは文末に記載した。
6. 弥生土器については藤原和大氏（静岡大学准教授）、石器石材については伊藤通玄氏（静岡大学名誉教授）の指導・助言をいただいた。
7. 現地での基準点測量、空中写真撮影及び遺構測量の一部は株式会社フジヤマに委託した。
8. 本書で使用した遺物写真はすべて当研究所写真室杉山すず代が撮影した。
9. 脆弱遺物の取り上げ及び保存処理、木製品の樹種同定は当研究所保存処理室が実施した。樹種同定の際に作製したプレパレート標本は財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所清水整理事務所が保管している。
10. 調査の概要は、当研究所の一部で公開されているが、内容において本書と相違がある場合は本報告書をもって訂正する。
11. 本書の編集は財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所があたった。
12. 発掘調査の資料は、静岡県教育委員会が保管している。

凡 例

1. 座標は平面直角座標第Ⅷ系を用いた国土座標、日本測地系（改正前）を使用している。
2. 本書で使用した遺構の表記は次のとおりである。
例) SK16 (SK: 遺構の種類 16: 遺跡内の遺構種別通し番号)
SB: 掘立柱建物跡 SD: 溝状遺構 SK: 土坑 SR: 流路
SX: 性格不明遺構 SP: 小穴 P: SB内のピット
3. 遺構図、遺物実測図の縮尺はそれぞれの図版に明記した。
4. 遺物番号は、遺物実測図については器種ごとに通し番号を付している。また、遺構図における出土遺物の表記については次の略号を付した。 S: 石器 W: 木製品
5. 本書に用いる色彩に関する用語・記号は、新版「標準土色帳」（農林水産省農林水産技術会議事務局監修 1992）を使用した。
6. 本書の図中に用いたスクリーン・トーンなどの使い分けについては、必要なものを各図の中で表記している。



目 次

序／例言／凡例／目次

第1章 位置と環境	1
1 位置と地理的環境	1
2 歴史的環境と調査歴	3
第2章 調査の方法と経過	10
1 調査の体制	10
2 発掘調査の方法と経過	10
3 資料整理の方法と経過	12
4 基本土層	12
第3章 検出遺構	14
1 掘立柱建物跡	14
2 溝状遺構	18
3 土 坑	25
4 流 路	34
5 性格不明遺構	36
6 小 穴	36
第4章 出土遺物	37
1 土 器	37
2 石 器	82
3 木 製 品	115
第5章 まとめ	120
1 有東遺跡出土の弥生時代中期土器について	120
2 有東遺跡における集落の変遷について	120
3 有東遺跡における石器製作について	121
4 有東遺跡出土の木製品について	122

写真図版

抄 録

插图目次

第1图	遺跡位置図	1	第40图	SR02出土土器 2	52
第2图	遺跡周辺地形図	2	第41图	SR02出土土器 3	53
第3图	周辺遺跡分布図	4	第42图	遺構外出土土器 1	54
第4图	調査地点位置図	8	第43图	遺構外出土土器 2	55
第5图	グリッド配置図	10	第44图	遺構外出土土器 3	56
第6图	基本土層図	13	第45图	遺構外出土土器 4	57
第7图	遺構全体図	15	第46图	遺構外出土土器 5	58
第8图	SB01~03平面・断面図	16	第47图	遺構外出土土器 6	59
第9图	SB04~05平面・断面図	17	第48图	遺構外出土土器 7	60
第10图	SD01~07・09・12平面・断面図	19	第49图	遺構外出土土器 8	61
第11图	SD08平面・断面図	20	第50图	靱石 1	83
第12图	SD10・11平面・断面図	21	第51图	靱石 2	84
第13图	SD13平面・断面図	21	第52图	靱石 3	85
第14图	SD15~17・19・SK31平面・断面図	22	第53图	靱石 4	86
第15图	SD18・SK11・12平面・断面図	23	第54图	凹石 1	87
第16图	SD20・SK20平面・断面図	24	第55图	凹石 2	88
第17图	SK01~06・13平面・断面図	26	第56图	凹石 3・砥石 1	89
第18图	SK07~10・14~18平面・断面図	27	第57图	砥石 2	90
第19图	SK19平面・断面図	28	第58图	砥石 3	91
第20图	SK21・23平面・断面図	29	第59图	砥石 4	92
第21图	SK22・24~26平面・断面図	30	第60图	砥石 5	93
第22图	SK27・28平面・断面図	31	第61图	大型蛤刃石斧 1	94
第23图	SK29・30・32平面・断面図	32	第62图	大型蛤刃石斧 2	95
第24图	SK33平面・断面図	33	第63图	柱状片刃石斧 1	96
第25图	SD14・SR01・02・SX01平面・断面図	35	第64图	柱状片刃石斧 2	97
第26图	SD08・09・13出土土器	38	第65图	扁平片刃石斧 1	98
第27图	SD14出土土器 1	39	第66图	扁平片刃石斧 2・乳棒状磨製石斧・磨製石鏃・石剣	99
第28图	SD14出土土器 2	40	第67图	打製刀鋸・有溝石鏃	100
第29图	SD14出土土器 3	41	第68图	有頭石鏃	101
第30图	SD14出土土器 4	42	第69图	石斧未製品 1	102
第31图	SK08~26出土土器	43	第70图	石斧未製品 2	103
第32图	SK27~29・SP01~03・SX01出土土器	44	第71图	石斧未製品 3	104
第33图	SR01出土土器 1	45	第72图	石斧未製品 4	105
第34图	SR01出土土器 2	46	第73图	石斧未製品 5	106
第35图	SR01出土土器 3	47	第74图	石斧未製品 6	107
第36图	SR01出土土器 4	48	第75图	木製品 1	116
第37图	SR01出土土器 5	49	第76图	木製品 2	117
第38图	SR01出土土器 6	50	第77图	木製品 3	118
第39图	SR02出土土器 1	51			

挿 表 目 次

第1表	周辺遺跡一覧……………	5	第6表	土坑一覧……………	34
第2表	調査歴一覧……………	9	第7表	小穴・流路・性格不明遺構一覧……………	36
第3表	静岡地区の調査体制……………	11	第8表	土器一覧……………	62
第4表	独立柱建物一覧……………	18	第9表	石器一覧……………	108
第5表	溝状遺構一覧……………	25	第10表	木製品一覧……………	119

写 真 図 版 目 次

巻頭図版	SR01出土遺物		図版14	中間部ピット群（北より） 南側ピット群（北より）
図版1	遺跡遠景（南より） 調査区近景（北より）		図版15	南側ピット群（北東より） 南側ピット群（南西より）
図版2	調査区南壁土層堆積状況（北より） 第1面完掘状況（北西より）		図版16	調査区全景（北より） 調査区全景（南より）
図版3	第1面杭列検出状況（東より） 第1面粘土ブロック検出状況（東より）		図版17	SD14・SK08・SK29出土土器
図版4	SD04付近（西より） SD08西壁土層（東より）		図版18	SX01・SR01・SR02出土土器
図版5	SD08・SK19検出状況（北より） SD08・SK19付近（北より）		図版19	遺構外出土土器
図版6	SD13検出状況（北より） SD14検出状況（東より）		図版20	SD08・SD09・SD13出土土器 SD14出土土器（壺）
図版7	SK01検出状況（北西より） SK01完掘状況（北より）		図版21	SD14出土土器（甕） SD14出土土器（底部）
図版8	SK08付近（北より） SK08検出状況（東より）		図版22	SK08～SK27出土土器 SK28・SK29出土土器
図版9	SK20検出状況（北より） SK25検出状況（北より）		図版23	SR01出土土器（壺1） SR01出土土器（壺2）
図版10	SK28検出状況（東より） SK29上面検出状況（北より）		図版24	SR01出土土器（壺） SR01出土土器（底部）
図版11	SK29下面検出状況（南より） SK30検出状況（東より）		図版25	SR02出土土器（壺・甕） SR02出土土器（甕・底部）
図版12	SK32検出状況（南より） SR01・02検出状況（南西より）		図版26	遺構外出土土器（壺1） 遺構外出土土器（壺2）
図版13	北側ピット群（北東より） 中間部ピット群（南より）		図版27	遺構外出土土器（壺3） 遺構外出土土器（壺4）
			図版28	遺構外出土土器（甕1） 遺構外出土土器（甕2）

- 圖版29 遺槽外出土土器（底部1）
遺槽外出土土器（底部2）
- 圖版30 敲石
凹石
- 圖版31 砥石1
砥石2
- 圖版32 砥石3
大型蛤刃石斧
- 圖版33 柱狀片刃石斧・乳棒狀磨製石斧
扁平片刃石斧
- 圖版34 磨製石鏃・石劍
打製刃器
- 圖版35 石錘
石斧未製品1
- 圖版36 石斧未製品2
石斧未製品3
- 圖版37 石斧未製品4 砥石
砥石材
- 圖版38 剝片1
剝片2
- 圖版39 木製品1
- 圖版40 木製品2
- 圖版41 SD08出土遺物
SK08出土遺物
- 圖版42 SK23出土遺物
SK25出土遺物
- 圖版43 SK28出土遺物
SK29出土遺物
- 圖版44 SD14出土遺物
SR02出土遺物

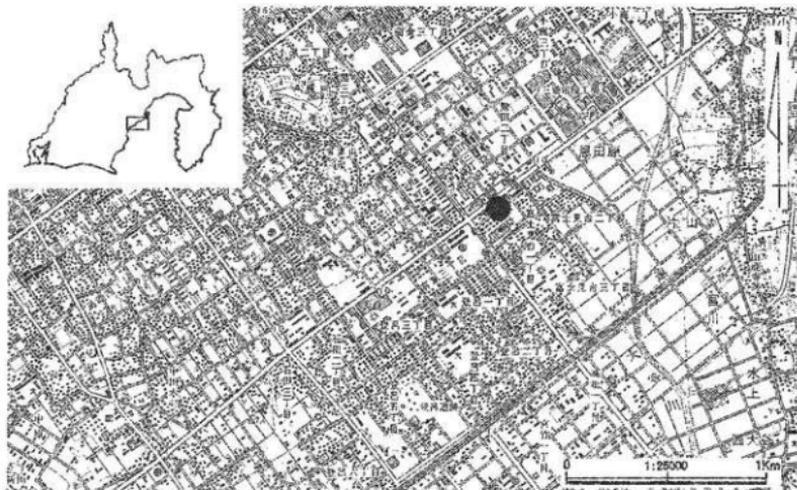
第1章 位置と環境

1 位置と地理的環境

有東遺跡は静岡平野南部の八幡山から南東方向に所在している。遺跡の範囲は南北約900m、東西約750mの広い範囲に及び、海拔は9m前後である。かつては水田と畑地の広がる地域であったが、近年の都市化の中で工場・住宅等の密集する地域となっている（第1図）。

静岡平野の西半部は安倍川扇状地が占めており、末端には多くの微高地が形成されている。平野の中央部に存在する谷津山・八幡山・有東山等の孤立丘と、南北に延びる賤横山が扇状地の東方への拡大を阻止している。平野の東部には低地が存在しており、その東側の有度山西麓には谷から押し出された礫による小扇状地が形成されている。有東遺跡は、静岡平野の北西から南東にのびる久能街道微高地の東端と、その東側の大谷—池田低地の西縁部に立地している。

遺跡周辺の地質を見ると（第2図）、安倍川左岸の扇状地本体部は砂礫層（A6）であり、末端の微高地とその周辺では泥砂礫互層（A4）が見られる。大谷—池田低地では泥層（A2）・泥がち砂泥礫互層（A3）が主体となっている。微高地では安倍川扇状地からの水流によって運ばれた礫の堆積が盛んであるのに対して低地では泥層の中に微高地側からの砂の流入が見られることから、微高地は安倍川によって形成された自然堤防群であり、低地はその後背湿地に相当すると見られている。これらの微高地と後背湿地からなる地形は縄文時代後期には成立していたことが明らかになっており（加藤 1983）、弥生時代中期にはこれらの微高地上に集落が形成され始め、その周辺の湿地帯には水田が営まれている。こうした遺跡周辺の地形景観は、弥生時代中期から古墳時代前期までにはほぼ共通しており、その後は安倍川・濠科川がもたらした自然堆積物や、人為的にもたらされた造成土により微高地と低地の差が縮まり、現在では総体的に変化の少ない地形を成すようになったと考えられている。



第1図 遺跡位置図



第2図 瀬跡周辺地形図

2 歴史的環境と調査歴

(1) 歴史的環境

静岡平野周辺では、縄文時代中期以降に遺跡が把握されるようになり、弥生時代中期以降に平野部への進出が本格的に始まる。ここでは旧石器時代から古墳時代までの静岡平野周辺の主な遺跡の概要について述べる（第3図・第1表）。

旧石器～縄文時代 静岡平野周辺の旧石器時代の資料は非常に少なく、有度山西麓の宮川遺跡（37）からナイフ形石器の出土が確認されている程度である。本格的な遺跡の形成は縄文時代中期以降に始まり、有度山西麓に井庄遺跡（40）、上ノ山遺跡（42）が存在しており、住居跡等が確認されている。また、大谷川河口付近の元宮川神明原遺跡（26）では、縄文時代後期～晩期にかけての狩猟・漁労具の出土が確認されている。

弥生時代 中期初頭には安倍川西岸の丘陵上に遺跡が点在するようになり、川合遺跡（57）、元宮川神明原遺跡（26）、瀬名遺跡（59）等平野部の遺跡でも少量の土器が出土している。中期中葉には平野部への進出が本格的に始まり、有東遺跡（1）、豊田遺跡（13）、川合遺跡（57）、瀬名川遺跡（60）等の遺跡において住居跡や方形周溝墓等が構築され、瀬名遺跡（59）では水田も形成されるようになる。中期後半になると遺跡数が増加し、有東遺跡（1）、駿府城内遺跡（68）、川合遺跡（57）等の遺跡で集落とそれに近接する方形周溝墓が確認されている。そのほかにも鷹ノ道遺跡（3）、瀬名遺跡（59）等で方形周溝墓が構築されており、宮川遺跡（37）では丘陵上に土坑墓が確認されている。また、瀬名遺跡（59）、瀬名川遺跡（60）では水田遺構が確認されている。

弥生時代後期には遺跡数および範囲が急速に広がり、水田域の拡大が見られる。有東遺跡（1）、駿府城内遺跡（68）、川合遺跡（57）等の遺跡において集落が継続して営まれており、中期に基城や居住域となっていた部分の多くが、後期には水田として利用されている。また、登呂遺跡（2）や鷹ノ道遺跡（3）等の遺跡において居住域が成立し、水田と居住域が連続して検出されるようになる。そのほか、瀬名遺跡（59）、瀬名川遺跡（60）等の遺跡において広範囲に広がる水田が確認されている。海岸低地部には下島遺跡（24）、汐入遺跡（25）、有度山西麓には上ノ山遺跡（42）、宮川遺跡（37）等の集落が見られるようになる。また、弥生時代後期に成立するその他の遺跡として、小黒遺跡（14）、元宮川神明原遺跡（26）、曲金A遺跡（9）、豊田遺跡（13）、有明遺跡（17）等が挙げられる。弥生時代後期に成立するこれらの遺跡は古墳時代前期まで継続するものが多く、微高地に居住域または墓域、低地には水田域が形成される状況が続いている。

古墳時代 静岡平野周辺の丘陵部や谷津山・八幡山等の孤立丘上に多くの古墳が築造されるようになる。平野中央部の谷津山丘陵上に所在する谷津山古墳群（69）内の谷津山1号墳（柏木山神古墳）は前期中頃の前方後円墳であり、4世紀後半の築造と考えられている。古墳時代中期になると、平野を囲む丘陵に数点的に比較的有效な古墳が築造される。巴川上流の瀬名丘陵上では瀬名古墳群（62）が造られる。古墳時代後期には群集墳が爆発的に増加し、有度山西麓の小黒古墳群（31）等に代表されるように、丘陵の夷地まで小規模古墳が密集して分布するようになる。

居住域としては、豊田遺跡（13）、登呂遺跡（2）、上ノ山遺跡（42）等が弥生時代後期から古墳前期まで継続する。また、小黒遺跡（14）、駿府城内遺跡（68）、川合遺跡（57）、鷹ノ道遺跡（3）、元宮川神明原遺跡（26）等の集落が断続的に古墳時代全般に渡って続いている。



第3圖 周辺通跡分布圖

第1表 周辺道跡一覧

番号	道跡名	時代	遺構・遺物	番号	道跡名	時代	遺構・遺物
1	有東道跡	弥生(中・後)、中世	住居跡、水田跡、方形周溝墓	38	雲川古墳群	古墳(後)	横穴式石室、家形、組合部形石硯
2	豊島道跡	弥生(後)、古墳	住居跡、高床式倉庫跡、弥生土器	39	豊泉寺臨瓦葺跡	古代	瓦葺、平家、瓦
3	葦ノ道遺跡	弥生(中・後)、古墳	水田跡、方形周溝墓	40	井庄段遺跡	縄文、弥生	住居跡、磨製石斧、縄文土器
4	南瀬野内遺跡	弥生、古墳	水田跡、土器片、田下取、尖板	41	井庄段古墳群	古墳(後)	横穴式石室、埴輪、須恵器、勾玉
5	中野橋下遺跡	弥生(後)	弥生土器・銅板	42	上ノ山遺跡	縄文～古墳	住居跡、高床式倉庫跡、磨製石
6	天神塚遺跡	古墳	土師器	43	上ノ山古墳群	古墳(後)	横穴式石室、須恵器、大刀、勾玉
7	尚余毛遺跡	弥生(中)～古代	水田跡、古代土器遺遺	44	東大谷古墳群	古墳(後)	横穴式石室
8	曲金B遺跡	古墳、古代	住居跡、井戸跡、土師器、銅器跡	45	伊庄谷横穴群	古墳(後)	丸玉、鉄板、須恵器、土師器、骨
9	曲金A遺跡	弥生、古墳	弥生土器、土師器	46	マルゾック遺跡	古墳	横穴式石室
10	小栗杉木崎合坪遺跡	平安	井戸跡、水田跡	47	袴ヶ谷遺跡	縄文(早)、弥生	縄文土器、石硯、打製石斧、石硯
11	小栗渡山崎合坪遺跡	平安～中世	水田跡	48	屋新古墳群	古墳(後)	横穴式石室、玉剣、須恵器
12	三原工場内遺跡	古墳、古代	土師器、須恵器	49	袴ヶ谷古墳	古墳(後)	横穴式石室
13	浪田遺跡	弥生、古墳	住居跡、磨、弥生土器、土師器	50	袴ヶ谷遺跡	弥生(後)～近世	水田跡
14	小川遺跡	弥生(中)、古墳(加)	住居跡、高床式倉庫跡、弥生土器	51	袴ヶ谷遺跡	平安	水田跡
15	八幡山古墳群	古墳(後)	横穴式石室	52	袴ヶ谷遺跡	弥生、平安	水田跡
16	八幡山城跡	中世	曲輪跡、堀、土塁、土壇、堀切	63	上土屋跡	弥生、平安、中近世	水田跡
17	有栗遺跡	弥生(後)	弥生土器	54	高島上古墳群	古墳	土師器
18	有栗野跡	中世	曲輪跡、土塼、丹波	55	内紫遺跡	奈良～平安、近世	掘方形跡、水田跡、磨製石
19	八幡町丁目遺跡	古墳	土師器、埴輪	56	川合八咫段遺跡	古墳～平安、中近世	住居跡、水田跡、木製品
20	女子南校遺跡	弥生(後)	磨製、弥生土器	57	川合遺跡	弥生(中)～近世	住居跡、水田跡、方形周溝墓
21	藤川遺跡	古代	土師器、須恵器、灰陶陶器	58	宮下遺跡	奈良～平安、近世	住居跡、水田跡、磨製石
22	クイセイ遺跡	古代	土師器、須恵器	59	額名遺跡	弥生(中)～近世	水田跡、方形周溝墓
23	水鏡遺跡	古墳(前)	土師器、埴石	60	額名川遺跡	弥生(中～後)、中世	水田跡、弥生土器、木製品、石硯
24	下馬遺跡	弥生、古墳	弥生土器、土師器	61	夏下遺跡	古墳	土師器、須恵器
25	抄入尾跡	弥生、古代、中世	住居跡、高床式倉庫跡、弥生土器	62	額名古墳群	古墳	掘方形跡、円板、尖板、大刀
26	元吉川神明殿遺跡	縄文～中世	住居跡、高床式倉庫跡、須恵器	63	大夜家遺跡	古墳	土師器
27	吉ノ口野遺跡	弥生	弥生土器	64	現城山古墳群	古墳(後)	横穴式石室、家形石硯
28	道下遺跡	弥生	弥生土器・磨製石斧	65	新南高塚ヶ地内遺跡	弥生	弥生土器
29	塚原遺跡	弥生	弥生土器	66	西千代段遺跡	弥生(後)	弥生土器、尖板等、木製品
30	油丸丸山古墳	古墳(後)		67	塚原城跡	中世～近世	石硯、水鏡、磨製器、土師器
31	小倉古墳群	古墳	横穴式石室	68	現南城内遺跡	弥生(中)～古代	住居跡、磨、弥生土器、土師器
32	道ノ内B遺跡	弥生	弥生土器	69	赤塚山古墳群	古墳(前、中・後)	横方形跡、横穴式石室、円板
33	紫崎大字院内古墳群	古墳	横穴式石室、組合部形石硯	70	千代段遺跡	弥生(後)	弥生土器
34	片山遺跡	弥生(後)、古墳、近世	磨、弥生土器、石硯、土師器	71	井上塚古墳	古墳(後)	横穴式石室、耳鏡、須恵器
35	月山院寺跡	古代	金堂、講堂、瓦、須恵器、土師器	72	赤口山遺跡	古墳(後)	大刀、玉剣、須恵器
36	白山(山崎山)古墳群	古墳	横穴式石室	73	榎木瓦葺跡	古代	平瓦
37	雲川(小沢)遺跡	旧石器～古代、近世	土塊、円形磨製器、ナイフ形石				

(2) 有東遺跡調査

有東遺跡は古くから石器・土器等の豊富な出土地として注目され、1938年に加藤明秀・芹沢長介により居捨場遺跡として紹介されている(加藤・芹沢 1938)。その後、1947・1948年の後藤守一・杉原荘介による調査を皮切りに、2010年3月までに21次の調査が行われ、弥生時代中期から古墳時代に至る集落跡であることが明らかにされている。以下で有東遺跡及びその南側に所在する有東掘子遺跡における各調査の概要について述べる。

第1次調査 遺跡中央部の2箇所にトレンチが設定され、弥生土器、石器、礫板、柱根等が出土した。出土土器は南関東の弥生時代中期後半の宮ノ台式土器に併行するものであり、「有東式土器」の名称が設定された。また、調査から約半年後に調査地近辺で小銅鐸が採集されており、これも有東式土器の産物のものであると考えられている。

第2次調査 土取り作業中に木杭列と井戸枠が露出し、調査を行った。杭列は4列が確認されており、水田の畦畔が住居の周囲にめぐらしたものであると推定されている。出土遺物には弥生時代後期の土器、木製品、白、銅製の指輪等がある。

第3次調査 静岡県立商業高校の校舎建設に伴う調査であり、弥生時代中期後半の方形周溝墓が4基と溝、土坑等が検出された。方形周溝墓の間から溝が検出され、川跡と推定されている。

第4次調査 静岡県警南警察署の建設に伴う調査であり、下層では、弥生時代中期中葉～中期後半の川跡・溝・土坑・小穴群等が検出されている。川跡からは土器、石器、木製品等が大量に出土しており、中には人面付土器の破片が1点含まれている。上層では調査区全域に広がる弥生時代後期の水田跡が確認され、杭や矢板等で補強された畦畔が検出された。

第5次調査 静岡県立商業高校の体育館建設に伴う調査であり、調査区は第3次調査区の西側に位置している。調査区の北側に弥生時代中期中葉～後葉の方形周溝墓が検出された。南側では弥生時代後期前半の住居跡が1軒検出され、周溝と柱穴が確認されている。上層では、調査区全域で弥生時代後期後半の水田跡が検出され、杭や矢板等で補強された畦畔が検出された。

第6次調査 静岡県立商業高校の校舎建設に伴う調査であり、調査区は第3次調査区の北側に隣接する区域にあたる。第3次調査区において検出された弥生時代中期後半の方形周溝墓4基のうち2基の一部分を検出したほか、9基の方形周溝墓が新たに検出されており、周溝内からは土器、石器、ガラス玉等が出土している。

第7次調査 調査区は第4次調査区の西側に隣接しており、冷凍倉庫の解体に伴う立会い調査が行われた。弥生時代中期後半の溝路、土坑、小穴が検出され、上層では弥生時代後期の水田跡が検出された。

第8次調査 都市下水路の建設に伴う調査であり、弥生時代中期中葉～中期後半の川跡、溝、方形周溝墓、柱穴を含む小穴、土坑、井戸、水田等の遺構が検出された。川跡は第4次調査で検出された川に連続する可能性が高いと考えられており、川の中から土器、石器、木製品等が大量に出土している。また、調査区の中央からやや東寄りの微高地部分で4～5基の方形周溝墓が検出されている。上層では、弥生時代中期末～後期の水田跡が検出され、杭列で補強した畦畔が確認された。

第9次調査 試掘坑の断面観察調査のため、遺溝の内容等は不明である。上層・下層に分かれ、弥生時代中期後半～弥生時代後期の遺構が認められ、遺物が多く出土している。

第10次調査 都市下水路の建設に伴う調査であり、調査区は第8次調査区の西側に連続している。下層では、弥生時代中期中葉～中期後半の川跡、溝、小穴群等が検出された。小穴には柱根を伴っているものもあり、建物群の存在が推定された。また、溝や川跡の内部から土器・石器・木製品が大量に出土した。上層では、弥生時代後期の水田跡が確認され、杭で補強された畦畔が検出された。

第11次調査 室内遊技場建設に伴う調査であり、弥生時代中期後半の遺溝として、小穴、溝、土坑、水

田跡が検出された。小穴はほぼ全域で検出されており、柱根及び礎板を伴うものが多く見られた。また、調査区南端部に疑似畦畔状の遺構が検出され、弥生時代中期後半の水田の存在が推定されている。遺物としては、土器、石器、木製品等が出土した。弥生時代後期の遺構としては住居跡（周溝・柱穴）、溝、水田跡等が検出された。水田跡は弥生時代後期後半以降のものであると推定され、杭列を伴う畦畔状の高まりが検出された。

第12次調査 事務所建設に伴う調査である。弥生時代中期の溝、小穴群が検出され、土器、石器、焼痕のある木材等が出土した。上層では弥生時代後期の水田跡が検出され、杭で補強された畦畔が確認されている。

第13次調査 事務所建設に伴う調査である。弥生時代中期～後期と見られる溝状遺構・柱穴列・土坑・川跡等が検出された。同一面の遺構の切り合いの数が多いことから長期間持続した集落であり、川が遺構を切り取っていることから、集落の形成後に川の流の変化があったことが推定された。

第14次調査 室内遊技場の建設に伴う調査である。弥生時代中葉後葉～後期前半の溝・柱穴・土坑等が検出され、弥生時代中期後葉を中心とした土器、石器、木製品等が大量に出土した。上層では、弥生時代後期後半から古墳時代前期と考えられる水田土層と杭列を伴う畦畔が確認された。

第15次調査 事務所の建設に伴う調査である。弥生時代中期と見られる方形周溝墓が10基確認され、周溝内から土器・石器等が出土した。上層では古墳時代前期と考えられる溝が一本確認されたが、その性格は不明である。

第16次調査 店舗ビル建設に伴う調査であり、弥生時代中期中葉から後葉の住居跡・柱穴・溝・方形周溝墓等が検出され、土器・石器・木製品が出土した。弥生時代中期の遺構は、その切り合いから住居跡・柱穴・溝が最初に作られ、その後方形周溝墓が作られて墓地となったことが確認された。上層からは弥生時代後期の水田跡が検出された。

第17次調査 第二車庫建設事業に伴う本線の代管地であり、本書において報告を行う調査である。弥生時代中期中葉から後葉の建物跡・溝・土坑・流路等が検出され、土器・石器・木製品が出土した。上層からは弥生時代後葉～古墳時代前期の水田と見られる土層が検出されたが、畦畔の確認はできなかった。

第18次調査 集合住宅の建設に伴う調査であり、弥生時代中期の井戸と推定される遺構と、後期前半の住居跡が検出されている。また、弥生時代後期前半から古墳時代前期の水田跡が検出されており、古墳時代前期の水田で確認された畦畔の盛土からは、二次的な焼成を受けたと見られる土器片が多く出土している。

第19次調査 工場の建設に伴う調査である。第11次調査地点の北側に6箇所の調査区が設定された。上層に弥生時代後期の水田と見られる層が検出され、下層から弥生時代中期の溝、土坑等が検出された。溝の中からは土器、石器、木製品等が多く出土している。また、北側の調査区で盛土遺構が確認されており、方形周溝墓の盛土部分である可能性も推定されている。

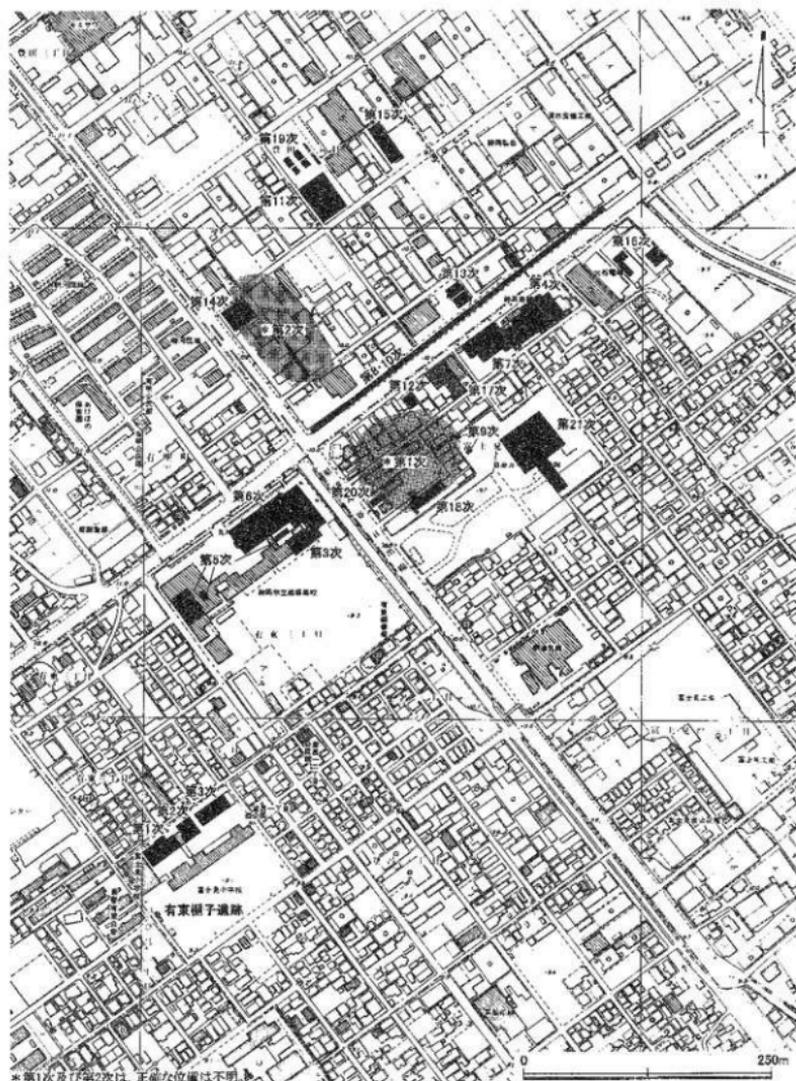
第20次調査 倉舎の建設に伴う調査である。弥生時代中期と見られる溝、土坑等が検出され、土器、石器、木製品が出土している。また、弥生時代後期の水田とそれに伴う畦畔が確認された。

第21次調査 店舗の建設に伴う調査である。弥生時代中期～古墳時代前期と見られる建物跡、土坑、溝、流路等が検出され、土器、石器、木製品が出土した。また、古墳時代のもつと見られる畦畔とそれに伴う杭列が確認された。

有東遺跡遺跡

有東遺跡の南側に所在している。静岡市立富士見小学校の校舎及びプール建設に伴い、現在までに3次の調査が行われ、弥生時代後期の水田跡が確認されている。水田では、杭、矢板や横板で補強された畦畔や水路が検出され、第3次調査では、大区画畦畔の内部に土盛り畦畔による小区画も検出されている。

る。また、水田耕作土を除去した基礎面状に疑似畦畔が検出されている。



第4図 調査地点位置図

第2表 調査歴一覧

有東遺跡調査歴一覧

次数	主要検出遺構・出土遺物	調査年	調査主体	文献
1	弥生中期…包含層・柱穴・土器・石器（近隣から小銅鐮出土）	1947～48	杉原荘介・後藤守一	1
2	弥生後期…杭列・井戸・臼・土器・石器・木製品・木製農具・銅環	1948	杉原荘介・後藤守一	2
3	弥生中期…方形周溝墓・土坑・川・土器・石器	1980	静岡市教育委員会	3・4
4	弥生中期…川・掘立柱建物・小穴・土坑・人面付土器・木製品・木製農具・石器・葦束・ヒョウタン 弥生後期…水田（大区面畦畔）・土器・木製品	1981	静岡県教育委員会	5
5	弥生中期…方形周溝墓・土坑・土器・石器・木製品 弥生後期…住居・水田（大区面畦畔）・溝（水路）・土器・木製品	1981	静岡市教育委員会	3・4
6	弥生中期…方形周溝墓・溝・土器・石器・ガラス玉 弥生後期…攪乱により未調査	1989	静岡市教育委員会	5
7	弥生中期…川・小穴・土坑・土器・土器内籾殻・石器 弥生後期…水田杭列確証・土器・高角・ヒョウタン	1989	静岡市教育委員会	6
8	弥生中期…川・小穴・方形周溝墓・溝・水田痕跡？・土器・人面付土器・鏡 割面土器・木製品・木製農具・石器・石剣・ガラス玉・鹿角・縄物 弥生後期…水田（大区面畦畔）・土器	1990～91	静岡市教育委員会	7
9	弥生中期…包含層確認・土器 弥生後期…包含層確認・土器	1990	静岡市教育委員会	8
10	弥生中期…川・小穴・溝・住居？・土器・石器・木製品・丸木材 弥生後期…水田（大区面畦畔）・木製農具	1991～92	静岡市教育委員会	9
11	弥生中期…掘立柱建物・小穴・溝・水田疑似畦畔状遺構・土器・石器・木製品 弥生後期…住居・水田（大区面畦畔）・溝・土器・木製品・縄物	1991	静岡市教育委員会	9
12	弥生中期…溝（住居址？）・小穴・土坑・土器・石器・焼焦木製品 弥生後期…水田（大区面畦畔）・土器	1991～92	静岡市教育委員会	9
13	弥生中期…溝（住居址？）・柱穴列・小穴・土器・石器・木製品	1993	静岡市教育委員会	10
14	弥生中期…溝（川？）・掘立柱建物・土坑・小穴・土器・縁刻面土器・石器・木製品・木製農具 弥生後期…溝・土器・鳥型土器・木製品 古墳前期…水田（大区面畦畔・杭列）・土器	1995	静岡市教育委員会	11・12
15	弥生中期…方形周溝墓・土器・石器 弥生後期…土塚跡？ 古墳前期…溝・土器	1995	静岡市教育委員会	11・13
16	弥生中期…住居址・柱穴・土坑・溝・方形周溝墓・水溝・土塚跡・土器・石器・木製品・木製農具 弥生後期…水田（大区面畦畔・杭列・溝）	1995～96	静岡市教育委員会	11・14
17	弥生中期…掘立柱建物・土坑・溝・柱穴・小穴・溝跡・土器・石器・木製品 弥生後期…古墳前期…水田	1997	静岡県埋蔵文化財調査研究所	15・ 本書
18	弥生中期…井戸？ 弥生後期…古墳前期…水田・住居址・土器	1997～98	静岡市教育委員会	16
19	弥生中期…盛土遺構（方形周溝墓？）・溝・土坑・土器・石器・木製品	1999～ 2000	静岡市教育委員会	17・18
20	弥生中期…溝・土坑・土器・石器・木製品 弥生後期…水田・畦畔	2002	静岡県埋蔵文化財調査研究所	19
21	弥生～古墳…畦畔・杭列・遺物跡・小穴・溝・流路・土器・石碓・木製品 中世…土坑・溝状遺構・土器	2007	パル文化財研究所	20

有東視子遺跡調査歴一覧

次数	主要検出遺構・出土遺物	調査年	調査主体	文献
1	弥生後期…水田（大区面畦畔）・水路・土器・石器・木製品・木製農具	1981	静岡市教育委員会	21
2	弥生後期…水田（大区面畦畔）・土器・木製品・木製農具	1982	静岡市教育委員会	21
3	弥生後期…水田（大区面畦畔・小区面畦畔）・疑似畦畔状遺構・土器・石器・木製品・木製農具	1987	静岡市教育委員会	22

第2章 調査の方法と経過

1 調査の体制

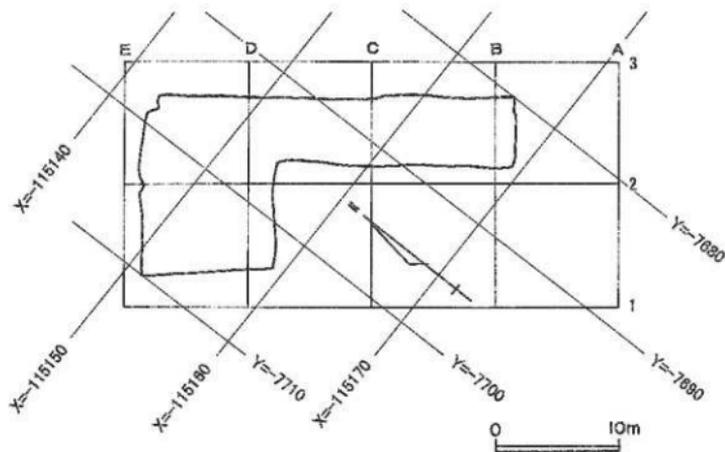
静岡県埋蔵文化財調査研究所では、第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査にあたり、日本道路公団静岡建設局各工事事務所の管轄に合わせ、工区を設定し調査にあたることとした。静岡工区（静岡市・藤枝市・島田市）のうちの静岡市西部地区（静岡市葵区・駿河区）の確認調査及び本調査は平成9～15年度に実施しており、その体制は第3表のとおりである。

今回の調査対象地は第二東名の建設事業に伴う本線の代替地として選ばれ、有東遺跡の範囲内に含まれることから、日本道路公団と静岡県教育委員会がその取り扱いについて協議を行い、静岡県埋蔵文化財調査研究所によって本調査が実施されることになった。

2 発掘調査の方法と経過

本調査は平成9年5月21日から7月23日までの約2ヶ月間実施しており、調査対象面積は約661㎡である。調査に先立つ準備作業として、5月中旬からコンテナハウス及びフェンスの設置、物品搬入を行った。5月21日から2日間にわたって重機を用いた表土除去を実施し、同時に調査区北東部分に集水マスを設置した。その後、業者による基準杭設定、方位杭設定を行い、調査対象範囲に平行・直行する10m方眼のグリッドを任意に設定し、南東から北西方向にA～D、南西から北東方向に1～3のグリッド番号を付した（第5図）。

5月下旬から排土用ベルトコンベアーを搬入して人力掘削を開始し、遺構面の検出を行った。暗灰色粘土層（第1面）の掘削を行い、水田土壌であることを確認したが、これに伴う畦畔等の遺構は検出されなかった。続いて黒色粘土層（第2面）の精査を行い、6月中旬までに北側黒色粘土層・南側極暗褐



第5図 グリッド配置図

色砂質土層の遺構面を演出し、図面作成を行った。6月下旬から第2面の遺構掘り下げを開始し、遺構図面作成、土層断面図作成、土層断面写真撮影、遺構面写真撮影を行った。7月中旬にベルトコンベアーの返却、機材の片付けを行い、7月22日・23日に埋め戻しを実施して調査を終了した。

出土遺物については、遺構内出土遺物は遺構ごとに取り上げ、遺構外出土遺物はグリッドごとに取り上げた。また、写真撮影は6×7判モノクロ・カラーリバーサルと35mm判のカラーネガ・モノクロフィルムを使用し、全体写真撮影・空中写真撮影は委託により実施した。

第3表 静岡地区の調査体制

所		平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
総務部	所長	齋藤 忠					
	常務理事兼総務部長	池谷 龍三	伊藤 友雄				
	次長	三村 田島昭	伊藤 友雄				
	総務課長	伊藤 友雄					
	総務課員	伊藤 友雄					
	会計係長	伊藤 友雄					
	副主任	伊藤 友雄					
	主任	伊藤 友雄					
	事務員	伊藤 友雄					
	保存処理係長	伊藤 友雄					
調査研究部	部長	石塚 英夫	石塚 英夫	佐藤 通雄	佐藤 通雄	佐藤 通雄	山本 昇平
	次長	原野 克己	原野 克己	佐野 五十三	佐野 五十三	及川 司	及川 司
	次長心得	原野 克己	原野 克己	佐野 五十三	佐野 五十三	及川 司	及川 司
	担当課長	原野 克己	原野 克己	佐野 五十三	佐野 五十三	及川 司	及川 司
	係長	原野 克己	原野 克己	佐野 五十三	佐野 五十三	及川 司	及川 司
	工区主任	原野 克己	原野 克己	佐野 五十三	佐野 五十三	及川 司	及川 司
	主任調査研究員	原野 克己	原野 克己	佐野 五十三	佐野 五十三	及川 司	及川 司
	調査研究員	原野 克己	原野 克己	佐野 五十三	佐野 五十三	及川 司	及川 司
	副主任	原野 克己	原野 克己	佐野 五十三	佐野 五十三	及川 司	及川 司
	事務員	原野 克己	原野 克己	佐野 五十三	佐野 五十三	及川 司	及川 司
調査研究部	所長	齋藤 忠	齋藤 忠	齋藤 忠	齋藤 忠	天野 忍	石田 彰
	常務理事兼総務部長	池谷 龍三	伊藤 友雄				
	次長	三村 田島昭	伊藤 友雄				
	総務課長	伊藤 友雄					
	総務課員	伊藤 友雄					
	会計係長	伊藤 友雄					
	副主任	伊藤 友雄					
	主任	伊藤 友雄					
	事務員	伊藤 友雄					
	保存処理係長	伊藤 友雄					
調査研究部	部長	石塚 英夫	石塚 英夫	佐藤 通雄	佐藤 通雄	佐藤 通雄	山本 昇平
	次長	原野 克己	原野 克己	佐野 五十三	佐野 五十三	及川 司	及川 司
	次長心得	原野 克己	原野 克己	佐野 五十三	佐野 五十三	及川 司	及川 司
	担当課長	原野 克己	原野 克己	佐野 五十三	佐野 五十三	及川 司	及川 司
	係長	原野 克己	原野 克己	佐野 五十三	佐野 五十三	及川 司	及川 司
	工区主任	原野 克己	原野 克己	佐野 五十三	佐野 五十三	及川 司	及川 司
	主任調査研究員	原野 克己	原野 克己	佐野 五十三	佐野 五十三	及川 司	及川 司
	調査研究員	原野 克己	原野 克己	佐野 五十三	佐野 五十三	及川 司	及川 司
	副主任	原野 克己	原野 克己	佐野 五十三	佐野 五十三	及川 司	及川 司
	事務員	原野 克己	原野 克己	佐野 五十三	佐野 五十三	及川 司	及川 司

3 資料整理の方法と経過

第二東京圏設営に伴う埋蔵文化財発掘調査については現地調査を優先するという方針から、資料整理・報告書作成は多くの現地調査が終了した段階で実施することとなった。そこで、これに先行する基礎的整理作業の一部（遺物洗浄・注記・接合・復元・実測・写真整理・図面整理）を現地作業と並行して実施し、本格的な整理作業と報告書の作成に備えた。

静岡工区静岡市西部地区の資料整理は、平成15年度末時点で現地調査がほぼ終了したことから、平成16年度から部分的に開始した。有東遺跡の資料整理は平成21年12月から中原整理事務所で行い、現地写真整理、遺構図版組・トーンス、観察表作成を実施した。平成22年度には遺物写真撮影、遺物実測図修正・版組・トーンスを行い、これらを編集して報告書を作成した。なお、遺物の写真撮影は4×5判カラーリバーサル・モノクロフィルム、6×7判カラーリバーサル・モノクロフィルムを用いて、当研究所写真室で撮影を行った。また、木製品の保存処理、漆種同定については当研究所保存処理室で実施した。

4 基本土層

調査区の基本土層は、東壁土層の堆積状況を基準とした。厚さ約90cmの盛土の下に、第1層～第11層までの地層が見られる（第6図）。各土層の特徴は次の通りである。

第1層 青灰色粘土層。

第2層 黒色泥炭質粘土層。厚さ約3～4cm。

第3層 暗灰色粘土層。厚さ約9～10cm。調査区南側の微高地部分まで広がっている。

第4層 黒色粘土層。厚さ約20cm。調査区南側の微高地部分まで広がっている。

第5層 におい黄褐色砂層。厚さ約11cm。橙色の小さい砂礫ブロックを含む。

第6層 黒色泥炭質砂層（無遺物層）。約厚さ3cm。

第7層 明黄褐色砂層。厚さ約11cm。

第8層 黒褐色砂層。

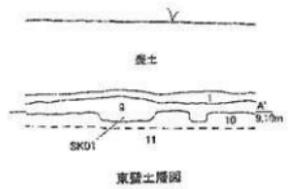
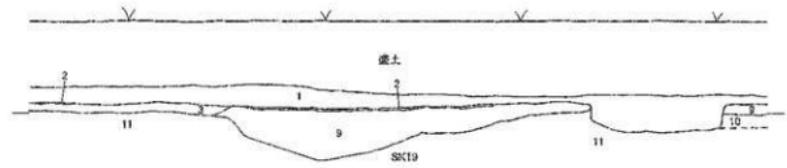
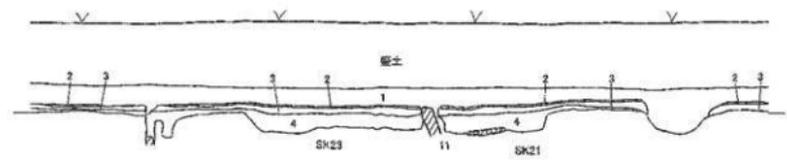
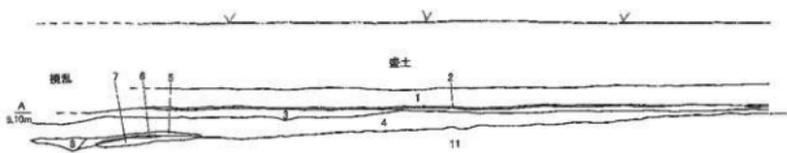
第9層 極暗褐色砂質土層。第4層に続いて、調査区南側の微高地部分から南側にかけて広がっている。

第10層 灰色砂質粘土層（黄褐色粘土ブロックを含む）。基盤層であり、遺物は出土していない。

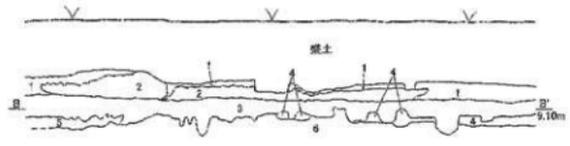
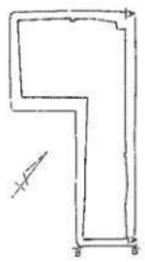
第11層 灰色砂層

このうち、第1層・第2層はいずれも古墳時代以降の水田耕作土であり、第3層は弥生時代後期～古墳時代前期の水田耕作土と見られる。第4層及び第9層からは弥生時代中期中葉～後葉の土器が出土しており、堀立柱建物、溝状遺構、土坑、流路、柱穴等の遺構が検出されている。第5層～第8層は調査区北側で見られ、流路（SR01・02）の堆積土層である。

なお、南壁土層においては、第2層が東壁土層第1層、第3層が東壁土層第9層に対応している。



- 1 黄灰色粘土(黄褐色粘土含む)
- 2 黒色泥炭質粘土
- 3 暗灰色粘土
- 4 黒色粘土
- 5 にぶい黄褐色砂
- 6 黒色泥炭質砂
- 7 明黄褐色砂
- 8 黒褐色砂
- 9 細礫褐色砂質土
- 10 灰色砂質粘土(黄褐色粘土ブロック含む)
- 11 灰色砂



- 1 黄灰色粘土
- 2 黄灰色粘土
- 3 細礫褐色砂質土
- 4 黄褐色粘土
- 5 黄褐色粘土
- 6 灰色粘土

東盛土層図

南盛土層図



第6図 基本土層図

第3章 検出遺構

今回の調査では、第1面（第3層上面）及び第2面（第4層・第9層上面）で遺構の検出を行った。第1面は調査区北側から南側微高地部分まで続いており、耕作による覆層を受けていることから水田土壌であることが確認できたものの、畦畔等の区画は把握できなかった。第2面では掘立柱建物、溝状遺構、土坑、洩路等の遺構が検出されており（第7図）、弥生時代中期中葉～後葉の土器が集中して出土していることから、第2面の遺構はいずれも弥生時代中期中葉～後葉に属すると考えられ、その上層の第1面は弥生時代後期～古墳時代前期の水田跡であることが推定される。以下、第2面で検出された遺構について説明を行う。

1 掘立柱建物跡（SB：第8図～第9図）

調査区の南端部、中央部、北西部に多くの小穴が集中していることから、建物がくり返し立て替えられた可能性が高いと考えられる。これらの小穴の中で、建物の柱穴としての対応が復元できるものは5基確認できており、ここでは掘立柱建物として扱っている。いずれも1間×1間の建物として確認されている。

SB01（第8図）

C2グリッド東部で検出されている。建物平面は長方形を呈しており、主軸は東西方向を向いている。桁行は1.51m、梁行は1.27mである。柱穴の平面形状はP1～P3が楕円形を呈しており、P4（SK12）が不定形である。柱穴底面の標高は8.81m～8.89mである。

SB02（第8図）

C1グリッド北部からD1グリッド東部にかけて検出されている。建物平面は長方形を呈しており、主軸は北西～南東方向を向いている。桁行は1.75m、梁行は1.45mである。柱穴はP1～P3のみが検出されており、P4に相当する柱穴は未確認である。柱穴の平面形状はP1～P2が楕円形を呈しており、P3が円形である。柱穴底面の標高は8.59m～8.65mである。

SB03（第8図）

D1グリッド西部で検出されている。建物平面は長方形を呈しており、主軸は北西～南東方向を向いている。桁行は1.46m、梁行は1.09mである。柱穴はP1～P3のみが検出されており、P4に相当する柱穴は未確認である。柱穴の平面形状はP1が略九方形、P2～P3が円形である。柱穴底面の標高は8.75m～8.80mである。

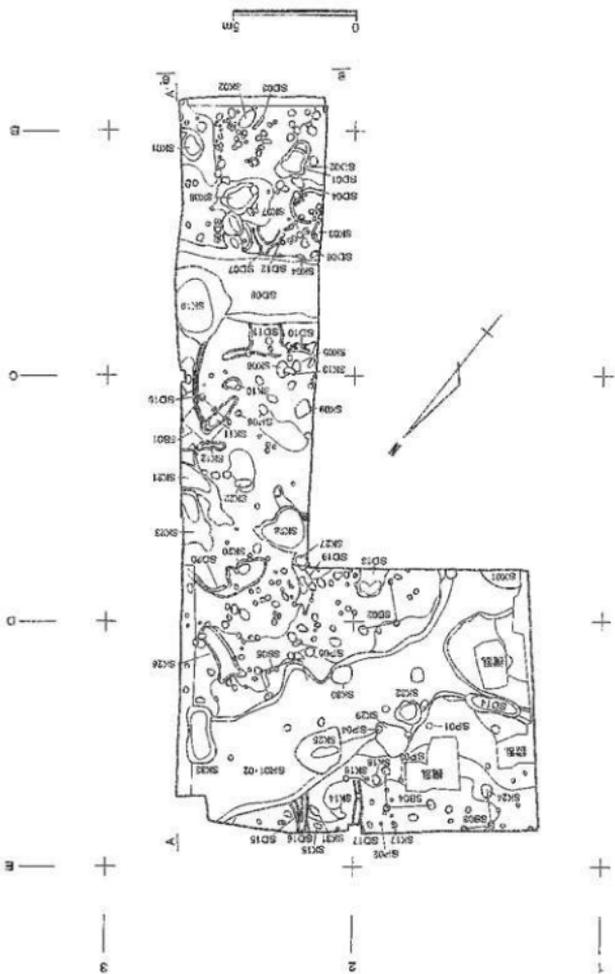
SB04（第9図）

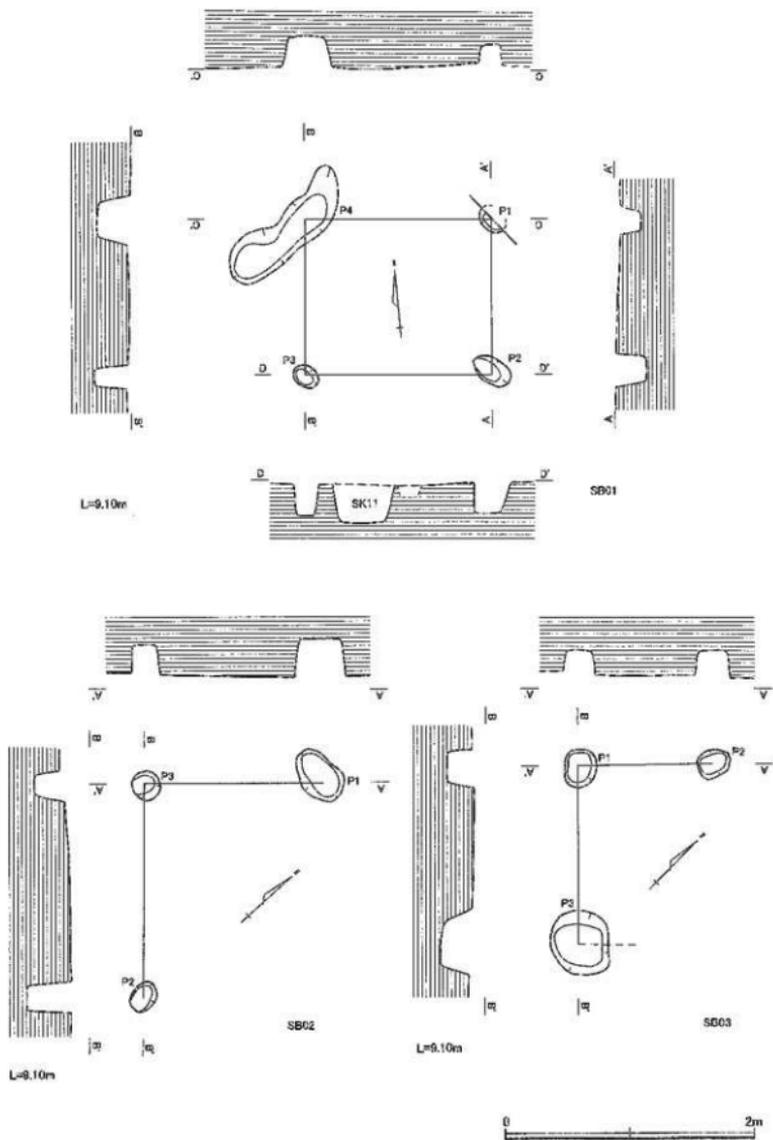
D1グリッド北部で検出されている。建物平面は長方形を呈しており、主軸は南西～北東方向を向いている。桁行は1.82m、梁行は1.53mである。柱穴はP1～P3のみが検出されており、P4に相当する柱穴は覆層によって切られているため検出できなかった。柱穴の平面形状はP1、P3が円形、P2が不定形である。P2からは柱状片刃石斧（58）が出土している。柱穴底面の標高は8.73m～8.80mである。

SB05（第9図）

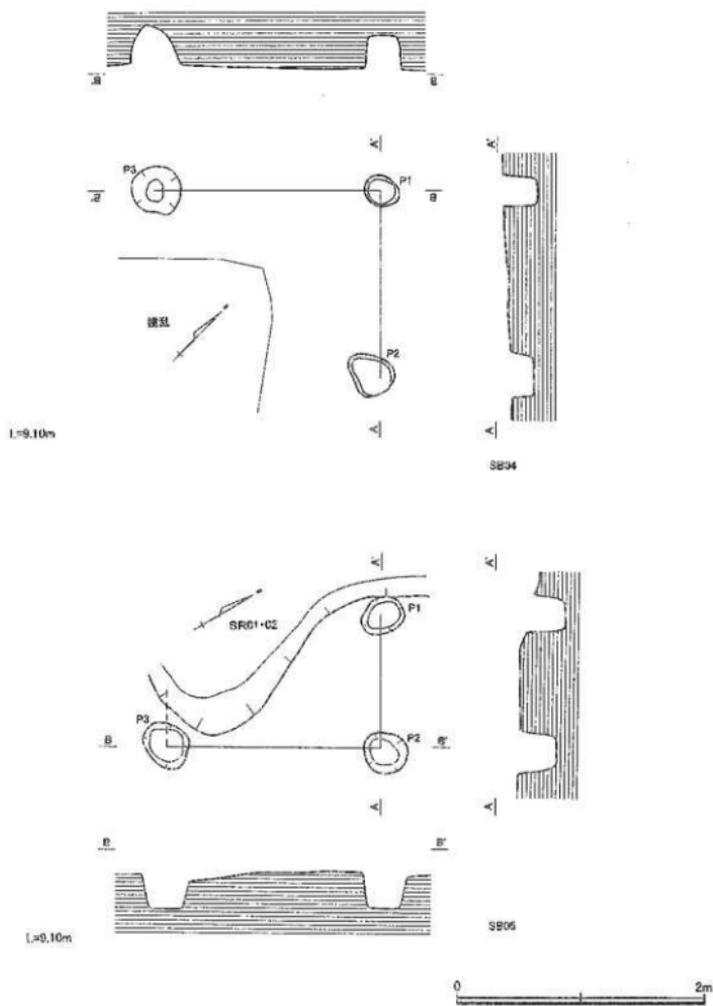
D2グリッド南部で検出されている。建物平面は長方形を呈しており、主軸は南南西～北北東方向を向いている。桁行は1.72m、梁行は1.08mである。柱穴はP1～P3のみが検出されており、P4に相当する柱穴はSR01・02によって切られているため検出できなかった。柱穴の平面形状はいずれも不定形である。柱穴底面の標高は8.54m～8.61mである。

第7圖 遺構全体圖





第8圖 SB01~03平面・断面圖



第9圖 SB04~06平面・断面圖

第4表 掘立柱建物一貫

遺構番号	グリッド	桁行(m)	梁行(m)	柱穴番号	規模(cm) (): 残存			平面形状	底面高(m)
					長径	短径	深さ		
SB01	C-2	1.51	1.27	P1	(25)	(10)	(16)	楕円形	8.89
				P2	32	22	25	楕円形	8.84
				P3	22	17	27	楕円形	8.81
				P4	(118)	(40)	(30)	不定形	8.83
SB02	C-1N D-1S	1.75	1.45	P1	48	34	30	楕円形	8.60
				P2	26	20	36	楕円形	8.59
				P3	23	21	25	円形	8.65
SB03	D-1	1.46	1.09	P1	32	25	21	隅丸方形	8.79
				P2	26	22	21	円形	8.80
				P3	(52)	(46)	(21)	円形	8.75
SB04	D-1	1.82	1.53	P1	28	26	27	円形	8.78
				P2	38	36	18	不定形	8.80
				P3	40	38	31	円形	8.73
SB05	D-2	1.72	1.08	P1	35	30	30	不定形	8.54
				P2	37	34	30	不定形	8.61
				P3	41	34	29	不定形	8.61

2 溝状遺構 (SD: 第10図～第16図・第25図)

溝状遺構は合計で20基が確認されている。SD01・02・09は土坑状を成している遺構であるが、ここでは溝状遺構として分類している。

SD01・02 (第10図)

いずれもB2グリッド東部で検出されている。SD01は北北西～南南東方向に延びており、南南東から北北西にかけて幅が広がっている。検出長は209cmであり、検出幅は45～108cmである。溝の深さは16cmであり、底面はほぼ平坦である。SD01の覆土は極暗褐色砂質土層であり、SD01の内部からSD02が検出されている。SD02の覆土は黄褐色、青灰色粘土ブロックを含む極暗褐色砂質土層である。

SD03 (第10図)

A2グリッド西部で検出されており、南北方向に延びている。検出長は66cm、検出幅は10cmである。溝の底面は平坦であり、深さは6cmである。内部には4基の小穴が溝に沿って並んでおり、布張り跡に類似した状態が観察される。遺構の覆土は極暗褐色砂質土層である。

SD04 (第10図)

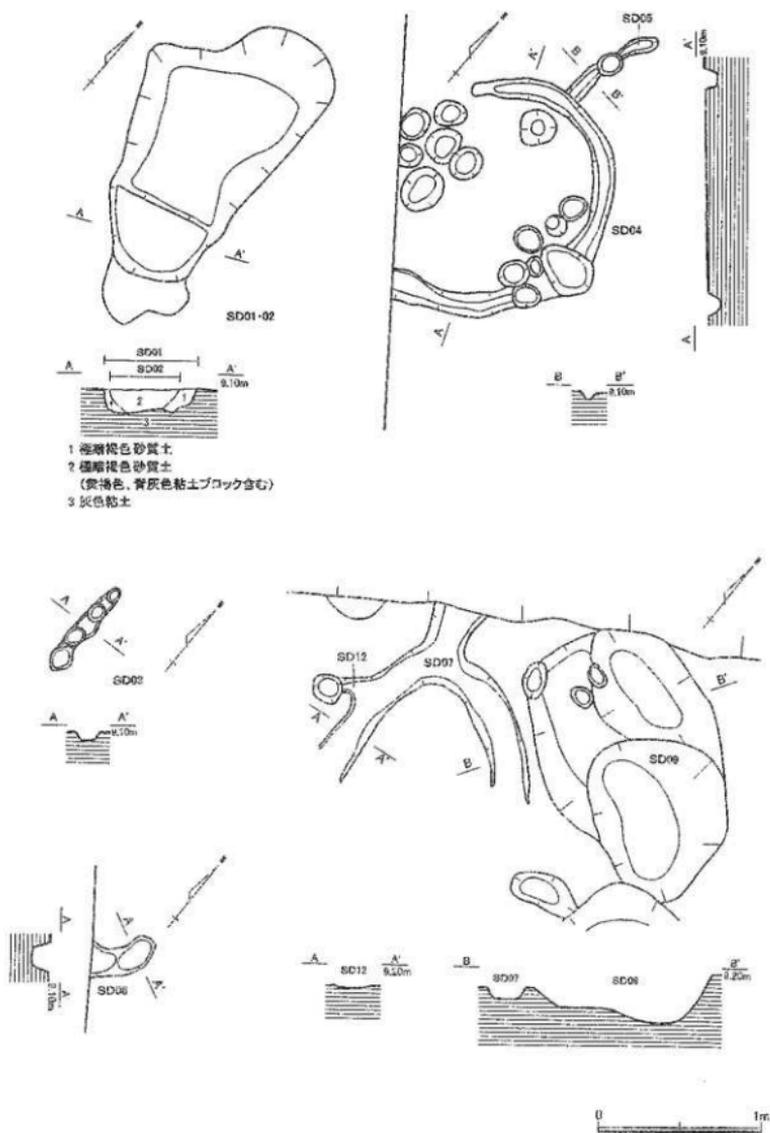
B2グリッド南部で検出されている。径160cm程度の環状の溝であり、東側及び西側に小穴がまると見られる。北側にはSD05が接している。検出長は310cm、検出幅は12cmである。断面は逆台形状もしくはU字状に掘り込まれており、深さは9cmである。

SD05 (第10図)

B2グリッド南部で検出されている。SD04の北側に接して南北方向に延びており、北側では北北東方向に屈曲している。検出長は66cm、検出幅は10cmであり、断面は逆台形を呈している。深さは4cmであり、SD04よりもやや浅い溝である。中心部分には小穴が接している。

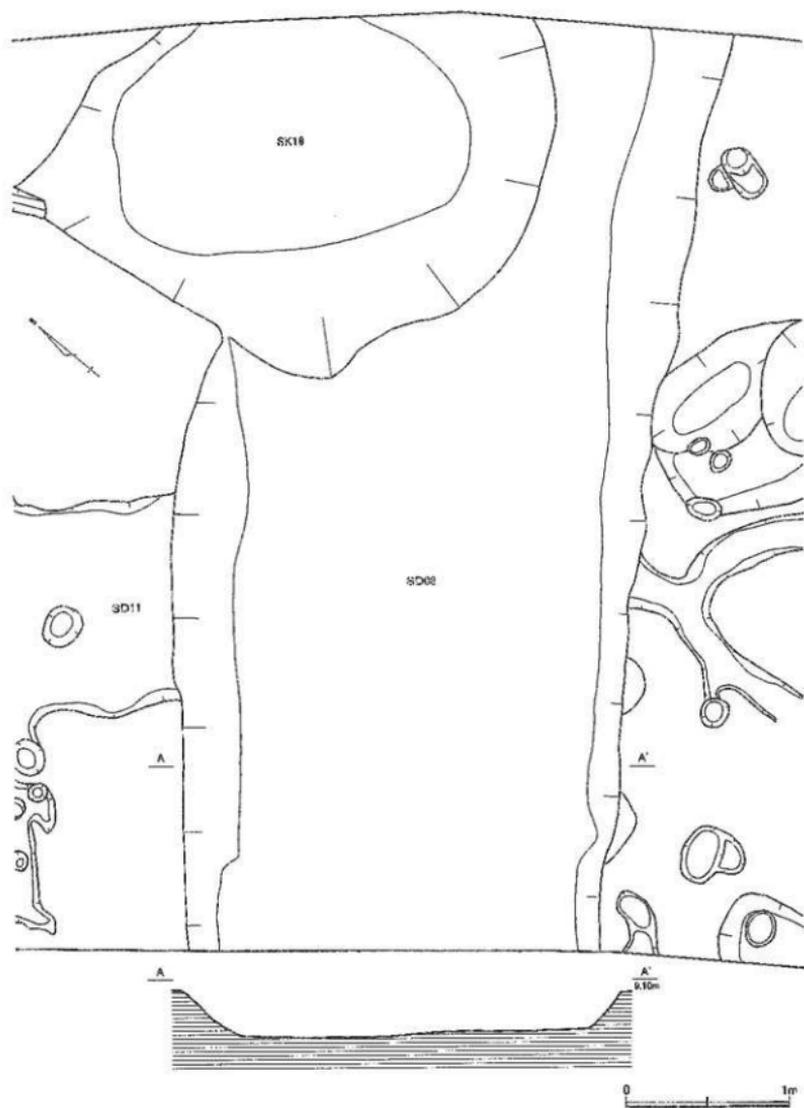
SD06 (第10図)

B2グリッド南西部で検出されている。調査区西壁から北東方向に延びており、中心部分から北側に屈曲している。検出長は40cm、検出幅は16～24cmである。底面は平坦であり、深さは10cmである。

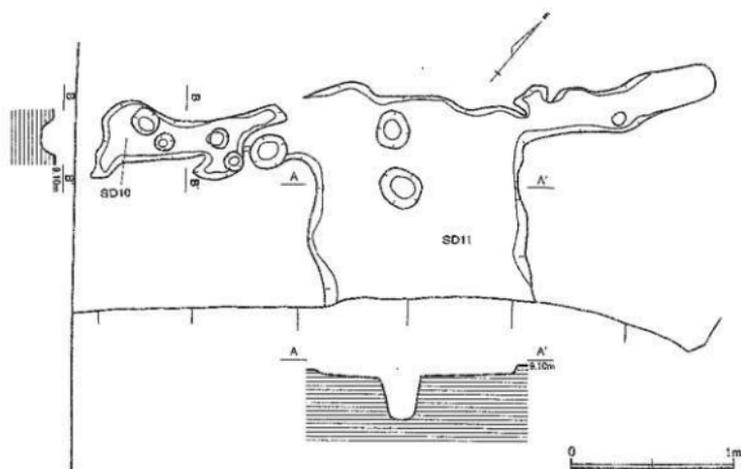


- 1 凝層褐色砂質土
- 2 凝層褐色砂質土
(黄褐色、青灰色粘土ブロック含む)
- 3 灰色粘土

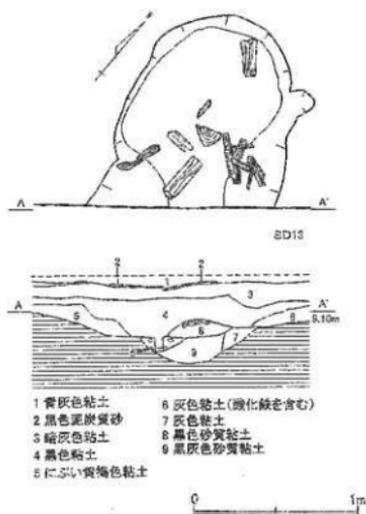
第10図 SD01~07・09・12平面・断面図



第11圖 SD08平面・断面図



第12図 SD10・11平面・断面図



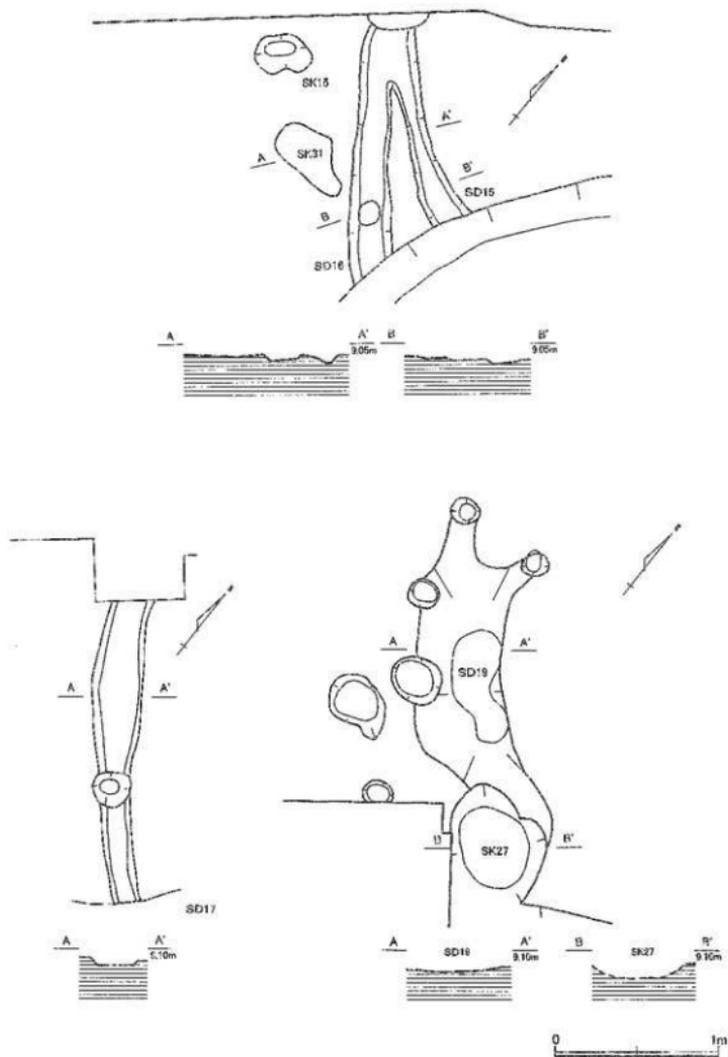
第13図 SD13平面・断面図

SD07 (第10図)

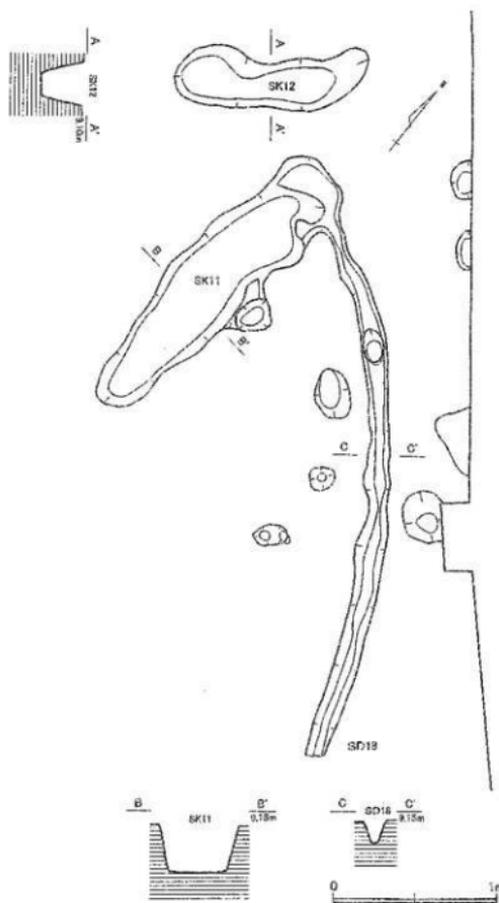
B2グリッド中央部で検出されている。径約140 cmの環状の溝であり、南側が消失している。環の北北西方向から1本の溝が延びており、北側でSD08と接している。また、南西部分ではSD12と連結している。検出長は128cm、検出幅は22cmである。底面は平坦に掘り込まれており、深さは9 cmである。

SD08 (第11図)

B2グリッド北部から西部にかけて検出されている。南西から北東方向に直線状に延びる太い溝であり、北東部分にSK19が接している。検出長は580cm、検出幅は264cm、深さは28cmであり、溝の北西側ではSD11、南東側ではSD07・09が接している。遺構内の覆土には極暗褐色砂質土層が含まれる。溝の底面は平坦であり、北西側では高低差が緩やかであるのに対し、南東側の断面には段差が存在する様子が確認できる。溝の内部では流木が確認されているほか、北東部分で腐った木片が堆積しており、川が流れている状態と推定される状況が確認できていることから、溝の内部では南



第14圖 SD15~17・19、SK31平面・断面圖



第15図 SD18、SK11・12平面・断面図

西から北東への水の流れが存在していたと考えられる。遺構内からは、弥生土器（1～12）、敲石（9、12、16）、凹石（20、22）、砥石（38、49）のほか、澗木を含めた木製品が出土している。

SD09（第10図）

B2グリッド中央部で検出されており、北西—南東方向に延びている。3基の土坑が重なり合った形状を成しており、深さは北側及び南東側において深くなっている。検出長は172cm、検出幅は80cmである。断面はボール状に掘り込まれており、深さは24cmである。北側ではSD08に接しており、南側でSK08に接している。遺構内からは弥生土器（13～14）が出土している。

SD10（第12図）

B2グリッド西部で検出されており、南西—北東方向に延びている。北東側でSD11と接しており、SD11よりもさらに深く掘り込まれている。底面は平坦であり、検出長は124cm、検出幅は10～36cm、深さは9cmである。

SD11（第12図）

B2グリッド西部で検出されており、南東側でSD08に接している。検出幅134cmの太い溝が北西—南東方向に延びており、南南西—北北東方向に伸びる検出幅16cmの細い溝が連結している。南西側でSD10

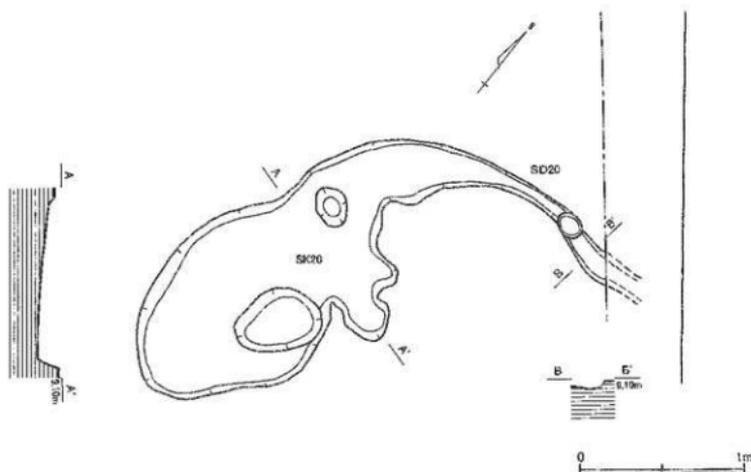
が接続している。検出長は294cm、深さは6cmであり、底面は平坦である。

SD12（第10図）

B2グリッド中央部で検出されており、SD07の南西側に連結して南西—北東方向に延びている。検出長は14cm、検出幅は8cm、深さは2cmである。

SD13（第13図）

C1グリッド北部から検出されている。ほぼ南北方向に延びており、南側は調査区南壁に続いている。検出長は120cm、検出幅は87～108cmである。深さは23cmであり、断面はボール形に掘り込まれている。



第16図 SD20、SK20平面・断面図

遺構の覆土として、黒色粘土層、灰色粘土層、黒色砂質粘土層が堆積している。遺構内からは弥生土器(15~16)が出土している。また、内部から複数の木製品が折り重なって出土している状況が確認されている。

SD14 (第25図)

D1グリッド中央部で検出されている。SR01の南西側に接しており、西南西—北東方向に延びている。検出長は218cm、検出幅は74cm、深さは26cmであり、断面は平坦に掘り込まれている。遺構内の覆土にはにおい黄褐色砂層が含まれる。内部から枝つきの流木が見つかっており、弥生土器(17~90)、敲石(7)、砥石(47)、石錘(103)が出土している。

SD15・16 (第14図)

いずれもD2グリッド西部で検出されており、南東側でSR01に接している。北西—南東方向に併行して並んでおり、調査区北壁付近で凍結して一本の溝になっている。SD15の検出長は122cm、検出幅は14cm、深さは3cmであり、SD16の検出長は150cm、検出幅は24cm、深さは3cmである。

SD17 (第14図)

D1グリッド北部で検出されており、北西—南東方向に延びている。北西側は調査区北壁に接している。検出長は188cm、検出幅は30cm、深さは4cmであり、底面は平坦に掘り込まれている。溝の中心部分で小穴が検出されている。

SD18 (第15図)

B2グリッド北部からC2グリッド東部にかけて検出されており、北西から南東方向に向かって弧を描いている。検出長は392cm、検出幅は16cm、深さは10cmであり、断面はV字形に掘り込まれている。北西側でSK11と連結している。

SD19 (第14図)

C2グリッド西部で検出されている。北西—南東方向に延びており、南東側で東に屈曲してSK27に接

第5表 溝状遺構一覽

遺構番号	グリッド	検出長(cm)	検出幅(cm)	深さ(cm)
SD01	B-2	209	45~108	16
SD02				
SD03	A-2	66	10	6
SD04	B-2	310	12	9
SD05	3-2	66	10	4
SD06	B-2	40	16~24	10
SD07	B-2	128	22	9
SD08	B-2	580	264	28
SD09	B-2	172	80	24
SD10	B-2	124	10~36	9
SD11	B-2	294	16~134	6
SD12	B-2	14	8	2
SD13	C-1	120	87~106	22
SD14	D-1	218	74	26
SD15	D-2	122	14	3
SD16	D-2	150	24	3
SD17	D-1	188	30	4
SD18	B-2・C-2	392	16	10
SD19	C-2	234	16~50	2
SD20	C-2	160	10~40	4

している。検出長は234cm、検出幅は16~50cm、深さは2cmであり、底面は平坦である。溝の周囲には数箇の小穴が見られる。

SD20 (第16図)

C2グリッド北部で検出されている。ほぼ東西方向に延びており、SK20の北側に連結して調査区東壁まで続いている。検出長は160cm、検出幅は10~40cm、深さは4cmである。

3 土坑 (SK: 第17図~第24図)

土坑は33基検出されている。

SK01 (第17図)

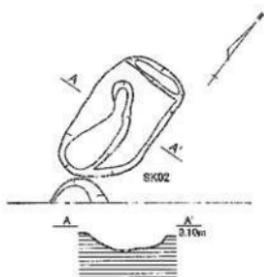
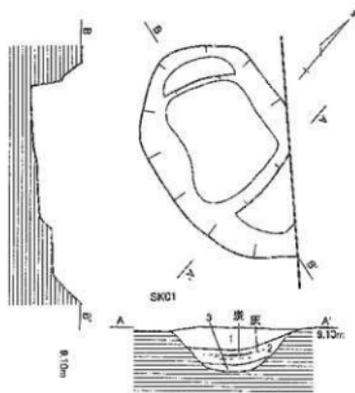
A2グリッド北部からB2グリッド東部にかけて検出されており、平面は楕円形を呈している。北西一南東方向に掘り込まれて調査区東壁に接しており、東壁より南東部分は調査区外のため未確認である。土坑断面は鍋底状に掘り込まれており、底部からは灰白色粘土ブロックを含む暗褐色粘土が検出されている。遺構覆土上層の暗褐色砂質土層は炭化物や灰を含んでいる。検出長は147cm、検出幅は89cm、深さは31cmである。

SK02 (第17図)

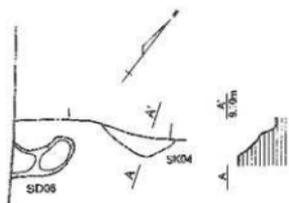
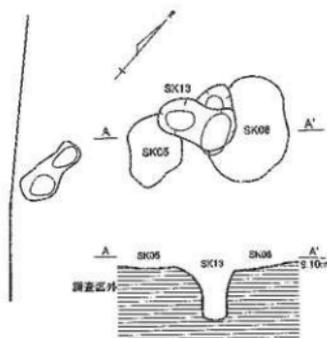
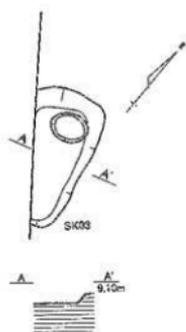
A2グリッド北西部の調査区南壁付近で検出されており、平面は楕円形を呈している。南北方向に掘り込まれ、土坑断面は皿状になっている。検出長は88cm、検出幅は50cm、深さは11cmである。

SK03 (第17図)

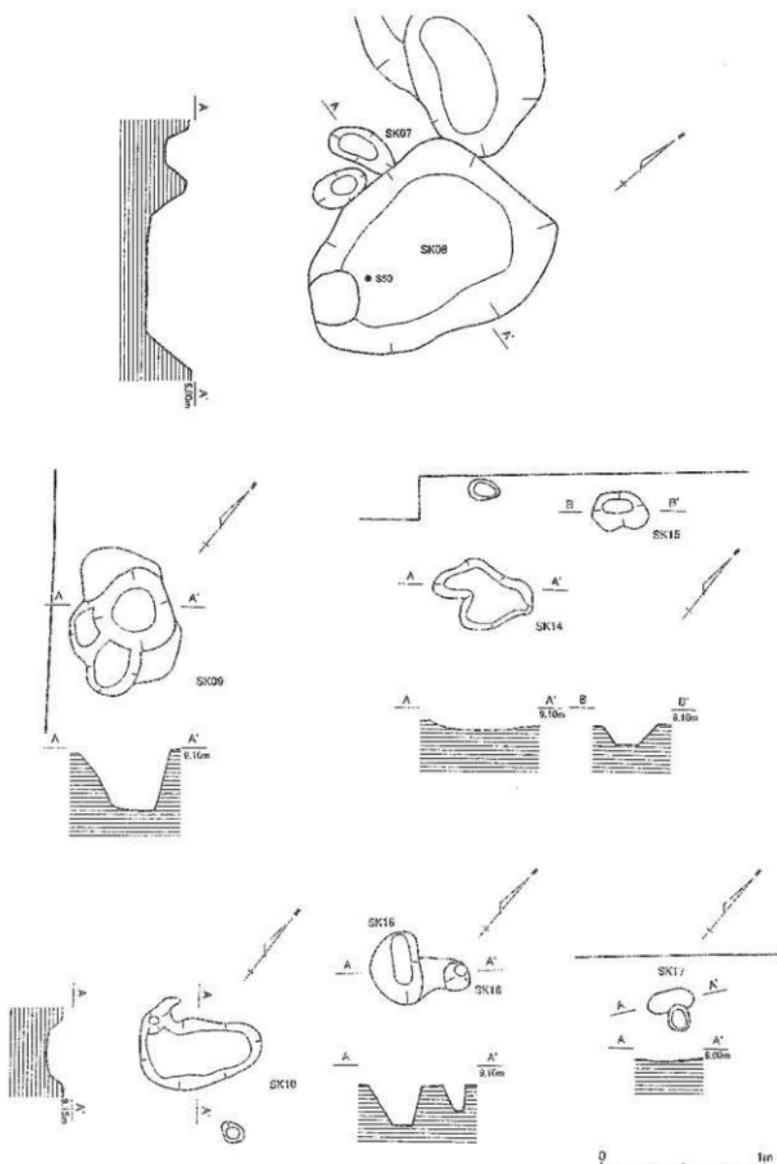
B2グリッド南西部の調査区西壁沿いで検出されており、平面は楕円形を呈している。北北西一南南東方向に掘り込まれており、底面は平坦である。遺構の南西部分は調査区外のため未確認である。検出長は88cm、検出幅は42cmである。



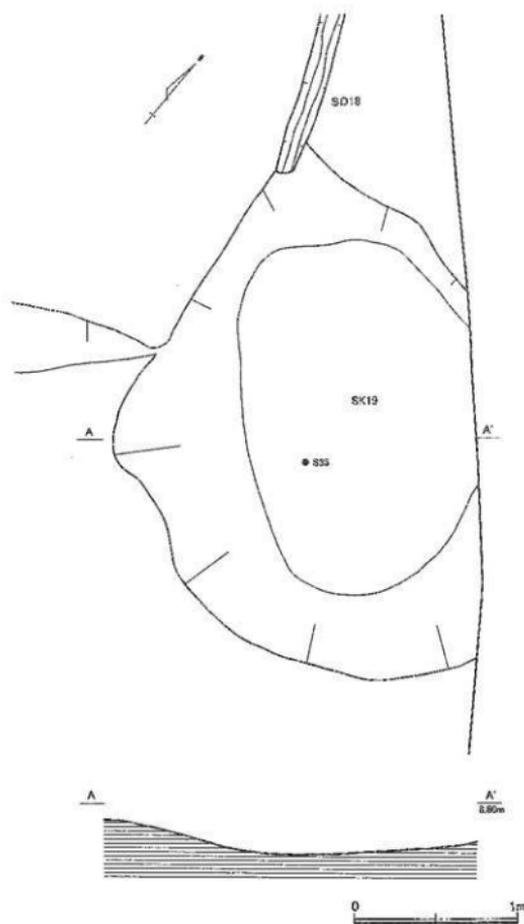
- 1 輝緑褐色砂質土
- 2 緑褐色砂質土
(炭化物の一部、灰層を含む)
- 3 海陸相粘土
(灰白色粘土ブロックを含む)



第17図 SK01~06・13平至・断面図



第18图 SK07~10·14~18平面·断面图



第19図 SK19平面・断面図

面は平坦に掘り込まれている。覆土内には炭化物が滲じっている状態が確認されており、遺構内から弥生土器(91)、太形蛤刃石斧(50)、柱状片刃石斧(59)が出土している。

SK09 (第18図)

C2グリッド南部の調査区西壁付近で検出されている。平面はいびつな楕円形であり、長軸は北西—南東方向を向いている。検出長は90cm、検出幅は48cmである。断面は鍋底状に掘り込まれており、深さは38cmである。弥生土器(92)が出土している。

SK04 (第17図)

B2グリッド南西部で検出されており、北西側でSD08に接している。検出長は46cm、検出幅は14cmである。

SK05 (第17図)

B2グリッド西部で検出されている。平面は円形を呈しており、北側でSK13と接している。検出幅は46cm、検出幅は34cm、深さは2cmである。

SK06 (第17図)

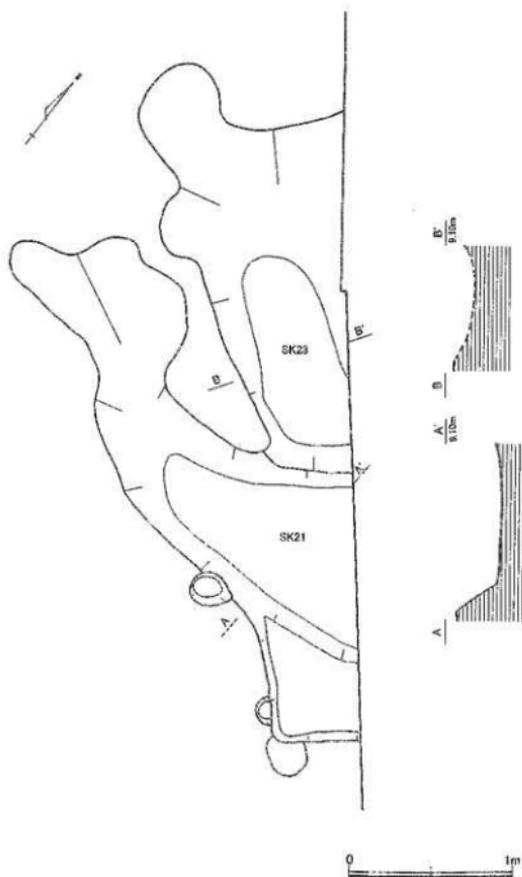
B2グリッド西部からC2グリッド南部にかけて検出されている。平面は楕円形を呈しており、西側でSK13と接している。検出長は63cm、検出幅は48cm、深さは5cmである。

SK07 (第18図)

B2グリッド東部で検出されており、平面は楕円形を呈している。南西—北東方向に掘り込まれており、東北側でSK08と接している。検出長は42cm、検出幅は21cmである。底面は平坦に掘り込まれており、深さは14cmである。

SK08 (第18図)

B2グリッド東部で検出されている。平面は楕円形を呈しており、長軸は南北方向を向いている。北西側でSD09に接しており、西側でSK07に接している。検出長は148cm、検出幅は116cmである。深さは28cmであり、底



第20図 SK21・23平面・断面図

SK10 (第18図)

C2グリッド南東部で検出されている。平面は楕円形を呈しており、南西—北東方向に掘り込まれている。検出長74cm、検出幅44cm、深さ10cmである。底面は皿状に掘り込まれている。

SK11 (第15図)

C2グリッド東部で検出されている。平面は楕円形を呈しており、ほぼ南北方向に掘り込まれて北東側でSD18に接している。検出長196cm、検出幅50cm、深さ30cmであり、底面は平埧に掘り込まれている。底部からは木片が検出されている。遺構内の覆土は砂質土層であり、内部には炭化物が含まれている。

SK12 (第15図)

C2グリッド東部で検出されている。平面はいびつな楕円形を呈しており、南西—北東方向に掘り込まれている。検出長は118、検出幅は40cm、深さは26cmであり、断面は鍋底状に掘り込まれている。SK11の北側から検出されており、SB01の柱穴として機能していたと考えられる。遺構内の覆土は攪乱を受けており、下の砂質土層を巻き上げている状

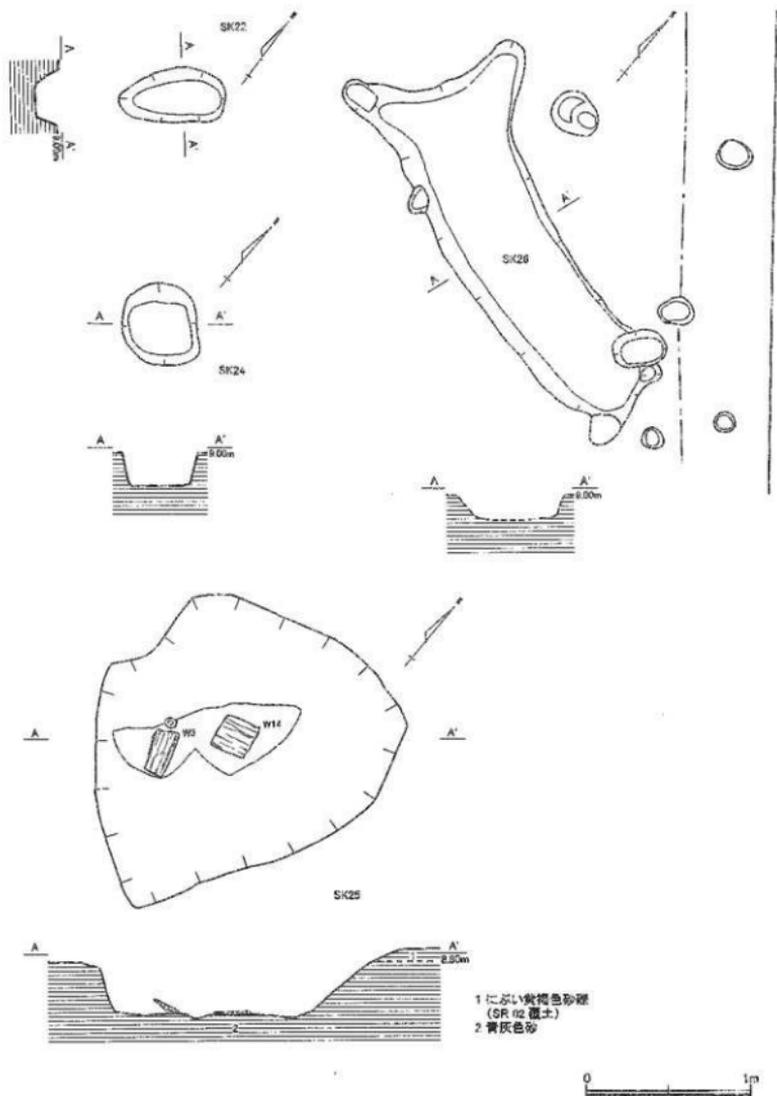
況が確認されている。遺構内からは弥生土器(93・94)が出土している。

SK13 (第17図)

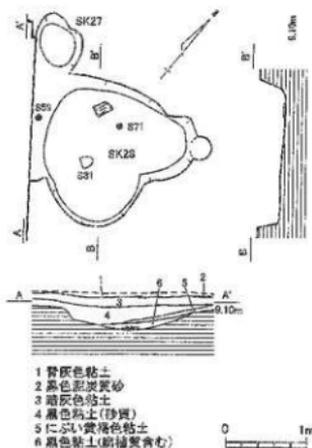
B2グリッド西部からC2グリッド南部にかけて検出されている。平面は不定形であり、南側でSK05、東側でSK06が接している。検出長は48cm、検出幅は32cm、深さは33cmであり、断面はU字形に掘り込まれている。遺構内からは敲石(4)、礫石(36)が出土している。

SK14 (第18図)

D2グリッド西部の調査区北壁付近で検出されており、平面は不定形である。検出長は62cm、検出幅は46cmである。



第21圖 SK22・24～26平面・断面圖



第22図 SK27・28平面・断面図

SK15 (第18図)

D2グリッド西部の調査区北壁付近から検出されている。平面は円形に近い楕円形である。検出長は38cm、検出幅は24cm、深さは12cmであり、底面は平坦に掘り込まれている。

SK16 (第18図)

D1グリッド北部で検出されている。平面は不定形であり、南西側でSK18に接している。検出長は20cm、検出幅は16cm、深さは17cmであり、断面はU字形である。

SK17 (第18図)

D1グリッド北部の調査区北壁付近から検出されている。平面は楕円形を呈しており、南西—北東方向に掘り込まれている。検出長28cm、検出幅10cm、深さ2cmであり、南東側には小穴が接している。

SK18 (第18図)

D1グリッド北部で検出されている。平面はいびつな楕円形であり、北東側にSK16が接している。検出長は46cm、検出幅は30cm、深さは25cmである。断面は逆台形を呈している。

SK19 (第19図)

B2グリッド北部で検出されている。平面はいびつな楕円形であり、南西側にSD08が接している。検出長は334cm、検出幅は224cm、深さは23cmであり、底面は平坦に掘り込まれている。土坑内部では木片が腐って堆積している状況が確認されている。基石(83、42)、簾の未製品(5)が出土している。

SK20 (第16図)

C2グリッド北部で検出されており、平面は不定形である、南南西から北北東に向かって次第に幅が狭くなり、調査区東壁付近でSD20と連結する。検出長は190cm、検出幅は110cm、深さは13cmである。底面は北西から南東方向に向かって緩く傾斜している。

SK21 (第20図)

C2グリッド北東部で検出されている。平面は不定形であり、北西—南東方向に掘り込まれて調査区東壁に接しており、北西側ではSK23に接している。検出長は294cm、検出幅は106cm、深さは28cmであり、底面は平坦に掘り込まれている。遺構内からは弥生土器(97~99)が出土している。

SK22 (第21図)

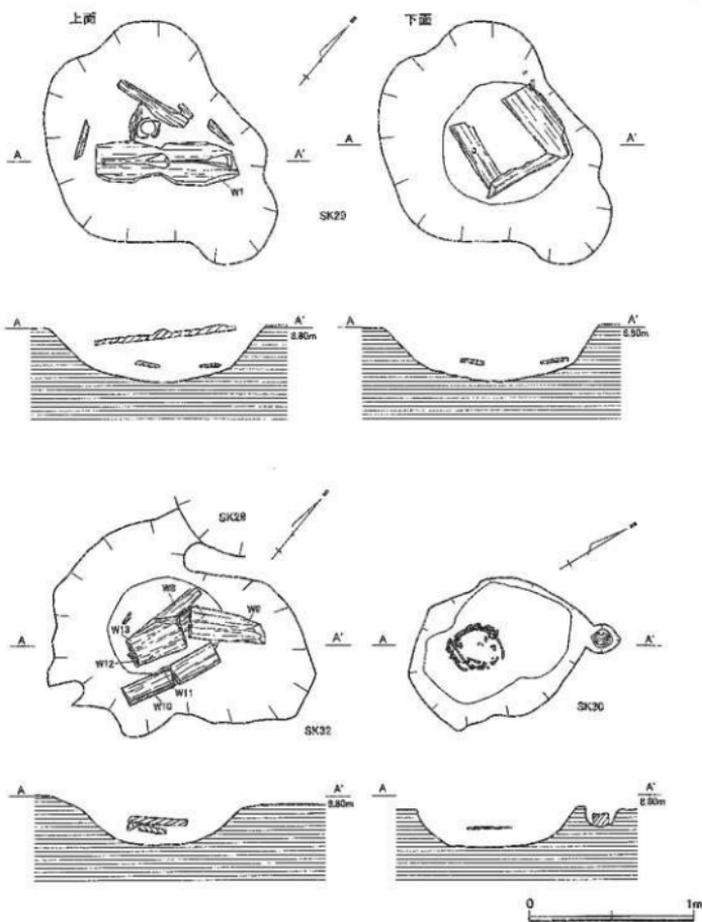
C2グリッド中央部で検出されている。平面は楕円形であり、南西—北東方向に掘り込まれている。検出長は64cm、検出幅は36cm、深さは15cmである。底面は平坦に掘り込まれている。

SK23 (第20図)

C2グリッド北東部で検出されている。平面は不定形であり、北西—南東方向に掘り込まれて調査区東壁に接している。南東側ではSK21に接している。検出長は204cm、検出幅は132cmである。遺構内からは弥生土器(100~106)が出土している。

SK24 (第21図)

D1グリッド西部で検出されており、平面は円形を呈している。検出長は52cm、検出幅は46cm、深さは21cmであり、断面は逆台形を呈している。SB03の柱穴として機能していたと考えられる。



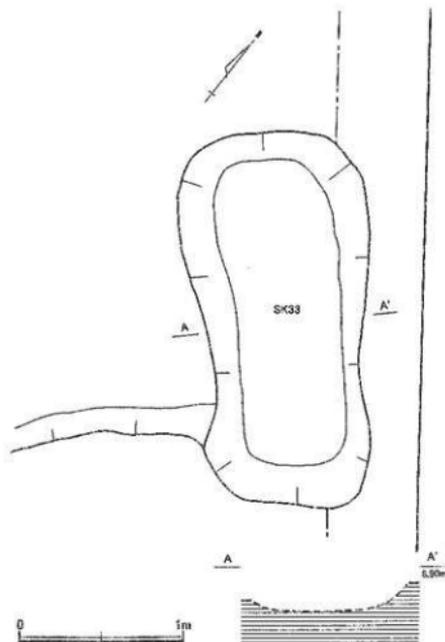
第23図 SK29・30・32平面・断面図

SK25 (第21図)

D2グリッド南西部で検出されている。SR02の内部を掘り込んでおり、平面は不定形である。検出長は189cm、検出幅は173cm、深さは35cmである。底面は平塚に掘り込まれており、南西側では垂直に近い形で掘り込まれているのに対し、北東側では緩やかに立ち上がる。弥生土器(106・107)、敷石(1)、鉄の未製品を始めとした木製品(3・14)が出土している。

SK26 (第21図)

D2グリッド東部で検出されており、平面の形状は隅丸長方形である。北西—南東方向に掘り込まれて



第24図 SK33平面・断面図

から検出されており、南側でSKS2に接している。検出長は166cm、検出幅は117cm、深さは35cmであり、断面は皿状に掘り込まれている。弥生土器（125～127）、砥石（32）、鍬末製品（1）が出土している。

SK30（第23図）

D2グリッド南部で検出されている。平面はいびつな楕円形であり、ほぼ南北方向に掘り込まれている。SR01の底部から検出されており、土坑の北側に小穴を伴っている。検出長は113cm、検出幅は88cm、深さは23cmであり、底面は皿状に掘り込まれている。

SK31（第14図）

D2グリッド西部で検出されており、平面は不定形である。検出長52cm、検出幅26cmである。

SK32（第23図）

D1グリッド北東部で検出されており、平面は不定形である。SR01底部から検出されており、SK29の南側に接している。検出長は166cm、検出幅は129cm、深さは30cmであり、断面は皿状に掘り込まれている。遺構内から木製品（8～13）が複数出土している。

SK33（第24図）

D2グリッド北東部で検出されている。平面は楕円形であり、北西—南東方向に掘り込まれている。検出長は230cm、検出幅は116cmである。

おり、南側及び東側で小穴が確認されている。検出長は230cm、検出幅は70cmである。遺構内からは弥生土器（108）が出土している。

SK27（第22図）

C2グリッド中央部で検出されている。調査区西壁に接しており、平面は円形を呈している。南東側ではSK28、北西側ではSD19に接している。検出長は78cm、検出幅は58cmである。遺構内からは弥生土器（109～111）が出土している。

SK28（第22図）

C2グリッド中央部で検出されており、調査区西壁に接している。平面は不定形であり、北西側でSK27と連結している。検出長は225cm、検出幅は180cm、深さは32cmであり、断面は皿状に掘り込まれている。遺構内からは弥生土器（112～124）、砥石（31）、扁平片刃石斧（67・71）、打製刃器（95）が出土している。

SK29（第23図）

D1グリッド北東部から検出されており、平面は不定形である。SR01の底部

第6表 土坑一覧

遺構番号	グリッド	長軸(cm) (): 現存	短軸(cm) (): 現存	深さ(cm)
SK01	A-2・B-2	(147)	(89)	31
SK02	A-2	88	50	11
SK03	B-2	(88)	(42)	
SK04	B-2	(46)	(14)	
SK05	B-2	(46)	34	2
SK06	B-2・C-2	63	(48)	5
SK07	B-2	(42)	21	14
SK08	B-2	148	116	28
SK09	C-2	90	48	38
SK10	C-2	74	44	10
SK11	C-2	196	50	30
SK12	C-2	118	40	26
SK13	B-2	48	32	33
SK14	D-2	62	46	
SK15	D-2	38	24	12
SK16	D-1	20	16	17
SK17	D-1	28	(10)	2
SK18	D-1	46	30	25
SK19	B-2	(334)	(224)	23
SK20	C-2	(190)	(110)	13
SK21	C-2	(294)	(106)	25
SK22	C-2	64	36	15
SK23	C-2	(204)	(132)	
SK24	D-1	52	46	21
SK25	D-2	(189)	(173)	35
SK26	D-2	230	70	
SK27	C-2	(78)	(58)	
SK28	C-2	(225)	180	32
SK29	D-1	166	117	35
SK30	D-2	(113)	88	23
SK31	D-2	52	26	
SK32	D-1	166	(129)	30
SK33	D-2	230	116	

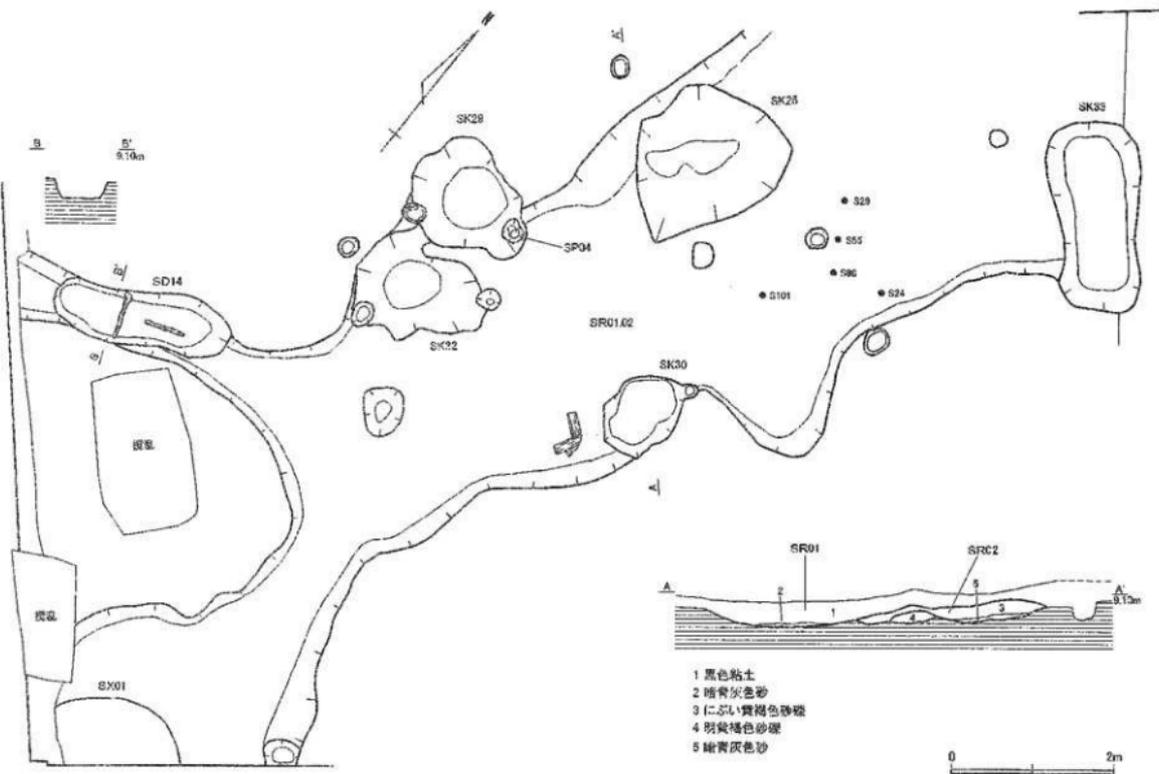
4 流路 (SR: 第25図)

流路 (SR01、02) は調査区北側のD1~D2グリッドで確認されている。流路底面が南西から北東に向かって低くなっており、北東方向への水の流れが存在していたと考えられる。流路の覆土は上層 (黒色粘土層) と下層 (黄褐色砂礫層) に分層することができ、それぞれSR01 (上層)、SR02 (下層) としている。

SR01 (第25図)

C1・D1・D2グリッドで検出されている。黒色粘土層が20cm~30cmにわたって堆積しており、南西側から北東側に向かって深くなっている。流路内からは、弥生土器 (134~280)、凹石 (23・24・27)、砥石 (29・40)、太形給刃石斧未製品 (55)、柱状片刃石斧未製品 (63)、扁平片刃石斧 (78)、石錘 (98・101)、田下駄 (6) 等が出土している。

第26図 SD14、SR01・02、SX01平面・断面図



第7表 小穴・流路・性格不明遺構一覧

遺構番号	グリッド	平面形状	長径(cm) (): 現存	短径(cm) (): 現存
SP01	D-1	円形	27	24
SP02	D-1	円形	14	14
SP03	D-1	円形	18	17
SP04	D-1	不定形	28	23
SP05	D-2	不定形	44	20
SP06	C-2	円形	24	22
SR01	C-1・D-1・D-2		1750	300
SR02	D-2			
SX01	C-1			

SR02 (第25図)

SR02はSR01の下層で検出されている。調査区西壁付近では明褐色砂層の堆積として確認されており、東方向への水の流れにより浸食され、中央部ではいよいよ黄褐色砂礫層・明黄褐色砂礫層として堆積しているとみられる。調査区東壁付近ではさらに浸食が進み、いよいよ黄褐色砂層・明黄褐色砂層となっている(第6図第5層・第7層)。遺構内からは弥生土器(281~335)、磁石(18、34、41)、埴片(7)等が出土している。

5 性格不明遺構(SX:第25図)

SX01 (第25図)

C1グリッド西部で検出されている。SR01の南側に接しており、南側は調査区外のため未確認である。遺構内から弥生土器(133)が出土している。

6 小穴(SP:第7図)

小穴は全体で約270基検出されており、このうち6基から遺物が出土している。

SP01(第7図) D1グリッド中央部で検出されている。平面は円形を呈しており、検出長は27cm、検出幅は24cmである。小穴内から弥生土器(128~130)が出土している。

SP02(第7図) D1グリッド北部で検出されている。平面は円形を呈しており、検出長は14cm、検出幅は14cmである。小穴内から弥生土器(131)が出土している。

SP03(第7図) D1グリッド北部で検出されている。平面は円形を呈しており、検出長は18cm、検出幅は17cmである。小穴内から弥生土器(132)が出土している。

SP04(第7図) D1グリッド北東部で検出されている。平面は不定形であり、検出長は28cm、検出幅は23cmである。小穴内から磁石(5)が出土している。

SP05(第7図) D2グリッド西部で検出されている。平面は不定形であり、検出長は44cm、検出幅は20cmである。小穴内から剥片(256)が出土している。

SP06(第7図) C2グリッド東部で検出されている。平面は円形を呈しており、検出長は24cm、検出幅は22cmである。小穴内から剥片(262)が出土している。

第4章 出土遺物

1 土 器

出土土器のほとんどは弥生時代中期中葉から中期後葉のものである。特に中期後葉前半のものが多くを占めており、その中に中期中葉と中期後葉後半のものが混在している。いわゆる須和田式とされている太槌の沈線で文様を描く土器が主体となっており、その中に外来系として嶺田（阿島）式、貝田町式、瓜罎式、粟林式等の各地域の土器が認められ、地域間の交流が非常に活発であったことが窺える。

SD08出土土器（第26図1～12）

1は長頸壺であり、沈線による区画の内部に刺突が施されている。2～7は甕の口縁部である。2は口唇部に刻目を入れ、内外面ともにナデ調整を施している。3は口唇部外面に押圧文を施しており、外面は条痕調整である。4は口唇部外面に刻目が施されており、横位のハケ調整後にヘラ描による羽状文を施している。5～7は口唇部内外面に押圧文が施される。5・6の外面は条痕調整、7の外面はナデ調整である。8～12は底部であり、9・11・12は底面に木葉痕が見られる。

SD09出土土器（第26図13～14）

13は長頸甕の胴部である。外面に縄文の施文及び円形浮文の貼り付けを行い、二重の沈線により王子と見られる文様を施し、区画の内部に条痕を施す。14は壺の頸部～肩部である。外面にヘラミガキによる調整を行い、横位の櫛描文の上に縦位の櫛描文を施している。

SD13出土土器（第26図15～16）

15は壺の口縁部である。口唇部に櫛描による羽状の刺突を施しており、内外面はナデ調整である。16は甕の口縁部である。口唇部外面に工具による押圧文を施し、外面は条痕調整である。

SD14出土土器（第27図17～第30図90）

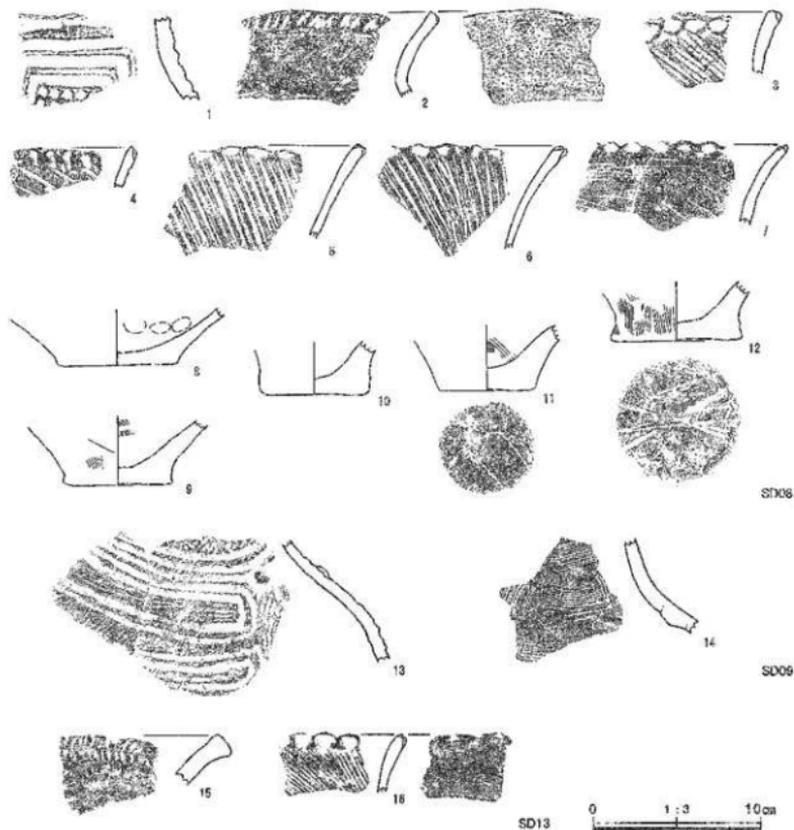
17～50は壺である。17・18は受口太頸壺であり、17は口唇部に工具による刺突が見られる。屈折部には工具による刻目が施されており、外面はハケ調整である。18は口唇部及び口縁部に工具による羽状の刻目が施され、外面は横位羽状の条痕が施される。19は赤彩する。22は瓜罎式の太頸壺と見られ、口縁部を折り返し、口唇部に工具による刻目が施される。頸部にはヘラ描による跳ね上げ文を施し、横位の衝沓文が見られる。25～27は壺の頸部であり、25はヘラ描による羽状の沈線を施し、横位の沈線により区画している。26・27は細頸壺であり、地文に縄文を施した後に沈線による文様を施している。28はミガキによる調整後に帯縄文を沈線により区画して円形浮文を貼り付けている。34は横位の縄文帯の上部を沈線により区画し、無文部分を磨いて赤彩する。37は横位の条痕調整後に波状文が施される。40は広口壺であり、胴部上位に流水文及び円形浮文が描かれ、流水文の下部に縄文帯を施す。41～43及び44～48はそれぞれ同一個体の可能性がある。44～48は横位の櫛描文の上に縦位の櫛描文が描かれており、瓜罎式の壺と見られる。49・50は刻目の施された横位の突帯を有する破片である。

51～70は甕である。51～66は口唇部に刻目または押圧文を施す口縁部破片である。53・55・56・58・59・61の外面は条痕調整、そのほかはハケ調整である。54・57は外面にヘラ描による羽状文を施している。67～70は甕の胴部であり、外面にハケ調整を施している。

71～87は底部である。73・74・78～81・83・85の底面には木葉痕が見られる。88～90は台付甕の台部である。90は高環の脚部である可能性も考えられる。

SK08出土土器（第31図91）

91は鉢であり、内外面を赤彩する。口縁部が外反し、胴部が緩く屈曲する。



第26図 SD08・09・13出土土器

SK09出土土器 (第31図92)

92は壺の頸部であり、外面全体に縄文を施した後にヘラ描による沈線を円形に施している。

SK12出土土器 (第31図93~94)

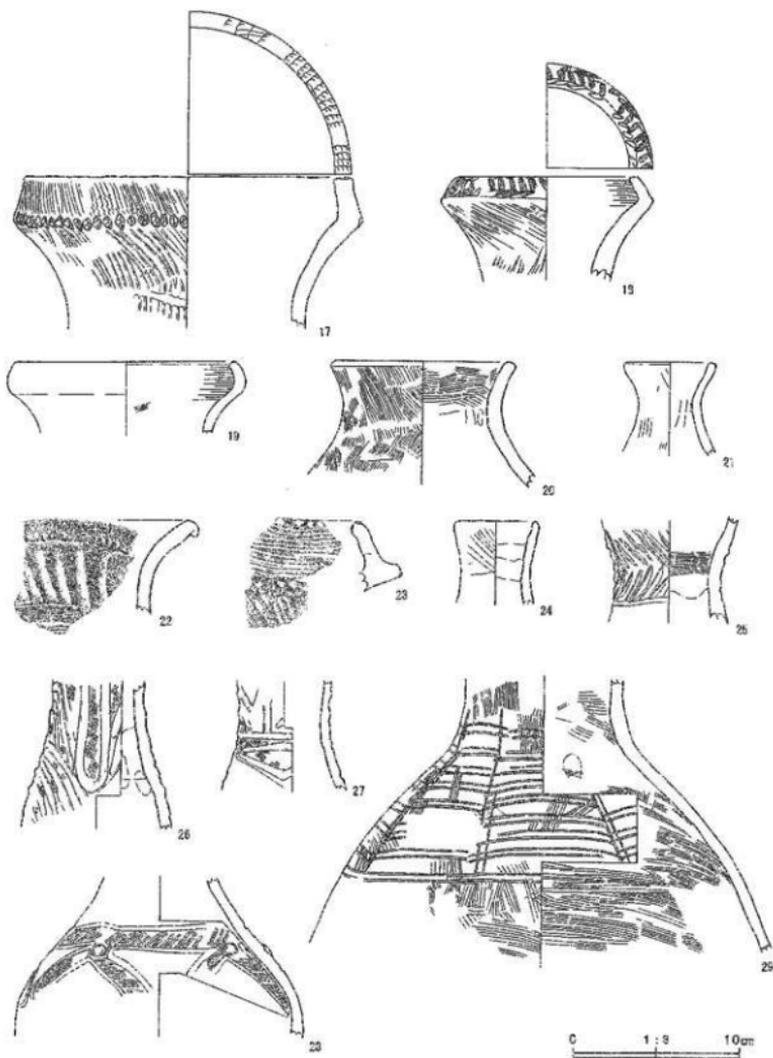
93は壺の口縁部である。口唇部内外面に工具による刻目が施されており、外面は条痕調整である。94は網代痕を持つ底部である。

SK19出土土器 (第31図95~96)

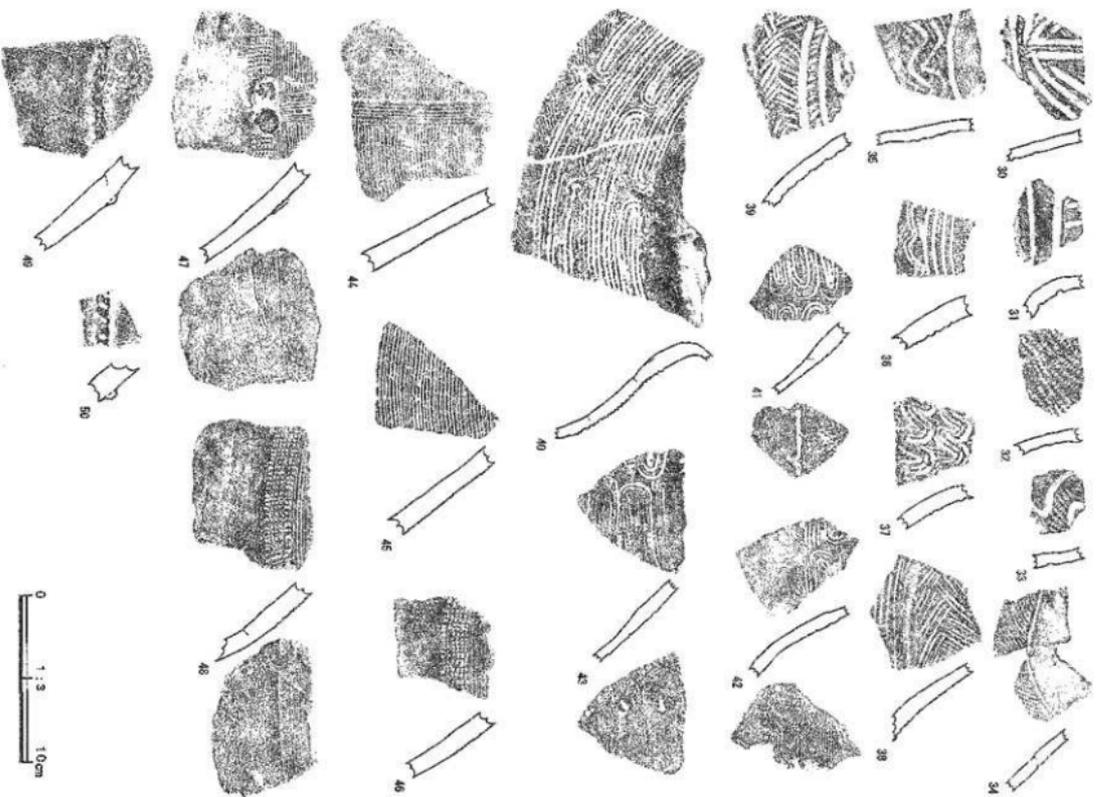
95は壺の口縁部~頸部であり、口縁部に櫛状工具による刺突文を巡らせている。96は網代痕を持つ底部破片である。

SK21出土土器 (第31図97~99)

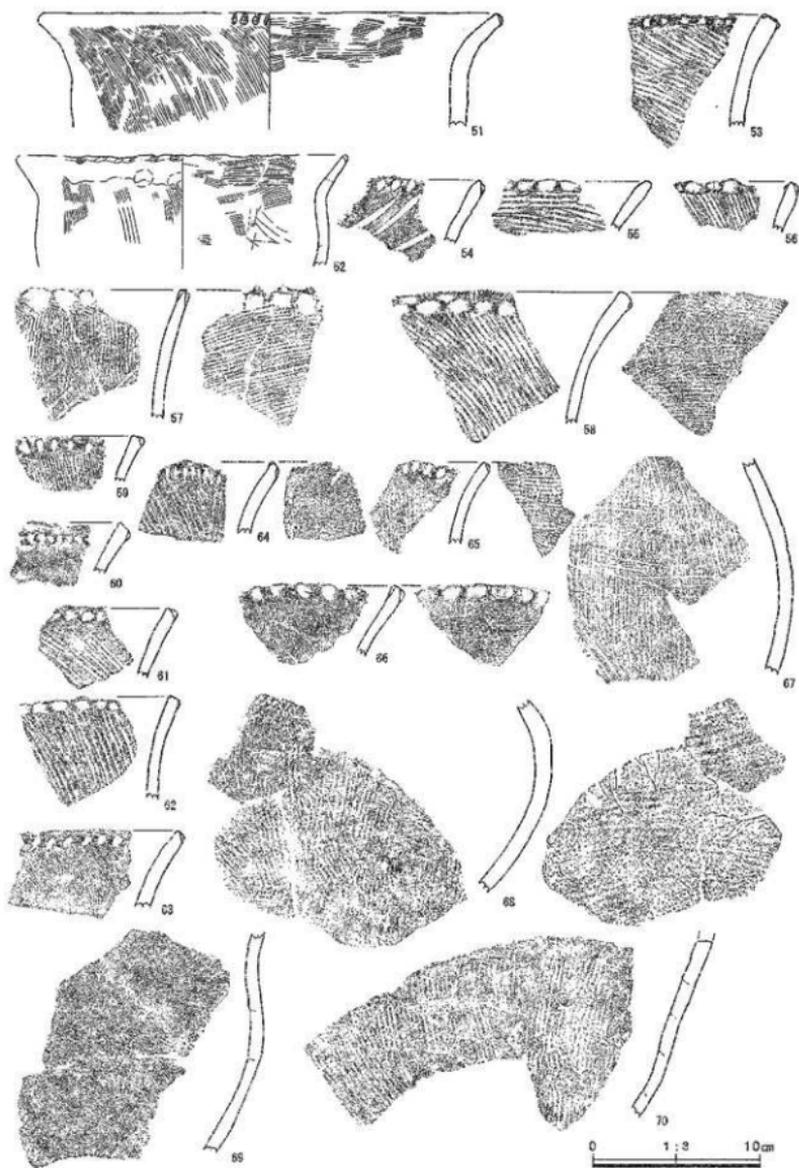
97・98は壺である。97は縄文を施した後にヘラ描による沈線文を施している。98は縄文を沈線により



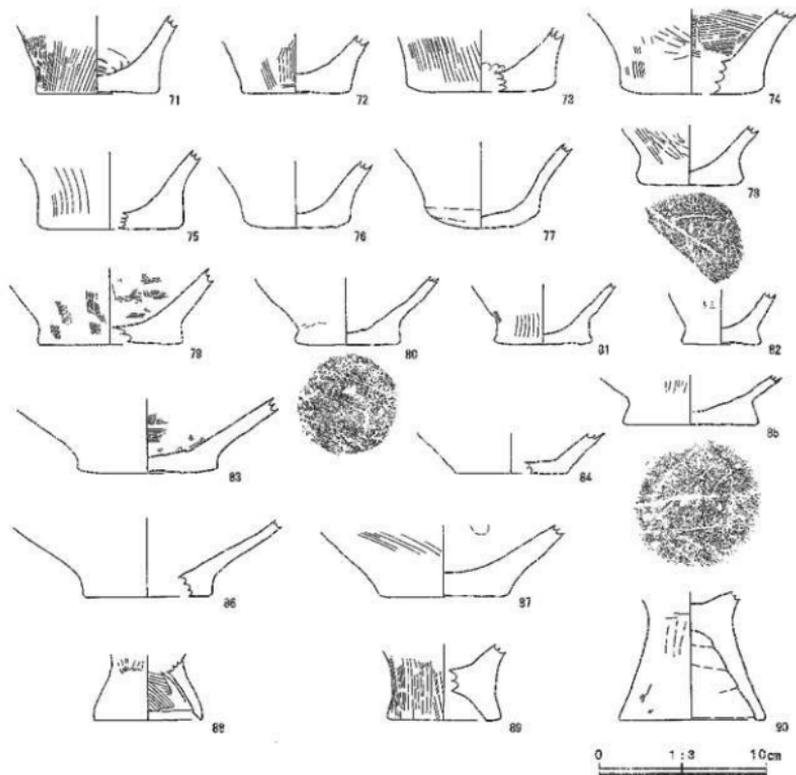
第27图 SD14出土土器 1



第28圖 SD14出土器2



第29圖 SD14出土土器3



第30図 SD14出土土器4

円形に区画している。99は網代痕を持つ底部破片である。

SK23出土土器 (第31図100~105)

100は壺の胴部である。円形浮文の貼り付け及びヘラ描による沈線を施し、区画の内部に条痕を施す。101~103は壺の口縁部であり、口唇部に刻目を施す。101の外面は条痕調整、102・103はハケ調整である。104・105は底部であり、104は底面に木葉痕、105は網代痕が残る。

SK25出土土器 (第31図106~107)

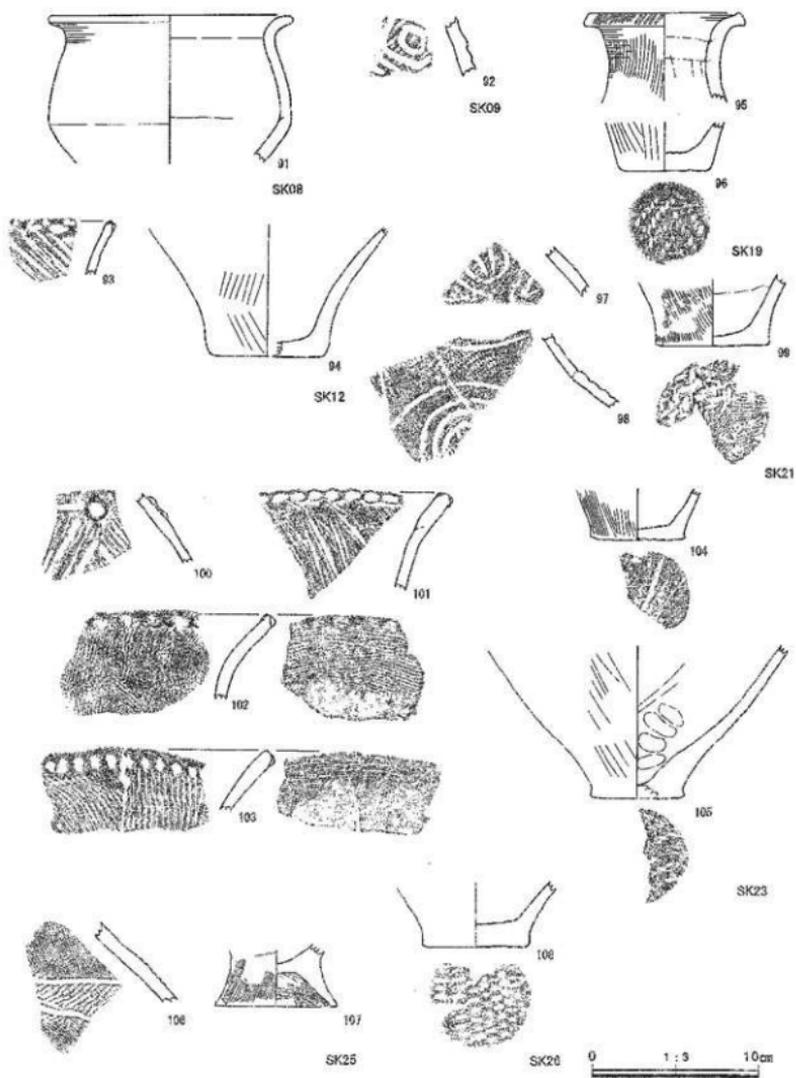
106は壺の胴部である。沈線及び渦文による区画を施している。107は台付壺の台部である。

SK26出土土器 (第31図108)

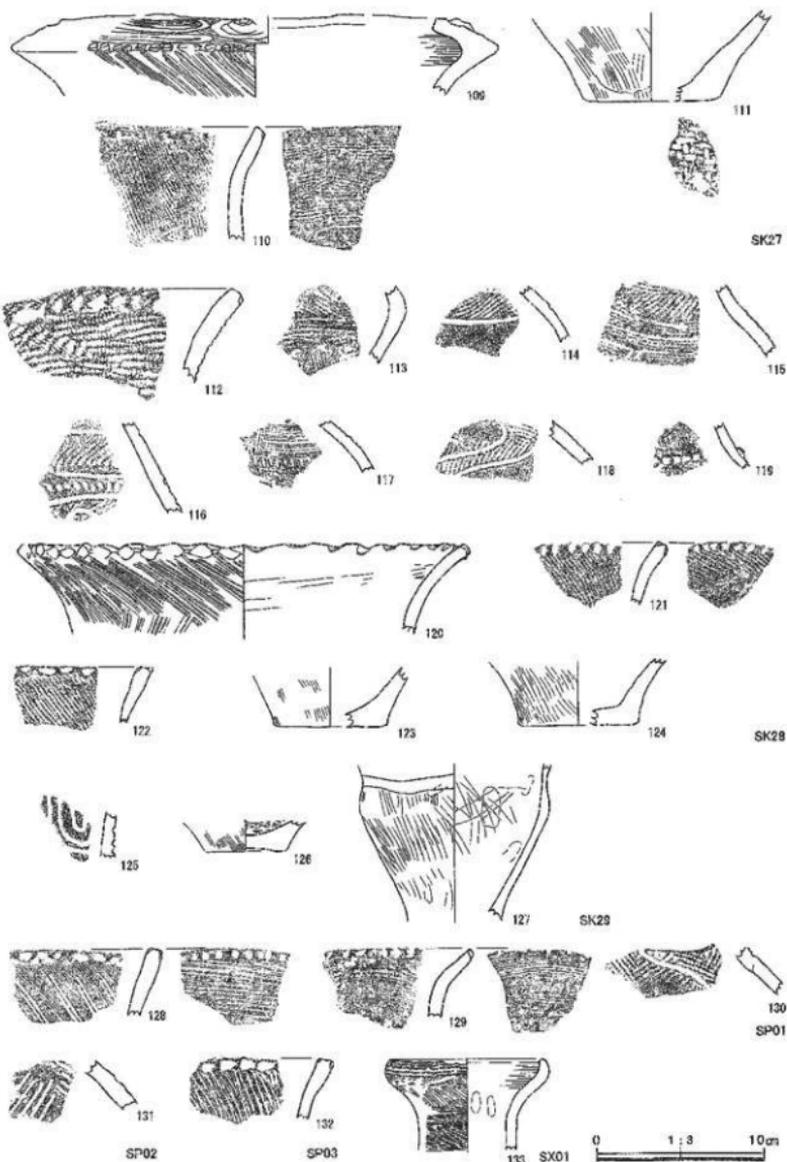
108は網代痕の見られる底部破片である。

SK27出土土器 (第32図109~111)

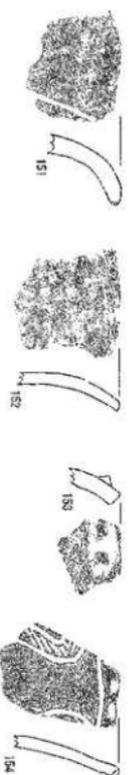
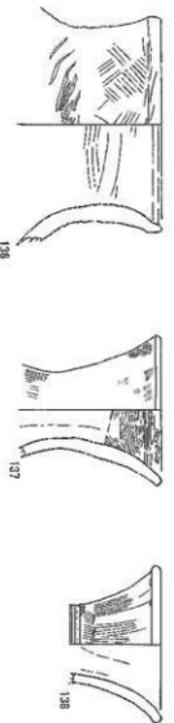
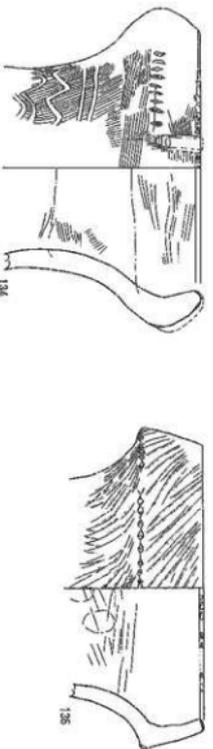
109は複合口縁を持つ壺であり、口縁直下は条痕調整後に中央を凹ませた円形浮文及びヘラ描による沈



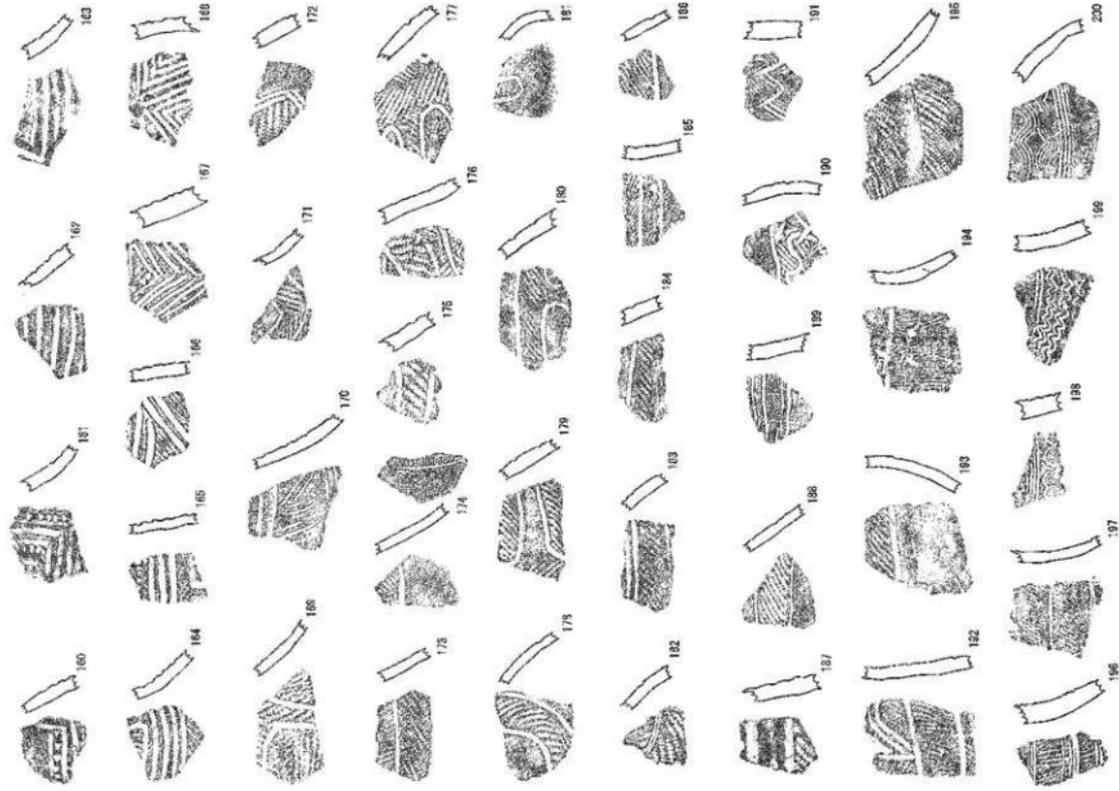
第31圖 SK08~26出土土器



第32图 SK27~29、SP01~03、SX01出土土器



第33图 SR01出土器1



第34圖 SR01出土器2

る。

132はSP03出土の鑿の口縁部である。口唇部内外面に工具による刻目が施され、外面はハク調整である。口唇部内外面に工具による刻目による刻目が施され、外面はハク調整である。口唇部内外面に工具による刻目が施され、外面はハク調整である。口唇部内外面に工具による刻目が施され、外面はハク調整である。

128～130はSP01出土である。128・129は鑿の口縁部である。いずれも口唇部には工具による刻目が施され、外面はハク調整である。128はハク調整の後にへラ指による2本単位の羽状文が施される。130は、外面はハク調整である。128はハク調整の後にへラ指による2本単位の羽状文が施される。130は、外面はハク調整である。

SP01～03出土土器 (第32圖128～132)

胴部上位には襷位の磨消線が施される。

125は鑿の頸部であり、沈線による文様が施される。127は鑿の胴部である。外面はハク調整が見られ、

SK29出土土器 (第32圖125～127)

121はハク調整である。123・124は懸代痕を持つ底面破片である。

120～122は鑿である。いずれも口唇部内外面に工具による刻目を施し、外面は120・122は糸痕調整、119は刻目を施す突帯を持つ破片である。

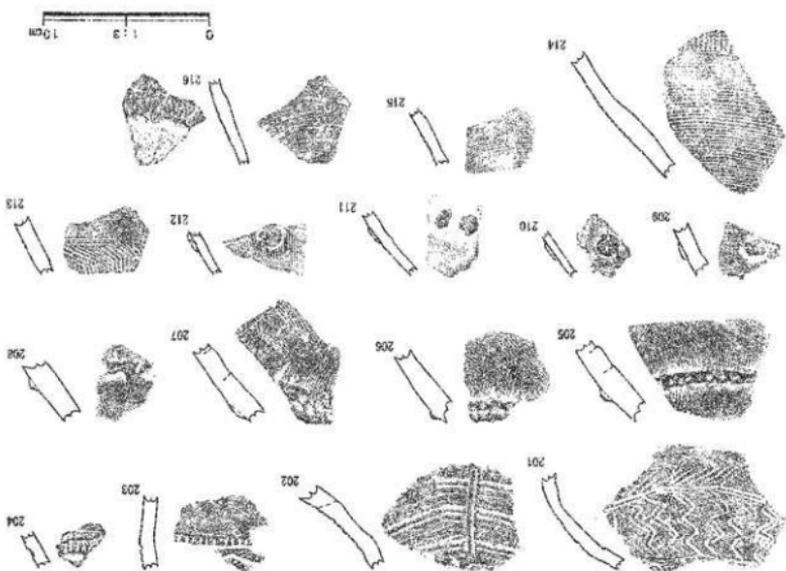
112～119は鑿である。112は大頭鑿であり、口唇部外面に工具による刻目を入れ、外面全体に沈文を施している。114・116・118は磨消線文を施す破片である。115は縄文帯の下に横描文が施される。117は瓜

SK28出土土器 (第32圖112～119)

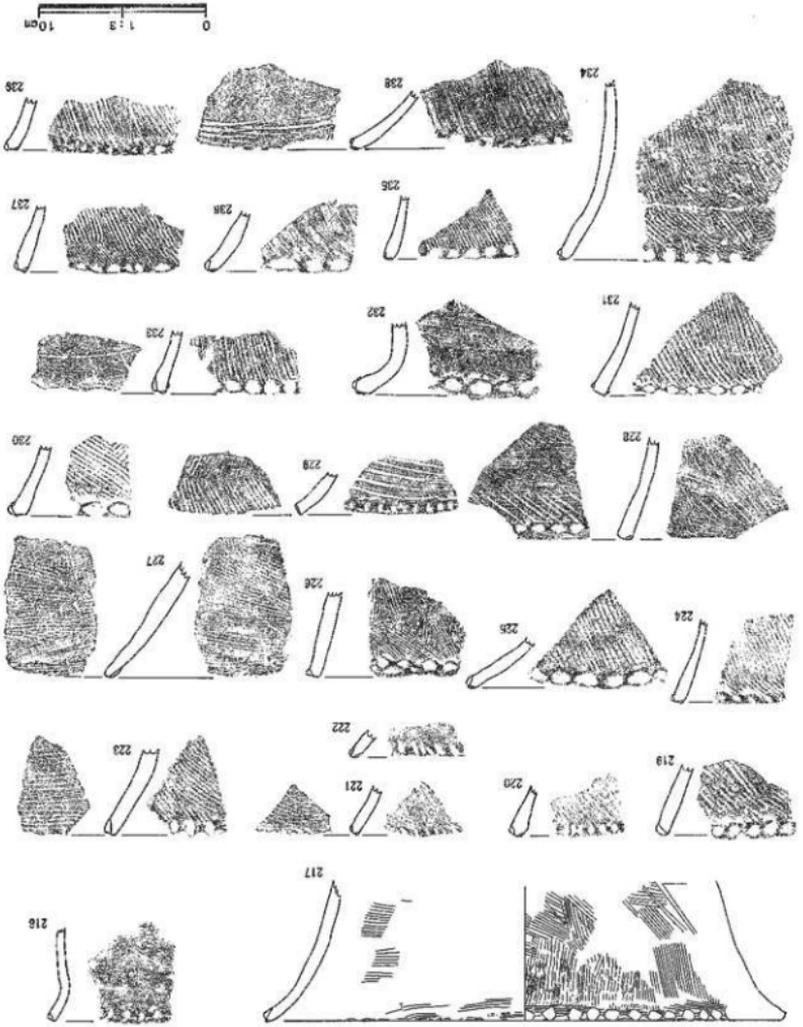
111は懸代痕を持つ底面破片である。

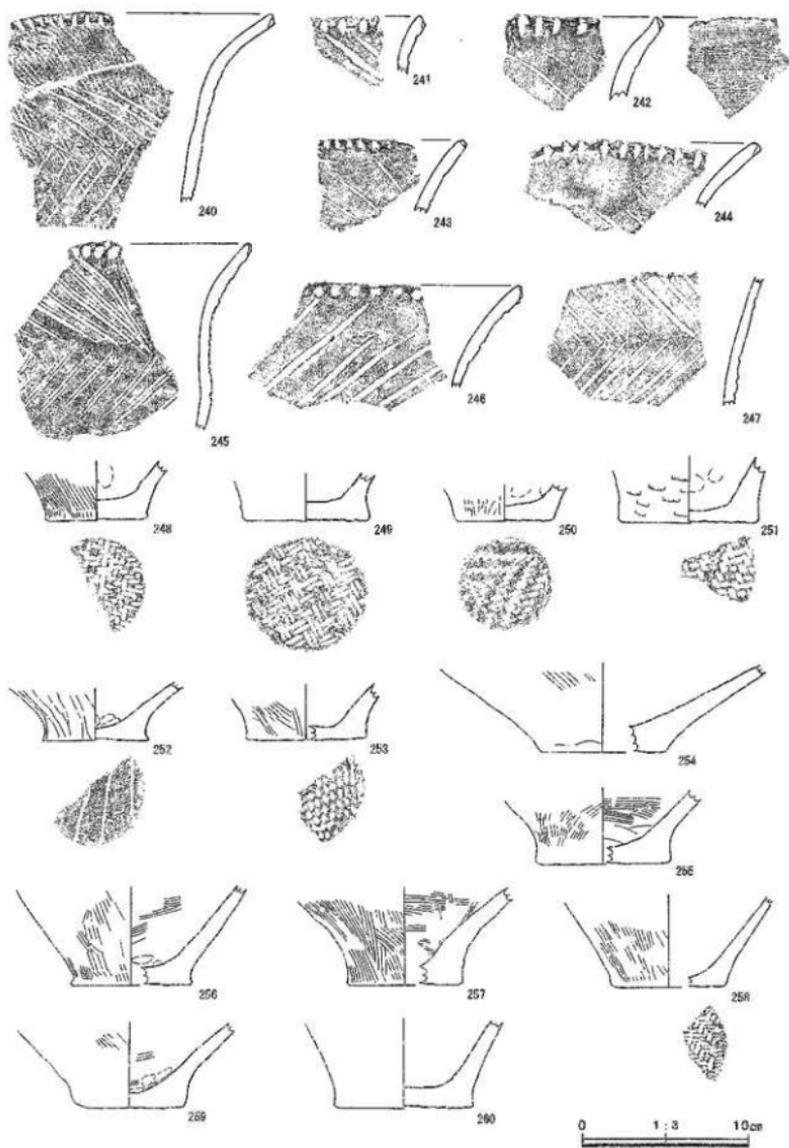
縁文を施す。胴部には工具による刻目が施される。110は鑿の口縁部であり、外面はハク調整である。

第35圖 SR01出土土器 3

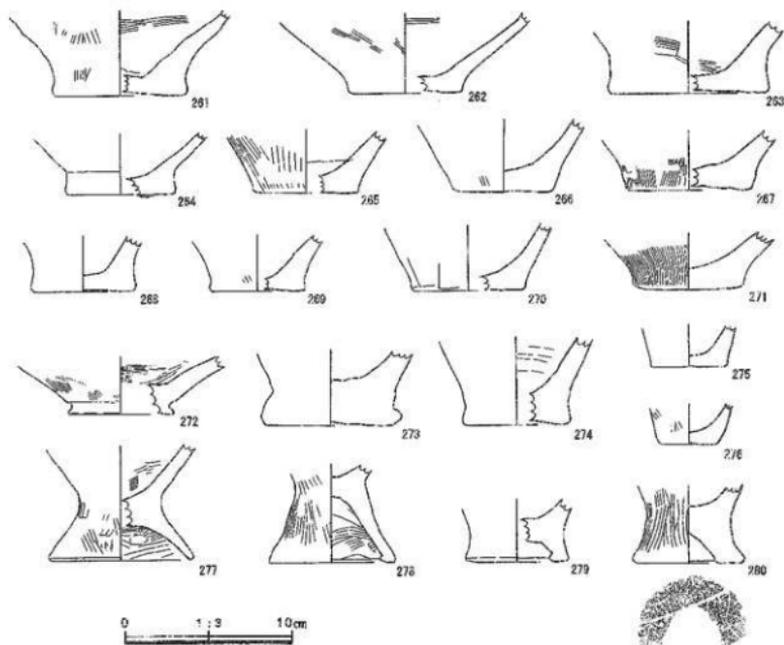


第36圖 SR01出土器4





第37图 SR01出土土器5



第38図 SR01出土土器 6

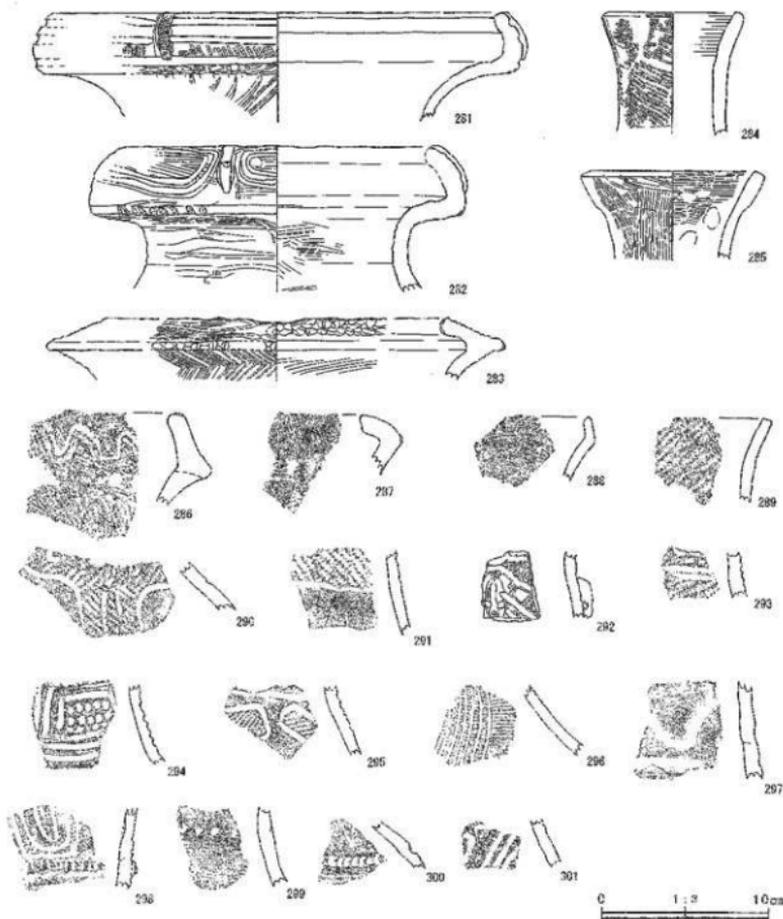
SX01出土土器（第32図133）

133は口縁部直下に櫛摺による波状文が施され、頸部には斜位の条痕文及び横位の櫛摺文が施される。貝田町式の壺と考えられる。

SR01出土土器（第33図134～第36図280）

134～140・146～216は壺である。134・135は複合口縁を持ち、口唇部及び口縁折部に工具による浅い刻目が施される。134は口縁部に縦位の棒状浮文が貼り付けられ、頸部にはハケ調整の後にヘラ指による横線文及び波状文が描かれる。138・139は頸部に横線文が施される。198・199は經頸壺の頸部であり、横方向の直線文及び波状文が見られる。204は連続爪形文による横線文が施されており、嶺田式の破片と見られる。205～208は刻目を施す横位の突帯を有する胴部破片である。214は櫛摺による横線文が施され、瓜罎式の壺と見られる。216は4本単位の横位の彫摺文の上に縦位の短線が施される。140～142、148、162、203、204は赤彩する。

217～246は壺の口縁部、247は胴部の破片である。217～246はいずれも口唇部に工具による刻目または押圧文が施されており、外面は220・221・223～225・229・230・233・235～237・239は条痕調整、そのほかはハケ調整である。240～247は外面に横位の羽状文を施し、230は縦位の羽状条痕が施される。248～276は底部、277～280は台付壺の台部である。248～251・253・258・262・270は底面に網代痕が観察さ



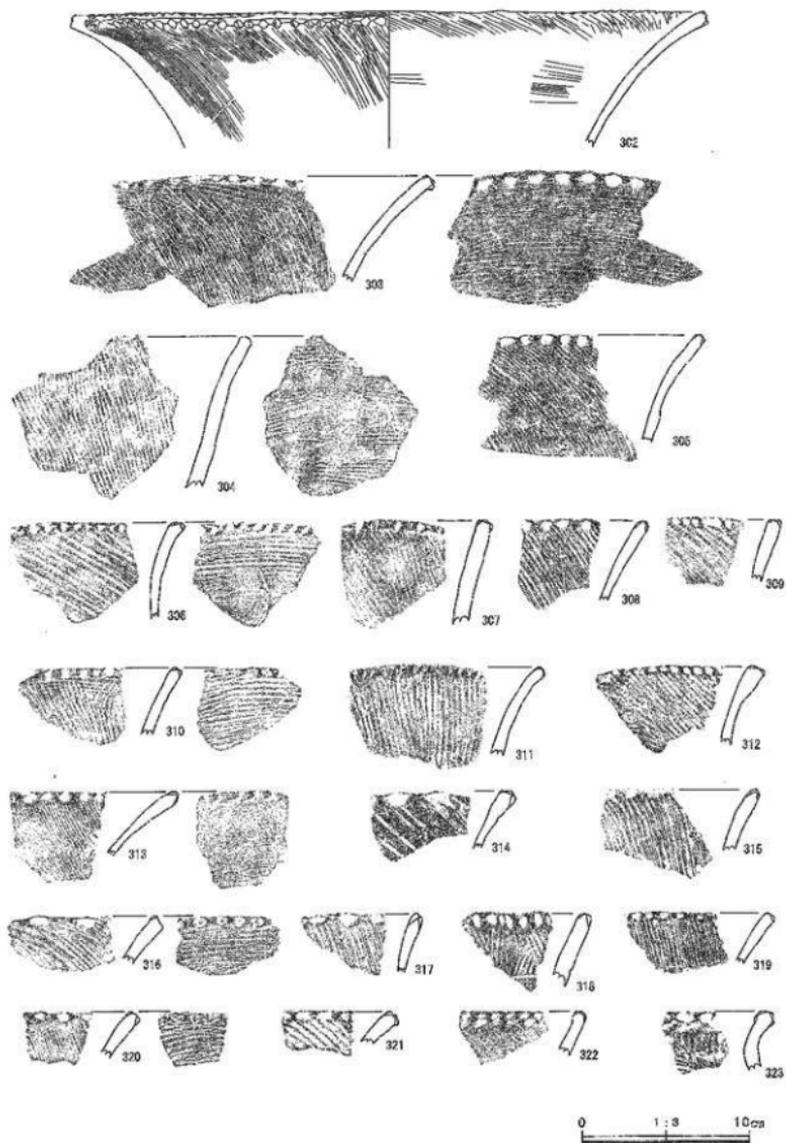
第39図 SR02出土土器 1

れる。252・265・269・280は底面に木葉痕が観察される。252は赤彩する。

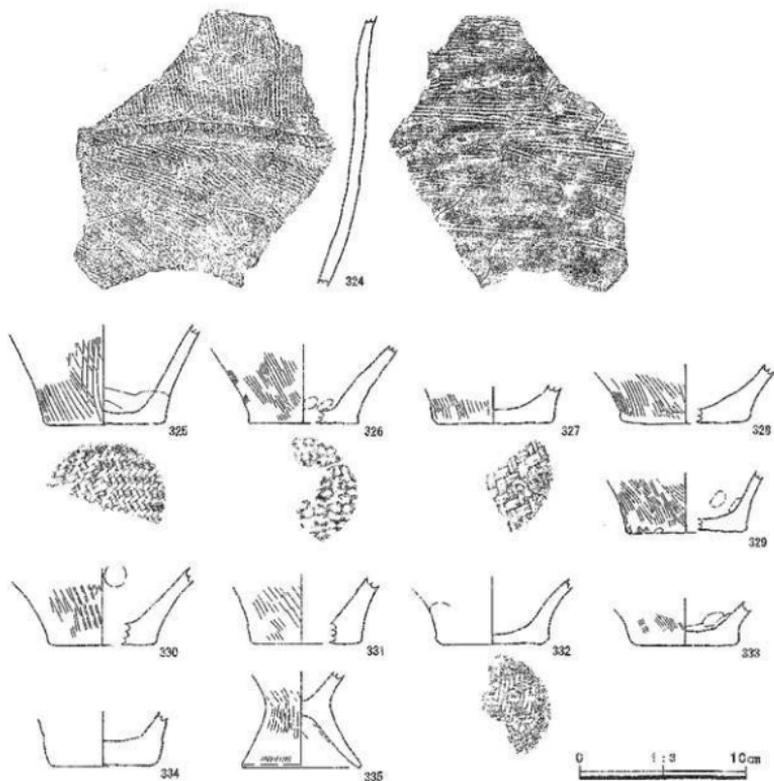
SR02出土土器（第39図281～第41図335）

281～301は壺である。281・296は瓜壺式の壺と見られる。281は受口太頸壺であり、口縁部に棒状浮文を貼り付け、ヘラ掻きによる沈線及び磨漚による荊突文を施す。口縁屈折部には押引文が施される。296は横位の櫛掻文の施文後に縦位の沈線を施す。300は壺田式の壺と見られ、連続爪形文の下に横位の沈線が施される。300・301は赤彩する。

302～324は甕である。302～323は甕の口縁部であり、304を除く全ての口唇部に工具による刻目または



第40图 SR02出土土器 2



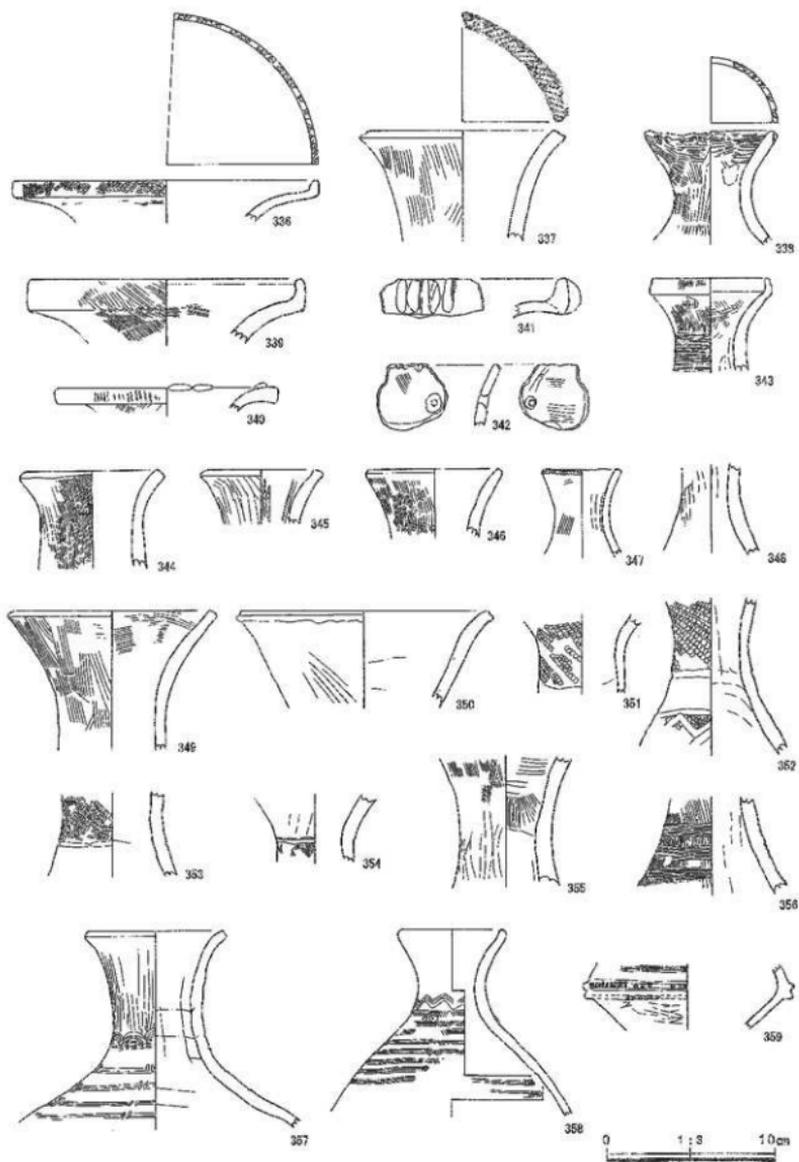
第41図 SR02出土土器 3

押圧文が施される。外面は302・303・305・307・308・313・315・322～324はハケ調整であり、314はヘラ描による羽状の沈線が施される。そのほかは糸痕調整である。324は胴部に2本の唐消線が施され、唐消線を境として上半に縦位のハケ調整、下半に斜位のハケ調整を施している。

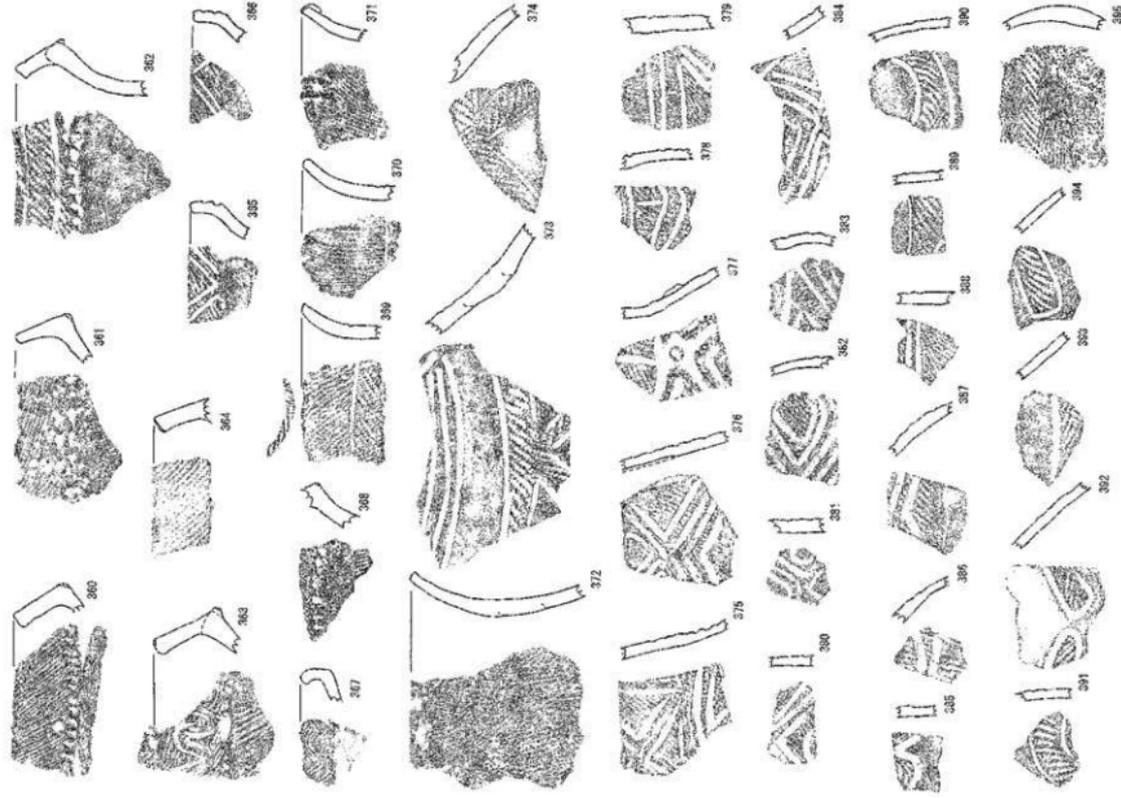
325～334は底部である。325～328・330～332は底面に網代痕が見られる。335は高環の脚部である。

遺構外出土土器（第42図336～第49図577）

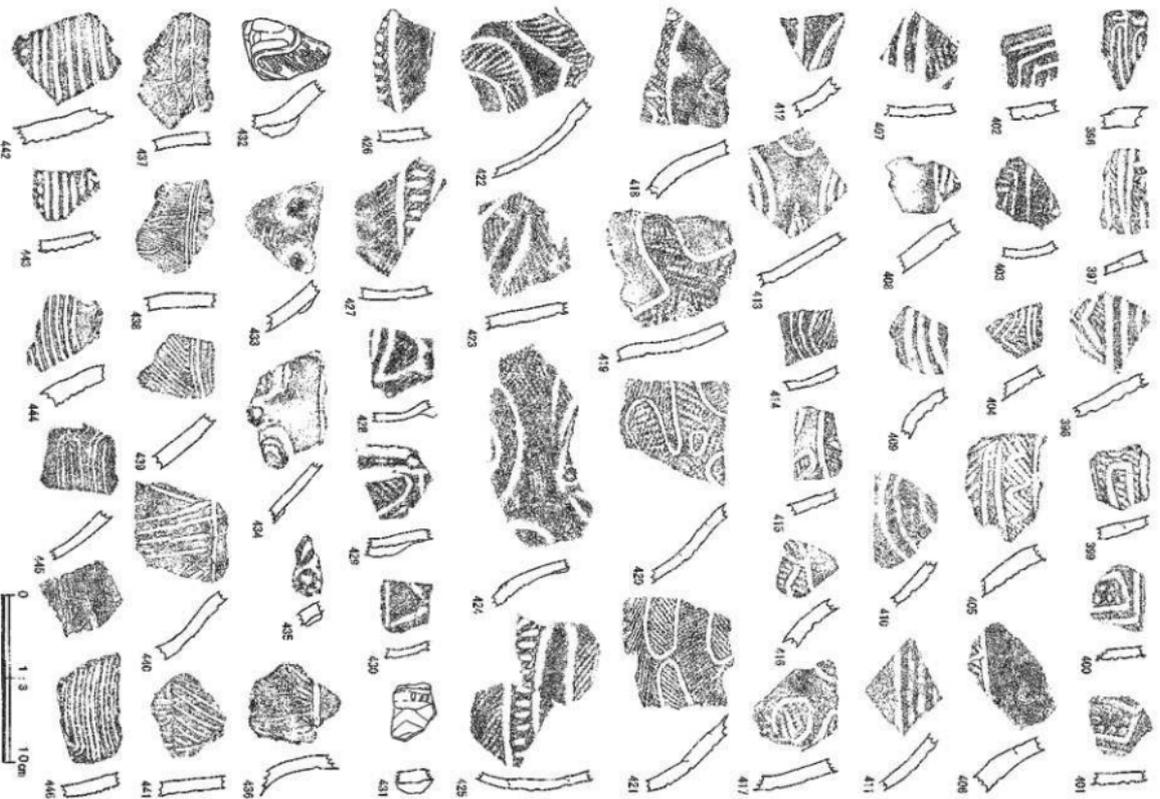
336～480は壺である。336・339～341・343は複合口縁を持つ。343は口縁部に櫛による刺突を施し、頸部には横位の櫛描文が施される。356は細頸壺であり、縦位のハケ調整の後に横方向の4本単位の櫛描文を施している。357は頸部に櫛による押引文の施文後に二重の連弧文を施す。肩部は櫛による3本単位の横線文が縦位の短線によって切られている。358は頸部に櫛による波状文が施される。肩部は4本単位の櫛描横線文を巡らせた後にハの字状の短線文で区切り、肩部上位には円形浮文を貼り付ける。359は胴部の破片と見られ、屈折部に2段の突帯及び刻目を施し、屈折部より上位に櫛描文を施す。470・471



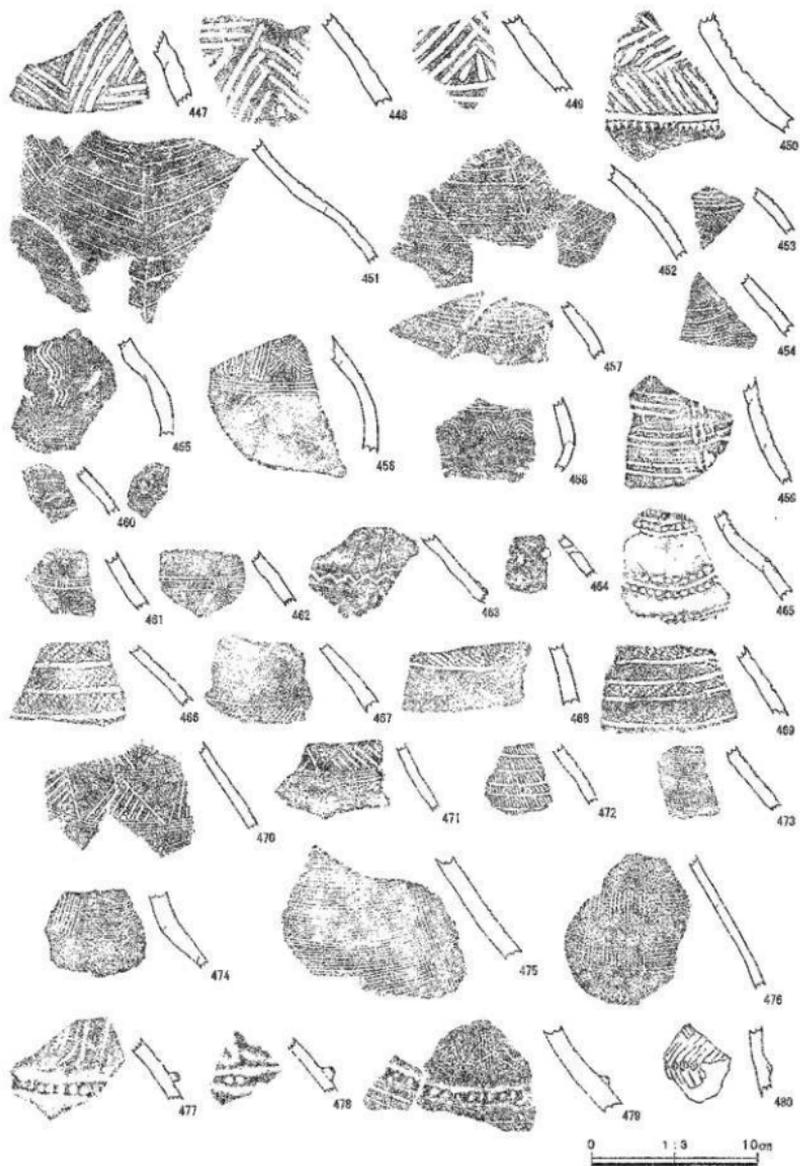
第42圖 遼陽外出土器 1



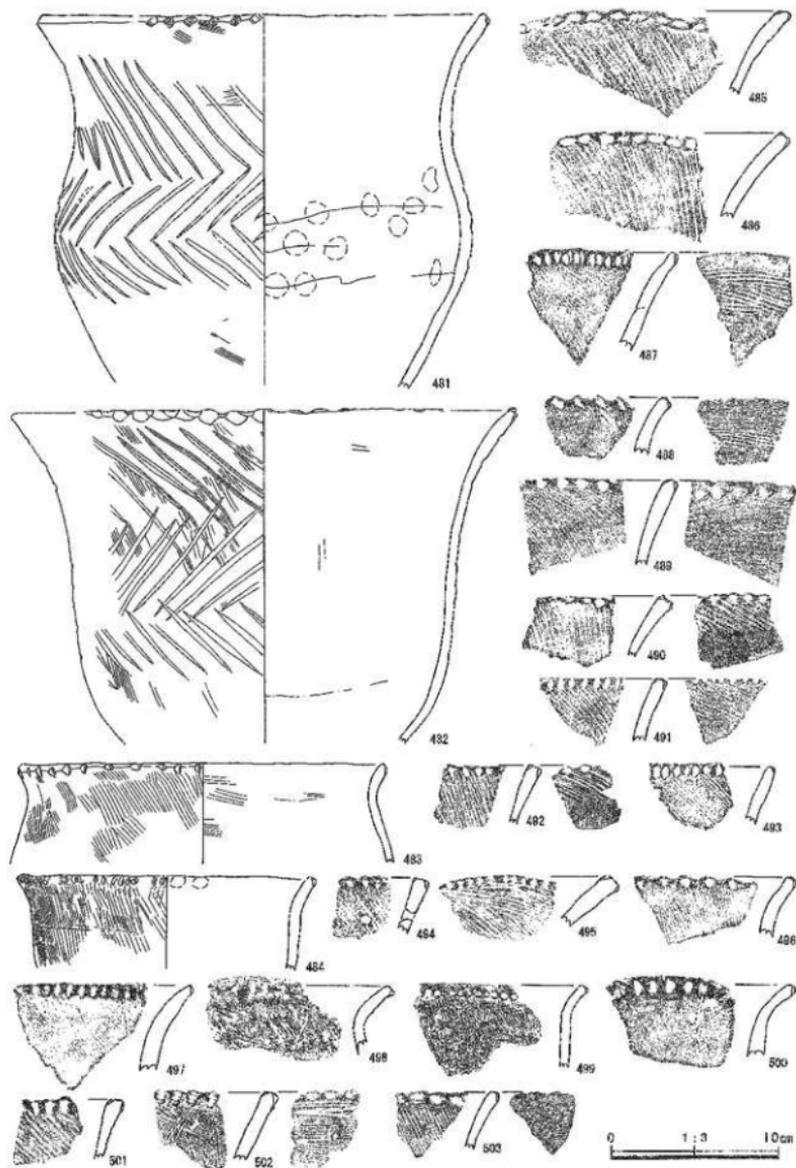
第43圖 遺構外出土器2



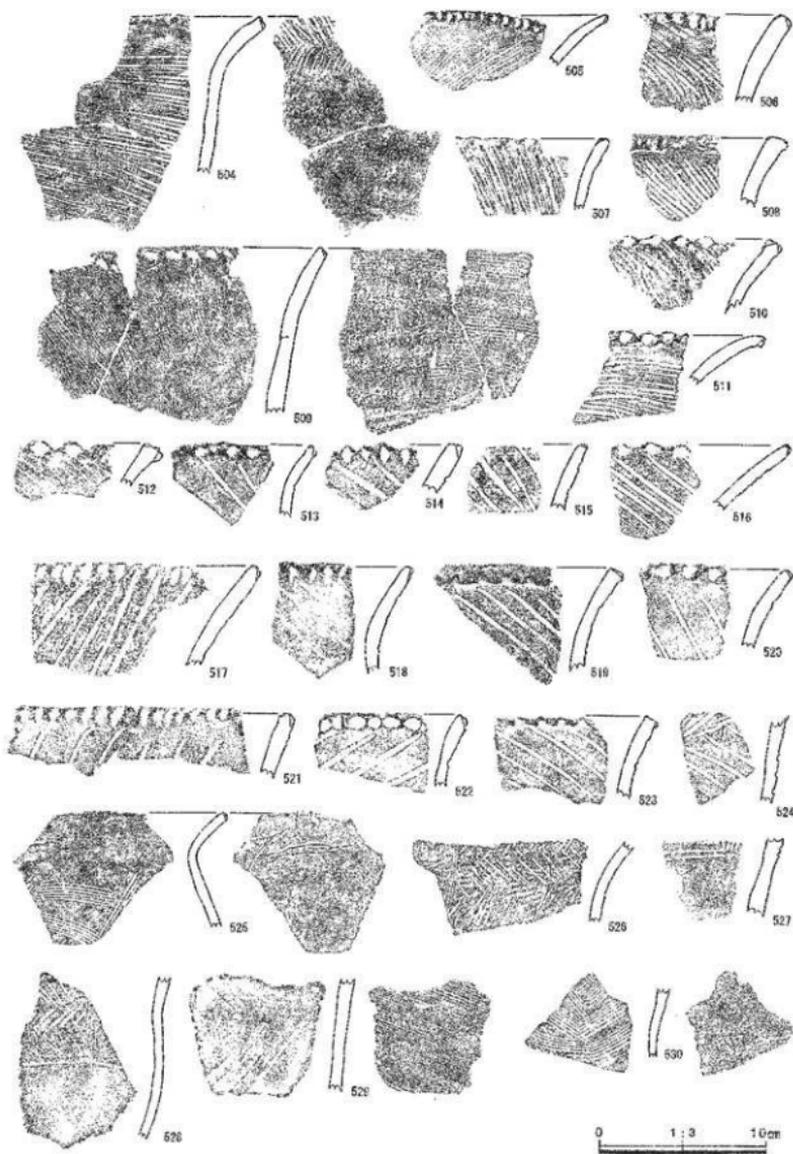
第44圖 透網外出土器3



第45圖 透櫛外出土器 4

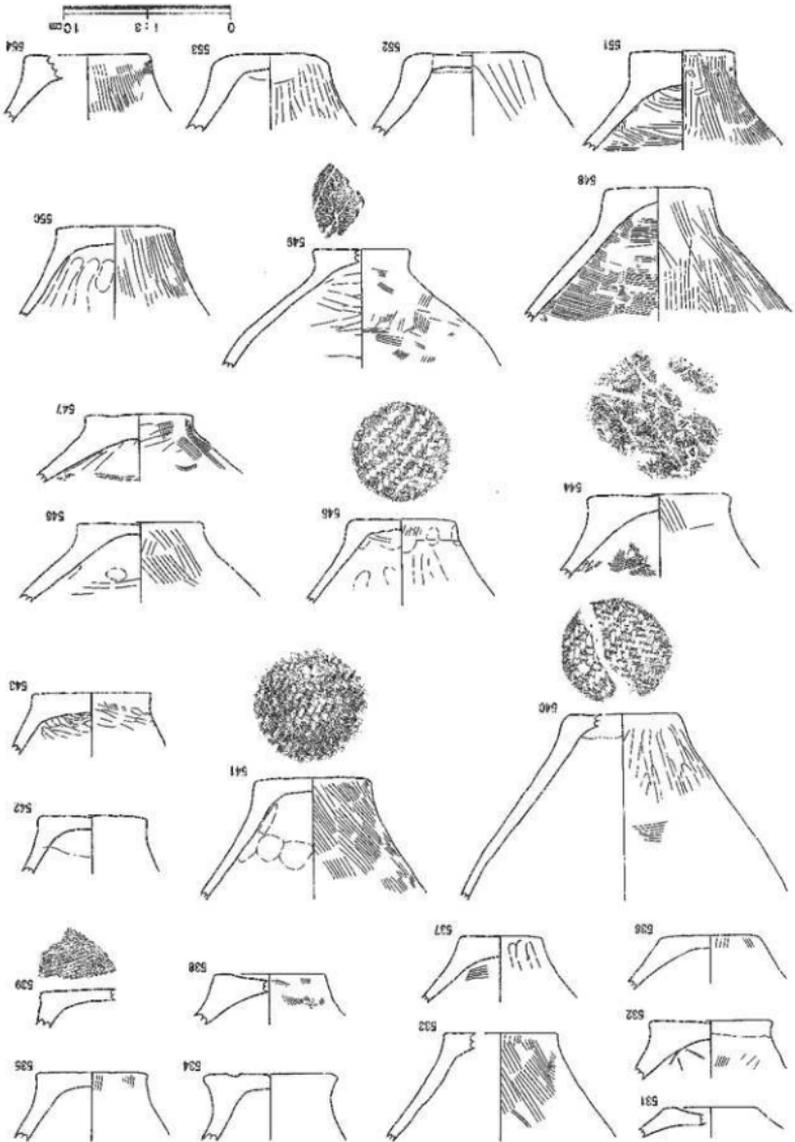


第46圖 遼外出土土器 5



第47圖 遺構外出土器6

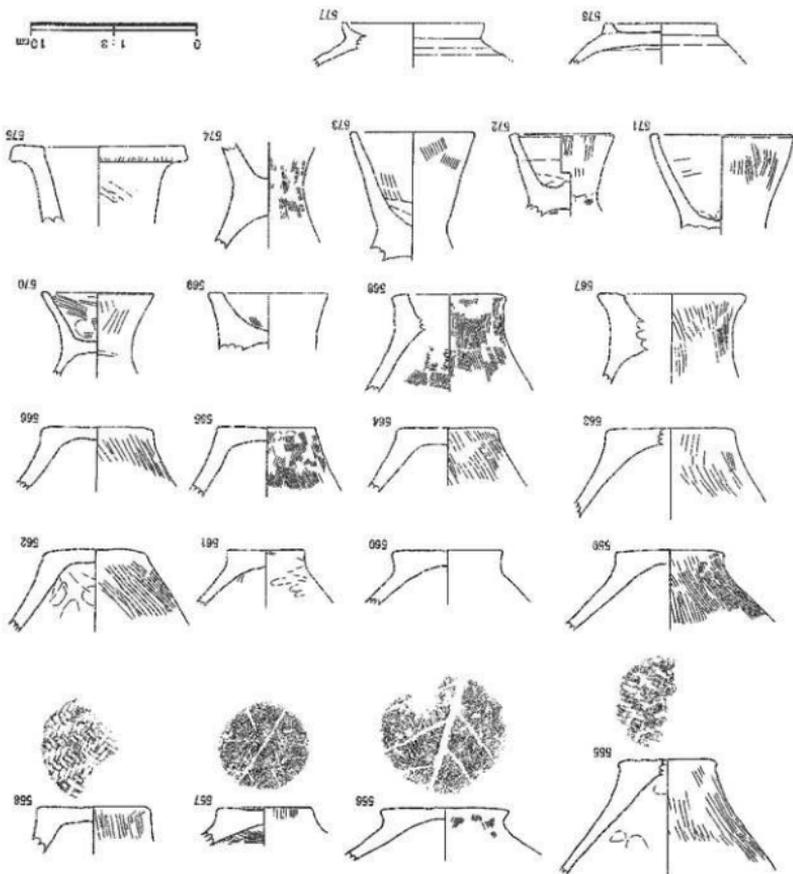
图48 7 土山外透透



576は12世紀中頃の湘西・瀼夷産の山菜碗、577は10世紀前半の灰胎陶器である。
531～566は底部である。567～573は台付蓋の台部、574・575は蓋外の底部である。

ハケ目による調整後に6本単位の横線文を施しており、栗林式の蓋と考えられる。外面に3本単位の縦線文を羽状に施す。481・482・483～523は胴部に羽状文を施す。525・530は細かい外面に485・491・494・495・501・504～506・508・510・511は糸状調整、そのほかはハケ調整である。493は463・467は赤彩する。481～530は蓋の口縁部であり、口部部に刻目を持つ。外面に施される。477～479は刻目を有する横位の突筋を施す。348・354・365・366・414・444・453・454・457・は栗林式の影彫が見られ、沈線を充填したハケ目による調整文の上下に横線による調整文が

第49図 邊橋外出土器 8



第8表 土器一覽

博物館 番号	収蔵 番号	品名 (寸法)	年代	種類	素材	形状	口径 径 (cm)	土質	出所	色調	附属品・文	備考
新100	1	SD8	縄文前期	弥生土器	土	鉢	20	赤褐色	内(内)	不明		
新100	2	SD9	縄文前期	弥生土器	土	鉢	20	赤褐色	内(内)	不明		
新100	3	SD10	縄文前期	弥生土器	土	鉢	20	赤褐色	内(内)	不明		
新100	4	SD11	縄文前期	弥生土器	土	鉢	20	赤褐色	内(内)	不明		
新100	5	SD12	縄文前期	弥生土器	土	鉢	20	赤褐色	内(内)	不明		
新100	6	SD13	縄文前期	弥生土器	土	鉢	20	赤褐色	内(内)	不明		
新100	7	SD14	縄文前期	弥生土器	土	鉢	20	赤褐色	内(内)	不明		
新100	8	SD15	縄文前期	弥生土器	土	鉢	20	赤褐色	内(内)	不明		
新100	9	SD16	縄文前期	弥生土器	土	鉢	20	赤褐色	内(内)	不明		
新100	10	SD17	縄文前期	弥生土器	土	鉢	20	赤褐色	内(内)	不明		
新100	11	SD18	縄文前期	弥生土器	土	鉢	20	赤褐色	内(内)	不明		
新100	12	SD19	縄文前期	弥生土器	土	鉢	20	赤褐色	内(内)	不明		
新100	13	SD20	縄文前期	弥生土器	土	鉢	20	赤褐色	内(内)	不明		
新100	14	SD21	縄文前期	弥生土器	土	鉢	20	赤褐色	内(内)	不明		
新100	15	SD22	縄文前期	弥生土器	土	鉢	20	赤褐色	内(内)	不明		
新100	16	SD23	縄文前期	弥生土器	土	鉢	20	赤褐色	内(内)	不明		
新100	17	SD24	縄文前期	弥生土器	土	鉢	20	赤褐色	内(内)	不明		
新100	18	SD25	縄文前期	弥生土器	土	鉢	20	赤褐色	内(内)	不明		
新100	19	SD26	縄文前期	弥生土器	土	鉢	20	赤褐色	内(内)	不明		
新100	20	SD27	縄文前期	弥生土器	土	鉢	20	赤褐色	内(内)	不明		
新100	21	SD28	縄文前期	弥生土器	土	鉢	20	赤褐色	内(内)	不明		
新100	22	SD29	縄文前期	弥生土器	土	鉢	20	赤褐色	内(内)	不明		
新100	23	SD30	縄文前期	弥生土器	土	鉢	20	赤褐色	内(内)	不明		
新100	24	SD31	縄文前期	弥生土器	土	鉢	20	赤褐色	内(内)	不明		
新100	25	SD32	縄文前期	弥生土器	土	鉢	20	赤褐色	内(内)	不明		
新100	26	SD33	縄文前期	弥生土器	土	鉢	20	赤褐色	内(内)	不明		
新100	27	SD34	縄文前期	弥生土器	土	鉢	20	赤褐色	内(内)	不明		
新100	28	SD35	縄文前期	弥生土器	土	鉢	20	赤褐色	内(内)	不明		

図面 符号	図面 番号	写真 図説 番号	図説 タイトル	標 本	種別	種族	種名	標本 所在地	標本 高さ (cm)	備 考	編 号	材 質	複製技術・現況	備考
22020	29	17	S014 西原	赤土土器	竪	磁器-磁器	30%	群馬 (15.7) 足尾 (23.3)	6x6xの赤色磁器・2x2xの蓋・磁器多く含む	片 (内側) 10Y75/2R, 10Y75/1R (外側) 7.5Y75/1R, 10Y75/1R	片 (内側) 10Y75/2R (外側) 7.5Y75/1R	片 (内側) 磁器ハナ (外側) 磁器ハナ		
22021	30	20	S014	10Y75/2R, 10Y75/1R	赤土土器	竪	磁器	1%	群馬 (4.0)	灰青 (10x)・白色磁器 (1~2x) 含む	片 (内側) 7.5Y75/2R, 10Y75/1R (外側) 10Y75/2R, 10Y75/1R	片 (内側) 磁器 (外側) 磁器ハナ		
22022	31	20	S014	10Y75/2R, 10Y75/1R	赤土土器	竪	磁器-磁器	1%	群馬 (3.15)	10Y75/2Rの赤土・白色磁器含む	片 (内側) 10Y75/2R (外側) 10Y75/1R	片 (内側) ナメ (外側) ナメ		
22023	32	20	S014	赤土土器	竪	磁器	1%	群馬 (4.3)	灰 (1~2x)・白色磁器 (1~2x) 含む	片 (内側) 10Y75/2R (外側) 10Y75/1R	片 (内側) ナメ (外側) ナメ			
22024	33	20	S014	赤土土器	竪	磁器	1%	群馬 (3.3)	1x2xの灰青・白色磁器含む	片 (内側) 10Y75/2R, 10Y75/1R (外側) 10Y75/1R	片 (内側) ナメ (外側) 磁器ハナ			
22025	34	20	S014 西原	赤土土器	竪	磁器	3%	群馬 (7.4)	10Y75/2Rの赤土・白色磁器・磁器青・磁器 磁器ハナ含む	片 (内側) 10Y75/2R (外側) 10Y75/1R	片 (内側) ナメ (外側) ナメ		赤土	
22026	35	20	S014	赤土土器	竪	磁器	3%	群馬 (6.0)	6x2xの灰青・白色磁器含む	片 (内側) 10Y75/2R (外側) 10Y75/1R	片 (内側) ナメ (外側) 磁器ハナ			
22027	36	20	S014	赤土土器	竪	磁器	1%	群馬 (5.0)	1x2xの灰青・白色磁器含む	片 (内側) 10Y75/2R (外側) 10Y75/1R	片 (内側) ナメ (外側) 磁器ハナ			
22028	37	20	S014 西原	赤土土器	竪	磁器	1%	群馬 (6.0)	1x2xの灰青・白色磁器含む	片 (内側) 10Y75/2R, 10Y75/1R (外側) 10Y75/2R, 10Y75/1R	片 (内側) ナメ (外側) 磁器ハナ			
22029	38	20	S014	赤土土器	竪	磁器	3%	群馬 (4.85)	灰青 (1~2x)・磁器青・磁器磁器ハナ含む	片 (内側) 10Y75/2R, 10Y75/1R (外側) 10Y75/2R	片 (内側) ナメ (外側) 磁器ハナ			
22030	39	20	S014	赤土土器	竪	磁器	3%	群馬 (5.4)	6x2x (1~2x)・磁器磁器ハナ含む	片 (内側) 10Y75/2R, 10Y75/1R (外側) 10Y75/2R	片 (内側) ナメ (外側) 磁器ハナ			
22031	40	20	S014 西原	赤土土器	竪	磁器-磁器	10%	群馬 (9.75)	白色磁器 (1~2x)・磁器磁器多く含む	片 (内側) 7.5Y75/2R	片 (内側) ナメ (外側) 磁器ハナ			
22032	41	20	S014 西原	赤土土器	竪	磁器	1%	群馬 (4.7)	灰青 (1x)・赤土・磁器磁器ハナ含む	片 (内側) 7.5Y75/2R (外側) 7.5Y75/1R	片 (内側) 磁器ハナ (外側) 磁器ハナ			
22033	42	20	S014	赤土土器	竪	磁器	3%	群馬 (6.2)	灰青 (1~2x) 磁器磁器ハナ含む	片 (内側) 10Y75/2R, 10Y75/1R (外側) 7.5Y75/2R, 10Y75/1R	片 (内側) 磁器ハナ (外側) 磁器ハナ			
22034	43	20	S014 西原	赤土土器	竪	磁器	3%	群馬 (3.6)	灰青 (1~2x)・磁器青・磁器磁器ハナ含む	片 (内側) 7.5Y75/2R (外側) 7.5Y75/2R, 10Y75/1R	片 (内側) 磁器ハナ (外側) 磁器ハナ			
22035	44	20	S014	赤土土器	竪	磁器	3%	群馬 (6.2)	磁器・6x2xの磁器多く含む	片 (内側) 10Y75/2R, 10Y75/1R	片 (内側) ナメ (外側) 磁器ハナ			
22036	45	20	S014	赤土土器	竪	磁器	1%	群馬 (6.0)	磁器・2x2xの磁器多く含む	片 (内側) 10Y75/2R (外側) 10Y75/1R	片 (内側) ナメ (外側) 磁器ハナ			
22037	46	20	S014 西原	赤土土器	竪	磁器	1%	群馬 (5.4)	灰青 (1x)・白色磁器 (1~2x) 含む	片 (内側) 10Y75/2R, 10Y75/1R (外側) 10Y75/2R	片 (内側) 磁器ハナ (外側) ナメ			
22038	47	20	S014	赤土土器	竪	磁器	3%	群馬 (6.48)	磁器・4x2xの磁器多く含む	片 (内側) 10Y75/2R	片 (内側) 磁器ハナ (外側) ナメ			
22039	48	20	S014	赤土土器	竪	磁器	2%	群馬 (5.5)	灰青 (1x)・白色磁器 (1~2x) 含む	片 (内側) 10Y75/2R, 10Y75/1R (外側) 10Y75/2R	片 (内側) 磁器ハナ (外側) ナメ			
22040	49	20	S014	赤土土器	竪	磁器	3%	群馬 (6.0)	10Y75/2Rの赤土・白色磁器・磁器 磁器ハナ含む	片 (内側) 7.5Y75/2R, 10Y75/1R (外側) 7.5Y75/2R	片 (内側) 磁器ハナ (外側) 磁器ハナ			
22041	50	21	S014	赤土土器	竪	磁器	1%	群馬 (2.1)	灰青・赤土磁器・1~2xの赤土・白色磁器含む	片 (内側) 7.5Y75/2R, 10Y75/1R (外側) 10Y75/2R	片 (内側) ナメ (外側) 磁器ハナ			
22042	51	21	S014	赤土土器	竪	磁器	10%	群馬 (2.1)	灰青・赤土磁器・1~2xの赤土・白色磁器含む	片 (内側) 10Y75/2R (外側) 10Y75/2R	片 (内側) ナメ (外側) 磁器ハナ			
22043	52	21	S014 西原	赤土土器	竪	磁器	7%	群馬 (2.8)	磁器多く・1x2xの白色磁器少量含む	片 (内側) 7.5Y75/2R (外側) 7.5Y75/2R	片 (内側) 磁器ハナ (外側) 磁器ハナ			
22044	53	21	S014	赤土土器	竪	磁器	1%	群馬 (6.3)	1x2x以下の磁器・白色磁器含む	片 (内側) 7.5Y75/2R, 10Y75/1R	片 (内側) ナメ (外側) 磁器ハナ			
22045	54	21	S014	赤土土器	竪	磁器	1%	群馬 (3.0)	灰青 (1x)・灰青・白色磁器 (1~2x) 少量 含む	片 (内側) 7.5Y75/2R, 10Y75/1R	片 (内側) ナメ (外側) ナメ			
22046	55	21	S014 西原	赤土土器	竪	磁器	4%	群馬 (2.1)	灰青 (1x)・磁器磁器磁器ハナ含む	片 (内側) 7.5Y75/2R (外側) 7.5Y75/2R	片 (内側) ナメ (外側) 磁器ハナ			
22047	56	21	S014 西原	赤土土器	竪	磁器	1%	群馬 (1.8)	2x2 (1~2x)・白色磁器 (1x) 含む	片 (内側) 7.5Y75/2R, 10Y75/1R (外側) 7.5Y75/2R, 10Y75/1R	片 (内側) 磁器ハナ (外側) 磁器ハナ			
22048	57	21	S014	赤土土器	竪	磁器	3%	群馬 (7.8)	1x2x以下の灰青・白色磁器・赤土磁器含む	片 (内側) 10Y75/2R	片 (内側) 磁器ハナ (外側) 磁器ハナ			

種別 番号	地区 番号	水質 汚濁 指数	施設 名称	種別	種類	施設 種別	処理 率	処理 容量 (m ³ /日)	施設 内容	施設 色	色 度	異物性状・発生 箇所	備考
第300回	87	217	SD14 既設	浄化槽	埋設	埋設	7%	44 (4.4)	1m ² の長さ・高さを、補助管で行員のみ	黄	(内側) 7.575/250円 (外側) 7.574/250円	(内側) ナデ (外側) 難方ハナ	機内 以下
第301回	88	217	SD14	浄化槽	埋設	埋設	1%	44 (4.4)	1m ² の長さ・高さを、補助管で行員のみ	黄	(内側) 10720/250円 (外側) 10716/250円	(内側) 難方ハナ (外側) ヘタダキ	
第302回	89	217	SD14	浄化槽	埋設	埋設	2%	44 (4.4)	補助管多く含む・1m ² の長さを含む	黄	(内側) 7.578/250円 (外側) 7.577/250円	(内側) ナデ (外側) 難方ハナ	
第303回	89	273	SD14	浄化槽	埋設	埋設	10%	44 (4.4)	1m ² の長さ・高さを含む	黄	(内側) 7.573/250円 (外側) 7.572/250円	(内側) ナデ (外側) 難方ハナ	
第304回	91	17	SD06	浄化槽	埋設	埋設	12%	11.6 (1.16)	1-2m ² の長さ・高さを含む	黄	(内側) 7.581/250円 (外側) 7.580/250円	(内側) ナデ (外側) ヘタダキ	機内
第305回	92	221	SD09	浄化槽	埋設	埋設	1%	44 (4.4)	1-2m ² の長さ・高さを含む	黄	(内側) 10720/250円 (外側) 10716/250円	(内側) ナデ (外側) 難方ハナ	
第306回	93	221	SD12	浄化槽	埋設	埋設	1%	44 (4.4)	1m ² の長さ・高さを含む	黄	(内側) 10720/250円 (外側) 10716/250円	(内側) ナデ (外側) 難方ハナ	
第307回	94	221	SD12	浄化槽	埋設	埋設	7%	44 (4.4)	1m ² の長さを含む	黄	(内側) 10716/250円 (外側) 10712/250円	(内側) 全消 (外側) 機内	機内
第308回	95	221	SD19	浄化槽	埋設	埋設	3%	44 (4.4)	補助管・補助管を含む	黄	(内側) 10720/250円 (外側) 10716/250円	(内側) ナデ (外側) 難方ハナ	
第309回	96	221	SD19	浄化槽	埋設	埋設	5%	44 (4.4)	高さの多く含む	黄	(内側) 2.576/250円 (外側) 2.575/250円	(内側) 難方ハナ (外側) 機内	機内
第310回	97	221	SD21	浄化槽	埋設	埋設	1%	44 (4.4)	1m ² の長さ・高さを含む	黄	(内側) 10716/250円 (外側) 10712/250円	(内側) ナデ (外側) 難方ハナ	
第311回	98	221	SD21	浄化槽	埋設	埋設	3%	44 (4.4)	1m ² の長さ・高さを含む	黄	(内側) 10716/250円 (外側) 10712/250円	(内側) ナデ (外側) 難方ハナ	
第312回	99	221	SD21	浄化槽	埋設	埋設	6%	44 (4.4)	1m ² の長さ・高さを含む	黄	(内側) 7.576/250円 (外側) 7.575/250円	(内側) ナデ (外側) 難方ハナ	機内
第313回	100	221	SD23	浄化槽	埋設	埋設	1%	44 (4.4)	1-2m ² の長さ・高さを含む	黄	(内側) 10716/250円 (外側) 10712/250円	(内側) ナデ (外側) ヘタダキ	
第314回	101	221	SD23	浄化槽	埋設	埋設	2%	44 (4.4)	1m ² の長さ・高さを含む	黄	(内側) 7.578/250円 (外側) 7.577/250円	(内側) ナデ (外側) 難方ハナ	
第315回	102	221	SD25	浄化槽	埋設	埋設	5%	44 (4.4)	1m ² の長さ・高さを含む	黄	(内側) 10716/250円 (外側) 10712/250円	(内側) 難方ハナ (外側) 難方ハナ	
第316回	103	221	SD25	浄化槽	埋設	埋設	2%	44 (4.4)	1m ² の長さ・高さを含む	黄	(内側) 10716/250円 (外側) 10712/250円	(内側) 難方ハナ (外側) 難方ハナ	機内
第317回	104	221	SD25	浄化槽	埋設	埋設	2%	44 (4.4)	1-2m ² の長さを含む	黄	(内側) 10716/250円 (外側) 10712/250円	(内側) ナデ (外側) 難方ハナ	機内
第318回	105	221	SD25	浄化槽	埋設	埋設	7%	44 (4.4)	1-2m ² の長さを含む	黄	(内側) 10716/250円 (外側) 10712/250円	(内側) 難方ハナ (外側) 難方ハナ	機内
第319回	106	221	SD25	浄化槽	埋設	埋設	1%	44 (4.4)	1m ² の長さ・高さを含む	黄	(内側) 2.576/250円 (外側) 2.575/250円	(内側) ナデ (外側) 難方ハナ	
第320回	107	221	SD25	浄化槽	埋設	埋設	5%	44 (4.4)	1m ² の長さを含む	黄	(内側) 2.576/250円 (外側) 2.575/250円	(内側) 難方ハナ (外側) 難方ハナ	
第321回	108	221	SD25	浄化槽	埋設	埋設	9%	44 (4.4)	1-2m ² の長さを含む	黄	(内側) 7.578/250円 (外側) 7.577/250円	(内側) 全消 (外側) 機内	機内
第322回	109	221	SD25	浄化槽	埋設	埋設	2%	44 (4.4)	1m ² の長さ・高さを含む	黄	(内側) 2.576/250円 (外側) 2.575/250円	(内側) ナデ (外側) ヘタダキ	
第323回	110	221	SD27	浄化槽	埋設	埋設	3%	44 (4.4)	1m ² の長さ・高さを含む	黄	(内側) 10716/250円 (外側) 10712/250円	(内側) 難方ハナ (外側) 難方ハナ	
第324回	111	221	SD27	浄化槽	埋設	埋設	6%	44 (4.4)	1-2m ² の長さ・高さを含む	黄	(内側) 10716/250円 (外側) 10712/250円	(内側) 全消 (外側) 機内	機内
第325回	112	221	SD28	浄化槽	埋設	埋設	3%	44 (4.4)	1-2m ² の長さ・高さを含む	黄	(内側) 10716/250円 (外側) 10712/250円	(内側) ナデ (外側) 難方ハナ	
第326回	113	221	SD28	浄化槽	埋設	埋設	1%	44 (4.4)	1-2m ² の長さ・高さを含む	黄	(内側) 10716/250円 (外側) 10712/250円	(内側) ナデ (外側) 難方ハナ	
第327回	114	221	SD28	浄化槽	埋設	埋設	1%	44 (4.4)	1-2m ² の長さ・高さを含む	黄	(内側) 10716/250円 (外側) 10712/250円	(内側) ナデ (外側) 難方ハナ	
第328回	115	221	SD28	浄化槽	埋設	埋設	7%	44 (4.4)	1-2m ² の長さ・高さを含む	黄	(内側) 10716/250円 (外側) 10712/250円	(内側) ナデ (外側) 難方ハナ	

採出 番号	採出 場所	採出 層位	岩種 名称	産地	種類	用途	採出 時期	法長 (cm)	形状	色調	採出 方法・加工	備考
第33回	174	23上	S701	褐色粘土層	産	調整	1%	法高 (5.6)	200mmの長石・白色石灰岩含む	灰	(内側) 7.0775/21(奥側) (外側) 7.0732/21(奥側)	(内側) 横方向ハケ (外側) 縦方向ハケ
第34回	175	23上	S701	褐色粘土層	産	調整	1%	法高 (3.6)	200mmの長石・白色石灰岩含む	灰	(内側) 107785/21(奥側)	(内側) ナゾ (外側) 縦方向ハケ
第34回	176	23上	S701	褐色粘土層	産	調整	1%	法高 (5.1)	200mmの長石・白色石灰岩含む	灰	(内側) 107785/21(奥側)	(内側) ナゾ (外側) 縦方向ハケ
第34回	177	23上	S701	褐色粘土層	産	調整	3%	法高 (3.6)	1~200mmの長石・白色石灰岩含む	灰	(内側) 107785/21(奥側) (外側) 107785/21(奥側)	(内側) ナゾ (外側) 縦方向ハケ
第34回	178	23上	S701	褐色粘土層	産	調整	1%	法高 (3.6)	長石 (100)・白色石灰 (1~200) 含む	灰	(内側) 107785/21(奥側) (外側) 107785/21(奥側)	(内側) ナゾ (外側) 縦方向ハケ
第34回	179	23上	S701	褐色粘土層	産	調整	3%	法高 (3.6)	200mmの長石・白色石灰岩含む	灰	(内側) 107785/21(奥側)	(内側) ナゾ (外側) 縦方向ハケ
第34回	180	23上	S701	褐色粘土層	産	調整	2%	法高 (3.6)	200mmの長石・白色石灰岩含む	灰	(内側) 107785/21(奥側)	(内側) ナゾ (外側) 縦方向ハケ
第34回	181	23下	S701	褐色粘土層	産	調整	1%	法高 (3.4)	200mmの長石・白色石灰岩含む	灰	(内側) 107785/21(奥側) (外側) N3(調整)	(内側) ナゾ (外側) 縦方向ハケ
第34回	182	23下	S701	褐色粘土層	産	調整	1%	法高 (3.2)	長石 (100)・調整用石灰岩含む	灰	(内側) 107785/21(奥側)	(内側) ナゾ (外側) 縦方向ハケ
第34回	183	23下	S701	褐色粘土層	産	調整	1%	法高 (3.2)	200mmの長石・白色石灰岩含む	灰	(内側) 107785/21(奥側)	(内側) ナゾ (外側) 縦方向ハケ
第34回	184	23下	S701	褐色粘土層	産	調整	1%	法高 (3.7)	200mmの長石・白色石灰岩含む	灰	(内側) 107785/21(奥側) (外側) 107785/21(奥側)	(内側) ナゾ (外側) 縦方向ハケ
第34回	185	23下	S701	褐色粘土層	産	調整	1%	法高 (3.6)	200mmの長石・白色石灰岩含む	灰	(内側) 107785/21(奥側)	(内側) ナゾ (外側) 縦方向ハケ
第34回	186	23下	S701	褐色粘土層	産	調整	1%	法高 (3.1)	1~500mmの長石・白色石灰岩含む	灰	(内側) 107785/21(奥側) (外側) 107785/21(奥側)	(内側) ナゾ (外側) 縦方向ハケ
第34回	187	23下	S701	褐色粘土層	産	調整	1%	法高 (4.8)	200mmの長石・調整用石灰岩含む	灰	(内側) 107785/21(奥側) (外側) 107785/21(奥側)	(内側) ナゾ (外側) 縦方向ハケ
第34回	188	23下	S701	褐色粘土層	産	調整	1%	法高 (3.8)	1~200mmの長石・白色石灰岩含む	灰	(内側) 107785/21(奥側)	(内側) ナゾ (外側) 縦方向ハケ
第34回	189	23下	S701	褐色粘土層	産	調整	1%	法高 (3.7)	200mmの長石・調整用石灰岩含む	灰	(内側) 7.0796/21(奥側) (外側) 6726/21(奥側)	(内側) ナゾ (外側) 縦方向ハケ
第34回	190	23下	S701	褐色粘土層	産	調整	1%	法高 (4.3)	200mmの長石・白色石灰岩含む	灰	(内側) 107785/21(奥側) (外側) 107785/21(奥側)	(内側) ナゾ (外側) 縦方向ハケ
第34回	191	23下	S701	褐色粘土層	産	調整	1%	法高 (3.4)	200mmの長石・調整用石灰岩・調整少量含む	灰	(内側) 107785/21(奥側) (外側) 1084/21(奥側)	(内側) ナゾ (外側) 縦方向ハケ
第34回	192	23下	S701	褐色粘土層	産	調整	3%	法高 (3.0)	1~200mmの長石・白色石灰岩含む	灰	(内側) 107785/21(奥側) (外側) 10782/21(奥側)	(内側) ナゾ (外側) 縦方向ハケ
第34回	193	23下	S701	褐色粘土層	産	調整	2%	法高 (3.5)	1~200mmの長石・白色石灰岩含む	灰	(内側) 104/21(奥側) (外側) 823/21(奥側)	(内側) ナゾ (外側) 縦方向ハケ
第34回	194	23下	S701	褐色粘土層	産	調整	3%	法高 (3.6)	200mmの長石・白色石灰岩含む	灰	(内側) 107785/21(奥側) (外側) 8727/21(奥側)	(内側) ナゾ (外側) 縦方向ハケ
第34回	195	23下	S701	褐色粘土層	産	調整	3%	法高 (4.5)	200mmの長石・白色石灰岩 (1~200) 含む	灰	(内側) 8727/21(奥側)	(内側) ナゾ (外側) 縦方向ハケ
第34回	196	23下	S701	褐色粘土層	産	調整	1%	法高 (3.4)	1~500mmの長石・白色石灰岩含む	灰	(内側) 107785/21(奥側) (外側) 8727/21(奥側)	(内側) ナゾ (外側) 縦方向ハケ
第34回	197	23下	S701	褐色粘土層	産	調整	2%	法高 (3.4)	200mmの長石・白色石灰岩含む	灰	(内側) 107785/21(奥側) (外側) 8727/21(奥側)	(内側) ナゾ (外側) 縦方向ハケ
第34回	198	23下	S701	褐色粘土層	産	調整	1%	法高 (3.0)	200mmの長石・白色石灰岩・200mmの礫含む	灰	(内側) 8726/21(奥側) (外側) 107785/21(奥側)	(内側) ナゾ (外側) ナゾ調整
第34回	199	23下	S701	褐色粘土層	産	調整	1%	法高 (4.4)	200mmの長石・白色石灰岩含む	灰	(内側) 107785/21(奥側) (外側) 7.2737/21(奥側)	(内側) 横方向ハケ (外側) ナゾ調整
第34回	200	23下	S701	褐色粘土層	産	調整	3%	法高 (4.4)	200mmの長石・白色石灰岩含む	灰	(内側) 104/21(奥側) (外側) 10782/21(奥側)	(内側) ナゾ (外側) ナゾ調整
第34回	201	23下	S701	褐色粘土層	産	調整	3%	法高 (3.0)	1~200mmの長石・白色石灰岩含む	灰	(内側) 10782/21(奥側)	(内側) ナゾ (外側) ナゾ調整
第34回	202	23下	S701	褐色粘土層	産	調整	3%	法高 (5.1)	1~200mmの長石・白色石灰岩含む	灰	(内側) 8726/21(奥側) (外側) 10782/21(奥側)	(内側) ナゾ (外側) ナゾ調整

図面番号	実尺	寸法	用途	種別	基礎	形状	高さ	位置	備考	地盤	内容	測量方法・状況	備考
200	200	257	S301	褐色粘土層	粘土土留	直	鋼管	3%	延長 (4.5)	1~2m次の掘削・白色石灰・鋼管等・鋼管掘削機等	尺 (内側) 10Y750(2)のいびり (外側) 10Y744(2)のいびり	(内側) ヘタミオキヤ (外側) 鋼管掘削機	必要
201	201	257	S301	粘土土留	直	鋼管	1%	延長 (2.0)	1m次の掘削・白色石灰・鋼管掘削機等	尺 (内側) 10Y750(2) (外側) 7.5Y744(2)	(内側) ナブ (外側) ナブ掘削機	必要	
202	202	257	S301	褐色粘土層	粘土土留	直	鋼管	3%	延長 (5.0)	1~2m次の掘削・白色石灰・鋼管等	尺 (内側) 10Y750(2)のいびり (外側) 10Y744(2)のいびり	(内側) ナブ (外側) 鋼管掘削機	
203	203	257	S301	粘土土留	直	鋼管	1%	延長 (4.5)	1~2m次の掘削・白色石灰・鋼管等	尺 (内側) 7.5Y750(2)のいびり (外側) 7.5Y744(2)のいびり	(内側) ナブ (外側) 鋼管掘削機		
204	204	257	S301	粘土土留	直	鋼管	1%	延長 (4.0)	1~2m次の掘削・白色石灰・鋼管等	尺 (内側) 7.5Y750(2)のいびり (外側) 7.5Y744(2)のいびり	(内側) ナブ (外側) 鋼管掘削機		
205	205	257	S301	粘土土留	直	鋼管	1%	延長 (3.7)	掘削 (1~2m)・白色石灰 (1~2m)・鋼管等	尺 (内側) 10Y750(2)のいびり (外側) 7.5Y744(2)のいびり	(内側) ナブ (外側) 鋼管掘削機		
206	206	257	S301	粘土土留	直	鋼管	1%	延長 (3.0)	1m次の掘削・白色石灰等	尺 (内側) 7.5Y750(2) (外側) 10Y750(2)のいびり	(内側) ナブ (外側) 鋼管掘削機		
207	207	257	S301	粘土土留	直	鋼管	1%	延長 (2.0)	掘削 (1m)・白色石灰 (1~2m)等	尺 (内側) 10Y750(2)のいびり (外側) 10Y744(2)のいびり	(内側) ナブ (外側) 鋼管掘削機		
208	208	257	S301	粘土土留	直	鋼管	1%	延長 (2.0)	掘削 (1m)・白色石灰 (1~2m)等	尺 (内側) 10Y750(2)のいびり (外側) 10Y744(2)のいびり	(内側) ナブ (外側) 鋼管掘削機		
209	209	257	S301	粘土土留	直	鋼管	1%	延長 (2.0)	掘削 (1m)・白色石灰 (1~2m)等	尺 (内側) 10Y750(2)のいびり (外側) 10Y744(2)のいびり	(内側) ナブ (外側) 鋼管掘削機		
210	210	257	S301	粘土土留	直	鋼管	1%	延長 (2.0)	掘削 (1m)・白色石灰 (1~2m)等	尺 (内側) 10Y750(2)のいびり (外側) 10Y744(2)のいびり	(内側) ナブ (外側) 鋼管掘削機		
211	211	257	S301	褐色粘土層	粘土土留	直	鋼管	1%	延長 (3.0)	1m次の掘削・白色石灰等	尺 (内側) 10Y750(2)のいびり (外側) 10Y744(2)のいびり	(内側) ナブ (外側) ヘタミオキヤ	
212	212	257	S301	褐色粘土層	粘土土留	直	鋼管	1%	延長 (3.7)	1m次の掘削・白色石灰等	尺 (内側) 10Y750(2)のいびり (外側) 10Y744(2)のいびり	(内側) ナブ (外側) 鋼管掘削機	
213	213	257	S301	褐色粘土層	粘土土留	直	鋼管	1%	延長 (3.5)	1m次の掘削・白色石灰・2m次の掘削等	尺 (内側) 10Y750(2)のいびり (外側) 10Y744(2)のいびり	(内側) ナブ (外側) 鋼管掘削機	
214	214	257	S301	褐色粘土層	粘土土留	直	鋼管	3%	延長 (7.0)	1~2m次の掘削・白色石灰等	尺 (内側) 10Y750(2) (外側) 7.5Y744(2)	(内側) ナブ (外側) 鋼管掘削機	
215	215	257	S301	粘土土留	直	鋼管	1%	延長 (2.0)	掘削 (1m)・白色石灰 (1~2m)等	尺 (内側) 10Y750(2)のいびり (外側) 10Y744(2)のいびり	(内側) ナブ (外側) ヘタミオキヤ		
216	216	257	S301	粘土土留	直	鋼管	3%	延長 (5.2)	1m次の掘削・白色石灰・2m次の掘削等	尺 (内側) 10Y750(2) (外側) 7.5Y744(2)	(内側) 鋼管掘削機 (外側) ヘタミオキヤ		
217	217	257	S301	褐色粘土層	粘土土留	直	鋼管	9%	延長 (21.2) 延長 (3.0)	1m次の掘削・白色石灰・鋼管等	尺 (内側) 7.5Y750(2)のいびり (外側) 7.5Y744(2)のいびり	(内側) 鋼管掘削機 (外側) ナブ	
218	218	257	S301	粘土土留	直	鋼管	1%	延長 (5.0)	1m次の掘削・白色石灰等	尺 (内側) 10Y750(2)のいびり (外側) 10Y744(2)のいびり	(内側) ナブ (外側) 鋼管掘削機		
219	219	257	S301	褐色粘土層	粘土土留	直	鋼管	1%	延長 (4.5)	1m次の掘削・白色石灰・2m次の掘削等	尺 (内側) 7.5Y750(2)のいびり (外側) 10Y744(2)のいびり	(内側) 鋼管掘削機 (外側) ナブ	
220	220	257	S301	粘土土留	直	鋼管	1%	延長 (3.3)	1m次の掘削・白色石灰等	尺 (内側) 10Y744(2)のいびり (外側) 10Y750(2)のいびり	(内側) ナブ (外側) 鋼管掘削機		
221	221	257	S301	粘土土留	直	鋼管	1%	延長 (3.0)	掘削 (1m)・鋼管掘削機等	尺 (内側) 10Y750(2) (外側) 10Y744(2)	(内側) 鋼管掘削機 (外側) 鋼管掘削機		
222	222	257	S301	褐色粘土層	粘土土留	直	鋼管	1%	延長 (1.0)	1m次の掘削・鋼管掘削機・鋼管等	尺 (内側) 7.5Y750(2)のいびり (外側) 10Y744(2)のいびり	(内側) ナブ (外側) 鋼管掘削機	
223	223	257	S301	褐色粘土層	粘土土留	直	鋼管	1%	延長 (5.3)	1m次の掘削・白色石灰・2m次の掘削等	尺 (内側) 10Y750(2)のいびり (外側) 10Y744(2)のいびり	(内側) 鋼管掘削機 (外側) 鋼管掘削機	
224	224	257	S301	褐色粘土層	粘土土留	直	鋼管	1%	延長 (5.1)	1~2m次の掘削・白色石灰等	尺 (内側) 10Y750(2)のいびり (外側) 10Y744(2)のいびり	(内側) 鋼管掘削機 (外側) 鋼管掘削機	
225	225	257	S301	褐色粘土層	粘土土留	直	鋼管	1%	延長 (5.1)	1~2m次の掘削・白色石灰等	尺 (内側) 10Y750(2)のいびり (外側) 10Y744(2)のいびり	(内側) 鋼管掘削機 (外側) 鋼管掘削機	
226	226	257	S301	褐色粘土層	粘土土留	直	鋼管	3%	延長 (5.3)	1m次の掘削・白色石灰等	尺 (内側) 7.5Y750(2)のいびり (外側) 7.5Y744(2)のいびり	(内側) 鋼管掘削機 (外側) 鋼管掘削機	
227	227	257	S301	褐色粘土層	粘土土留	直	鋼管	3%	延長 (7.3)	1m次の掘削・鋼管掘削機・鋼管・6m次の掘削等	尺 (内側) 10Y750(2)のいびり (外側) 7.5Y744(2)のいびり	(内側) ナブ (外側) 鋼管掘削機	
228	228	257	S301	粘土土留	直	鋼管	3%	延長 (6.0)	1m次の掘削・白色石灰等	尺 (内側) 10Y744(2)のいびり (外側) 7.5Y744(2)のいびり	(内側) 鋼管掘削機 (外側) 鋼管掘削機		
229	229	257	S301	褐色粘土層	粘土土留	直	鋼管	1%	延長 (2.0)	掘削 (1~2m)・白色石灰 (1m以下)等	尺 (内側) 10Y750(2)のいびり (外側) 7.5Y744(2)のいびり	(内側) ナブ (外側) 鋼管掘削機	
230	230	257	S301	褐色粘土層	粘土土留	直	鋼管	1%	延長 (6.0)	2m次の掘削・白色石灰等	尺 (内側) 10Y744(2)のいびり (外側) 10Y744(2)のいびり	(内側) ナブ (外側) 鋼管掘削機	
231	231	257	S301	粘土土留	直	鋼管	3%	延長 (3.7)	1m次の掘削・白色石灰等	尺 (内側) 10Y750(2)のいびり (外側) 10Y744(2)のいびり	(内側) ナブ (外側) 鋼管掘削機		

採種 番号	採種 年月	採種 場所	標高 (m)	産地	樹種	樹高	直径 (cm)	特徴	用途	色調	製法・加工	備考
第398	200	25.1	5202	新井土産	葉	葉部	1% 樹高 (3.9)	赤石 (1~5m)・白色石灰 (1~) 含む	丸	(内側) 7.573741に上い丸 (外側) 8.197412に上い丸	(内側) ナデ (外側) 両方丸へラ丸	
第399	201	25.1	5202	新井土産	葉	葉部	1% 樹高 (3.2)	1m人の白色石灰・長石含む	丸	(内側) 1.979672既製	(内側) ナデ (外側) 両方丸へラ丸	
第400	202	25.1	5202	新井土産	葉	葉部	1% 樹高 (4.1)	1~2m次の灰石・白色石灰含む	丸	(内側) 4.07847既製	(内側) ナデ (外側) 両方丸へラ丸	
第401	203	25.1	5202	新井土産	葉	葉部	1% 樹高 (3.2)	1~2m次の灰石・白色石灰含む	丸	(内側) 1.979672既製	(内側) ナデ (外側) 両方丸へラ丸	
第402	204	25.1	5202	新井土産	葉	葉部	1% 樹高 (4.8)	1m次の灰石・樹種選別石灰・砂を含む	丸	(内側) 1.979672に上い丸 (外側) 1.979672既製	(内側) ナデ (外側) ヘラ丸	
第403	205	25.1	5202	新井土産	葉	葉部	1% 樹高 (4.2)	1m次の白色石灰・長石含む	丸	(内側) 1.979672既製	(内側) 両ナデ (外側) 両方丸へラ丸	
第404	206	25.1	5202	新井土産	葉	葉部	1% 樹高 (4.4)	灰石 (1cm)・白色石灰 (1~5.5cm) 含む	丸	(内側) 1.979672既製 (外側) 4.07847既製	(内側) ナデ (外側) ヘラ丸	
第405	207	25.1	5202	新井土産	葉	葉部	3% 樹高 (6.2)	1~2m次の灰石・白色石灰・4cm次の礫を含む	丸	(内側) 4.07847既製 (外側) 7.573741既製	(内側) ナデ (外側) ヘラエゾヤ梨へラ丸	
第406	208	25.1	5202	新井土産	葉	葉部	2% 樹高 (5.6)	灰石 (1cm)・白色石灰 (1~3cm) 含む	丸	(内側) 3.27647既製 (外側) 4.07847既製	(内側) ナデ (外側) ヘラ丸	
第407	209	25.1	5202	新井土産	葉	葉部	1% 樹高 (3.0)	1~2m次の灰石・白色石灰含む	丸	(内側) 3.27647既製	(内側) ナデ (外側) ヘラエゾヤ梨	
第408	200	25.1	5202	新井土産	葉	葉部	1% 樹高 (2.8)	1m次の灰石・白色石灰・樹種選別石灰・砂を含む	丸	(内側) 1.979672既製 (外側) 1.979672既製	(内側) ナデ (外側) ヘラエゾヤ梨	樹種
第409	211	25.1	5202	新井土産	葉	葉部	1% 樹高 (2.0)	1~2m次の灰石・白色石灰・樹種選別石灰を含む	丸	(内側) 1.979672既製 (外側) 1.979672既製	(内側) ナデ (外側) 両方丸へラ丸	樹種
第410	302	18	5202	新井土産	葉	口部	10% 樹高 (38.50) 樹高 (5.4)	1m次の灰石・樹種選別石灰・砂を含む	丸	(内側) 7.573741既製	(内側) 両一級丸向ハケ (外側) 両方丸向ハケ	
第411	303	25.1	5202	新井土産	葉	口部	2% 樹高 (6.0)	1m次の白色石灰・長石含む	丸	(内側) 1.979672既製 (外側) 1.979672既製	(内側) 両方丸向ハケ (外側) 両方丸向ハケ	
第412	304	25.1	5202	新井土産	葉	口部	5% 樹高 (3.4)	1m次の白色石灰・長石含む	丸	(内側) 1.979672既製 (外側) 2.02525	(内側) 両方丸向ハケ (外側) 両方丸向ハケ	
第413	305	25.1	5202	新井土産	葉	口部	2% 樹高 (5.8)	1m次の白色石灰・長石含む	丸	(内側) 7.573741に上い丸 (外側) 2.02525	(内側) 両方丸向ハケ (外側) 両方丸向ハケ	
第414	306	25.1	5202	新井土産	葉	口部	2% 樹高 (5.0)	1m次の白色石灰・長石含む	丸	(内側) 7.573741に上い丸 (外側) 7.573741既製	(内側) 両方丸向ハケ (外側) 両方丸向ハケ	
第415	307	25.1	5202	新井土産	葉	口部	3% 樹高 (6.4)	1m次の白色石灰・長石含む	丸	(内側) 7.573741に上い丸 (外側) 1.979672既製	(内側) 両方丸向ハケ (外側) 両方丸向ハケ	
第416	308	25.1	5202	新井土産	葉	口部	1% 樹高 (4.5)	1m次の白色石灰・長石含む	丸	(内側) 7.573741に上い丸 (外側) 1.979672既製	(内側) 両ナデ (外側) 両方丸向ハケ	
第417	309	25.1	5202	新井土産	葉	口部	1% 樹高 (3.8)	1m次の白色石灰・長石含む	丸	(内側) 7.573741に上い丸 (外側) 2.02525に上い丸	(内側) ナデ (外側) 両方丸向ハケ	
第418	310	25.1	5202	新井土産	葉	口部	1% 樹高 (4.1)	1m次の白色石灰・長石含む	丸	(内側) 7.573741既製	(内側) 両方丸向ハケ (外側) 両方丸向ハケ	
第419	311	25.1	5202	新井土産	葉	口部	3% 樹高 (3.3)	1m次の灰石・白色石灰含む	丸	(内側) 7.573741に上い丸 (外側) 7.573741既製	(内側) 両方丸向ハケ (外側) 両方丸向ハケ	
第420	312	25.1	5202	新井土産	葉	口部	1% 樹高 (4.8)	灰石 (1~5m)・白色石灰 (1cm) 含む	丸	(内側) 1.979672既製 (外側) 2.02525	(内側) ナデ (外側) 両方丸向ハケ	
第421	313	25.1	5202	新井土産	葉	口部	1% 樹高 (3.9)	1m次の白色石灰・長石含む	丸	(内側) 7.573741に上い丸	(内側) 両方丸向ハケ (外側) 両方丸向ハケ	
第422	314	25.1	5202	新井土産	葉	口部	1% 樹高 (3.6)	1m次の白色石灰・長石含む	丸	(内側) 1.979672に上い丸 (外側) 7.573741に上い丸	(内側) 両方丸向ハケ (外側) 両方丸向ハケ	
第423	315	25.1	5202	新井土産	葉	口部	2% 樹高 (3.7)	1m次の灰石・樹種選別石灰・砂を含む	丸	(内側) 1.979672既製	(内側) 両ナデ (外側) 両方丸向ハケ	
第424	316	25.1	5202	新井土産	葉	口部	1% 樹高 (3.8)	灰石 (1~2m)・白色石灰 (1cm) 含む	丸	(内側) 1.979672既製	(内側) 両方丸向ハケ (外側) 両方丸向ハケ	
第425	317	25.1	5202	新井土産	葉	口部	1% 樹高 (3.3)	1m次の白色石灰・長石含む	丸	(内側) 2.02525に上い丸 (外側) 5.197412既製	(内側) ナデ (外側) 両方丸向ハケ	
第426	318	25.1	5202	新井土産	葉	口部	1% 樹高 (4.5)	1m次の白色石灰・長石含む	丸	(内側) 1.979672既製	(内側) ナデ (外側) 両方丸向ハケ	

種別 番号	登録 番号	登録 年次	登録 区分	種別	用途	形状	規格 番号	規格 寸法 (cm)	材 質	特 長	備 考	
第009号	313	1945	S202	芳糸土器	器	口鉢形	1%	器高 (3.3)	灰泥 (1~5mm)、白土質 (1cm) 含む	Ⅲ (内径) 1.575(6.19)cm	(内径) ナブ (外径) 縦方向へ横 断面	
第010号	309	1945	S202	芳糸土器	性	口鉢形	1%	器高 (2.3)	1cm以下の赤土質、灰土を含む	Ⅲ (内径) 1.575(6.19)cm (外径) 1.575(6.19)cm	(内径) 縦方向へ横 断面	
第016号	321	1945	S202	灰土土器	器	口鉢形	1%	器高 (1.5)	1cm以下の赤土質、灰土を含む	Ⅲ (内径) 1.575(6.19)cm (外径) 1.575(6.19)cm	(内径) ナブ (外径) 縦方向へ横 断面	
第019号	312	1945	S202	焼成雑色砂器	灰土土器	器	口鉢形	1%	器高 (2.3)	1cm以下の赤土質、白土質を含む	Ⅲ (内径) 1.575(6.19)cm (外径) 縦方向へ横 断面	
第020号	320	1945	S202	焼成雑色砂器	灰土土器	器	口鉢形	1%	器高 (3.7)	1cm以下の赤土質、白土質を含む	Ⅲ (内径) 1.575(6.19)cm (外径) 縦方向へ横 断面	
第041号	324	1947	S202	焼成雑色砂器	灰土土器	器	口鉢形	10%	器高 (1.6)	灰泥 (1~5mm)、白土質 (1cm) 含む	Ⅲ (内径) 1.575(6.19)cm (外径) 1.575(6.19)cm	(内径) 縦方向へ横 断面
第042号	325	1947	S202	焼成雑色砂器	灰土土器	器	口鉢形	1%	器高 (3.7)	1cm以下の赤土質、白土質を含む	Ⅲ (内径) 1.575(6.19)cm (外径) 縦方向へ横 断面	
第043号	326	1947	S202	焼成雑色砂器	灰土土器	器	口鉢形	10%	器高 (1.6)	灰泥 (1~5mm)、白土質 (1cm) 含む	Ⅲ (内径) 1.575(6.19)cm (外径) 1.575(6.19)cm	(内径) 縦方向へ横 断面
第044号	328	1947	S202	焼成雑色砂器	灰土土器	器	口鉢形	7%	器高 (6.1) 器径 (7.4)	灰泥・砂粒、黒いガラス質を含む	Ⅲ (内径) 1.575(6.19)cm (外径) 1.575(6.19)cm	(内径) ナブ (外径) 縦方向へ横 断面
第045号	328	1947	S202	焼成雑色砂器	灰土土器	器	口鉢形	7%	器高 (4.1) 器径 (5.4)	灰泥・砂粒、黒いガラス質を含む	Ⅲ (内径) 1.575(6.19)cm (外径) 1.575(6.19)cm	(内径) ナブ (外径) 縦方向へ横 断面
第046号	327	1947	S202	焼成雑色砂器	灰土土器	器	口鉢形	3%	器高 (2.4) 器径 (5.4)	灰泥・砂粒、黒いガラス質を含む	Ⅲ (内径) 1.575(6.19)cm (外径) 1.575(6.19)cm	(内径) ナブ (外径) 縦方向へ横 断面
第047号	329	1947	S202	焼成雑色砂器	灰土土器	器	口鉢形	6%	器高 (2.4) 器径 (7.4)	灰泥・砂粒、黒いガラス質を含む	Ⅲ (内径) 1.575(6.19)cm (外径) 1.575(6.19)cm	(内径) ナブ (外径) 縦方向へ横 断面
第048号	329	1947	S202	焼成雑色砂器	灰土土器	器	口鉢形	6%	器高 (3.7) 器径 (7.8)	赤褐色砂子、灰石・砂粒を含む	Ⅲ (内径) 1.575(6.19)cm (外径) 1.575(6.19)cm	(内径) ナブ (外径) 縦方向へ横 断面
第049号	309	1947	S202	芳糸土器	器	口鉢形	3%	器高 (5.4) 器径 (5.4)	灰石・砂粒、黒いガラス質を含む	Ⅲ (内径) 1.575(6.19)cm (外径) 1.575(6.19)cm	(内径) ナブ (外径) 縦方向へ横 断面	
第050号	331	1947	S202	灰土土器	器	口鉢形	3%	器高 (1.2) 器径 (5.7)	灰石・砂粒、黒いガラス質を含む	Ⅲ (内径) 1.575(6.19)cm (外径) 1.575(6.19)cm	(内径) ナブ (外径) 縦方向へ横 断面	
第051号	333	1947	S202	芳糸土器	器	口鉢形	7%	器高 (4.6) 器径 (5.3)	中央部は、赤褐色砂子・灰石・砂粒を含む	Ⅲ (内径) 1.575(6.19)cm (外径) 1.575(6.19)cm	(内径) ナブ (外径) 縦方向へ横 断面	
第052号	335	1947	S202	芳糸土器	器	口鉢形	20%	器高 (2.3) 器径 (5.9)	白土質 (灰) 多く含む	Ⅲ (内径) 1.575(6.19)cm (外径) 1.575(6.19)cm	(内径) ナブ (外径) 縦方向へ横 断面	
第053号	334	1947	S202	芳糸土器	器	口鉢形	2%	器高 (2.3) 器径 (5.3)	灰泥・4mm以下の砂を含む	Ⅲ (内径) 1.575(6.19)cm (外径) 1.575(6.19)cm	(内径) ナブ (外径) 縦方向へ横 断面	
第054号	332	1947	S202	芳糸土器	器	口鉢形	10%	器高 (5.7) 器径 (7.2)	4mm以下の砂粒多く含む	Ⅲ (内径) 1.575(6.19)cm (外径) 1.575(6.19)cm	(内径) ナブ (外径) 縦方向へ横 断面	
第055号	336	1947	不詳	灰土土器	器	口鉢形	5%	器高 (10.4) 器径 (5.3)	灰石・砂粒、黒いガラス質、白土質を含む	Ⅲ (内径) 1.575(6.19)cm (外径) 1.575(6.19)cm	(内径) ナブ (外径) 縦方向へ横 断面	
第056号	337	1947	D-1	焼成雑色砂器	灰土土器	器	口鉢形	2%	器高 (11.1) 器径 (6.8)	1cm以下の白土質、灰石を含む	Ⅲ (内径) 1.575(6.19)cm (外径) 1.575(6.19)cm	(内径) ナブ (外径) 縦方向へ横 断面
第057号	338	1947	不詳	灰土土器	器	口鉢形	15%	器高 (7.4) 器径 (7.1)	4mm以下の赤土質、白土質を含む	Ⅲ (内径) 1.575(6.19)cm (外径) 1.575(6.19)cm	(内径) ナブ (外径) 縦方向へ横 断面	
第058号	339	1947	D-0	焼成雑色砂器	灰土土器	器	口鉢形	1%	器高 (7.6) 器径 (5.3)	灰泥・砂粒、黒いガラス質、赤褐色砂子を含む	Ⅲ (内径) 1.575(6.19)cm (外径) 1.575(6.19)cm	(内径) 縦方向へ横 断面
第059号	340	1947	D-1	焼成雑色砂器	灰土土器	器	口鉢形	1%	器高 (13.4) 器径 (7.1)	灰泥 (1cm)、白土質 (0.5cm)、黒いガラス質を含む	Ⅲ (内径) 1.575(6.19)cm (外径) 1.575(6.19)cm	(内径) ナブ (外径) 縦方向へ横 断面
第060号	341	1947	C-2	焼成雑色砂器	灰土土器	器	口鉢形	1%	器高 (3.4)	1cm以下の赤土質、白土質を含む	Ⅲ (内径) 1.575(6.19)cm (外径) 1.575(6.19)cm	(内径) ナブ (外径) 縦方向へ横 断面
第061号	340	1947	C-2	焼成雑色砂器	灰土土器	器	口鉢形	1%	器高 (4.3)	灰泥 (1cm)、白土質 (0.5cm) 含む	Ⅲ (内径) 1.575(6.19)cm (外径) 1.575(6.19)cm	(内径) 縦方向へ横 断面
第062号	343	1947	D-1	焼成雑色砂器	灰土土器	器	口鉢形	10%	器高 (7.4) 器径 (5.3)	1cm以下の赤土質、白土質を含む	Ⅲ (内径) 1.575(6.19)cm (外径) 1.575(6.19)cm	(内径) 縦方向へ横 断面
第063号	344	1947	D-1	焼成雑色砂器	灰土土器	器	口鉢形	1%	器高 (7.4) 器径 (6.1)	灰泥 (1~5mm)、白土質 (1cm)、黒いガラス質を含む	Ⅲ (内径) 1.575(6.19)cm (外径) 1.575(6.19)cm	(内径) ナブ (外径) 縦方向へ横 断面
第064号	345	1947	D-1	焼成雑色砂器	灰土土器	器	口鉢形	1%	器高 (5.7) 器径 (5.3)	4mm以下の赤土質、白土質、4mm以下の砂を含む	Ⅲ (内径) 1.575(6.19)cm (外径) 1.575(6.19)cm	(内径) ナブ (外径) 縦方向へ横 断面
第065号	349	1947	D-1	焼成雑色砂器	灰土土器	器	口鉢形	3%	器高 (7.1) 器径 (1.2)	灰泥・黒いガラス質、砂粒を含む	Ⅲ (内径) 1.575(6.19)cm (外径) 1.575(6.19)cm	(内径) ナブ (外径) 縦方向へ横 断面

標記番号	国名	年代	建築形式	用途	位置	形状	材料	特徴	面積 (㎡)	高さ (m)	土	地質	色	装飾	調査経緯・論文	備考
第42期 347	18	C-1	黒色粘土層	住宅土層	溝	口部一部	15%	口部	4.5 (5.2)	1m以下の灰石を含む・砂状多量含む	良	(内層) 10776/42(灰石) (外層) 10776/42(灰石)	(内層) ナズ (外層) ハタラキ			
第42期 348	18上	D-2	黒色粘土層	住宅土層	溝	口部	5%	口部	5.1	1~2m次の灰石・自然石類・黒鉄屑・黒鉄塊	良	(内層) 10764/46(灰石) (外層) 10764/46(灰石)	(内層) ナズ (外層) ハタラキ			
第42期 349	18上	C-1	黒色粘土層	住宅土層	溝	口部一部	5%	口部	11.55 (8.6)	1~2m次の砂・砂状多量含む	良	(内層) 7.5776/42(灰石) (外層) 7.5776/42(灰石)	(内層) ナズ (外層) 壁方ハケ			
第42期 350	18上	C-1	黒色粘土層	住宅土層	溝	口部	3%	口部	15.05 (3.0)	1m以下の灰石・白色石灰含む	良	(内層) 10764/46(灰石) (外層) 10764/46(灰石)	(内層) ナズ (外層) 不明			
第42期 351	18	D-1	黒色粘土層	住宅土層	溝	口部	15%	口部	6.8	1~2m次の灰石・白色石灰多量含む	良	(内層) 10764/46(灰石) (外層) 10764/46(灰石)	(内層) ナズ (外層) 陶文			
第42期 352	19	D-1	黒色粘土層	住宅土層	溝	口部	15%	口部	9.0	1~2m次の灰石・白色石灰多量含む	良	(内層) 10764/46(灰石) (外層) 10764/46(灰石)	(内層) 不明 (外層) 陶文・ヘラ			
第42期 353	18上	C-1	黒色粘土層	住宅土層	溝	口部	7%	口部	5.8	灰石 (1m)・白色石灰 (1~2m) 含む	良	(内層) 10764/46(灰石) (外層) 10764/46(灰石)	(内層) ナズ (外層) 陶文・ヘラ			
第42期 354	18上	C-2	黒色粘土層	住宅土層	溝	口部	7%	口部	5.5	1m以下の灰石・黒鉄屑・黒鉄塊・厚板含む	良	(内層) 10764/46(灰石) (外層) 10764/46(灰石)	(内層) ナズ (外層) 不明			
第42期 355	19	D-1	黒色粘土層	住宅土層	溝	口部	15%	口部	5.1	3~7.5m次の厚板・厚板多量含む	良	(内層) 7.5776/42(灰石) (外層) 7.5776/42(灰石)	(内層) 壁方ハケ (外層) 壁方ハケ			
第42期 356	18上	D-2	黒色粘土層	住宅土層	溝	口部	3%	口部	5.9	1m次の灰石含む・砂状多量含む	良	(内層) 8796/46(灰石) (外層) 10776/42(灰石)	(内層) 不明 (外層) 壁方ハケ			
第42期 357	19	D-1	黒色粘土層	住宅土層	溝	口部一部	15%	口部	3.1 (3.1)	灰石 (1~2m)・黒鉄屑 (2~4m) 多量含む	良	(内層) 2.5776/42(灰石) (外層) 2.5776/42(灰石)	(内層) ナズ (外層) 壁方ハケ			
第42期 358	19	D-1	黒色粘土層	住宅土層	溝	口部一部	20%	口部	8.1 (11.6)	1m以下の灰石・白色石灰多量含む	良	(内層) 2.5776/42(灰石) (外層) 2.5776/42(灰石)	(内層) ナズ (外層) 陶文			
第42期 359	18上	D-1	黒色粘土層	住宅土層	溝	口部	3%	口部	4.0	1m次の灰石・白色石灰多量含む	良	(内層) 2.5776/42(灰石) (外層) 2.5776/42(灰石)	(内層) ナズ (外層) ハタラキ			
第42期 360	18上	B-2	黒色粘土層	住宅土層	溝	口部	1%	口部	4.3	1m次の灰石・自然石含む	良	(内層) 10764/46(灰石) (外層) 10764/46(灰石)	(内層) ナズ (外層) 陶文			
第42期 361	18上	C-2	黒色粘土層	住宅土層	溝	口部	1%	口部	4.7	1m以下の灰石・灰石多量含む	良	(内層) 10764/46(灰石) (外層) 10764/46(灰石)	(内層) ナズ (外層) 陶文			
第42期 362	18上	C-1	黒色粘土層	住宅土層	溝	口部一部	3%	口部	8.1	灰色粘土含む・1m以下の灰石多量含む	良	(内層) 2.5776/42(灰石) (外層) 2.5776/42(灰石)	(内層) ナズ (外層) 灰文			
第42期 363	18上	D-2	黒色粘土層	住宅土層	溝	口部	2%	口部	5.2	1m以下の灰石・灰石・黒鉄屑多量含む	良	(内層) 10764/46(灰石) (外層) 10764/46(灰石)	(内層) ナズ (外層) ハタラキ			
第42期 364	18上	D-1	黒色粘土層	住宅土層	溝	口部	1%	口部	3.6	1m以下の灰石・灰石・黒鉄屑多量含む	良	(内層) 7.5776/42(灰石) (外層) 7.5776/42(灰石)	(内層) ナズ (外層) 陶文			
第42期 365	18上	D-1	黒色粘土層	住宅土層	溝	口部	1%	口部	3.7	1m以下の灰石・白色石灰・黒鉄屑・黒鉄塊・厚板含む	良	(内層) 8796/46(灰石) (外層) 8796/46(灰石)	(内層) ナズ (外層) 陶文			
第42期 366	18上	D-2	黒色粘土層	住宅土層	溝	口部	1%	口部	3.4	1~2m次の灰石・白色石灰・黒鉄屑・黒鉄塊・厚板含む	良	(内層) 2.5664/42(灰石) (外層) 2.5664/42(灰石)	(内層) ナズ (外層) 陶文			
第42期 367	18上	D-2	黒色粘土層	住宅土層	溝	口部	1%	口部	2.6	1m以下の灰石・1m以下の灰石多量含む	良	(内層) 7.5776/42(灰石) (外層) 7.5776/42(灰石)	(内層) ナズ (外層) ハタラキ			
第42期 368	18上	A-1	黒色粘土層	住宅土層	溝	口部一部	1%	口部	3.6	1m以下の灰石・自然石含む	良	(内層) 10764/46(灰石) (外層) 10764/46(灰石)	(内層) ナズ (外層) 壁方ハケ			
第42期 369	18上	D-2	黒色粘土層	住宅土層	溝	口部一部	3%	口部	4.9	1m以下の灰石・白色石灰含む	良	(内層) 10764/46(灰石) (外層) 10764/46(灰石)	(内層) 壁方ハケ (外層) 壁方ハケ			
第42期 370	18上	D-5	黒色粘土層	住宅土層	溝	口部	1%	口部	5.7	1m以下の灰石・白色石灰含む	良	(内層) 2.5776/42(灰石) (外層) 2.5776/42(灰石)	(内層) ナズ (外層) ハタラキ			
第42期 371	18上	D-2	黒色粘土層	住宅土層	溝	口部	1%	口部	3.9	1m以下の灰石多量含む・1m以下の灰石多量含む	良	(内層) 10764/46(灰石) (外層) 10764/46(灰石)	(内層) ナズ (外層) 陶文			
第42期 372	18上	D-1	黒色粘土層	住宅土層	溝	口部一部	7%	口部	16.8	1m以下の灰石・厚板多量含む	良	(内層) 7.5776/42(灰石) (外層) 10764/46(灰石)	(内層) ナズ (外層) 壁方ハケ			
第42期 373	18上	D-1	黒色粘土層	住宅土層	溝	口部	10%	口部	6.1	1~2m次の灰石含む・灰色粘土多量含む	良	(内層) 10764/46(灰石) (外層) 10764/46(灰石)	(内層) 壁方ハケ (外層) 壁方ハケ			
第42期 374	18上	D-2	黒色粘土層	住宅土層	溝	口部	2%	口部	4.3	灰石 (1m)・少量含む	良	(内層) 7.5776/42(灰石) (外層) 7.5776/42(灰石)	(内層) ナズ (外層) 陶文			
第42期 375	18上	D-1	黒色粘土層	住宅土層	溝	口部	2%	口部	6.6	1m以下の灰石・灰石・黒鉄屑多量含む	良	(内層) 2.5776/42(灰石) (外層) 10764/46(灰石)	(内層) 不明 (外層) 陶文			

採出番号	220号 採出 番号	深度 (m)	地層 (層位)	層位	種別	品位	粒度 標準 (mm)	主 成 分	出 産 地	色 澤	特徴・用途・原産地	備考
第403	403	26下	C-1	褐色粘土層	粘土土層	泥	1% 細高 (3.0)	1mm以下の長石・石英多く含む	共 (内層) 2.2796/4に多い (外層) 2.2765/4	(内層) ナダ (外層) 灰白色へう土	(内層) ナダ (外層) 灰白色へう土	
第404	404	26下	C-1	褐色粘土層	粘土土層	泥	1% 細高 (4.3)	1mm以下の長石・石英多く含む	共 (内層) 1.9776/4に多い (外層) 2.2765/4	(内層) ナダ (外層) 灰白色へう土	(内層) ナダ (外層) 灰白色へう土	
第405	405	26下	D-1	褐色粘土層	粘土土層	泥	1% 細高 (4.6)	1mm以下の長石・石英・炭素等少量含む	共 (内層) 4.2373/4 (外層) 2.2765/4	(内層) 不明 (外層) 灰白色へう土	(内層) 不明 (外層) 灰白色へう土	
第406	406	26下	C-1	褐色粘土層	粘土土層	出 産	1% 細高 (3.8)	1mm以下の長石多く含む	共 (内層) 7.5736/4に多い (外層) 2.2765/4	(内層) ナダ (外層) へう土	(内層) ナダ (外層) へう土	
第407	407	26下	D-3	褐色粘土砂層	粘土土層	泥	1% 細高 (3.0)	1mm以下の長石・白色石英・炭素の明を含む	共 (内層) 10.736/4に多い (外層) 10.736/4	(内層) ナダ (外層) へう土	(内層) ナダ (外層) へう土	
第408	410	26下	D-3	褐色粘土砂層	粘土土層	泥	1% 細高 (3.0)	長石 (1~2mm)、白色石英 (0~3mm) 多く、 炭素少量を含む	共 (内層) 10.736/4に多い (外層) 10.736/4	(内層) ナダ (外層) ナダ	(内層) ナダ (外層) ナダ	
第409	411	26下	D-3	褐色粘土砂層	粘土土層	泥	1% 細高 (3.0)	長石 (1mm)、白色石英 (1~2mm)、炭素等 少量を含む	共 (内層) 10.736/4に多い (外層) 10.736/4	(内層) ナダ (外層) ナダ	(内層) ナダ (外層) ナダ	
第410	412	26下	D-2	褐色粘土砂層	粘土土層	出 産	1% 細高 (3.1)	1mm以下の長石・白色石英・炭素等少量含む	共 (内層) 10.736/4に多い (外層) 10.736/4	(内層) ナダ (外層) へう土	(内層) ナダ (外層) へう土	
第411	413	26下	D-2	褐色粘土砂層	粘土土層	出 産	1% 細高 (3.0)	長石 (1mm)、白色石英 (1~2mm)、炭素等 少量を含む	共 (内層) 10.736/4に多い (外層) 10.736/4	(内層) ナダ (外層) ナダ	(内層) ナダ (外層) ナダ	
第412	414	26下	D-2	褐色粘土砂層	粘土土層	出 産	1% 細高 (3.1)	1mm以下の長石・白色石英・炭素等少量含む	共 (内層) 10.736/4に多い (外層) 10.736/4	(内層) ナダ (外層) へう土	(内層) ナダ (外層) へう土	
第413	415	26下	D-2	褐色粘土砂層	粘土土層	出 産	1% 細高 (3.0)	長石 (1mm)、白色石英 (1~2mm)、炭素等 少量を含む	共 (内層) 10.736/4に多い (外層) 10.736/4	(内層) ナダ (外層) ナダ	(内層) ナダ (外層) ナダ	
第414	416	26下	D-2	褐色粘土砂層	粘土土層	出 産	1% 細高 (3.1)	1mm以下の長石・白色石英・炭素等少量含む	共 (内層) 10.736/4に多い (外層) 10.736/4	(内層) ナダ (外層) へう土	(内層) ナダ (外層) へう土	
第415	418	26下	D-2	褐色粘土砂層	粘土土層	出 産	1% 細高 (3.0)	1mm以下の長石・白色石英・炭素等少量含む	共 (内層) 10.736/4に多い (外層) 10.736/4	(内層) ナダ (外層) へう土	(内層) ナダ (外層) へう土	
第416	419	26下	D-2	褐色粘土砂層	粘土土層	出 産	1% 細高 (3.0)	1mm以下の長石・白色石英・炭素等少量含む	共 (内層) 10.736/4に多い (外層) 10.736/4	(内層) ナダ (外層) へう土	(内層) ナダ (外層) へう土	
第417	420	26下	D-2	褐色粘土砂層	粘土土層	出 産	1% 細高 (3.0)	1mm以下の長石・白色石英・炭素等少量含む	共 (内層) 10.736/4に多い (外層) 10.736/4	(内層) ナダ (外層) へう土	(内層) ナダ (外層) へう土	
第418	421	27上	D-2	褐色粘土層	粘土土層	泥	2% 細高 (5.1)	2mm以下の長石・石英多く、1mm以下の石英 少量含む	共 (内層) 10.736/4に多い (外層) 10.736/4	(内層) ナダ (外層) ハク微塵、 へう土	(内層) ナダ (外層) ハク微塵、 へう土	
第419	422	27上	D-1	褐色粘土層	粘土土層	泥	3% 細高 (6.1)	1mm以下の長石多く含む	共 (内層) 10.736/4に多い (外層) 10.736/4	(内層) ナダ (外層) 灰白色へう土	(内層) ナダ (外層) 灰白色へう土	
第420	423	27上	C-2	褐色粘土層	粘土土層	泥	1% 細高 (3.0)	1mm以下の長石・石英多く含む	共 (内層) 10.736/4に多い (外層) 10.736/4	(内層) ナダ (外層) 灰白色へう土	(内層) ナダ (外層) 灰白色へう土	
第421	424	27上	C-2 レ ン タ 内 の 層	褐色粘土層	粘土土層	泥	2% 細高 (4.0)	炭石 (3mm以下)、石英 (1mm以下) 多く含む	共 (内層) 2.574/4 (外層) 10.736/4	(内層) ナダ (外層) 灰白色へう土	(内層) ナダ (外層) 灰白色へう土	
第422	425	27上	D-1	褐色粘土層	粘土土層	泥	1% 細高 (7.1)	1mm以下の長石・石英多く含む	共 (内層) 2.273/4 (外層) 2.274/4	(内層) ナダ (外層) 灰白色へう土	(内層) ナダ (外層) 灰白色へう土	
第423	426	27上	D-1	褐色粘土層	粘土土層	泥	1% 細高 (3.4)	1mm以下の長石・石英多く含む	共 (内層) 2.274/4 (外層) 10.736/4	(内層) ナダ (外層) 灰白色へう土	(内層) ナダ (外層) 灰白色へう土	
第424	427	27上	D-1	褐色粘土層	粘土土層	泥	1% 細高 (4.5)	1mm以下の長石・石英・炭素多く含む	共 (内層) 2.273/4 (外層) 2.274/4	(内層) 不明 (外層) 灰白色へう土	(内層) 不明 (外層) 灰白色へう土	
第425	428	27上	D-1	褐色粘土層	粘土土層	泥	1% 細高 (3.8)	炭素等多く含む、1mm以下の長石・石英含 む	共 (内層) 10.736/4 (外層) 10.736/4	(内層) ナダ (外層) 灰白色へう土	(内層) ナダ (外層) 灰白色へう土	
第426	429	27上	D-1	褐色粘土層	粘土土層	泥	1% 細高 (4.2)	1mm以下の長石・石英・炭素多く含む	共 (内層) 10.736/4に多い (外層) 10.736/4	(内層) ナダ (外層) 灰白色へう土	(内層) ナダ (外層) 灰白色へう土	
第427	430	27上	D-1	褐色粘土層	粘土土層	泥	1% 細高 (2.8)	1mm以下の長石・石英・炭素等多く含む	共 (内層) 10.736/4に多い (外層) 10.736/4	(内層) ナダ (外層) 灰白色へう土	(内層) ナダ (外層) 灰白色へう土	
第428	431	27上	D-1	褐色粘土層	粘土土層	泥	1% 細高 (2.4)	1mm以下の長石・石英・炭素等多く含む	共 (内層) 10.736/4に多い (外層) 10.736/4	(内層) ナダ (外層) へう土	(内層) ナダ (外層) へう土	
第429	432	27上	D-1	褐色粘土層	粘土土層	泥	1% 細高 (4.6)	1mm以下の長石・白色石英含む	共 (内層) 2.273/4に多い (外層) 2.2736/4	(内層) ナダ (外層) 灰白色へう土	(内層) ナダ (外層) 灰白色へう土	
第430	433	27上	D-2	褐色粘土層	粘土土層	泥	1% 細高 (3.8)	1mm以下の長石・白色石英含む	共 (内層) 2.273/4に多い (外層) 2.2736/4	(内層) ナダ (外層) へう土	(内層) ナダ (外層) へう土	

標記番号	道路名称	道路規格	道路種別	用途	構造	舗装	材料	厚さ (cm)	施工	施工	備考	備考		
第43回	463	27下	D-2	黒色粒土層	排水土層	舗装	層状	3%	高嵩 (3.0)	灰岩 (1~2m)、白色石灰 (1m)、4m以下の層状	具	(内側) 10776/912.1m+0.95 (外側) 7.5736/912.1m+0.96	(内側) 不明 (外側) ナダ後ヘラ舗	参照
第43回	464	27下	C-1	黒色粒土層	排水土層	舗装	層状	1%	高嵩 (2.05)	1m以下の白色石灰、石灰を含む	具	(内側) 10776/912.1m+0.95 (外側) 7.5736/912.1m+0.96	(内側) 不明 (外側) ナダ	
第43回	464	27下	D-2	黒色粒土層	排水土層	舗装	層状	3%	高嵩 (3.0)	灰岩、白色石灰 (敷設厚=3m) 含む	具	(内側) 10776/912.1m+0.95 (外側) 7.5736/912.1m+0.96	(内側) ナダ (外側) 同文後ヘラ舗	
第43回	466	27下	D-1	排水土層	排水土層	舗装	層状	3%	高嵩 (3.7)	3m以下の灰石、高嵩多く、1m以下の層状 少量を含む	具	(内側) 10776/912.1m+0.95 (外側) 7.5736/912.1m+0.96	(内側) ナダ (外側) 同文後ヘラ舗	
第43回	467	27下	D-1	排水土層	排水土層	舗装	層状	3%	高嵩 (3.0)	1m以下の灰石、白色石灰、敷設厚3mを含む	具	(内側) 10776/912.1m+0.95 (外側) 7.5736/912.1m+0.96	(内側) ナダ (外側) 同文後ヘラ舗	参照
第43回	468	27下	D-3	排水土層	排水土層	舗装	層状	1%	高嵩 (3.7)	1m以下の灰石、白色石灰を含む	具	(内側) 10776/912.1m+0.95 (外側) 7.5736/912.1m+0.96	(内側) ナダ (外側) 同文後ヘラ舗	
第43回	469	27下	C-1	排水土層	排水土層	舗装	層状	2%	高嵩 (4.5)	1m以下の灰石、石灰、敷設厚多く含む	具	(内側) 10776/912.1m+0.95 (外側) 7.5736/912.1m+0.96	(内側) 排水向ハケ (外側) 同文後ヘラ舗	
第43回	470	27下	D-1	排水土層	排水土層	舗装	層状	3%	高嵩 (3.55)	1m以下の灰石、白色石灰を含む	具	(内側) 10776/912.1m+0.95 (外側) 7.5736/912.1m+0.96	(内側) ナダ (外側) ナダ後ヘラ舗	
第43回	471	27下	D-1	排水土層	排水土層	舗装	層状	1%	高嵩 (4.16)	3m以下の高嵩多く、1m以下の灰石、石灰 少量を含む	具	(内側) 10776/912.1m+0.95 (外側) 7.5736/912.1m+0.96	(内側) 不明 (外側) ナダ後ヘラ舗	
第43回	472	27下	D-1	排水土層	排水土層	舗装	層状	1%	高嵩 (3.7)	1m以下の灰石、石灰、敷設厚少量含む	具	(内側) 10776/912.1m+0.95 (外側) 7.5736/912.1m+0.96	(内側) ナダ (外側) 排水向ハケ後 ヘラ舗	
第43回	473	27下	D-3	排水土層	排水土層	舗装	層状	1%	高嵩 (3.5)	3m以下の灰石、敷設厚3mを含む	具	(内側) 10776/912.1m+0.95 (外側) 7.5736/912.1m+0.96	(内側) 不明 (外側) 排水向ハケ後 舗装	
第43回	474	27下	D-1	排水土層	排水土層	舗装	層状	1%	高嵩 (4.8)	3m以下の灰石、高嵩多く、1m以下の石 、灰色粘土少量含む	具	(内側) 10776/912.1m+0.95 (外側) 7.5736/912.1m+0.96	(内側) ナダ (外側) ヘラミキ後 舗装	
第43回	475	27下	D-1	排水土層	排水土層	舗装	層状	7%	高嵩 (5.33)	3m以下の高嵩多く、1m以下の灰石、石灰 少量を含む	具	(内側) 10776/912.1m+0.95 (外側) 7.5736/912.1m+0.96	(内側) ナダ (外側) 舗装	
第43回	476	27下	D-1	排水土層	排水土層	舗装	層状	5%	高嵩 (8.3)	3m以下の高嵩、高嵩多く、1m以下の灰石 少量を含む	具	(内側) 10776/912.1m+0.95 (外側) 7.5736/912.1m+0.96	(内側) 排水向ハケ後 ナダ (外側) 舗装	
第43回	477	27下	C-1	排水土層	排水土層	舗装	層状	1%	高嵩 (3.8)	1m以下の灰石、石灰、高嵩多く含む	具	(内側) 10776/912.1m+0.95 (外側) 7.5736/912.1m+0.96	(内側) ナダ (外側) ヘラ舗	
第43回	478	27下	C-3	排水土層	排水土層	舗装	層状	1%	高嵩 (3.2)	1m以下の灰石、高嵩多く含む	具	(内側) 10776/912.1m+0.95 (外側) 7.5736/912.1m+0.96	(内側) ナダ (外側) ヘラ舗	
第43回	479	27下	D-5	排水土層	排水土層	舗装	層状	1%	高嵩 (5.0)	灰岩 (1~2m)、白色石灰 (1~2m)、3m 以下の灰色砂土を含む	具	(内側) 10776/912.1m+0.95 (外側) 7.5736/912.1m+0.96	(内側) ナダ (外側) 排水向ハケ後 ヘラ舗	
第43回	480	27下	D-2	排水土層	排水土層	舗装	層状	1%	高嵩 (4.4)	3m以下の灰石、白色石灰多く、高嵩多、敷 設厚3mを含む	具	(内側) 10776/912.1m+0.95 (外側) 7.5736/912.1m+0.96	(内側) ナダ (外側) 舗装	
第43回	481	19	D-2	排水土層	排水土層	舗装	層状	0%	高嵩 (13.1) (13.1)	1m以下の灰石、白色石灰を含む	具	(内側) 7.5736/912.1m+0.95 (外側) 7.5736/912.1m+0.96	(内側) ナダ (外側) ナダ後ヘラ舗 舗装	
第43回	482	19	D-2	排水土層	排水土層	舗装	層状	10%	高嵩 (20.2) (20.6)	1~3m以下の灰石、白色石灰、4m以下の層状 舗装	具	(内側) 10776/912.1m+0.95 (外側) 7.5736/912.1m+0.96	(内側) ナダ (外側) 排水向ハケ後 ヘラ舗舗装	
第43回	483	19	D-2	排水土層	排水土層	舗装	層状	10%	高嵩 (23.0) (23.0)	参照、5m以下の層状多量を含む	具	(内側) 10776/912.1m+0.95 (外側) 7.5736/912.1m+0.96	(内側) 排水向ハケ (外側) 同文後ヘラ舗	
第43回	484	18上	D-1	排水土層	排水土層	舗装	層状	5%	高嵩 (3.7) (3.7)	1~3m以下の灰石、白色石灰少量、高嵩多量 を含む	具	(内側) 10776/912.1m+0.95 (外側) 7.5736/912.1m+0.96	(内側) 不明 (外側) 排水向ハケ	
第43回	485	18上	C-3	排水土層	排水土層	舗装	層状	1%	高嵩 (5.1)	1m以下の白色石灰、石灰を含む	具	(内側) 2.5736/912.1m+0.95 (外側) 10776/912.1m+0.96	(内側) 排水向ハケ後 ナダ (外側) 排水向ハケ	
第43回	486	18上	D-1	排水土層	排水土層	舗装	層状	7%	高嵩 (3.5)	1m以下の灰石、白色石灰、3m以下の層状 を含む	具	(内側) 10776/912.1m+0.95 (外側) 7.5736/912.1m+0.96	(内側) ナダ (外側) 排水向ハケ	
第43回	487	18上	D-1	排水土層	排水土層	舗装	層状	3%	高嵩 (5.1)	1m以下の灰石、白色石灰を含む	具	(内側) 10776/912.1m+0.95 (外側) 7.5736/912.1m+0.96	(内側) 排水向ハケ後 ナダ (外側) 排水向ハケ	
第43回	488	18上	D-2	排水土層	排水土層	舗装	層状	1%	高嵩 (3.5)	3m以下の灰石、白色石灰を含む	具	(内側) 10776/912.1m+0.95 (外側) 7.5736/912.1m+0.96	(内側) 排水向ハケ (外側) 排水向ハケ	
第43回	489	18上	D-1	排水土層	排水土層	舗装	層状	3%	高嵩 (5.26)	灰岩 (1~2m)、白色石灰 (敷設厚=1m) 含む	具	(内側) 7.5736/912.1m+0.95 (外側) 10776/912.1m+0.96	(内側) 排水向ハケ (外側) 排水向ハケ	
第43回	490	18上	D-1	排水土層	排水土層	舗装	層状	1%	高嵩 (3.8)	1m以下の灰石、白色石灰を含む	具	(内側) 10776/912.1m+0.95 (外側) 7.5736/912.1m+0.96	(内側) 排水向ハケ後 (外側) 排水向ハケ	

図面 番号	図面 番号	作業 内容	仕様 等	種別	用途	用途	構造 形式	必要 寸法	備 考	材料	色 別	補注等、施工 備考
第46回	491	25.1	D-1	黒色粘土層	赤土土留	掘	口除脚	1%	掘削 (3.8)	1m次の長径・白色砂質粘土	丸 (内径) 7.5Y30(1)鋼巻 (外径) 7.5Y30(2)鋼巻	(内径) 掘削方向 (外径) 掘削方向
第46回	492	25.1	D-2	褐色砂礫層	赤土土留	掘	口除脚	1%	掘削 (3.8)	埋設管埋設時、1m次の長径・白色砂質粘土	丸 (内径) 8Y30(1)鋼巻 (外径) 8Y30(2)鋼巻	(内径) 掘削方向 (外径) 掘削方向
第46回	493	25.1	D-1	黒色粘土層	赤土土留	掘	口除脚	1%	掘削 (3.8)	1m次の長径・白色砂質粘土	丸 (内径) 7.5Y30(1)鋼巻 (外径) 7.5Y30(2)鋼巻	(内径) ナブ (外径) ナブ
第46回	494	25.1	D-2	褐色砂礫層	赤土土留	掘	口除脚	1%	掘削 (3.8)	1m次の長径・白色砂質粘土	丸 (内径) 8Y30(1)鋼巻 (外径) 8Y30(2)鋼巻	(内径) ナブ (外径) ナブ
第46回	495	25.1	D-1	黒色粘土層	赤土土留	掘	口除脚	1%	掘削 (3.8)	1m次の長径・白色砂質粘土	丸 (内径) 7.5Y30(1)鋼巻 (外径) 7.5Y30(2)鋼巻	(内径) ナブ (外径) 掘削方向
第46回	496	25.1	D-2	褐色砂礫層	赤土土留	掘	口除脚	1%	掘削 (3.7)	1m次の長径・白色砂質粘土	丸 (内径) 8Y30(1)鋼巻 (外径) 8Y30(2)鋼巻	(内径) 掘削方向 (外径) 掘削方向
第46回	497	25.1	D-1	黒色粘土層	赤土土留	掘	口除脚	0%	掘削 (3.3)	径1 (1m)・白色砂質 (1~2m) 粘土	丸 (内径) 7.5Y30(1)鋼巻 (外径) 7.5Y30(2)鋼巻	(内径) 掘削方向 (外径) 掘削方向
第46回	498	25.1	D-2	褐色砂礫層	赤土土留	掘	口除脚	1%	掘削 (4.2)	1m次の長径・白色砂質粘土・2m次の埋設 管	丸 (内径) 8.5Y30(1)鋼巻 (外径) 8.5Y30(2)鋼巻	(内径) 掘削方向 (外径) 掘削方向
第46回	499	25.1	C-1	黒色粘土層	赤土土留	掘	口除脚	1%	掘削 (5.0)	径1 (1m)・白色砂質 (1~2m) 粘土	丸 (内径) 8Y30(1)鋼巻 (外径) 8Y30(2)鋼巻	(内径) 掘削方向 (外径) 掘削方向
第46回	500	25.1	C-1	黒色粘土層	赤土土留	掘	口除脚	1%	掘削 (4.4)	1m次の長径・白色砂質・7m次の埋設管	丸 (内径) 10Y30(1)鋼巻 (外径) 10Y30(2)鋼巻	(内径) 掘削方向 (外径) 掘削方向
第46回	501	25.1	D-2	褐色砂礫層	赤土土留	掘	口除脚	1%	掘削 (3.7)	埋設管・1m次の長径・白色砂質粘土	丸 (内径) 8Y30(1)鋼巻 (外径) 8Y30(2)鋼巻	(内径) ナブ (外径) 掘削方向
第46回	502	25.1	D-2	褐色砂礫層	赤土土留	掘	口除脚	1%	掘削 (4.2)	1m次の長径・白色砂質粘土	丸 (内径) 10Y30(1)鋼巻 (外径) 10Y30(2)鋼巻	(内径) 掘削方向 (外径) ナブ
第46回	503	25.1	D-2	褐色砂礫層	赤土土留	掘	口除脚	1%	掘削 (3.8)	埋設管埋設時、1m次の長径・白色砂質粘土	丸 (内径) 7.5Y30(1)鋼巻 (外径) 7.5Y30(2)鋼巻	(内径) 掘削方向 (外径) 掘削方向
第47回	504	25.1	D-1	褐色砂礫層	赤土土留	掘	口除脚	0%	掘削 (5.7)	径1 (1~2m)・白色砂質 (1~2m) 粘土 粘土	丸 (内径) 7.5Y30(1)鋼巻 (外径) 7.5Y30(2)鋼巻	(内径) 掘削方向 (外径) 掘削方向
第47回	505	25.1	D-2	褐色砂礫層	赤土土留	掘	口除脚	1%	掘削 (5.3)	1~2m次の長径・白色砂質粘土	丸 (内径) 7.5Y30(1)鋼巻 (外径) 7.5Y30(2)鋼巻	(内径) ナブ (外径) 掘削方向
第47回	506	25.1	D-1	黒色粘土層	赤土土留	掘	口除脚	0%	掘削 (5.3)	1m次の長径・白色砂質粘土	丸 (内径) 7.5Y30(1)鋼巻 (外径) 7.5Y30(2)鋼巻	(内径) ナブ (外径) 掘削方向
第47回	507	25.1	D-2	褐色砂礫層	赤土土留	掘	口除脚	1%	掘削 (4.3)	1m次の長径・白色砂質粘土	丸 (内径) 7.5Y30(1)鋼巻 (外径) 7.5Y30(2)鋼巻	(内径) ナブ (外径) 掘削方向
第47回	508	25.1	D-1	褐色砂礫層	赤土土留	掘	口除脚	1%	掘削 (7.0)	1~2m次の長径粘土	丸 (内径) 7.5Y30(1)鋼巻 (外径) 7.5Y30(2)鋼巻	(内径) ナブ (外径) 掘削方向
第47回	509	25.1	D-2	褐色砂礫層	赤土土留	掘	口除脚	0%	掘削 (30.2)	2m以下の埋設管・1m以下の埋設管	丸 (内径) 2.5Y30(1)鋼巻 (外径) 2.5Y30(2)鋼巻	(内径) 掘削方向 (外径) 掘削方向
第47回	510	25.1	D-2	褐色砂礫層	赤土土留	掘	口除脚	1%	掘削 (4.3)	径1 (1m)・白色砂質 (1~2m)・2m次の 埋設管	丸 (内径) 10Y30(1)鋼巻 (外径) 10Y30(2)鋼巻	(内径) 掘削方向 (外径) 掘削方向
第47回	511	25.1	D-1	褐色砂礫層	赤土土留	掘	口除脚	1%	掘削 (3.6)	埋設管埋設時、1m次の長径・白色砂質粘土	丸 (内径) 8Y30(1)鋼巻 (外径) 8Y30(2)鋼巻	(内径) ナブ (外径) 掘削方向
第47回	512	25.1	D-1	褐色砂礫層	赤土土留	掘	口除脚	1%	掘削 (3.6)	1m次の長径・白色砂質粘土	丸 (内径) 10Y30(1)鋼巻 (外径) 10Y30(2)鋼巻	(内径) ナブ (外径) 掘削方向
第47回	513	25.1	D-1	黒色粘土層	赤土土留	掘	口除脚	1%	掘削 (4.8)	1m次の長径・白色砂質粘土	丸 (内径) 7.5Y30(1)鋼巻 (外径) 7.5Y30(2)鋼巻	(内径) 掘削方向 (外径) 掘削方向
第47回	514	25.1	D-1	褐色砂礫層	赤土土留	掘	口除脚	1%	掘削 (3.8)	1m次の長径・白色砂質粘土	丸 (内径) 7.5Y30(1)鋼巻 (外径) 7.5Y30(2)鋼巻	(内径) ナブ (外径) ナブ
第47回	515	25.1	D-1	黒色粘土層	赤土土留	掘	口除脚	1%	掘削 (4.6)	径1 (1~2m)・白色砂質 (1m) 粘土	丸 (内径) 7.5Y30(1)鋼巻 (外径) 7.5Y30(2)鋼巻	(内径) ナブ (外径) ナブ
第47回	516	25.1	D-1	褐色砂礫層	赤土土留	掘	口除脚	1%	掘削 (3.5)	1m次の長径・白色砂質粘土	丸 (内径) 7.5Y30(1)鋼巻 (外径) 7.5Y30(2)鋼巻	(内径) ナブ (外径) ナブ
第47回	517	25.1	C-1	黒色粘土層	赤土土留	掘	口除脚	0%	掘削 (6.3)	1m次の長径・白色砂質粘土	丸 (内径) 10Y30(1)鋼巻 (外径) 10Y30(2)鋼巻	(内径) 掘削方向 (外径) 掘削方向
第47回	518	25.1	D-1	褐色砂礫層	赤土土留	掘	口除脚	0%	掘削 (6.6)	1m次の長径・白色砂質粘土	丸 (内径) 10Y30(1)鋼巻 (外径) 10Y30(2)鋼巻	(内径) 掘削方向 (外径) 掘削方向
第47回	519	25.1	D-1	褐色砂礫層	赤土土留	掘	口除脚	0%	掘削 (6.6)	1m次の長径・白色砂質粘土	丸 (内径) 10Y30(1)鋼巻 (外径) 10Y30(2)鋼巻	(内径) ナブ (外径) ナブ

標高 番号	緯度 経度	方位 傾斜	地質 地層	地質 種別	地質 名称	傾斜 割合	地質 厚さ (mm)	地質 説明	地質 色澤	地質 特徴・異点	備考
第47回 510	38°下	D-2	褐色粘土層	新成土層	泥	1層部	3% 褐色 (4.8)	1m次の長石・白色石英含む	赤	(内側) 10736/21.2m (外側) 10736/21.2m	(内側) ナズ (外側) ナズ像へナズ
第47回 511	38°下	C-1	褐色粘土層	新成土層	泥	1層部	3% 褐色 (4.0)	1m次の長石・白色石英含む	赤	(内側) 10737/21.2m (外側) 10737/21.2m	(内側) ナズ (外側) ナズ像へナズ
第47回 522	38°下	D-1	褐色粘土層	新成土層	泥	1層部	3% 褐色 (5.5)	長石 (1~2m)、白色石英 (1~2m) 含む	赤	(内側) 10736/21.2m (外側) 10736/21.2m	(内側) ナズ (外側) ナズ像へナズ
第47回 523	38°下	D-3	褐色粘土層	新成土層	泥	1層部	1% 褐色 (5.1)	1m次の長石・白色石英少量含む	赤	(内側) 7.0736/21.2m (外側) 7.0736/21.2m	(内側) ナズ (外側) ナズ像へナズ
第47回 524	38°下	D-1	褐色粘土層	新成土層	泥	1層部	1% 褐色 (5.4)	1m次の長石・白色石英少量含む	赤	(内側) 10737/21.2m (外側) 10737/21.2m	(内側) ナズ (外側) ナズ像へナズ
第47回 525	38°下	D-1	褐色粘土層	新成土層	泥	1層部	5% 褐色 (7.0)	1m以下の長石・白色石英少量含む	赤	(内側) 10736/21.2m (外側) 10736/21.2m	(内側) 縦方向ハナズ (外側) ハナズ像
第47回 526	38°下	C-1	褐色粘土層	新成土層	泥	1層部	3% 褐色 (4.9)	長石 (1~2m)、白色石英 (1m) 含む	赤	(内側) 7.0736/21.2m (外側) 7.0736/21.2m	(内側) ナズ (外側) 縦方向ハナズ
第47回 527	38°下	D-2	褐色粘土層	新成土層	泥	1層部	1% 褐色 (4.9)	1~2m次の長石・白色石英少量含む	赤	(内側) 10736/21.2m (外側) 10736/21.2m	(内側) ナズ (外側) ナズ像へナズ
第47回 528	38°下	C-1	褐色粘土層	新成土層	泥	1層部	3% 褐色 (5.0)	長石 (1~2m)、白色石英 (1m) 含む	赤	(内側) 7.0736/21.2m (外側) 7.0736/21.2m	(内側) ナズ (外側) ハナズ像
第47回 529	38°下	D-2	褐色粘土層	新成土層	泥	1層部	3% 褐色 (7.0)	1~1.5m次の長石・白色石英少量含む	赤	(内側) 10736/21.2m (外側) 10736/21.2m	(内側) 縦方向ハナズ (外側) ナズ像へナズ
第47回 530	38°下	D-1	褐色粘土層	新成土層	泥	1層部	2% 褐色 (4.1)	1m以下の長石・白色石英少量含む	赤	(内側) 10736/21.2m (外側) 10736/21.2m	(内側) 縦方向ハナズ (外側) ハナズ像
第47回 531	38°上	B-2	褐色粘土層	新成土層	泥	1層部	5% 褐色 (1.25) 褐色 (5.6)	長石・白色石英少量含む	赤	(内側) 10737/21.2m (外側) 10737/21.2m	(内側) ナズ
第47回 532	38°上	B-2	褐色粘土層	新成土層	泥	1層部	10% 褐色 (3.6) 褐色 (7.4)	砂粒・1m次の長石少量含む	赤	(内側) 7.0736/21.2m (外側) 7.0736/21.2m	(内側) 不明 赤褐色
第47回 533	38°下	C-1	褐色粘土層	新成土層	泥	1層部	3% 褐色 (5.0) 褐色 (5.9)	1m次の長石・白色石英含む	赤	(内側) 10736/21.2m (外側) 2.5736/21.2m	(内側) 不明 (外側) 縦方向ハナズ
第47回 534	38°上	C-1	褐色粘土層	新成土層	泥	1層部	10% 褐色 (4.2) 褐色 (5.2)	1m次の長石・白色石英・1~3m次の石英含む	赤	(内側) 7.0736/21.2m (外側) 7.0736/21.2m	(内側) 不明 (外側) 不明
第47回 535	38°上	C-1	褐色粘土層	新成土層	泥	1層部	10% 褐色 (4.2) 褐色 (6.2)	1m次の長石・白色石英含む	赤	(内側) 7.0736/21.2m (外側) 10737/21.2m	(内側) 不明 (外側) 縦方向ハナズ
第47回 536	38°下	C-1	褐色粘土層	新成土層	泥	1層部	10% 褐色 (3.2) 褐色 (4.1)	粘土位を含む・1m次の長石・白色石英少量含む	赤	(内側) 2.5736/21.2m (外側) 10737/21.2m	(内側) 不明 (外側) 不明
第47回 537	38°下	C-1	褐色粘土層	新成土層	泥	1層部	10% 褐色 (4.1) 褐色 (5.0)	1m次の長石・白色石英少量含む	赤	(内側) 7.0736/21.2m (外側) 7.0736/21.2m	(内側) 縦方向ハナズ (外側) ハナズ像
第47回 538	38°上	C-1	褐色粘土層	新成土層	泥	1層部	10% 褐色 (3.1) 褐色 (6.7)	1m次の長石・白色石英少量含む	赤	(内側) 2.5736/21.2m (外側) 10737/21.2m	(内側) 不明 (外側) 縦方向ハナズ
第47回 539	38°下	C-1	褐色粘土層	新成土層	泥	1層部	3% 褐色 (2.3)	1m以下の長石・白色石英少量含む	赤	(内側) 10736/21.2m (外側) 9736/21.2m	(内側) ナズ (外側) ハナズ
第47回 540	38°上	D-1	褐色粘土層	新成土層	泥	1層部	10% 褐色 (1.4) 褐色 (5.5)	1~2m次の長石・白色石英少量含む	赤	(内側) 7.0736/21.2m (外側) 7.0736/21.2m	(内側) 不明 (外側) 縦方向ハナズ
第47回 541	38°上	D-1	褐色粘土層	新成土層	泥	1層部	10% 褐色 (7.4) 褐色 (7.1)	1~2m次の長石・白色石英少量含む	赤	(内側) 10736/21.2m (外側) 10736/21.2m	(内側) ナズ (外側) 縦方向ハナズ
第47回 542	38°上	D-1	褐色粘土層	新成土層	泥	1層部	10% 褐色 (3.8) 褐色 (6.5)	1m次の長石・白色石英含む	赤	(内側) 10736/21.2m (外側) 10736/21.2m	(内側) 不明 (外側) 縦方向ハナズ
第47回 543	38°上	D-1	褐色粘土層	新成土層	泥	1層部	10% 褐色 (3.7) 褐色 (7.1)	長石 (1m)、白色石英 (1~2m) 含む	赤	(内側) 10737/21.2m (外側) 10737/21.2m	(内側) ハナズ (外側) ハナズ像へナズ
第47回 544	38°上	D-1	褐色粘土層	新成土層	泥	1層部	10% 褐色 (5.1) 褐色 (5.2)	砂粒・1~3m次の長石少量含む	赤	(内側) 9736/21.2m (外側) 10737/21.2m	(内側) 縦方向ハナズ (外側) 不明
第47回 545	38°上	D-1	褐色粘土層	新成土層	泥	1層部	7% 褐色 (5.1) 褐色 (6.0)	1m次の長石・白色石英・褐色砂粒少量含む	赤	(内側) 10736/21.2m (外側) 2.5736/21.2m	(内側) ナズ (外側) ハナズ像
第47回 546	38°上	D-1	褐色粘土層	新成土層	泥	1層部	10% 褐色 (5.8) 褐色 (7.2)	砂粒・1~3m次の長石少量含む	赤	(内側) 10737/21.2m (外側) 9736/21.2m	(内側) 不明 (外側) 縦方向ハナズ
第47回 547	38°上	D-1	褐色粘土層	新成土層	泥	1層部	10% 褐色 (4.1) 褐色 (5.5)	長石 (1m)、白色石英 (1~2m) 含む	赤	(内側) 7.0736/21.2m (外側) 7.0736/21.2m	(内側) ナズ (外側) 縦方向ハナズ
第47回 548	38°上	D-1	褐色粘土層	新成土層	泥	1層部	10% 褐色 (5.2) 褐色 (5.4)	1m次の長石・白色石英少量含む	赤	(内側) 7.0736/21.2m (外側) 9736/21.2m	(内側) 縦方向ハナズ (外側) 不明

邦画 番号	邦画 題名	年次 加算 番号	監督 (注)1)	原 作	脚 本	製 作	種 別	映 画 長さ (分)	映 画 長さ (分)	特 長	備 考	
第44回	349	29	D-1	黒色犯罪誌	伊藤士郎	東映	探偵	104	探偵 (7.3) 活劇 (8.6)	黒人の検知、白色犯罪小説、華殺多々 (邦画) 1077021,101-100 (邦画) 1077021,101-100	(邦画) 黒人 (邦画) 黒人 (邦画) 黒人	本邦版
第45回	350	29-1	D-1	黒色犯罪誌	伊藤士郎	東映	探偵	154	探偵 (7.7) 活劇 7.1	黒人の検知、白色犯罪小説 (邦画) 2757021,101-100 (邦画) 2757021,101-100	(邦画) ナゾ (邦画) 黒人 (邦画) 黒人	本邦版
第46回	351	28-1	D-1	黒色犯罪誌	伊藤士郎	東映	探偵	94	探偵 (6.13) 活劇 (6.2)	長谷川、探偵、5-7kmの探多々 (邦画) 1077021,101-100 (邦画) 1077021,101-100	(邦画) 探偵 (邦画) 探偵	本邦版
第47回	352	29-2	D-1	黒色犯罪誌	伊藤士郎	東映	探偵	74	探偵 (5.2) 活劇 (5.2)	長谷川、白色探偵、5-7kmの探多々 (邦画) 2757021,101-100 (邦画) 2757021,101-100	(邦画) ナゾ (邦画) 不明	本邦版
第48回	353	29-1	D-1	黒色犯罪誌	伊藤士郎	東映	探偵	104	探偵 (4.7) 活劇 (7.8)	長谷川 (1-2km)、白色探偵 (1-3km) 多々 (邦画) 2757021,101-100 (邦画) 2757021,101-100	(邦画) ナゾ (邦画) 探偵	本邦版
第49回	354	29-7	D-1	黒色犯罪誌	伊藤士郎	東映	探偵	94	探偵 (4.2) 活劇 (7.26)	長谷川、探偵、1-3kmの探多々 (邦画) 1077021,101-100 (邦画) 1077021,101-100	(邦画) ナゾ (邦画) 不明	本邦版
第50回	355	29-1	D-2	黒色犯罪誌	伊藤士郎	東映	探偵	54	探偵 (7.0) 活劇 (7.6)	長谷川、探偵、黒色探偵多々 (邦画) 3745021,101-100 (邦画) 3745021,101-100	(邦画) ナゾ (邦画) 探偵	本邦版
第51回	356	28-1	D-2	黒色犯罪誌	伊藤士郎	東映	探偵	54	探偵 (3.2) 活劇 7.26	長谷川、黒色探偵、探偵多々 (邦画) 1077021,101-100 (邦画) 1077021,101-100	(邦画) ナゾ (邦画) ナゾ	本邦版
第52回	357	29-1	D-2	黒色犯罪誌	伊藤士郎	東映	探偵	64	探偵 (3.0) 活劇 8.7	長谷川、黒色探偵、探偵多々 (邦画) 2757021,101-100 (邦画) 2757021,101-100	(邦画) ナゾ (邦画) 探偵	本邦版
第53回	358	29-1	D-1	探偵小説の探偵	伊藤士郎	東映	探偵	74	探偵 (2.9) 活劇 (6.4)	長谷川 (1km)、黒色探偵 (6km) 多々 (邦画) 1077021,101-100 (邦画) 1077021,101-100	(邦画) ナゾ (邦画) 探偵	本邦版
第54回	359	29-2	D-2	黒色犯罪誌	伊藤士郎	東映	探偵	174	探偵 (4.96) 活劇 8.2	長谷川、探偵多々 (邦画) 1077021,101-100 (邦画) 1077021,101-100	(邦画) ナゾ (邦画) 探偵	本邦版
第55回	360	29-1	D-1	黒色犯罪誌	伊藤士郎	東映	探偵	54	探偵 (2.3) 活劇 6.6	探偵、2kmの探多々 (邦画) 2757021,101-100 (邦画) 2757021,101-100	(邦画) ナゾ (邦画) 不明	本邦版
第56回	361	29-1	D-1	探偵小説の探偵	伊藤士郎	東映	探偵	104	探偵 (3.3) 活劇 7.54	探偵、5-7kmの探多々 (邦画) 2757021,101-100 (邦画) 2757021,101-100	(邦画) 不明 (邦画) 探偵	本邦版
第57回	362	29-7	D-1	黒色犯罪誌	伊藤士郎	東映	探偵	74	探偵 (5.1) 活劇 5.75	長谷川、長谷川、探偵、黒色探偵多々 (邦画) 1077021,101-100 (邦画) 1077021,101-100	(邦画) ナゾ (邦画) 探偵	本邦版
第58回	363	29-1	D-1	探偵小説の探偵	伊藤士郎	東映	探偵	54	探偵 (4.1) 活劇 (7.2)	探偵小説、探偵多々 (邦画) 2757021,101-100 (邦画) 2757021,101-100	(邦画) ナゾ (邦画) 探偵	本邦版
第59回	364	29-1	D-2	探偵小説の探偵	伊藤士郎	東映	探偵	24	探偵 (3.9) 活劇 (5.2)	探偵、1-3kmの探多々、白色探偵多々 (邦画) 2757021,101-100 (邦画) 1077021,101-100	(邦画) ナゾ (邦画) 探偵	本邦版
第60回	365	29-7	D-1	探偵小説の探偵	伊藤士郎	東映	探偵	54	探偵 (4.2) 活劇 (5.4)	探偵、探偵多々 (邦画) 2757021,101-100 (邦画) 2757021,101-100	(邦画) ナゾ (邦画) 探偵	本邦版
第61回	366	29-2	D-2	探偵小説の探偵	伊藤士郎	東映	探偵	64	探偵 (3.8) 活劇 (6.2)	長谷川、探偵小説、探偵多々 (邦画) 2757021,101-100 (邦画) 2757021,101-100	(邦画) ナゾ (邦画) 探偵	本邦版
第62回	367	29-7	不明	探偵小説の探偵	伊藤士郎	東映	探偵	24	探偵 (4.4) 活劇 (2.94)	探偵、3kmの探多々 (邦画) 2757021,101-100 (邦画) 2757021,101-100	(邦画) ナゾ (邦画) 探偵	本邦版
第63回	368	29-7	C-1	探偵小説の探偵	伊藤士郎	東映	探偵	34	探偵 (5.4) 活劇 (5.9)	黒人の長谷川、白色探偵多々 (邦画) 2757021,101-100 (邦画) 1077021,101-100	(邦画) 探偵 (邦画) 探偵	本邦版
第64回	369	29-1	D-1	探偵小説の探偵	伊藤士郎	東映	探偵	104	探偵 (2.3) 活劇 7.1	探偵、探偵、探 (1-3km) 多々 (邦画) 2757021,101-100 (邦画) 2757021,101-100	(邦画) 探偵 (邦画) 不明	本邦版
第65回	370	29-1	D-1	探偵小説の探偵	伊藤士郎	東映	探偵	94	探偵 (1.13) 活劇 (6.4)	1-3kmの白色探偵、探偵多々 (邦画) 1077021,101-100 (邦画) 2757021,101-100	(邦画) 探偵 (邦画) 探偵	本邦版
第66回	371	29-7	D-1	探偵小説の探偵	伊藤士郎	東映	探偵	34	探偵 (5.0) 活劇 (6.4)	探偵、黒色探偵、3kmの探多々 (邦画) 1077021,101-100 (邦画) 1077021,101-100	(邦画) 探偵 (邦画) 探偵	本邦版
第67回	372	29-7	D-1	探偵小説の探偵	伊藤士郎	東映	探偵	104	探偵 (5.0) 活劇 (6.4)	探偵、黒色探偵多々 (邦画) 1077021,101-100 (邦画) 1077021,101-100	(邦画) ナゾ (邦画) 探偵	本邦版
第68回	373	29-7	C-1	探偵小説の探偵	伊藤士郎	東映	探偵	54	探偵 (7.5) 活劇 (7.4)	1-3kmの探多々 (邦画) 2757021,101-100 (邦画) 2757021,101-100	(邦画) 不明 (邦画) 探偵	本邦版
第69回	374	29-7	D-1	探偵小説の探偵	伊藤士郎	東映	探偵	104	探偵 (3.4)	黒人の長谷川、白色探偵、4kmの探多々 (邦画) 1077021,101-100 (邦画) 1077021,101-100	(邦画) ナゾ (邦画) 探偵	本邦版
第70回	375	29-7	C-1	探偵小説の探偵	伊藤士郎	東映	探偵	34	探偵 (4.8) 活劇 (3.5)	黒人の長谷川、探偵、探偵多々 (邦画) 2757021,101-100 (邦画) 2757021,101-100	(邦画) ナゾ (邦画) ナゾ	本邦版
第71回	376	29-1	D-2	探偵小説の探偵	伊藤士郎	東映	探偵	24	探偵 (2.0) 活劇 8.7	3kmの白色探偵 (邦画) 2757021,101-100 (邦画) 2757021,101-100	(邦画) ナゾ (邦画) ナゾ	本邦版
第72回	377	29-1	B-2	探偵小説の探偵	伊藤士郎	東映	探偵	54	探偵 (2.0) 活劇 (8.4)	黒人の長谷川 (邦画) 1077021,101-100 (邦画) 1077021,101-100	(邦画) ナゾ (邦画) ナゾ	本邦版

2 石 器

出土した石器の内訳は、敲石18点、凹石10点、砥石21点、太型蛤刃石斧6点（うち未製品4点）、柱状片刃石斧9点（うち未製品5点）、扁平片刃石斧（完成品）19点、乳棒状磨製石斧1点、石鎌7点（うち未製品5点）、石剣1点、打製刃器4点、石錘7点（有溝石錘3点、有頭石錘4点）、石斧未製品34点である。このうち、未製品を含む石製品について全て図化を行い、その他の石材と割片については写真図版にのみ掲載を行っている。

敲石（第50図1～第53図18）

1～18は敲石である。1・2は卵型の礫の周辺を敲いている。3は扁平な円礫の周辺全体を敲いており、一部が破損している。4は円錐形の礫の上下端を敲いている。5～7は扁平な楕円礫の下端部及び側面を敲いており、中央部に凹みが見られる。いずれも上端部は破損している。8は扁平な台形状の自然礫の下端部を敲いている。9・10は楕円形の礫の周辺全体を敲いている。10は上下端部が剥離している。11・12は扁平な楕円礫の上下端を敲いている。13は扁平な楕円礫の側面を敲いており、中央部に凹みが見られる。12・13は上端部を破損している。14は細長い礫の上下端部を敲いている。15～17は扁平な円礫の周辺を敲いている。18は卵形の礫の周辺を敲いており、中央部及び側面に凹みが見られる。

凹石（第54図19～第56図28）

19～28は凹石である。19～22は扁平な楕円礫の周辺を敲いており、裏面の中央部が凹んでいる。20は左右の側面にも凹みが見られる。23・24は扁平な円礫の周辺を敲いており、中央部に凹みが見られる。25～28は扁平な円礫の中央部が凹んでおり、中央部で大きく破損している。

砥石（第56図29～第60図49）

29～42は据え置き型の砥石と見られる。32を除くいずれも側面に破損が見られる。29は最大長24cmの大型の礫の裏裏面を使用しており、裏面にはススの付着が見られる。30～32は最大長15cm程度の大型の扁平な礫の裏裏面を使用している。33・35・37～39は扁平な礫の表面を使用している。34は扁平な礫の表面と側面を使用している。37は側面に敲打痕が見られる。39は表面に浅い溝が観察される。

43～49は手持ちの砥石と見られる。43は上半部側面を加工している。44は表面及び側面を使用している。45～49は両手であり、表面もしくは裏裏面を使用している。44・46は全面が研磨されている。44・47・48は下端が欠損している。46・49は側面が破損している。49は表面にススの付着が見られる。

太型蛤刃石斧（第61図50～第62図55）

50・51は太型蛤刃石斧の完形品である。裏裏面・側面及び刃部に敲打痕が残り、敲石に転用されている可能性が考えられる。52～55は太型蛤刃石斧の未製品である。いずれも敲打による整形が行われており、上半部を折損している。下端部には両面からの剥離が加わっている。

柱状片刃石斧（第63図56～第64図64）

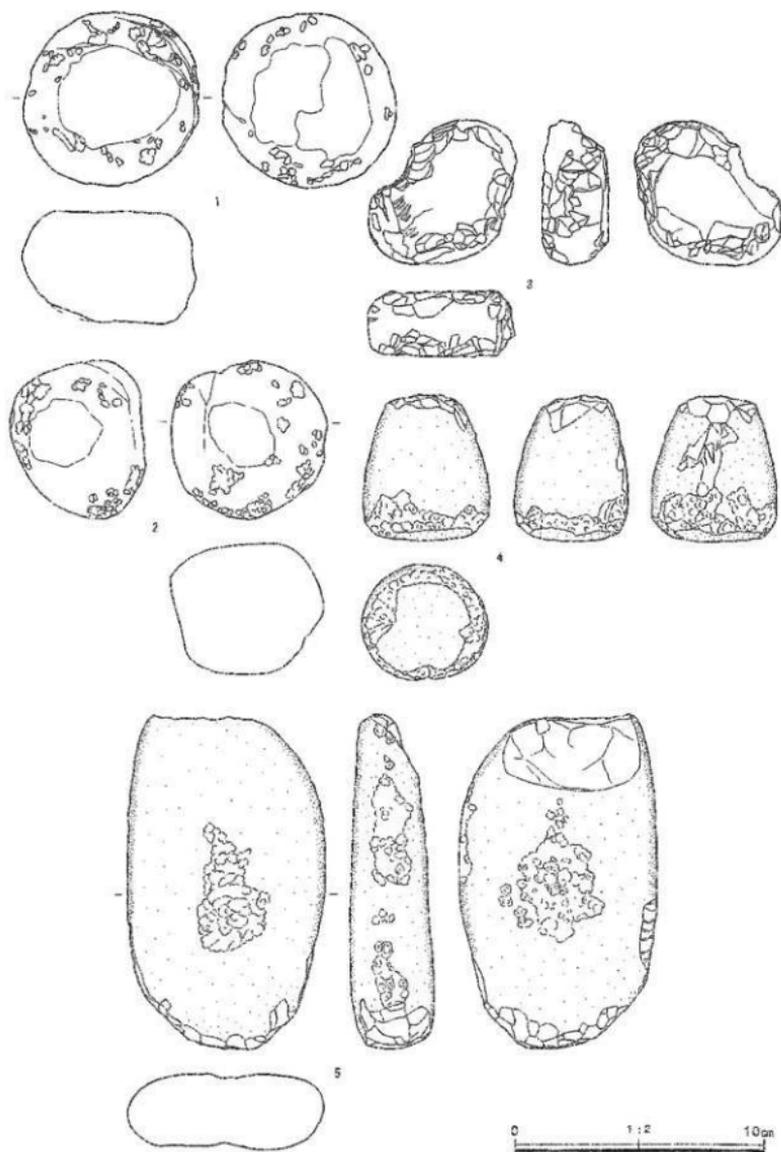
56～59は柱状片刃石斧の完形品である。各面に研磨を施し、刃部を研ぎ出している。56・57・59は使用による刃こぼれが見られる。58は上半部を折損している。60～64は未製品であり、60～63は胴部で折損している。60は刃部及び側面に研磨が施されている。

扁平片刃石斧（第65図65～第66図83）

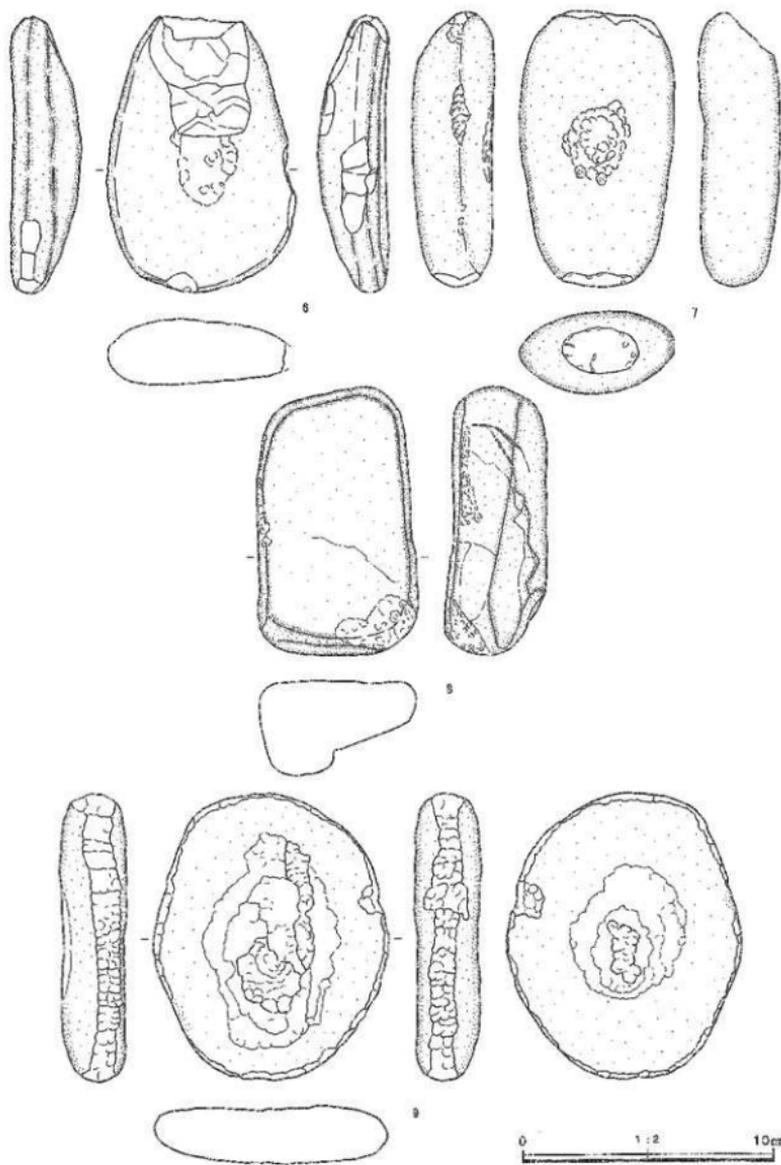
65～83は扁平片刃石斧の完形品である。全体に研磨を施し、一部に剥離面が残る。69～71・73～80は基部を折損している。65・68・72は刃部が破損している。69～71は刃こぼれが見られる。

片刃石斧未製品（第69図104～第74図137、写真図版36-138～37-180）

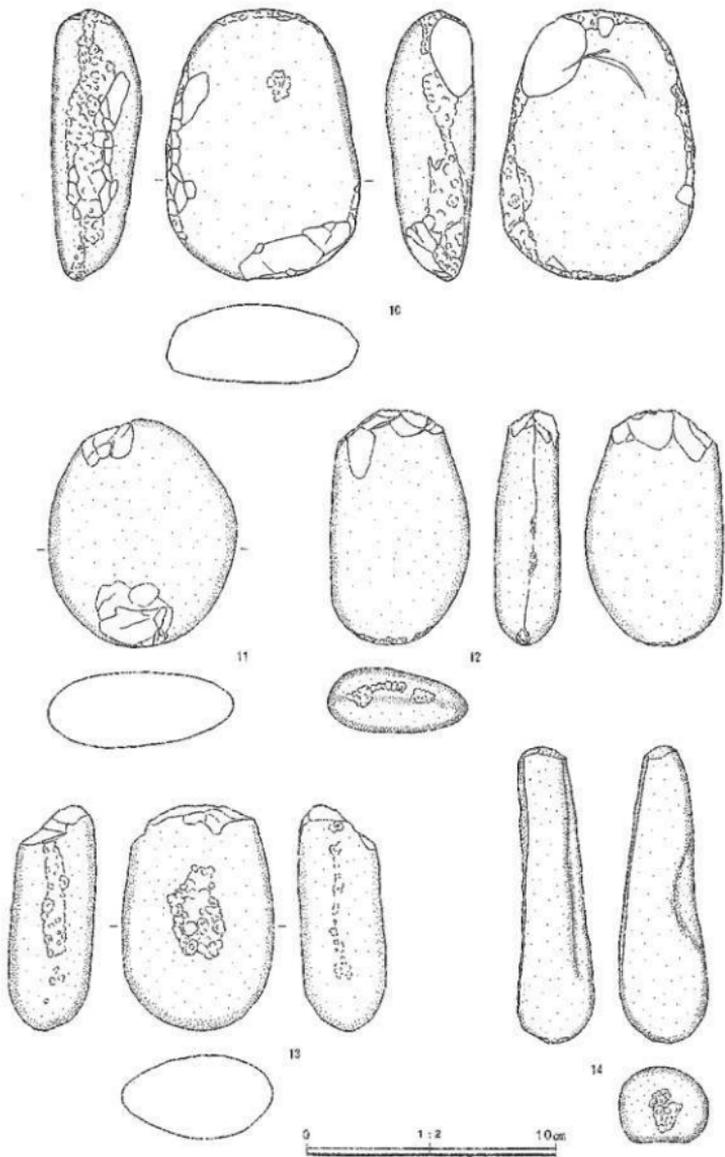
104～137は片刃石斧の未製品と見られる。116～137は石材を荒削りした段階の資料であり、一部に自然面を残す資料が多く見られる。119・125・129・131・132・134は表面及び側端の一部に研磨が施され



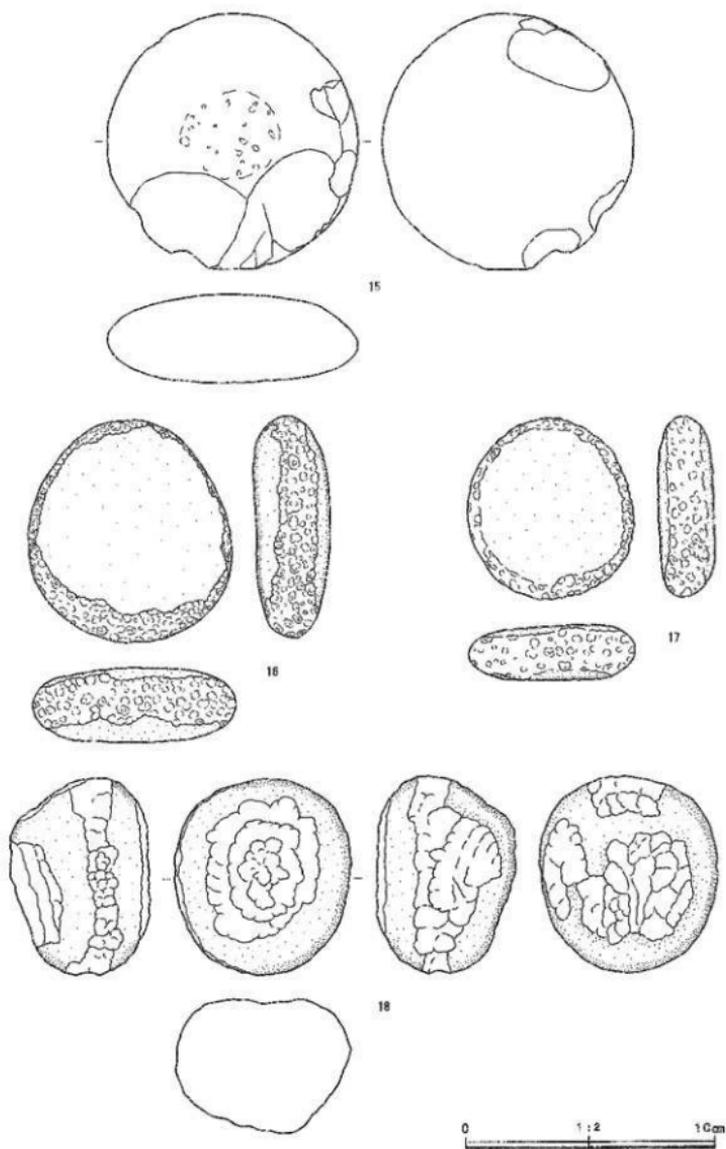
第50圖 敲石1



第51圖 扇石 2

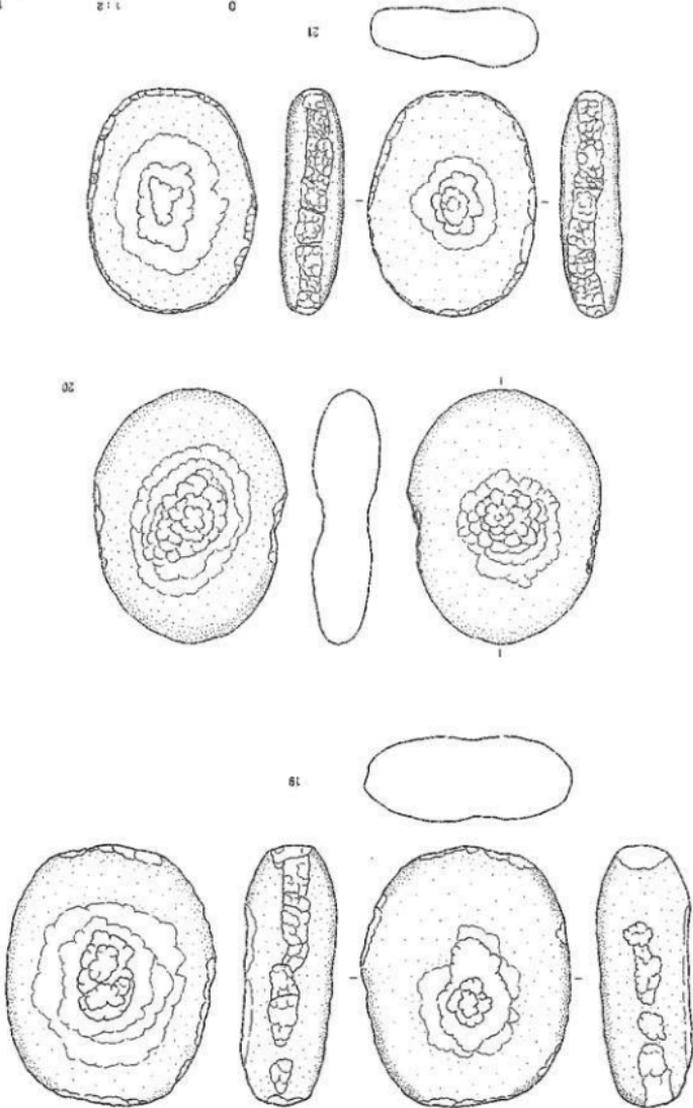


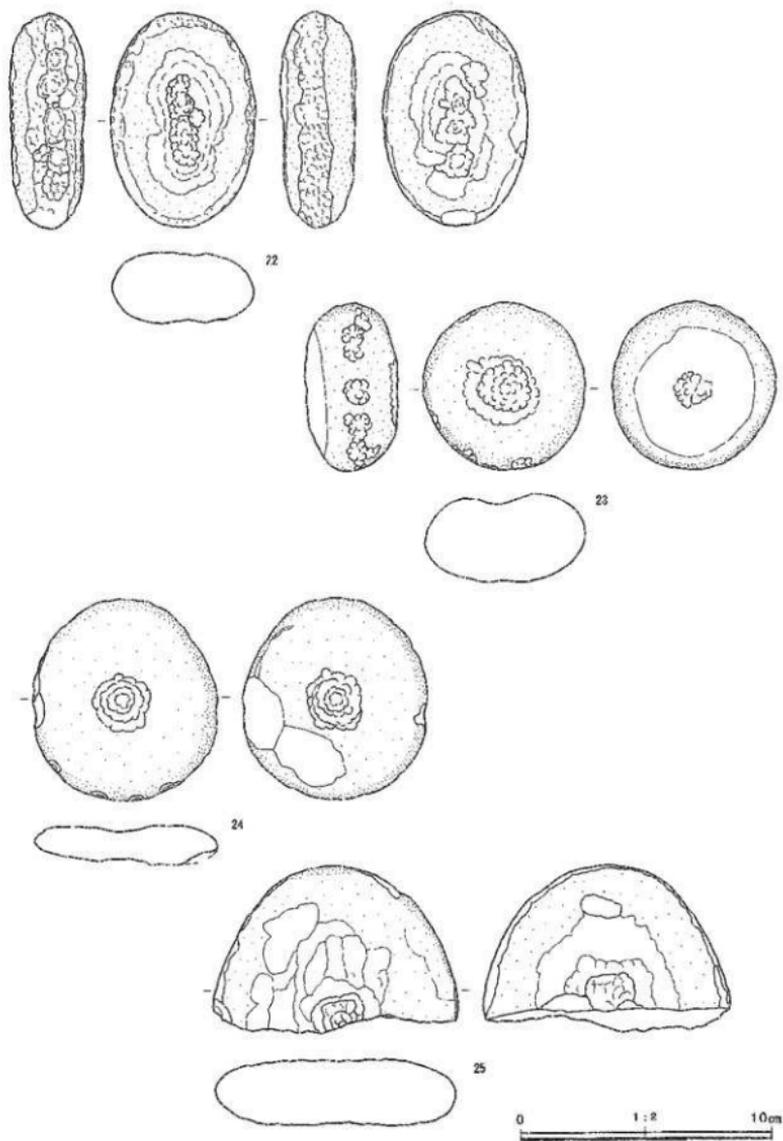
第52圖 敲石 3



第53圖 殼石 4

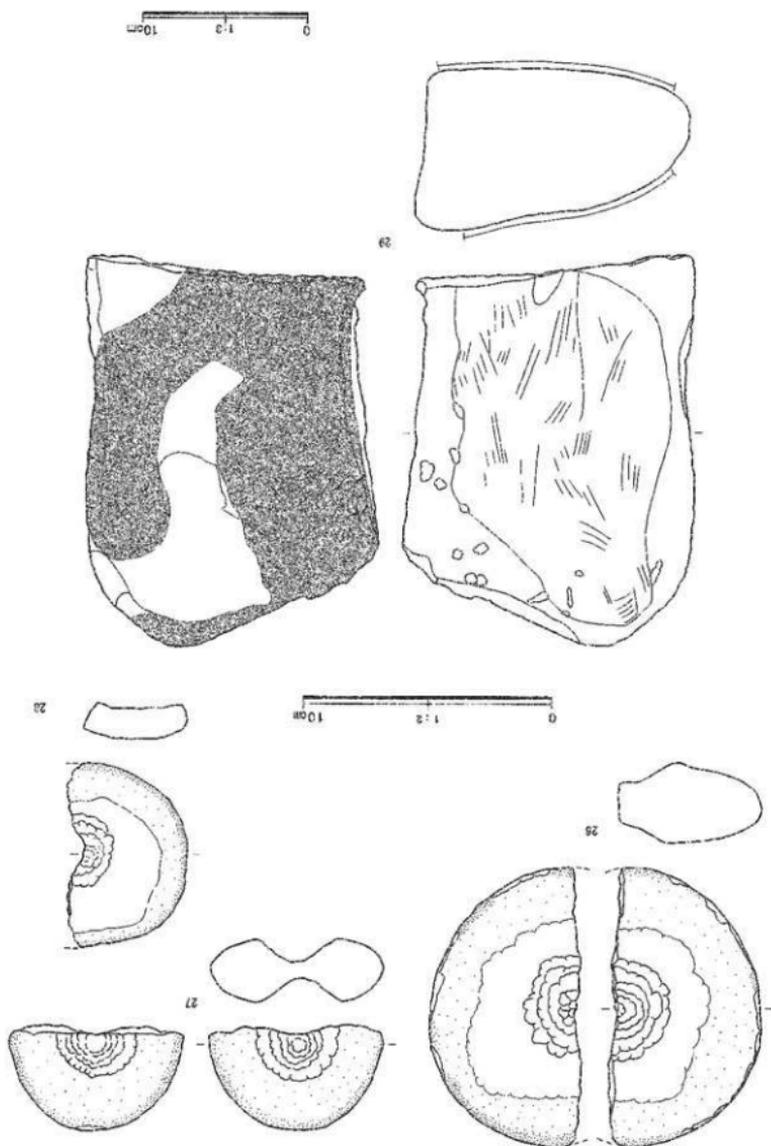
第54圖 四五1

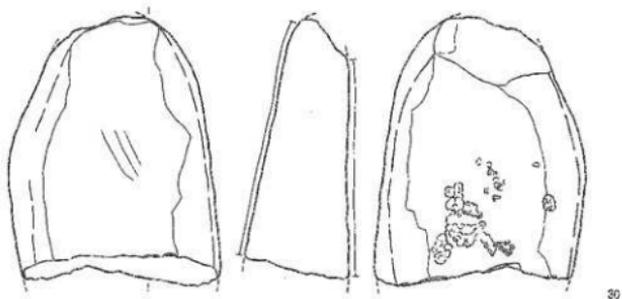




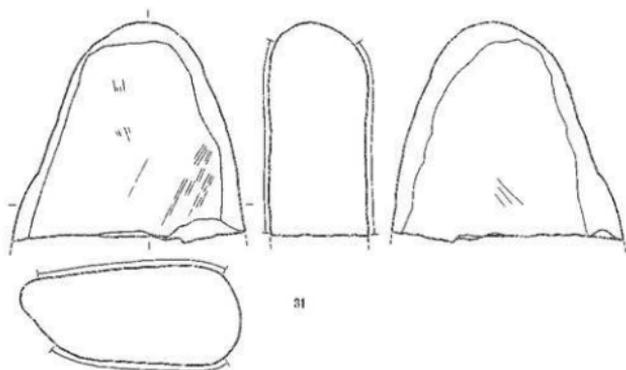
第55圖 凹石 2

第56圖 四石・磁石 1

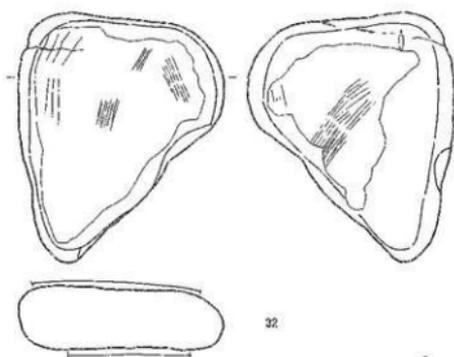




30



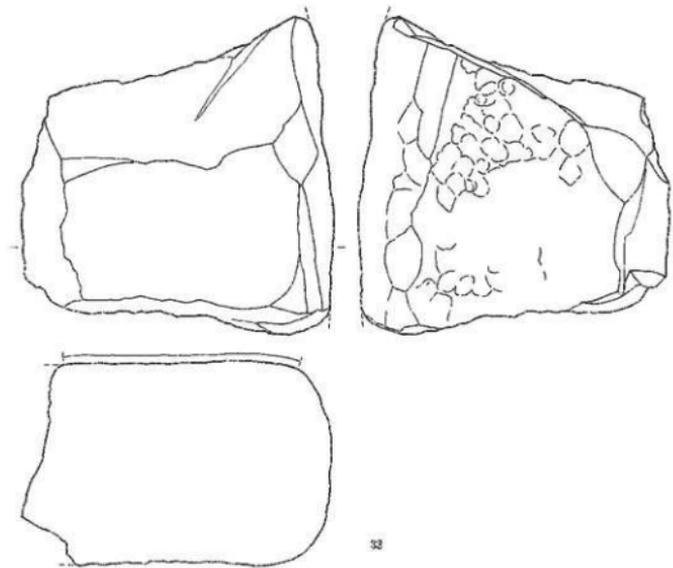
31



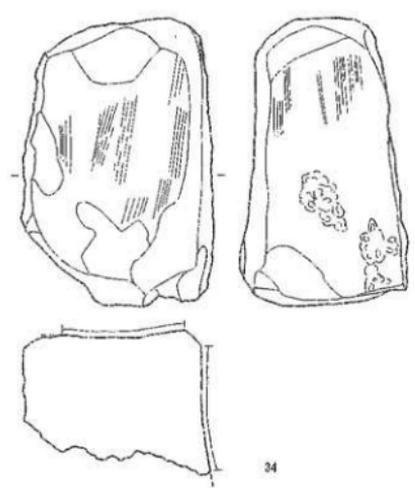
32

0 1:3 10cm

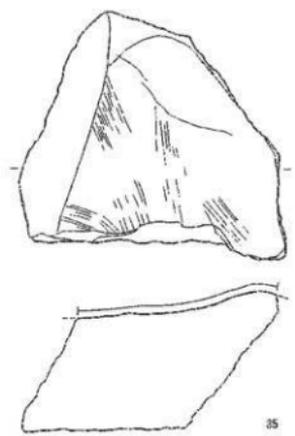
第57圖 礮石 2



32



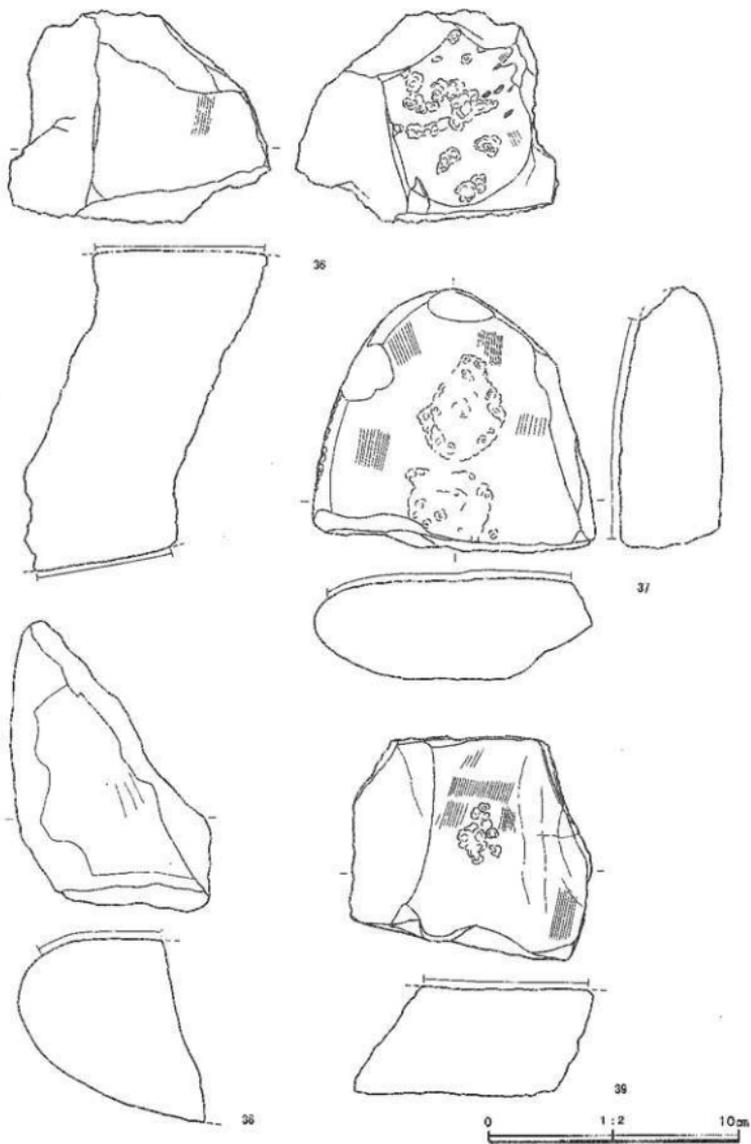
34



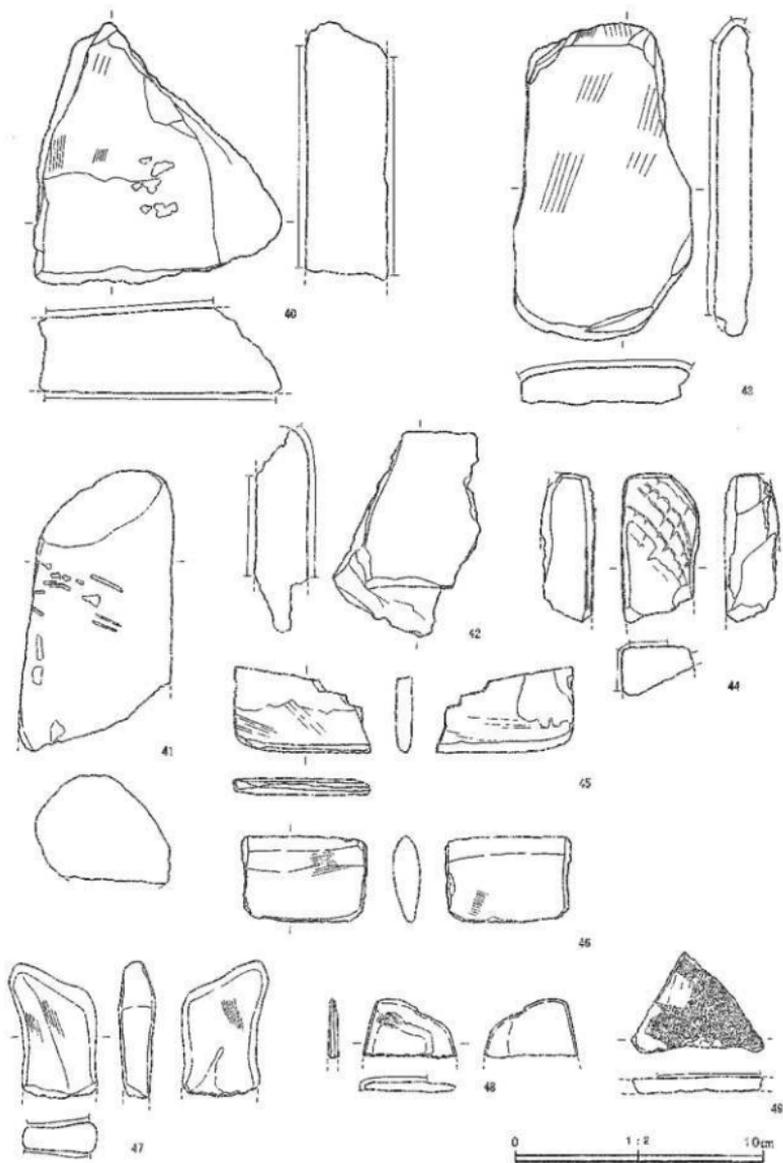
35



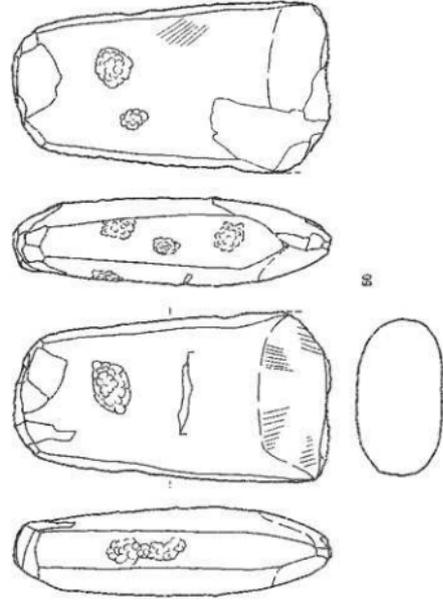
第58圖 磁石 3



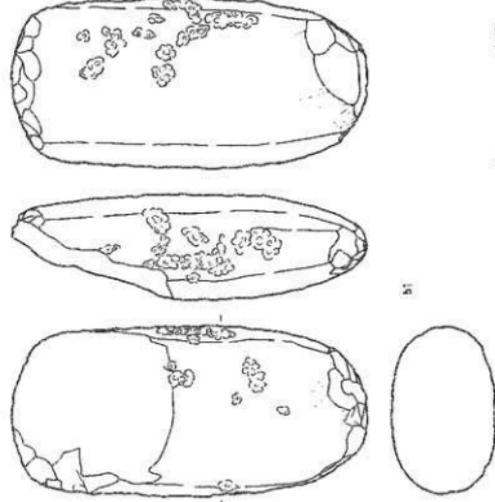
第59圖 砾石4



第60圖 砾石 5



50

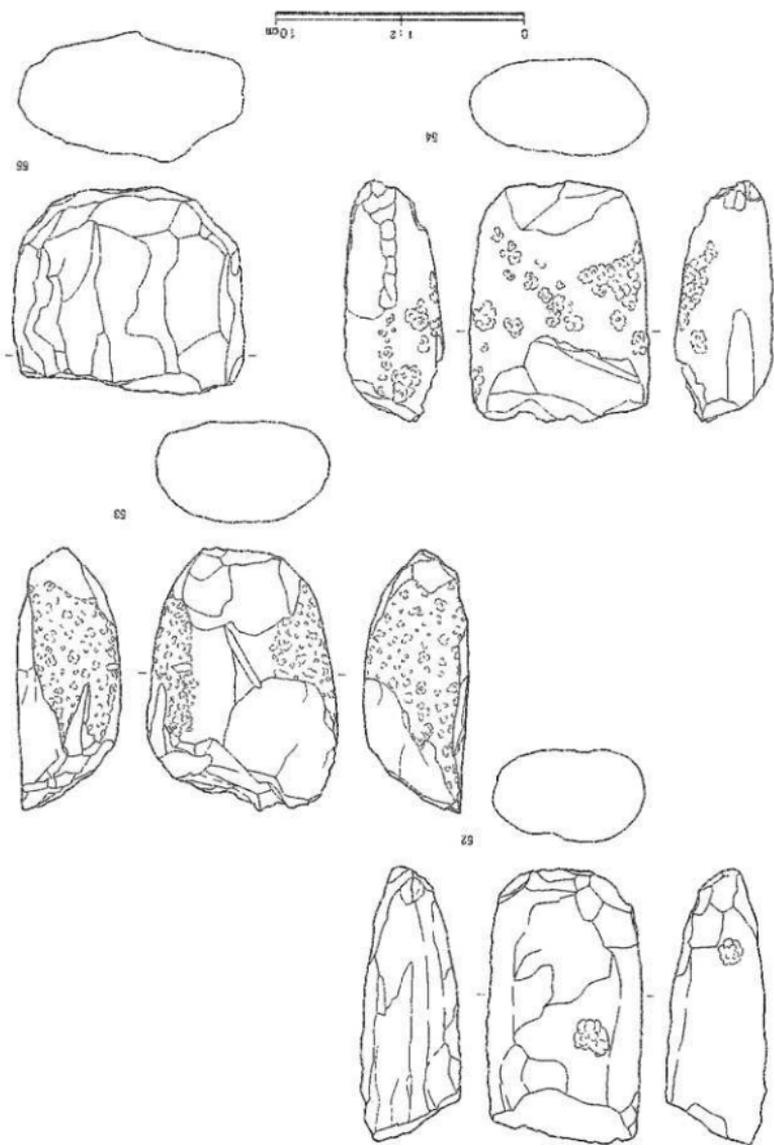


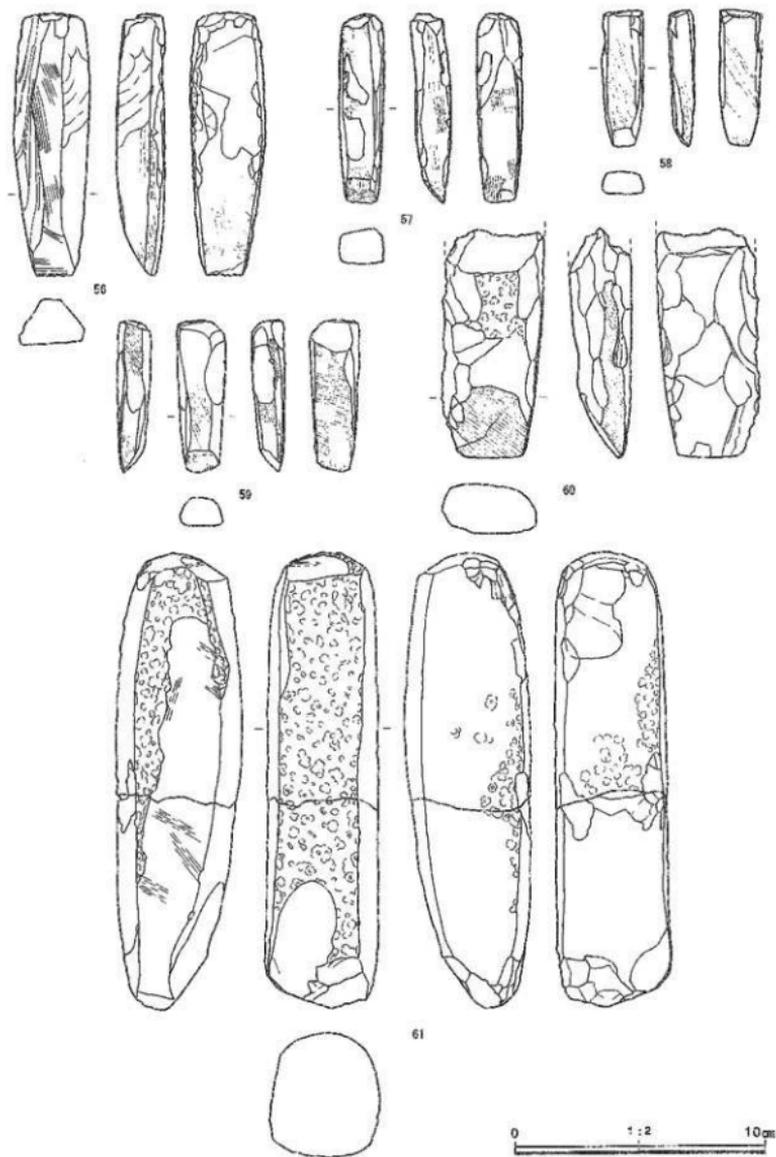
51



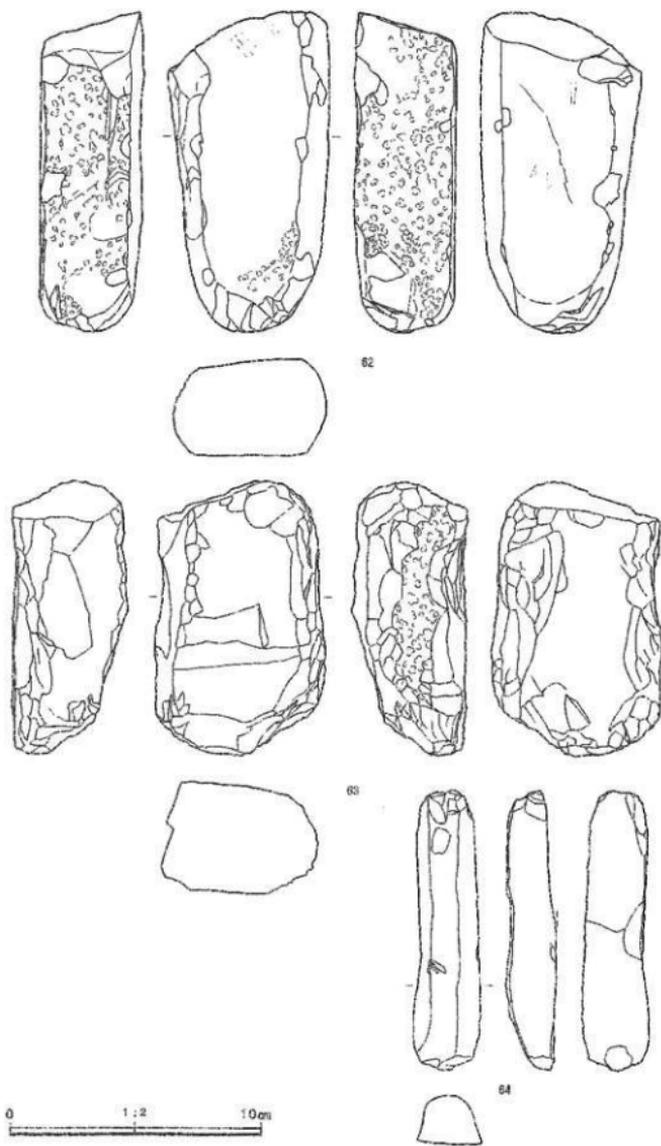
第61圖 大型鑿刻石斧1

第62图 大型蛤卵石斧 2

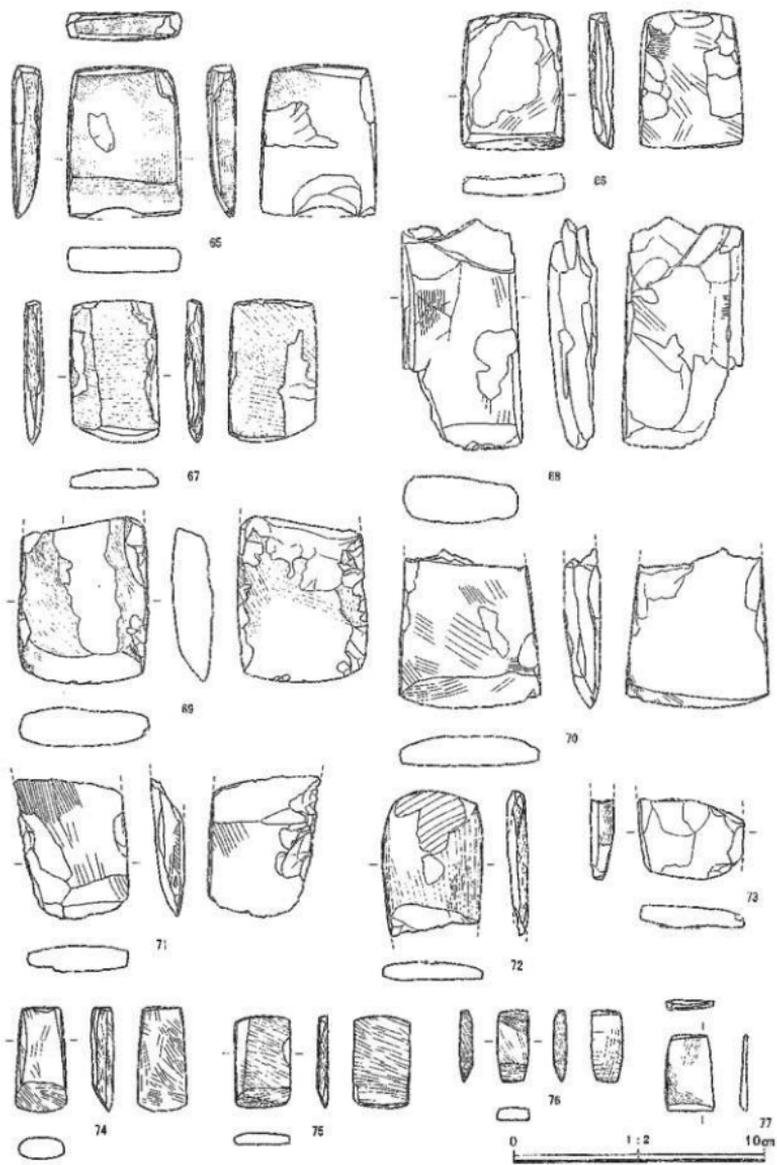




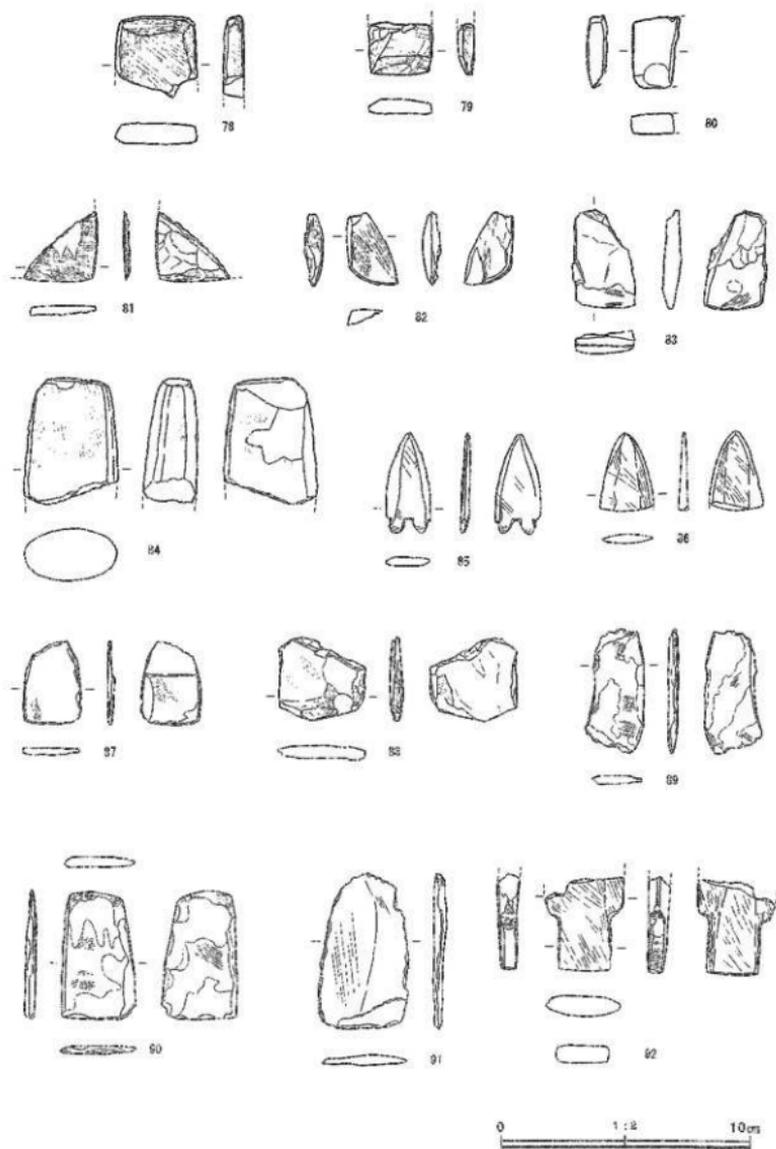
第63圖 柱狀片刃石斧 1



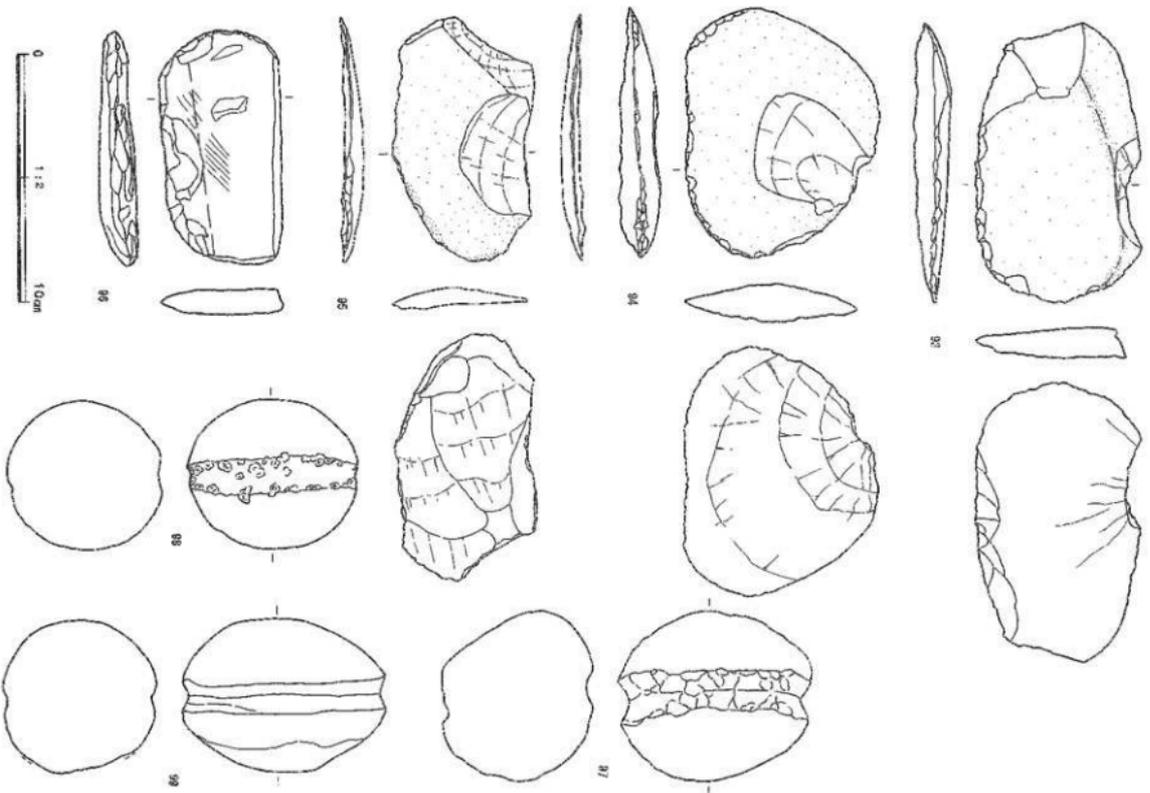
第64图 柱状片刃石斧2



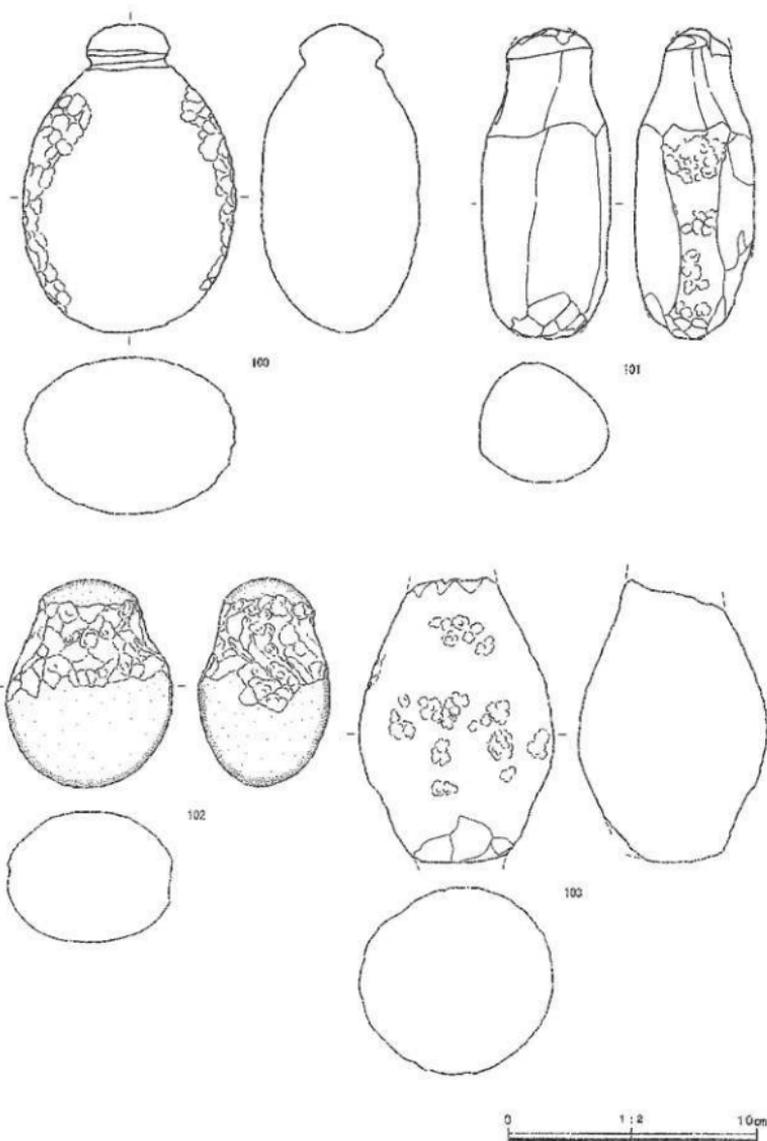
第65图 扁平片刃石斧 1



第66图 扁平片刃石斧2·乳棒状磨制石斧·磨制石镞·石剑

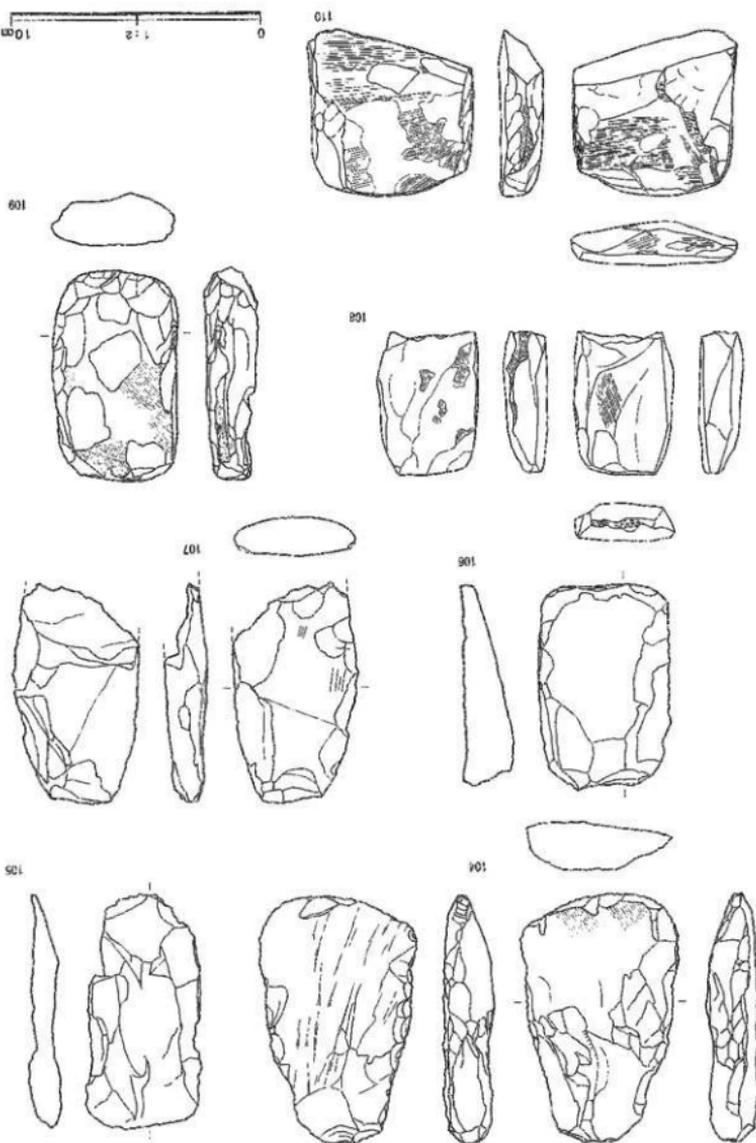


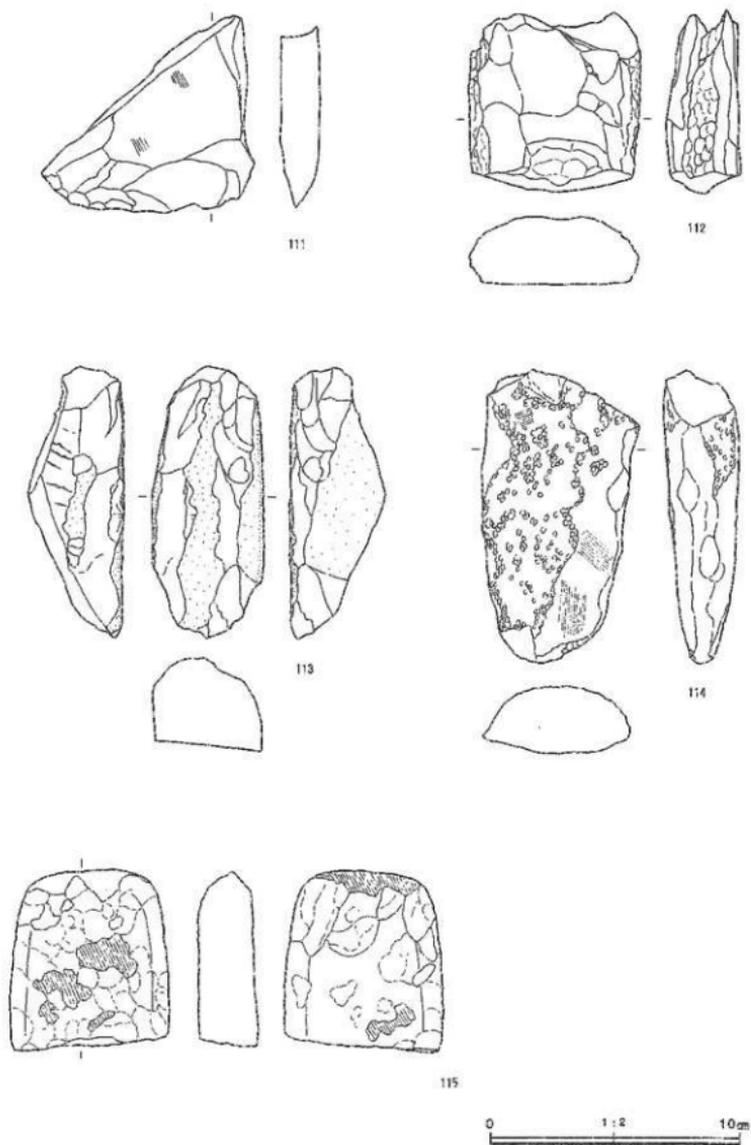
第67圖 打製刃器・有稜石鏟



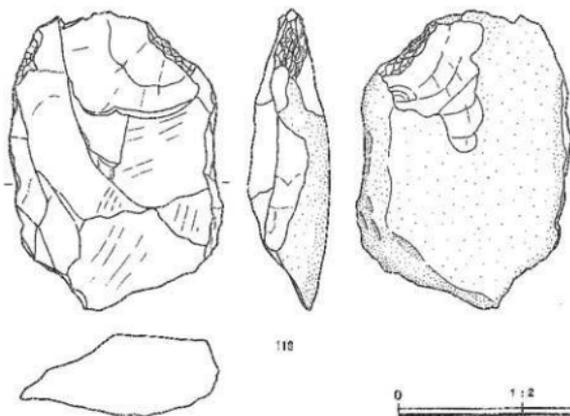
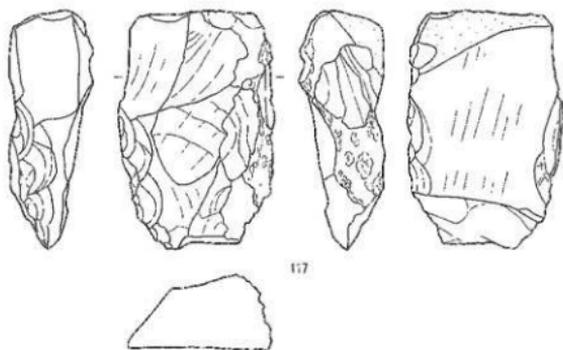
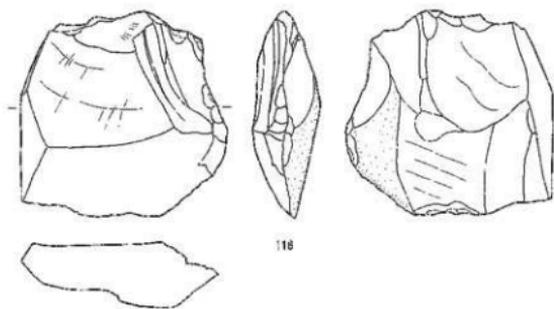
第68圖 有頭石錢

第69圖 石斧米製品 1

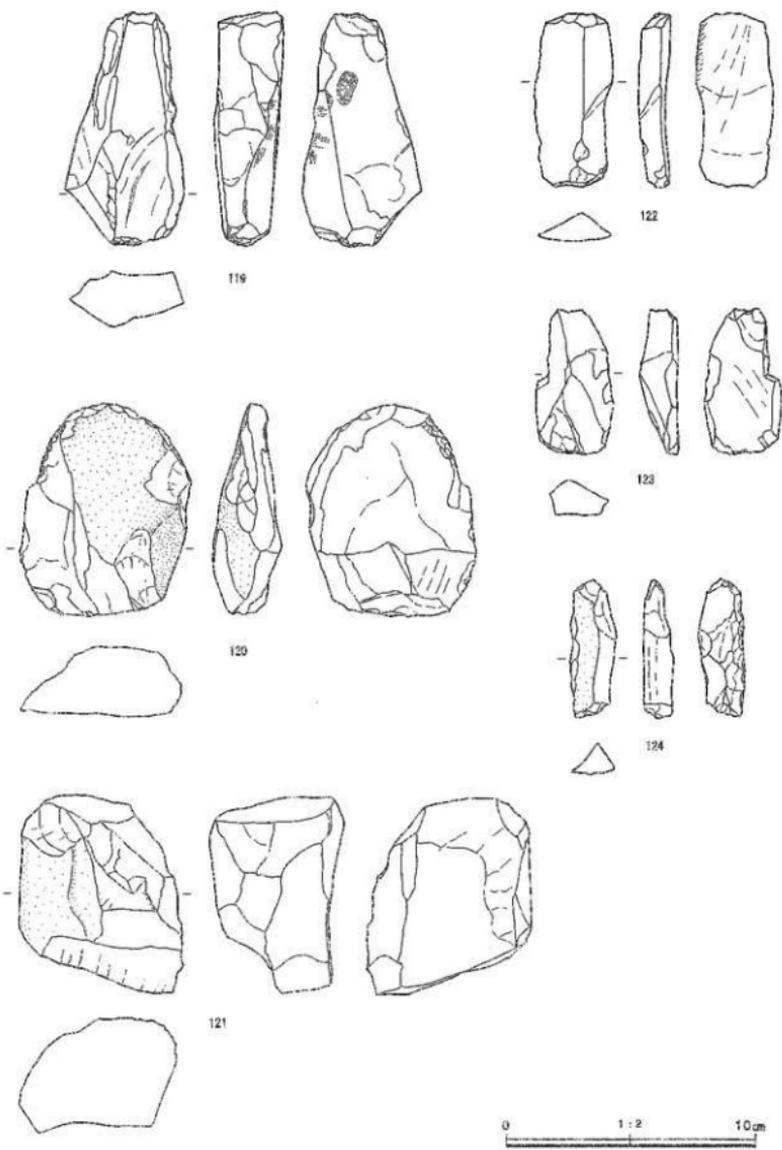




第70圖 石斧未製品2

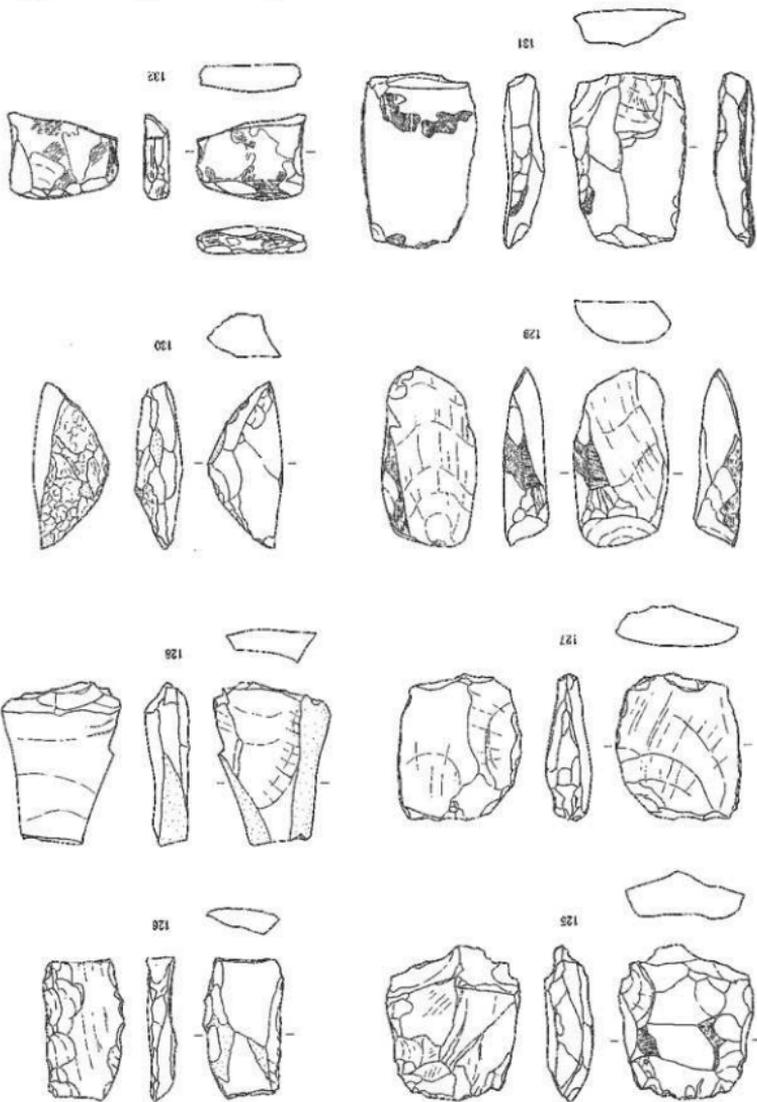
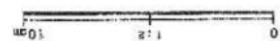


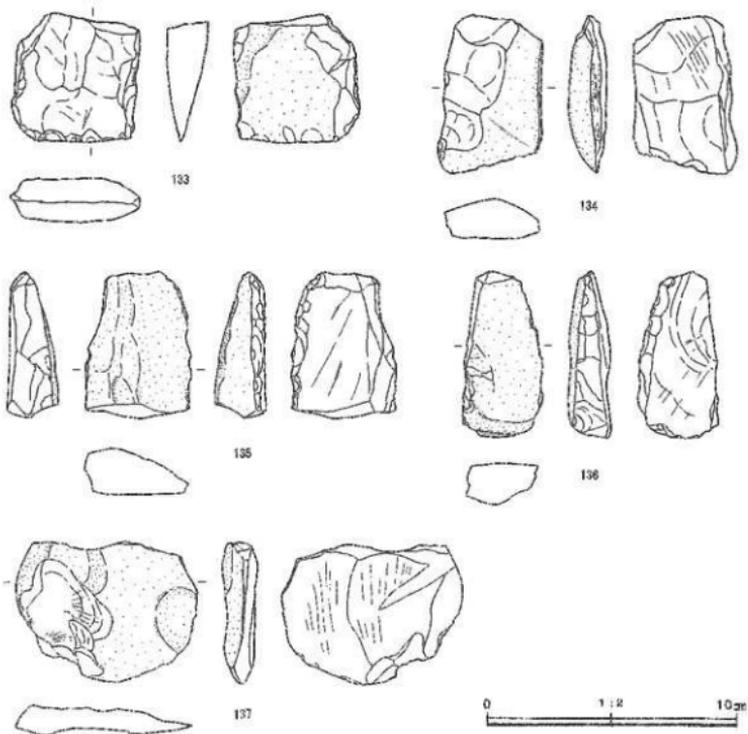
第71图 石斧未製品3



第72圖 石斧末製品4

图73 石斧半成品5





第74図 石斧未製品6

ている。104~107・111~115は刃部及び割端に敲打による調整が施されている。108~110・115は裏面及び側面を研磨している。107は刃部付近を破損しており、108・110・111~115は胴部で折損している。138~174は石斧製作によって生じたと思われる裂片である。175~180は自然礫であり、石斧製作のために採集され、遺跡内に持ち込まれた資料であると考えられる。

乳棒状磨製石斧（第66図84）

84は乳棒状磨製石斧である。全面を敲打し、基部がすぼまる形に作り出されている。下半部は折損している。

磨製石鏃（第66図85~91）

85・86は磨製石鏃の完形品である。85は基部の両側に突出部を作り出しており、基部部分は丸みを帯びている。86は破損品を再加工している可能性がある。87~91は石鏃の未製品である。87~90は両面を研磨する。91は側縁に敲打による調整が施されている。87は先端が欠損している。88は上半部を折損している。

第9表 石器一覽

標本 番号	図記 番号	石質 図記 番号	器 種	材 質	グロフ	選擇・層位	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
第49回	1	30上	礫石	灰色チャート	D-2	SK25 黒色粘土層	7.12	7.05	4.59	346
第50回	2	30上	礫石	赤灰色凝灰質チャート	D-2	黒色粘土層	5.45	5.3	5.48	312
第50回	3	30上	礫石	灰色凝灰質	D-2	黒色粘土層	5.3	5.98	2.7	134
第50回	4	30上	礫石	灰色凝灰質玄武岩		SK13	(5.95)	9.1	4.5	(272)
第50回	5	30上	礫石	薄～淡灰色中粒砂岩	D-1	SK04	(12.6)	8.0	3.4	(554)
第51回	6	30上	礫石	灰色凝灰質玄武岩	D-2	黒色粘土層	(11.25)	7.58	2.88	(330)
第51回	7	30上	礫石	薄～淡灰色中粒砂岩	D-1	SD14内層	(11.25)	6.25	3.35	(332)
第51回	8	30上	礫石	灰色細粒砂岩	D-1-3	黒色粘土層	11.95	6.50	4.15	450
第51回	9	30上	礫石	灰色凝灰質玄武岩		SK08	11.7	9.5	2.3	432
第52回	10	30上	礫石	黒色中粒砂岩	D-2	黒色粘土層	11.0	7.88	3.5	454
第52回	11	30上	礫石	灰色凝灰質玄武岩	D-2	黒色粘土層	9.28	7.55	5.08	304
第52回	12	30上	礫石	薄～淡灰色中粒砂岩		SK08 薄層褐色砂質土層	(9.6)	5.68	2.63	(204)
第52回	13	30上	礫石	薄～淡灰色中粒砂岩	D-2	黄褐色砂岩層	(9.15)	5.58	3.53	(266)
第52回	14	30上	礫石	薄～淡褐色凝灰質砂岩	D-1	黒色粘土層	12.58	3.5	3.58	188
第53回	15	30上	礫石	薄～暗灰色細粒砂岩	D-2	黄褐色砂岩層	10.45	10.15	3.73	544
第53回	16	30上	礫石	薄～淡灰色中粒砂岩		SK08 薄層褐色砂質土層	9.05	8.2	3.95	214
第53回	17	30上	礫石	薄～淡灰色中粒砂岩	C-2	黒色粘土層	7.4	5.72	2.25	156
第53回	18	30上	礫石	灰色粗粒い岩		SK02	7.38	7.2	5.53	436
第54回	19	30下	凹石	灰色凝灰質玄武岩	D-2	黒色粘土層	10.55	5.45	3.5	595
第54回	20	30下	凹石	薄～灰色中粒砂岩		SK08 薄層褐色砂質土層	10.25	7.8	2.72	322
第54回	21	30下	凹石	灰色凝灰質玄武岩	D-1	黒色粘土層	9.15	5.75	2.4	222
第55回	22	30下	凹石	褐色又は淡灰色中粒砂岩		SK08	8.8	5.88	3.55	218
第55回	23	30下	凹石	赤褐色中粒砂岩	D-2	SK01	6.82	6.58	2.5	215
第55回	24	30下	凹石	黒色粘板岩	D-2	SK01 褐色粘土層	8.2	7.45	1.6	144
第55回	25	30下	凹石	褐色又は淡灰色中粒砂岩	D-1	黒色粘土層	(7.3)	(9.9)	(2.71)	(286)
第56回	26	30下	凹石	灰色粗粒い岩	D-1	黒色粘土層	(11.42)	(6.18)	(3.28)	(385)
第56回	27	30下	凹石	灰色凝灰質玄武岩	D-2	SK01 黒色粘土層	(4.25)	(7.05)	(2.5)	(101.25)
第56回	28	30下	凹石	灰色粘板岩	D-1	黒色粘土層	(7.5)	(4.85)	(1.5)	(71.65)
第56回	29	31上	礫石	黄褐色中粒砂岩	D-2	SK01 黒色粘土層	24.1	17.85	10.22	6045
第57回	30	31上	礫石	黄褐色中粒砂岩	D-1	黒色粘土層	(15.89)	(13.05)	(6.25)	(1734)
第57回	31	31上	礫石	灰色粗粒岩		SK28	(18.6)	(14.22)	(6.3)	(1716)
第57回	32	31上	礫石	灰色中粒砂岩	D-2	SK29 黒色粘土層	15.4	12.55	4.0	1130
第58回	33	31下	礫石	淡灰色中粒砂岩	B-2	SK19 薄層褐色砂質土層	(13.0)	(12.6)	8.5	(1338)
第58回	34	31下	礫石	黄褐色中粒砂岩		SK02	(11.73)	(7.3)	(6.8)	(736)
第58回	35	31下	礫石	黄褐色又は淡灰色中粒砂岩	D-1	黒色粘土層	(10.00)	(10.75)	(5.75)	(580)
第59回	36	31上	礫石	薄～淡褐色中粒砂岩		SK13	(8.7)	(10.5)	13.1	(1214)
第59回	37	31下	礫石	黄褐色又は淡灰色中粒砂岩	D-2	黒色粘土層	(10.75)	(11.41)	(4.2)	(724)
第59回	38	31下	礫石	黄褐色中粒砂岩		SK08 薄層褐色砂質土層	(11.9)	(8.1)	(7.45)	(618)
第59回	39	31下	礫石	淡灰色中粒砂岩	D-2	黒色粘土層	(9.1)	(9.9)	(4.6)	(585)
第60回	40	31下	礫石	淡灰色中粒砂岩	D-2	SK01	(10.65)	(10.0)	(3.5)	(480)
第60回	41	31下	礫石	薄層黄褐色中粒砂岩		SK02	(11.36)	(5.12)	(4.43)	(275)

種別 番号	図面 番号	写真 図録 番号	標 本	材 質	グラフ	産地・層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)
第60図	42	31下	磁石	鉄屑中粒砂岩		SK19	(8.4)	(5.3)	2.18	(111.09)
第60図	43	32上	磁石	鉄屑～鉄灰色細粒砂岩	D-2	黒色粘土層	12.92	(7.32)	(6.3)	(214)
第60図	44	32上	磁石	鉄屑～黒灰色細粒砂岩	D-1	黒色粘土層	(6.00)	3.15	2.2	(64.6)
第60図	45	32上	磁石	精屑～黒灰色砂質粘板岩	D-2	黒色粘土層	(3.49)	(5.56)	0.69	(19.01)
第60図	46	32上	磁石	灰色細粒砂岩	D-2	黒色粘土層	3.5	3.58	1.05	29.5
第60図	47	32上	磁石	灰色中粒砂岩		SD14	(5.6)	(3.5)	1.5	(31.9)
第60図	48	32上	磁石	灰色細粒砂岩	B-2		(2.3)	(3.7)	0.4	(4.7)
第60図	49	32上	磁石	灰色細粒砂岩		SD8	(3.8)	(5.3)	0.5	(14.7)
第61図	50	32下	太田砂刀石弁 (赤鉄品)	暗褐色～鉄灰色輝岩	S-2	SK06 暗褐色色砂質土層	(12.91)	6.97	3.6	(508)
第61図	51	32下	太田砂刀石弁	暗褐色硬質輝岩砂岩	D-2S	黒色粘土層	(14.48)	6.93	4.3	(652)
第62図	52	32下	太田砂刀石弁 (赤鉄品)	質褐色～鉄灰色輝岩	B-2	暗褐色色砂質土層	(11.2)	6.29	4.02	(432)
第62図	53	32下	太田砂刀石弁 (赤鉄品)	暗～暗褐色細粒砂岩	D-2	黒色粘土層	(10.7)	7.7	4.26	(463)
第62図	64	32下	太田砂刀石弁 (赤鉄品)	暗～暗褐色細粒砂岩	D-1	質褐色色砂岩層	(8.3)	7.3	4.0	(404)
第63図	55	32下	太田砂刀石弁 (赤鉄品)	暗褐色粗粒輝岩	D-2	SR01 黒色粘土層	(8.42)	9.39	5.2	(536)
第63図	56	32上	柱状片刀石弁	灰褐色～褐色鉄質頁岩	D-2	黒色粘土層	10.7	3.08	1.95	94.48
第63図	57	32上	柱状片刀石弁	赤褐色～暗褐色鉄質頁岩	S-2		(7.74)	1.85	1.5	(37.22)
第63図	58	33上	柱状片刀石弁	褐色～鉄灰色チャート		SK04-P2	5.55	1.53	1.05	15.44
第63図	59	33上	柱状片刀石弁	赤褐色～鉄灰色鉄質頁岩	B-2	SK06 暗褐色色砂質土層	6.2	2.52	1.25	27.27
第63図	60	33上	柱状片刀石弁 (赤鉄品)	赤褐色～暗褐色鉄質頁岩	C-1	黒色粘土層	9.5	4.2	2.91	146
第63図	61	33上	柱状片刀石弁 (赤鉄品)	暗褐色～褐色頁岩	C-1	褐色粘土層	18.56	4.67	5.1	712
第64図	62	33上	柱状片刀石弁 (赤鉄品)	赤褐色～赤褐色～鉄質頁岩チャート	D-1	黒色粘土層	(13.06)	6.55	4.1	(604)
第64図	63	33上	柱状片刀石弁 (赤鉄品)	質褐色～暗褐色粗粒砂岩	D-2	SR01	11.16	6.91	4.68	554
第64図	64	33上	柱状片刀石弁 (赤鉄品)	暗～鉄灰色～褐色鉄質頁岩	D-CM	褐色粘土層	11.54	2.71	2.04	94.66
第65図	65	32下	扁平片刀石弁	赤褐色～鉄灰色鉄質頁岩	D-2	黒色粘土層	(6.18)	4.62	1.16	(65.66)
第65図	66	33下	扁平片刀石弁	赤褐色～鉄灰色鉄質頁岩	D-1	褐色粘土層	5.58	4.19	0.96	43.24
第65図	67	33下	扁平片刀石弁	暗～暗褐色～暗褐色鉄質頁岩	C-2	SK28 褐色粘土層	5.8	3.8	0.76	38.61
第65図	68	33下	扁平片刀石弁	暗褐色～褐色～暗褐色鉄質頁岩	D-2	褐色粘土層	(9.4)	4.9	1.95	(122)
第65図	69	33下	扁平片刀石弁	赤褐色～鉄灰色鉄質頁岩	D-1	褐色粘土層	5.78	5.28	1.05	97.56
第65図	70	33下	扁平片刀石弁	暗褐色～鉄灰色鉄質頁岩	D-1	褐色粘土層	(6.5)	5.77	(1.45)	(36.37)
第65図	71	33下	扁平片刀石弁	暗褐色～鉄灰色～暗褐色～暗褐色鉄質頁岩	C-2	SK28 褐色粘土層	(5.7)	(4.58)	1.94	(48.78)
第65図	72	33下	扁平片刀石弁	暗褐色～暗褐色鉄質頁岩	D-2	暗褐色色砂岩層	(5.8)	4.1	0.6	(32.87)
第65図	73	33下	扁平片刀石弁	暗褐色～暗褐色鉄質頁岩	D-2	褐色粘土層	(3.38)	(4.27)	(0.95)	(30.07)
第66図	74	33下	扁平片刀石弁	暗褐色～暗褐色鉄質頁岩	D-2	褐色～暗褐色色砂岩	4.27	2.0	0.9	13.45
第66図	75	33下	扁平片刀石弁	暗褐色～暗褐色鉄質頁岩	C-2	暗褐色粘土層	3.76	2.3	0.43	6.97
第66図	76	33下	扁平片刀石弁	暗褐色～暗褐色鉄質頁岩チャート	C-2		2.95	1.3	0.5	4.15
第66図	77	33下	扁平片刀石弁	暗褐色～暗褐色鉄質頁岩	D-2	褐色粘土層	1.95	3.1	0.4	4.12
第66図	78	33下	扁平片刀石弁	暗褐色～暗褐色鉄質頁岩		SR01	(3.32)	(3.31)	(0.85)	(16.49)
第66図	79	33下	扁平片刀石弁	暗褐色～暗褐色鉄質頁岩チャート	D-1	暗褐色粘土層	(2.18)	(2.53)	(0.63)	(5.60)
第66図	80	33下	扁平片刀石弁	暗褐色～暗褐色鉄質頁岩	A-2	暗褐色色砂質土層	2.86	(1.9)	(0.82)	(8.67)
第66図	81	33下	扁平片刀石弁	暗褐色～暗褐色鉄質頁岩	D-2	褐色粘土層	(2.8)	(2.0)	(0.4)	(3.4)
第66図	82	33下	扁平片刀石弁	暗褐色～暗褐色～暗褐色鉄質頁岩	D-1	褐色粘土層	(2.9)	(2.0)	(0.65)	(3.5)
第66図	83	33下	扁平片刀石弁	暗褐色～暗褐色鉄質頁岩	B-2	暗褐色色砂質土層	(4.0)	(2.55)	(0.7)	(10.4)

押出番号	図面番号	牙長 図取番号	形 様	材 質	グリップ	透溝・厚位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	
第66図	84	33.1	乳棒状磨削石片	褐～灰緑色凝灰岩	B-2		(5.12)	3.8	2.15	(67.46)	
第66図	85	34上	磨削石塊	暗灰色凝灰質粘板岩	D-25		黒色粘土層	4.1	1.81	0.35	5.95
第66図	86	34上	磨削石塊	灰褐色凝灰質粘板岩	D-2		和質褐色砂岩層	3.2	2.2	0.35	2.92
第66図	87	34上	石炭末製品	褐～灰緑色凝灰質粘板岩	D-2		黒色粘土層	(3.35)	2.35	0.3	(3.80)
第66図	88	34上	石炭末製品	褐～灰緑色凝灰質粘板岩	C-2			(3.4)	3.5	0.56	(10.4)
第66図	89	34上	石炭末製品	褐～灰緑色凝灰質粘板岩	C-2		黒色粘土層	(6.0)	(2.4)	(0.4)	6.5
第66図	90	34上	石炭末製品	褐～灰緑色凝灰質粘板岩	C-2			5.2	2.96	0.4	15.9
第66図	91	34上	石炭末製品	灰褐色凝灰質粘板岩	D-1			5.25	3.55	0.5	15.9
第67図	92	34上	石 割	暗褐色凝灰質粘板岩	D-1		明質褐色砂岩層	(3.82)	(2.12)	(0.2)	(15.15)
第67図	93	34下	打製刃部	暗灰色輝岩	D-1		黒色粘土層	6.8	11.31	1.05	128
第67図	94	34下	打製刃部	暗灰色輝岩	D-1		黒色粘土層	7.92	10.1	1.7	144
第67図	95	34下	打製刃部	褐～灰褐色粘板岩	C-2	SD28		5.8	9.9	0.8	50.7
第67図	96	34下	打製刃部	灰白色輝岩	D-5		黒色粘土層	4.97	5.47	1.85	96.78
第67図	97	35上	有頭石塊	灰褐色凝灰質粘板岩	D-2		明質褐色砂岩層	7.9	6.86	6.15	412
第67図	98	35上	有頭石塊	灰褐色凝灰質粘板岩	D-2	SR01		6.98	6.05	6.37	360
第67図	99	35上	有頭石塊	灰褐色凝灰質粘板岩	C-2		黒色粘土層	3.3	(6.15)	6.3	(420)
第68図	100	35上	有頭石塊	灰褐色凝灰質粘板岩	D-1		黒色粘土層	12.55	3.5	6.4	838
第68図	101	35上	有頭石塊	灰褐色凝灰質粘板岩	D-2	SR01		(12.65)	5.2	4.87	(444)
第68図	102	35上	有頭石塊	灰褐色凝灰質粘板岩	D-2		黒色粘土層	8.46	8.7	5.3	394
第68図	103	35上	有頭石塊	灰褐色凝灰質粘板岩	D-1	SD14 黒色粘土層		(11.59)	7.86	7.58	(342)
第69図	104	35下	石片末製品	黒色頁岩	D-2	SR01		10.12	6.42	2.08	164
第69図	105	35下	石片末製品	灰褐色頁岩	SR01		(9.58)	(4.7)	(1.6)	(73.21)	
第70図	106	35下	石片末製品	褐～暗灰色輝岩	C-1		黒色粘土層	8.36	5.39	2.2	130
第70図	107	35下	石片末製品	褐～暗灰色輝岩	D-2		黒色粘土層	8.59	5.05	1.72	79.21
第70図	108	35下	石片末製品	赤褐色凝灰質頁岩	C-2		深トレンチ内の部	5.8	4.1	1.75	60.2
第70図	109	35下	石片末製品	赤褐色凝灰質頁岩	D-2		黒色粘土層	8.64	5.12	2.15	144
第70図	110	35下	石片末製品	赤褐色凝灰質頁岩	D-1	SR01 黒色粘土層		(6.8)	(6.66)	1.75	112.7
第70図	111	35下	石片末製品	赤褐色凝灰質頁岩	D-2		黒色粘土層	8.05	3.6	2.8	207.0
第70図	112	35下	石片末製品	褐～黒色輝岩	E-2		暗褐色砂質土層	7.4	5.9	3.0	1
第70図	113	35下	石片末製品	赤褐色凝灰質頁岩	D-1		黒色粘土層	11.5	4.5	4.4	207.0
第70図	114	35下	石片末製品	暗褐色凝灰質砂岩	SR01			(11.8)	(6.95)	2.7	288.5
第70図	115	35下	石片末製品	暗褐色凝灰質粗粒砂岩	D-2	SR01 黒色粘土層		(7.3)	6.5	2.45	208.1
第71図	116	36上	石片末製品	赤褐色凝灰質頁岩	D-1		黒色粘土層	8.4	5.2	2.75	201.5
第71図	117	36上	石片末製品	黒色輝岩				9.7	6.3	3.4	218.5
第71図	118	36上	石片末製品	赤褐色凝灰質頁岩	D-1		黒色粘土層	12.2	3.6	3.2	379.2
第72図	119	36上	石片末製品	赤褐色凝灰質頁岩	D-1		黒色粘土層	9.5	4.8	2.25	158.2
第72図	120	36上	石片末製品	赤褐色凝灰質頁岩	D-1		黒色粘土層	8.6	6.3	2.85	174.3
第72図	121	36上	石片末製品	赤褐色凝灰質頁岩	D-2		黒色粘土層	8.0	6.6	5.4	338.4
第72図	122	36上	石片末製品	赤褐色凝灰質頁岩	D-1		黒色粘土層	7.1	3.1	1.15	20.4
第72図	123	36上	石片末製品	暗褐色凝灰質頁岩	B-2		暗褐色砂質土層	5.9	3.2	1.5	29.9
第72図	124	36上	石片末製品	赤褐色凝灰質頁岩	C-2			5.6	1.9	1.3	13.9
第73図	125	36上	石片末製品	赤褐色凝灰質頁岩	C-2		黒色粘土層	7.3	5.4	1.5	73.2

測定 番号	図面 番号	写真 図取 番号	標 識	材 質	グрупп	濃縮・部位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)
第73図	126	36上	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩	D-1	黒色粘土層	5.8	3.25	1.2	24.7
第73図	127	36上	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩	D-2	黒色粘土層	5.95	4.95	1.85	58.2
第73図	128	36上	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩	D-2	黒色粘土層	5.6	4.7	1.75	55.7
第73図	129	36上	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩		SR01	7.3	3.85	1.9	66.3
第73図	130	36上	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩	D-1		5.7	3.0	1.9	37.9
第73図	131	36上	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩	D-2	黒色粘土層	7.1	4.65	1.55	65.6
第73図	132	36上	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩			(8.55)	4.4	1.5	26.1
第74図	133	36上	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩	D-1	褐色粘土層	5.3	5.2	1.7	59.7
第74図	134	36上	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩		SR01	6.5	4.2	1.5	48.7
第74図	135	36上	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩			5.95	4.25	2.05	61.1
第74図	136	36上	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩	D-1	褐色粘土層	6.75	3.4	1.65	35.1
第74図	137	36上	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩	D-2	SR01 褐色粘土層	5.7	7.3	1.4	69.0
	138	36下	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩	C-1	黒色粘土層	6.55	4.55	1.05	33.2
	139	36下	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩	D-1	褐色粘土層	4.0	4.1	1.8	38.9
	140	36下	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩	D-1	SD19薄層	4.0	3.65	0.6	9.1
	141	36下	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩	D-1	褐色粘土層	3.25	2.6	0.95	12.3
	142	36下	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩	D-1		6.15	4.9	0.75	20.3
	143	36下	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩	D-2	褐色粘土層	3.7	4.5	0.65	14.6
	144	36下	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩	D-2	褐色粘土層	2.7	4.2	0.8	10.3
	145	36下	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩		SD06 暗褐色砂質土層	4.25	4.5	0.9	23.7
	146	36下	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩	D-2	褐色粘土層	3.5	2.2	0.65	4.6
	147	36下	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩	D-2	SR01	5.5	4.0	0.75	15.6
	148	36下	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩	D-1	褐色粘土層	4.5	3.3	1.1	13.8
	149	36下	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩	D-2	SR01	4.95	1.5	0.9	9.5
	150	36下	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩	D-1	褐色粘土層	6.9	4.3	0.5	17.0
	151	36下	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩		SD14	3.0	1.9	0.4	2.4
	152	36下	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩	C-1	褐色粘土層	2.9	2.9	1.1	9.8
	153	36下	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩		SK58	5.0	3.2	0.7	15.2
	154	36下	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩	D-2	褐色粘土層	5.7	2.0	1.2	16.9
	155	36下	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩	D-1	褐色粘土層	2.6	3.2	2.05	25.2
	156	36下	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩	D-2	褐色粘土層	3.4	3.3	2.4	25.4
	157	36下	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩	D-1	褐色粘土層	1.7	3.9	0.4	2.2
	158	36下	石舟未製品	第一層赤紫色凝灰質頁岩	E-2	暗褐色砂質土層	3.6	2.25	1.3	8.7
	159	36下	石舟未製品	第二層赤紫色凝灰質頁岩	D-2	褐色粘土層	2.8	1.4	0.6	3.9
	160	36下	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩	B-2	暗褐色砂質土層	2.15	2.7	0.6	3.4
	161	36下	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩	R-2		2.4	1.6	0.3	1.0
	162	36下	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩	C-1	褐色粘土層	2.7	3.0	0.45	3.7
	163	36下	石舟未製品	褐色砂質粘板層	D-2	褐色粘土層	6.1	3.0	0.9	19.6
	164	36下	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩	D-2	褐色粘土層	3.9	3.5	0.5	7.6
	165	36下	石舟未製品	第一層赤紫色凝灰質頁岩	D-2	暗褐色砂質層	1.9	4.3	0.5	6.8
	166	36下	石舟未製品	第二層赤紫色凝灰質頁岩	D-1	褐色粘土層	4.0	4.3	0.6	10.2
	167	36下	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩		SD08 暗褐色砂質土層	2.8	3.5	0.75	8.6

標記 番号	国産 番号	石質 部類 番号	器 種	材 質	タイプ	通溝・層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)
166	36下	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩		D-1	黒色粘土層	3.9	2.4	1.2	10.6
169	36下	石舟未製品	暗灰～褐色砂質灰岩		D-1	黒色粘土層	3.1	3.6	0.6	6.9
170	36下	石舟未製品	赤紫色凝灰質頁岩		D-1	北部トレンチ 黒色粘土層	4.2	2.6	0.66	9.7
171	36下	石舟未製品	淡灰緑色凝灰質チャート		C-1	黒色粘土層	3.6	2.7	0.8	10.7
172	36下	石舟未製品	淡灰緑色凝灰質チャート		B-2	凝結褐色砂質土層	3.3	4.6	0.6	11.9
173	36下	石舟未製品	暗～褐色粘板岩		D-1	黒色粘土層	3.86	2.1	1.1	9.5
174	36下	石舟未製品	暗～灰色粘板岩		D-2	SD01	10.0	2.2	1.46	44.2
175	37上上	石舟未製品 (自然曝)	淡灰緑色凝灰質チャート		D-1	黒色粘土層	4.3	1.5	0.6	5.9
176	37上上	石舟未製品 (自然曝)	暗～褐色凝灰質チャート		D-2	SR01 黒色粘土層	4.5	1.9	0.6	10.9
177	37上上	石舟未製品 (自然曝)	暗～灰色粘板岩		D-1	黒色粘土層	6.66	1.6	0.5	9.6
178	37上上	石舟未製品 (自然曝)	暗～褐色凝灰質チャート		SD14		9.3	4.0	1.7	116.7
179	37上上	石舟未製品 (自然曝)	淡灰色凝灰質粘板岩		D-2	黒色粘土層	6.2	2.06	1.06	25.5
180	37上上	石舟未製品 (自然曝)	赤紫色粘板岩凝灰質頁岩		D-1	黒色粘土層	8.1	3.4	2.2	27.6
181	37右土	礫石	礫石				3.0	1.6	0.5	0.7
182	37右土	礫石	礫石				1.5	1.0	0.5	0.8
183	37右土	礫石	礫石		D-1	凝結褐色砂質土層	2.06	1.5	0.86	2.3
184	37右土	礫石	礫石				2.6	1.4	1.3	0.6
185	37右土	礫石	礫石			SD06	2.9	2.0	1.4	1.9
186	37右土	礫石	礫石		D-2	黒色粘土層	2.2	2.4	1.2	1.8
187	37右土	礫石	礫石			SD14	2.6	2.0	1.3	2.6
188	37右土	礫石	礫石				3.2	2.4	1.5	3.7
189	37右土	礫石	礫石				3.6	3.1	1.9	6.2
190	37右土	礫石	礫石				3.6	3.0	1.4	7.5
191	37右土	礫石	礫石		B-2	凝結褐色砂質土層	6.8	2.6	2.5	17.2
192	37右土	礫石	礫石		D-2	北トレンチ	7.0	2.2	3.3	29.9
193	37右土	礫石	礫石		B-2	凝結褐色砂質土層	6.4	5.0	3.5	32.8
194	37右土	礫石	礫石		C-1	暗灰色粘土層	6.0	4.3	2.4	16.6
195	37下	礫石材	灰～褐色中粒砂岩		D-2	黒色粘土層	3.2	2.2	1.3	12.6
196	37下	礫石材	灰色中粒砂岩		D-2	SR01 黒色粘土層	2.3	4.4	0.96	9.7
197	37下	礫石材	褐色中粒砂岩		D-2	SR01 黒色粘土層	2.0	2.3	0.9	6.2
198	37下	礫石材	灰色中粒砂岩		B-2	SD08 凝結褐色砂質土層	1.8	2.2	0.7	2.4
199	37下	礫石材	褐色中粒砂岩				4.25	4.95	1.1	28.1
200	37下	礫石材	灰色中粒砂岩				3.6	2.2	1.1	15.2
201	37下	礫石材	灰～褐色中粒砂岩		D-1	SR01	5.5	3.0	1.2	22.7
202	37下	礫石材	褐色中粒砂岩		C-2		5.0	3.6	1.1	18.2
203	37下	礫石材	灰色中粒砂岩		D-2	SR01	4.6	3.7	1.35	29.8
204	37下	礫石材	淡灰色粘板岩		D-1	SR01 黒色粘土層	6.2	4.0	3.1	61.3
205	37下	礫石材	淡褐色凝灰質砂岩		D-1	黒色粘土層	5.7	7.2	1.2	62.0
206	37下	礫石材	灰色中粒砂岩		D-2	SR01 黒色粘土層	4.4	5.4	1.1	36.7
207	37下	礫石材	灰～褐色中粒砂岩		B-2	SD08 凝結褐色砂質土層	5.7	3.6	0.8	20.3
208	37下	礫石材	暗～灰色含泥粘板岩		B-2	凝結褐色砂質土層	8.2	10.9	5.5	478.5

検出番号	図版番号	写真図版番号	部 類	材 質	グロッフ	液滴・屑粒	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)
	209	37下	磁石材	淡褐色粗粒砂岩	D-2	SD01	3.7	15.0	1.8	228.7
	210	38上	薄片1	灰色中粒砂岩	B-2		4.3	5.2	0.85	21.4
	211	38上	薄片1	褐色中粒砂岩	D-1		3.4	4.7	0.8	11.5
	212	38上	薄片1	褐色中粒砂岩	D-2		3.3	5.8	1.05	30.8
	213	38上	薄片1	灰色粗粒砂岩	D-1	SD14西溝	3.1	4.6	0.5	12.7
	214	38上	薄片1	灰色中粒砂岩	D-1		4.3	5.4	0.9	21.5
	215	38上	薄片1	灰色細粒砂岩	D-2		5.35	5.7	0.8	31.9
	216	38上	薄片1	灰色中粒砂岩			3.4	5.0	1.0	11.5
	217	38上	薄片1	灰色中粒砂岩			3.7	4.7	1.2	20.8
	218	38上	薄片1	褐色中粒砂岩	C-2		2.85	5.7	0.4	8.0
	219	38上	薄片1	褐色中粒砂岩	C-1		2.4	5.2	0.8	21.7
	220	38上	薄片1	褐色中粒砂岩		SD14	3.4	5.2	0.6	13.2
	221	38上	薄片1	褐色中粒砂岩	D-1	SD14西溝	4.8	7.9	1.1	50.1
	222	38上	薄片1	褐色中粒砂岩	D-1		4.68	3.7	0.55	15.44
	223	38上	薄片1	褐色中粒砂岩	C-2		4.5	4.5	1.0	22.29
	224	38上	薄片1	褐色中粒砂岩	B-2		4.6	3.1	1.3	17.1
	225	38上	薄片1	褐色中粒砂岩	C-2		5.1	5.7	1.0	39.3
	226	38上	薄片1	褐色中粒砂岩	D-1	SD14西溝	5.5	7.5	1.0	40.9
	227	38上	薄片1	褐色中粒砂岩	D-2		9.0	9.9	1.3	210.3
	228	38上	薄片1	褐色中粒砂岩	D-2		8.4	6.2	1.3	87.1
	229	38上	薄片1	褐色中粒砂岩	D-1		6.0	5.9	1.0	47.1
	230	38上	薄片1	褐色中粒砂岩	D-1		4.85	6.6	0.8	34.4
	231	38下	薄片2	褐色中粒砂岩	D-2		5.1	3.7	0.55	8.8
	232	38下	薄片2	褐色中粒砂岩		SD01	5.9	2.9	0.6	10.5
	233	38下	薄片2	褐色中粒砂岩	D-2		3.5	4.25	0.65	10.3
	234	38下	薄片2	褐色中粒砂岩	D-2		4.1	2.75	0.7	11.8
	235	38下	薄片2	褐色中粒砂岩	D-2		3.1	5.5	0.7	10.7
	236	38下	薄片2	褐色中粒砂岩		SD08	5.1	2.7	0.75	10.5
	237	38下	薄片2	褐色中粒砂岩	D-2		2.9	2.4	0.35	2.0
	238	38下	薄片2	褐色中粒砂岩	D-2		2.2	2.5	0.6	4.1
	239	38下	薄片2	褐色中粒砂岩	B-2		4.3	3.5	0.9	19.9
	240	38下	薄片2	褐色中粒砂岩	D-1		4.2	2.5	2.0	47.8
	241	38下	薄片2	褐色中粒砂岩	D-2		3.9	4.8	1.5	9.7
	242	38下	薄片2	褐色中粒砂岩			5.6	4.5	0.6	47.7
	243	38下	薄片2	褐色中粒砂岩	C-2		3.5	5.0	1.4	22.4
	244	38下	薄片2	褐色中粒砂岩	D-2		6.05	3.9	0.9	59.6
	245	38下	薄片2	褐色中粒砂岩	D-1		6.6	2.4	0.8	8.1
	246	38下	薄片2	褐色中粒砂岩	B-2		5.7	5.1	2.1	59.3
	247	38下	薄片2	褐色中粒砂岩	D-1		3.6	4.3	0.6	8.3
	248	38下	薄片2	褐色中粒砂岩	B-2		5.1	3.3	1.1	19.1
	249	38下	薄片2	褐色中粒砂岩	D-2		4.0	2.9	0.6	6.0
	250	38下	薄片2	褐色中粒砂岩	C-2		5.9	3.7	1.0	30.2

標記 番号	加工 番号	写真 図版 番号	形 状	材 質	グループ	透輝・層位	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
251	38下		剥片2	褐～黒色頁岩	D-2	黒色粘土層	4.8	2.6	1.2	20.4
252	38下		剥片2	暗灰色細粒砂岩	B-2		5.2	6.2	1.05	45.5
253	38下		剥片2	黒色粘板岩	D-1	SD14西溝	5.5	5.5	1.4	53.8
254	38下		剥片2	黒色粘板岩	D-2	明貴褐色砂礫層	7.5	4.8	1.15	57.6
255	38下		剥片2	褐～暗灰色粘板岩	D-2	黒色粘土層	5.3	4.6	0.8	19.9
256	38下		剥片2	褐～暗灰色ホムンフェルス		SP05	2.65	5.9	1.55	82.7
257	38下		剥片2	褐～暗灰色ホムンフェルス	D-2	SP03 黒色粘土層	12.0	4.1	1.1	61.0
258	38下		剥片2	黒色粘板岩	D-1	黒色粘土層	7.0	2.4	2.0	48.5
259	38下		剥片2	褐～黒色粘板岩	D-1	黒色粘土層	7.5	4.0	1.55	82.2
260	38下		剥片2	暗灰色砂質粘板岩	D-1	明貴褐色砂礫層	9.15	3.45	1.3	40.8
261	38下		剥片2	褐～暗灰色中粒砂岩	D-2	SR01	5.4	5.7	1.3	58.0
262	38下		剥片2	黒色粘板岩		SP06	7.3	5.05	1.5	52.1
263	38下		剥片2	黒色粘板岩	D-2	SR01 黒色粘土層	7.1	4.1	0.85	22.3
264	38下		剥片2	黒色粘板岩	D-2	黒色粘土層	(5.25)	4.9	(0.86)	(28.73)
265	38下		剥片2	暗灰色粗粒頁岩	D-1	黒色粘土層	10.2	2.5	0.7	27.3
266	38下		剥片2	暗灰色細粒砂岩	B-2	暗褐色砂質土層	5.6	3.1	0.85	20.1
267	38下		剥片2	褐～黒色粘板岩		明貴褐色砂礫層	4.9	4.8	1.3	54.1
268	38下		剥片2	黒色粘板岩	D-1	黒色粘土層	8.4	5.5	1.2	69.8
269	38下		剥片2	黒色粘板岩	D-2	明貴褐色砂礫層	8.9	5.4	1.1	80.6
270	38下		剥片2	灰～褐色中粒砂岩	D-2		10.5	6.4	1.5	149.3

石剣 (第66図92)

92は石剣の破片である。両面に磨きをかけて刃を仕上げしており、刃部上半を欠損している。

打製刃器 (第67図93～96)

打製刃器は4点出土している。いずれも表面に自然面を残し、調整により刃部を作り出している。96は側縁及び刃部に剥離調整を行う。

石鏃 (第67図97～第68図103)

97～99は有溝石鏃であり、楕円形の鏃の長軸方向に敲打による溝が付けられている。100～103は有頭石鏃である。100は頭部に溝を巡らせている。101・102は敲打により頭部を作り出している。比較的大形の製品であり、外洋性の鏃と考えられる。103は両頭の石鏃であり、頭部を欠失している。99・101は側面に敲打痕が残り、敲打に転用している可能性が考えられる。

その他の石器 (写真図版37-181～38-270)

195～209は砥石の石材と見られる資料である。181～194の軽石は砥石として利用するために持ち込まれた可能性があるが、加工痕は確認されていない。210～270は剥片である。210～230は円形の礫を打ち欠いて剥片を作り出している。

3 木製品

木製品は、流路（SR）や土坑（SK）の内部から多数出土している。そのうち14点を図化しており、いずれも弥生時代中期中葉～後葉に属すると見られる。特に流路に接したSK29及びSK32内からは木製品を含む大量の木製品が出土しており、土坑内に水を張って製作途中の木製品を保管し、加工して使用していたと考えられる。

第75図1～第76図5は舟形隆起を作り出し、柄の孔がまだ作られていない段階の直柄鍔の木製品である。1は広鍔の木製品が二連につながっている。頭部は上端から下に向かって約3分の1のところまで両側面を削って湾曲させており、刃部付近は両側面がほぼ平行している。中央に舟形突起があり、立ち上がりの幅も長さもほぼ同じである。上下の鍔はそれぞれ傾きが異なっており、縦断面、横断面とも方向にずれが見られる。上下の鍔はいずれも刃部の右側が欠損している。全体的に腐食が進んでもろくなっている。

2は広鍔の木製品であり、右側面が一部欠損している。頭部の両側面を切り欠いており、中央に舟形突起がある。隆起の部分は菱形で、周囲に加工痕が見られる。表面は腐食している。

3は広鍔の木製品であり、上部左側面が一部欠損している。平面形は長方形で中央が隆起しており、突起の上面は平坦に作られている。上下端部は木取りの切断痕が見られる。裏面は腐食している。

4は狭鍔の木製品である。上端部と下端部に加工痕が残っており、中央が隆起している。全体的に腐食していてもろくなっている。

5は広鍔の木製品であり、上部が欠損している。中央が隆起しており、下端まで続いている。刃部が広がりが見られ、裏面が湾曲している。

第76図6は凹下型である。下端部を欠損しており、2ヶ所の孔を両面から削って作り出している。全体的に腐食が進んでいる。

第76図7は壱片である。上端部は丸く削っており、先端は平らになっている。右側面と下部が欠損しており、下部には焦痕が残る。側面は上部に向かってやや太くなっており、表面には加工痕が残る。

第76図8～第77図14は加工痕の残る板材である。いずれも樹種は鍔の木製品と同一のアカガシ属であり、農具の製作のために土坑内に保管された木材であると考えられる。

8は上下先端及び表面上部に加工痕が残っており、下部は中央が隆起している。裏面はほぼ平らに調整しているが、下部は右側面が削られて湾曲している。

9は上部右側及び裏面に刃痕のようなものが確認でき、表面先端部と左側面及び下部に加工痕が残る。表面は腐食のため割れ、いくつかの段差ができています。

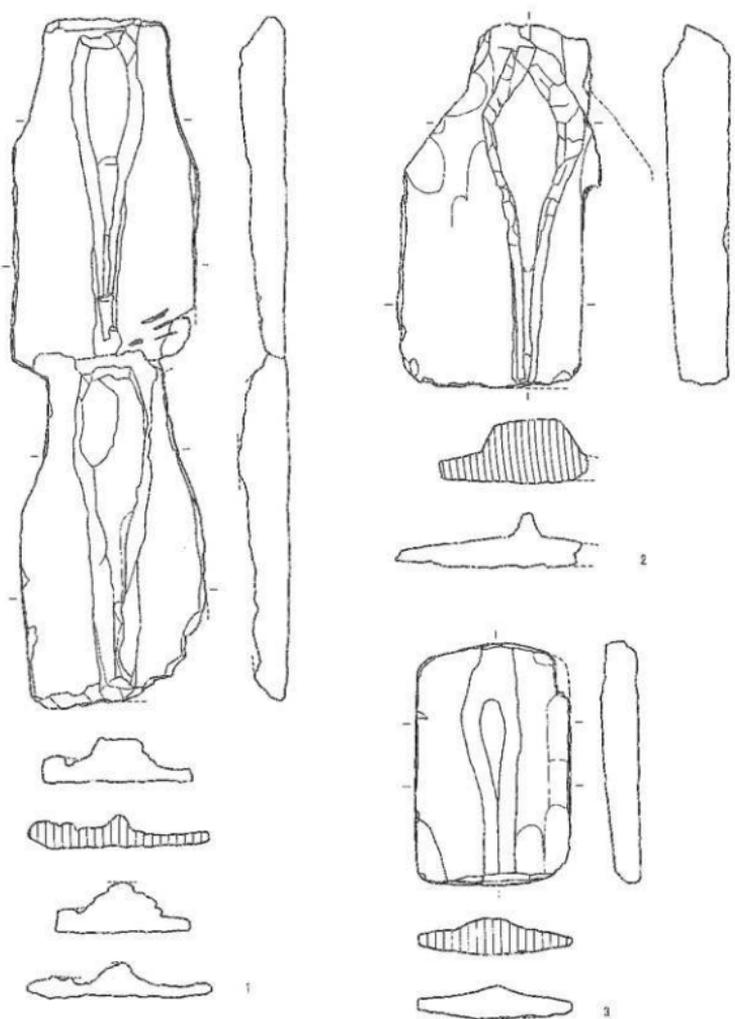
10は左側面に切断した際の刃痕が残っており、先端部は削っている。

11は表面の下半分に調整痕や細い刃痕が残存する。下端部には加工痕が残るが、先端部は削れて欠損している。裏面上部は平らに調整しているが、下部は両面を削り、下端部に向かって薄く加工している。

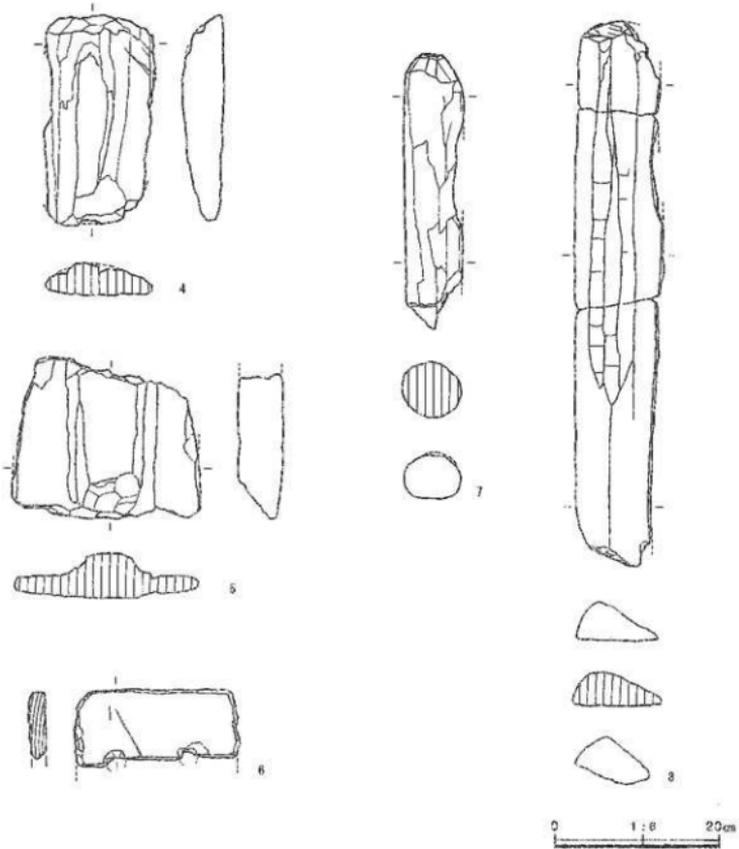
12は上下端に加工痕が残る。表面に加工痕及び細い刃痕が残存する。裏面上部はほぼ平らに調整しているが、下部は両面から削り、下端部に向かって薄く加工している。

13は上下端部に切断した際の刃痕が残る、裏面は湾曲している。左側面は欠損しており、全体的に腐食しててもろくなっている。

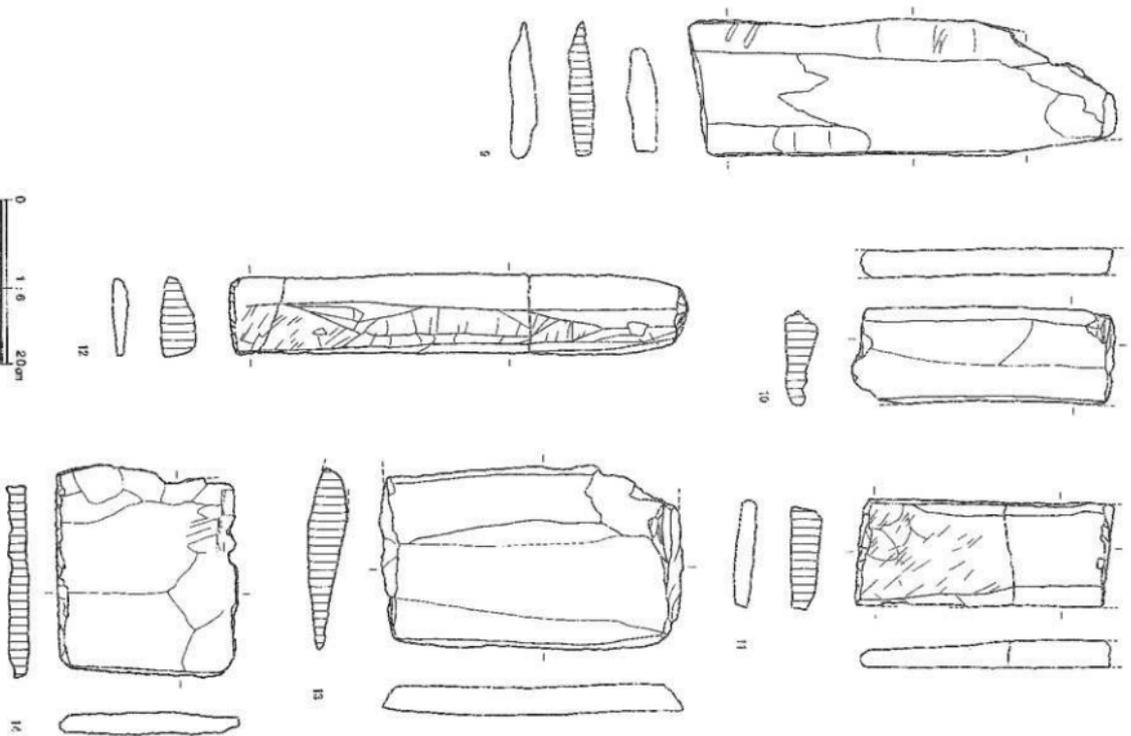
14は上下端部及び裏面に切断した際の刃痕が残る、下端部はV字に切断している。



第75圖 木製品1



第76图 木製品2



第77圖 木製品3

第10表 木製品一覧

押込番号	図版番号	写真図版 番号	仕様	樹種	標本No.	木取り	グラッド	透構・肩位	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)
第75図	1	39	広縁未成品	アカガシ亜属	12543	縦目		SK26	88.4	23.7	6.2
第75図	2	39	広縁未成品	アカガシ亜属	12537	縦目	D-2	にほい黄褐色砂屑	46.1	(24.8)	7.8
第75図	3	39	広縁未成品	アカガシ亜属	12542	縦目	D-2	SK25	29.8	19.1	3.8
第76図	4	39	狭縁未成品	アカガシ亜属	12544	縦目		暗黄褐色砂屑層	25.9	13.6	5.1
第76図	5	39	広縁未成品	アカガシ亜属	12638	縦目	B-2	SK19	(19.8)	22.9	5.5
第76図	6	40	田下敷	スギ	12540	縦目		SR01	(9.6)	20.2	2.1
第76図	7	40	窓枠	アカガシ亜属	12639	縦目		SR02	(35.9)	7.3	6.8
第76図	8	40	板材	アカガシ亜属	12549	縦目		SK32	87.2	10.8	5.9
第77図	9	40	板材	アカガシ亜属	12547	縦目		SK32	52.6	16.7	3.8
第77図	10	40	板材	アカガシ亜属	12545	縦目		SK32	(32.5)	(12.2)	3.9
第77図	11	40	板材	アカガシ亜属	12646	縦目		SK32	(32.1)	13.6	3.8
第77図	12	40	板材	アカガシ亜属	12560	縦目		SK32	55.6	10.1	4.3
第77図	13	40	板材	アカガシ亜属	12649	縦目		SK32	37.5	22.6	4.9
第77図	14	40	板材	アカガシ亜属	12641	縦目	D-2取	SK26	22.2	26.1	2.6

第5章 まとめ

1 有東遺跡出土の弥生時代中期土器について

今回の調査における出土土器は中期中葉から後葉のものが中心である。中期中葉の古い時期の要素を残す土器としては、沈線による区画の内部に条痕が施される平沢型に類似する壺がSD09・SK23・SF02等の遺構において散見されている。中期中葉後半の南関東地方の土器は中里系と呼ばれており、壺の沈線内の条痕が見られなくなり、縄文の施文後に沈線による2～3重の区画が施される。駿河地方におけるこの時期に相当する土器は有東遺跡第16次調査SK05出土土器が基準とされている。本調査でこれらの段階に相当すると見られる土器はSR02において出土しており、瓜罫式の古い段階の壺や襷田式の壺を伴っている。壺としては磨消線文壺が出土している。なお、SR02以外の遺構でも、図化していない磨消線文壺の破片がSD08・13・14、SK21・23・28、SR01・02の各遺構及び遺構外の黒色粘土層から多数出土している。また、SD14においても太指の沈線による区画が施される土器が出土しているものの、文様構成の形態化が始まっており、付加沈線が見られなくなる瓜罫式の新しい段階の土器を伴っていることから、SD14出土土器は中期中葉後半の中でもより新しい段階に属する可能性が考えられる。

中期後葉の土器はSR01や遺構外において多く出土しており、大きく2段階に分類できる。中期後葉前半の土器として、帯縄文を沈線で区画して結紐文などの文様を施す壺や樹指文系の壺が見られ、壺は横位羽状文壺が多く出土している。中期後葉後半には、壺に磨消文や波状文と直線文による文様が施され、粟林式の影響も見られるようになる。しかし、これらの土器は本調査においては遺構に伴う出土がほとんど見られないこともあり、詳細な時期区分については不明な部分が多い。

2 有東遺跡における集落の変遷について

これまでに実施された有東遺跡の調査結果に基づき、弥生時代中期から後期における集落の変遷についてまとめると次のようになる。

集落の形成は中期中葉に開始されており、遺跡の東部（第4次・第8次・第16次）を中心に活動の跡が認められる。その後、集落は北西方向に広がっていき、弥生時代中葉の集落は第1次調査地付近を中心に展開していくと考えられている（文献14）。これまでの調査では中期の明確な堅穴住居跡は検出されていないが、第4次・第8次・第10次・第11次等の各調査において、広範囲に密集する小穴群が検出されている。小穴は礎板や柱根を残すものが多く、多数の建物が広範囲に広がっていた可能性が高い。これらの集落域は久能街道微高地上に立地しており、自然流路である川によって区切られている。第4次調査区では川の方向に併行する溝が検出されており、第11次調査においても居住域内を区画していたと推定される溝が検出されている。これらの川筋や溝の検出状況から、弥生時代中期の居住域は、巨視的には一つの居住域によって構成されており、この広範囲の居住域が、川や溝によっていくつかの小居住域に分割されていることが推定されている（伊藤 1991）。

中期後半の墓域は北東部（第8次・第15次・第16次・第19次）及び南西部（3次・5次・6次）の2ヶ所に分かれて立地している。いずれも集落の隣接地に位置しているが、集落とは異なる小微高地に位置しており、川および低地によって集落と隔られている。

中期の水田については不明な点が多いが、第4次調査において川跡から中期中葉段階の土器に伴う木製農耕具や、その製作具としての石器の出土が見られることから、有東遺跡において中期中葉から水稲

農耕が開始していた可能性が指摘されている（文献5）。中期中葉の確実な水田遺構は検出されていないが、中期後半の水田の存在を示す遺構として、第8次調査区において水田の痕跡が確認されているほか、第11次調査区において疑似畦畔状遺構による小区画が検出されている。

弥生時代後期以降は居住域のほぼ全域が水田域へと移行し、水田が広範囲に広がる。この水田化の要因の一つとして、弥生後期の小海進に伴う湿地面積の拡大が生じたことが推定されている（文献5・平野 1990・伊藤 1991）。後期におけるこのような水田域の拡大は、葦ノ道遺跡や瀬名遺跡など周辺遺跡の多くで認められている。また、有東遺跡の南西側には有東橋子遺跡・登呂遺跡において水田域が新設されている。これらの遺跡における水田は連続するものである可能性が高く、周辺地域への水田域の拡大に連なるものであることが推定されている。

一方、居住域は水田化により規模が縮小及び分立化が進み、それぞれが集落を構成するようになる。第5次調査区や第11次調査区においては後期前半の住居跡が検出され、その上位で水田が確認されており、後期の中での水田域の移動または拡大を示していると考えられている。

今回の調査地点では第1面において弥生後期～古墳前期と考えられる水田跡が検出され、第2面において弥生中期中葉～後葉の竪立柱建物跡、溝状遺構、小穴等が検出された。また、中期中葉～後葉の出土遺物として多量の石器、木製品が認められている。往穴の可能性のある小穴が多く検出され、出土遺物の量も多いことから、本調査地点は中期中葉から後葉における有東遺跡の居住域の中心部の一角に含まれる区域であると考えられる。また、検出された流路は第4次・第8次調査区で検出されている川跡と連結する可能性が考えられ、直線上に架られたSD08などの溝は居住域を区画する溝の一つである可能性も推定できる。

3 有東遺跡における石器製作について

本調査における石器の出土は、ほとんどが沓路（SR）とその周辺及び土坑（SK）の中に集中しており、石器製作具と考えられる敲石・砥石及び木製品の生産具と考えられる太型蛤刃石斧・柱状片刃石斧・扁片刃石斧等のほか、石器製作に伴って生じたと思われる剥片や未製品が多く出土している。

片刃石斧の製作工程については、有東遺跡第4次調査及び川合遺跡の報告において荒割り・調整剥離・研磨の段階に分類されている。本調査区においても荒割り及び調整剥離段階の未製品が出土しており、特に荒割り段階の未製品が半数以上を占めている。第4次調査及び川合遺跡の出土品については、荒割りの段階ですでに研磨が施される資料が見られることが確認されており、本調査区出土の石斧未製品についても同様に荒割りの段階で研磨された未製品の存在が確認された。また、調整剥離の段階で折損している資料も多く見られる。

本調査においては、石斧及び砥石の製作のために採集されたと思われる未加工の石材も出土している。これらの石斧の石材は安倍川流域付近において採集されたと思われる凝灰岩を用いているものが大半であり、現在でも安倍川および薬科川流域において同種の石材を手に入れることができる。また、砥石の石材として使われている砂岩は静岡層群に含まれるものであり（伊藤 1992）、川合遺跡においては長尾川や瀬名川の河原において採集され、有東遺跡においては八幡山・谷津山の陥頭から採集された可能性が推定されている。中期後半の静岡平野では、集落において必要な石器は基本的に各自で生産し、消費していたと考えられており、今回の調査においても石器製作の道具や未製品が多く出土している点から、付近で石材を採集し、集落内で石器製作を盛んに行っていたことが推定される。

4 有東遺跡出土の木製品について

今回出土した木製品は全て中期後半の資料であり、図化した以外にも多量の木製品が出土している。農具としては、鉄の未製品が土坑（SK）から出土しており、製作途中の木製農具を土坑内に水を張って保管していた可能性が推定される。第4次調査においても同様に、河川跡から未製品を含む多量の木製品が出土しており、広鋏・狭鋏・組み合わせの鋤などの農具が多く出土していることから、集落内で木製品の製作が行われていたと考えられている。

弥生時代中期の静岡平野では、瀬名遺跡において弥生中期後葉の水田が検出されている以外には明確な水田遺構を検出する遺跡は少ないが、有東遺跡においても中期後葉の水田の痕跡を示す遺溝などが検出されている。稲作農耕が導入されたと考えられる中期後半の段階から木製農具の基本的な組み合わせが完成していたと考えられている。また、木製品の加工具としての太型始刃石斧・柱状片刃石斧・扁平片刃石斧などの石器も、弥生時代中期中葉に基本的な組み合わせが完成した状態で導入されていると考えられており（平野 1990）、水田域が明確ではないものの、木製農具や出土状況から見て、中期後半の段階から稲作農耕が開始されていた可能性を示す貴重な資料であると考えられる。

本書の作成にあたっては、次の方々に有益なご指導・ご助言を賜った。記して感謝の意を申し上げたい。

（敬称略・五十音順）伊藤通玄、篠原和大、平野吾郎

参考文献

- 伊藤淳史 1996 「太平洋沿岸における弥生文化の展開」『YAY！弥生土器を語る 回20 回到迷記念論文集』
- 伊藤寿夫 2002 「弥生時代の生産域（水田）と集落」『静岡県における弥生時代集落の変遷』静岡県考古学会
- 伊藤通文 1992 「川合遺跡より出土した石器の材質」『川合遺跡 遺物編2』静岡県埋蔵文化財調査研究所
- 加藤明秀・芦沢長介 1938 「静岡市有東杉原馬捨場弥生式遺跡」『考古学第9巻第9号』東京考古学会
- 加藤芳朗 1983 「有東遺跡をめぐる地形・地質的背景」『有東遺跡Ⅰ』静岡県教育委員会
- 加納俊介・石黒立人編 2002 「弥生土器の様式と継年 東海編」木耳社
- 静岡県教育委員会 1983 「有東遺跡Ⅰ下 静岡市警察署建設用地内埋蔵文化財調査報告書」静岡県文化財調査報告書第28集
- 静岡県埋蔵文化財調査研究所 1990 『川合遺跡（遺物編）平成元年度静岡バイパス（川合地区）埋蔵文化財発掘調査報告書 本文編』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告第25集
- 静岡県埋蔵文化財調査研究所 1996 『川合遺跡（遺物編1）平成7年度静岡バイパス（川合地区）埋蔵文化財発掘調査報告書 土器・土製品本文編』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告第83集
- 静岡県埋蔵文化財調査研究所 1992 『川合遺跡（遺物編2）平成3年度静岡バイパス（川合地区）埋蔵文化財発掘調査報告書 石製品・金属製品本文編』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告第36集
- 静岡県埋蔵文化財調査研究所 1996 『川合遺跡（遺物編3）平成元年度静岡バイパス（川合地区）埋蔵文化財発掘調査報告書 木製品本文編』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告第84集
- 静岡県埋蔵文化財調査研究所 2004 「『額名川遺跡Ⅱ 平成13～16年度（都）北側道線緊急地方道路整備事業（街路B）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告第155集
- 菅原和夫 2008 「静岡・清水平野における弥生遺跡の分布と展開」『静岡県考古学研究40』
- 中日本高速道路株式会社横浜支社・静岡県埋蔵文化財調査研究所 2007 『小瀬戸遺跡・栗ヶ沢遺跡 第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 静岡市-1』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告第176集
- 中野有 1988 「登呂遺跡の再検討」『日本における稲作農耕の起源と展開』日本考古学会静岡大会実行委員会・静岡県考古学会
- 平野吾郎 1990 「東海地方における水田稲作の開始について」『研究紀要Ⅲ』静岡県埋蔵文化財調査研究所

有東遺跡調査関係文献

- 文献1 杉原荘介 1951 「静岡市有東第一遺跡」『日本考古学年報1』日本考古学協会
- 文献2 復藤守一 1961 「静岡市有東第二遺跡」『日本考古学年報1』日本考古学協会
- 文献3 中野 有 1934 「登呂遺跡第6次調査と周辺遺跡」『登呂遺跡発見40周年記念シンポジウム資料』登呂遺跡シンポジウム実行委員会
- 文献4 伊藤寿夫 1988 「有東遺跡」『日本考古学協会設立40周年記念シンポジウム 日本における稲作農耕の起源と展開—資料集—』日本考古学協会静岡大会実行委員会・静岡県考古学会
- 文献5 静岡県教育委員会 1983 「有東遺跡Ⅰ」静岡県文化財調査報告書第28集
- 文献6 静岡市教育委員会 1990 『静岡市の埋蔵文化財発掘調査の概要 平成元年度』
- 文献7 静岡市教育委員会 1992 『静岡市の埋蔵文化財発掘調査の概要 平成2年度』
- 文献8 伊藤寿夫 1991 「静岡市有東遺跡における弥生時代集落の検討」『静岡市立登呂博物館報2—平成3年度—』静岡市登呂博物館

- 文献9 静岡市教育委員会 1993 『ふちゆーるNo.1 平成3年度静岡市文化財年報』
- 文献10 静岡市教育委員会 1995 『ふちゆーるNo.3 平成5年度静岡市文化財年報』
- 文献11 静岡市教育委員会 1997 『ふちゆーるNo.5 平成7年度静岡市文化財年報』
- 文献12 静岡市教育委員会 1997 『有東遺跡第14次調査報告書』静岡市埋蔵文化財調査報告43
- 文献13 静岡市教育委員会 1997 『有東遺跡第15次発掘調査報告書』静岡市埋蔵文化財調査報告40
- 文献14 静岡市教育委員会 1997 『有東遺跡第16次発掘調査報告書』静岡市埋蔵文化財調査報告39
- 文献15 静岡県埋蔵文化財調査研究所 1998 『静岡県埋蔵文化財調査研究所年報14（平成9年度事業概要）』
- 文献16 静岡市教育委員会 1999 『ふちゆーるNo.7 平成9年度静岡市文化財年報』
- 文献17 静岡市教育委員会 2001 『ふちゆーるNo.9 平成11年度静岡市文化財年報』
- 文献18 静岡市教育委員会 2001 『有東遺跡（第19次発掘調査）』静岡市埋蔵文化財調査報告56
- 文献19 静岡県埋蔵文化財調査研究所 2002 『有東遺跡—第20次発掘調査報告書—』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告第134集
- 文献20 パル文化財研究所 2008 『静岡県静岡市有東遺跡—店舗建設に伴う第21次発掘調査報告書—』
- 文献21 静岡市教育委員会 1987 『有東壺子遺跡』
- 文献22 静岡市教育委員会 1989 『有東壺子遺跡2 第3次発掘調査報告書』

写 真 图 版



遺跡遠景（南より）

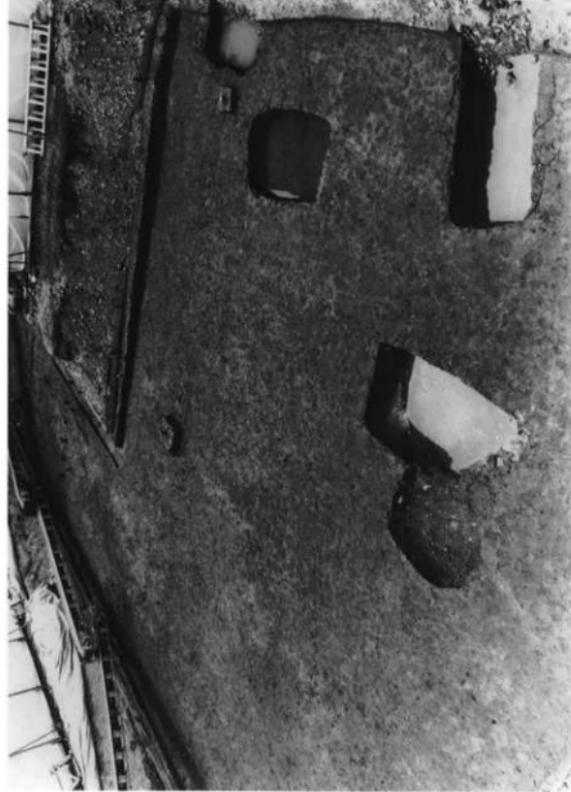


調査区近景（北より）

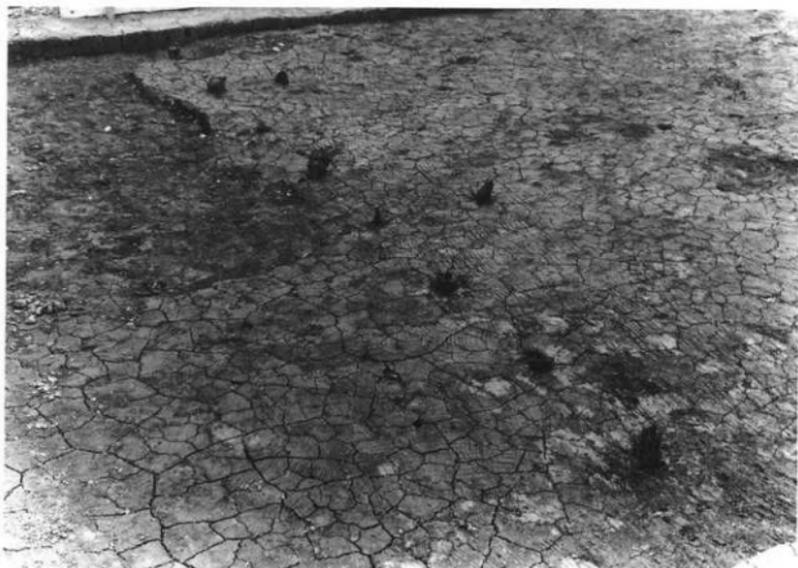
図版2



調査区南壁土層堆積状況（北より）



第1面完壁状況（北西より）



第1面杭列検出状況（東より）



第1面粘土ブロック検出状況（東より）

図版4



SD04付近（西より）



SD08西壁土層（東より）



SD08・SK19検出状況（北より）



SD08・SK19付近（北より）

図版 6



SD13 検出状況（北より）



SD14 検出状況（東より）

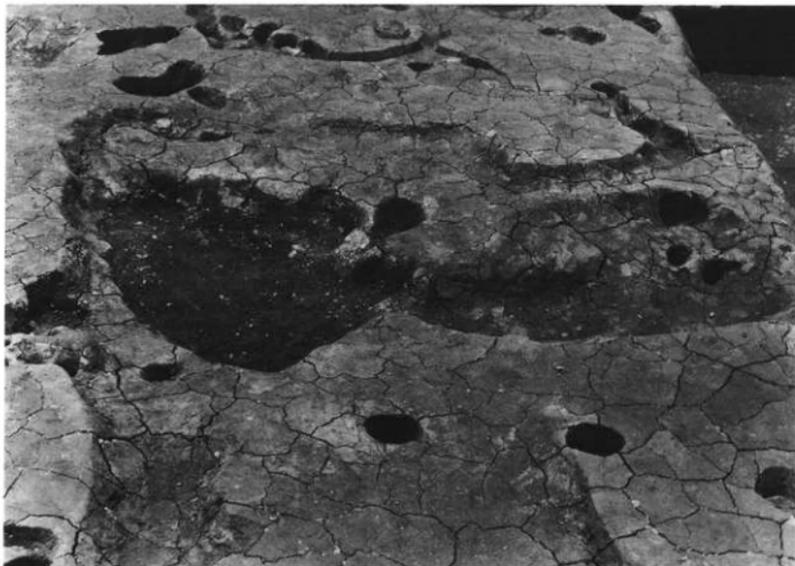


SK01 検出状況 (北西より)

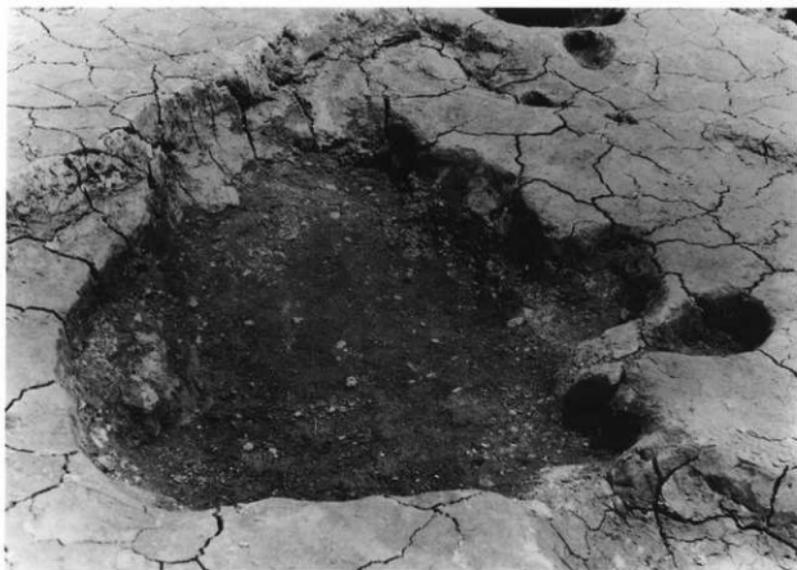


SK01 完掘状況 (北より)

図版 8



SK08 付近 (北より)



SK08 検出状況 (東より)



SK20 検出状況(北より)



SK25 検出状況(北より)

図版10



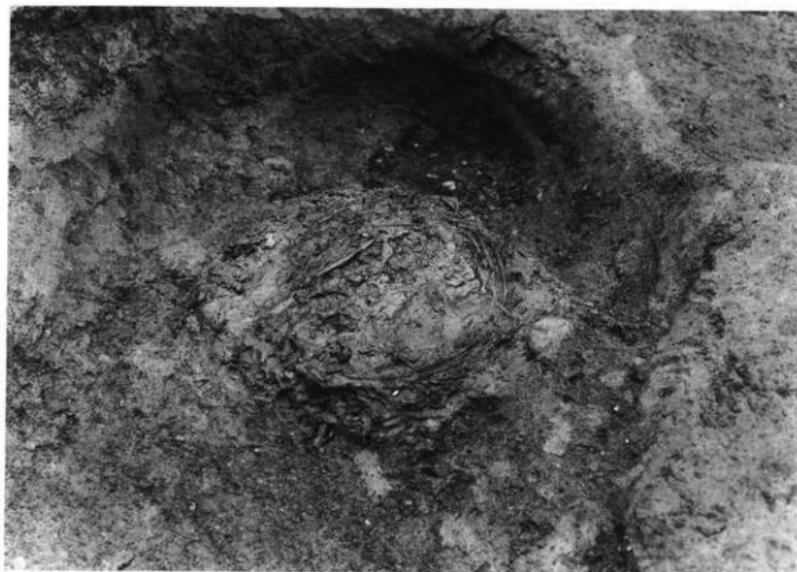
SK28 検出状況（東より）



SK29 上面検出状況（北より）



SK29下面検出状況（南より）



SK30検出状況（東より）

図版12



SK32 検出状況（南より）



SR01・02 検出状況（南西より）

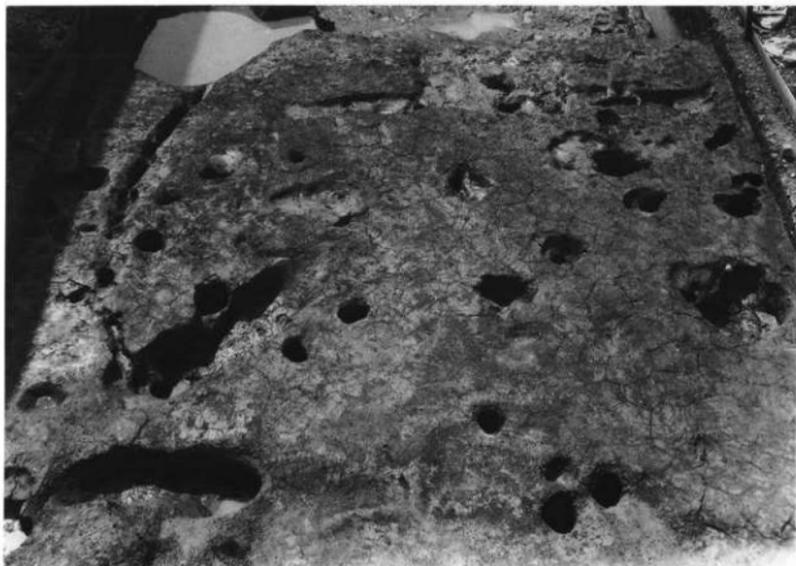


北側ビット群（北東より）



中間部ビット群（南より）

図版14



中間部ピット群（北より）



南側ピット群（北より）



南側ビット群（北東より）



南側ビット群（南西より）

図版16



調査区全景（北より）



調査区全景（南より）



17



20



25



26



28



29



91



127

图版18





338



352



347



355



351



483



357



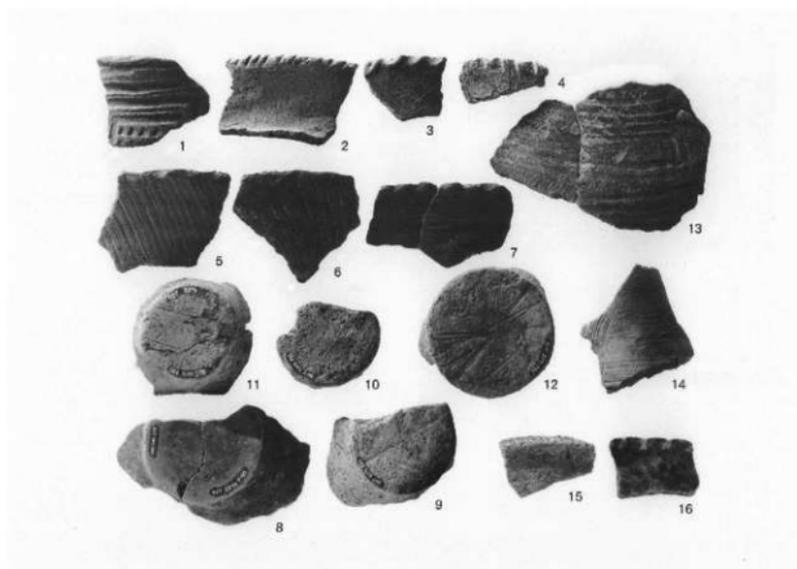
358



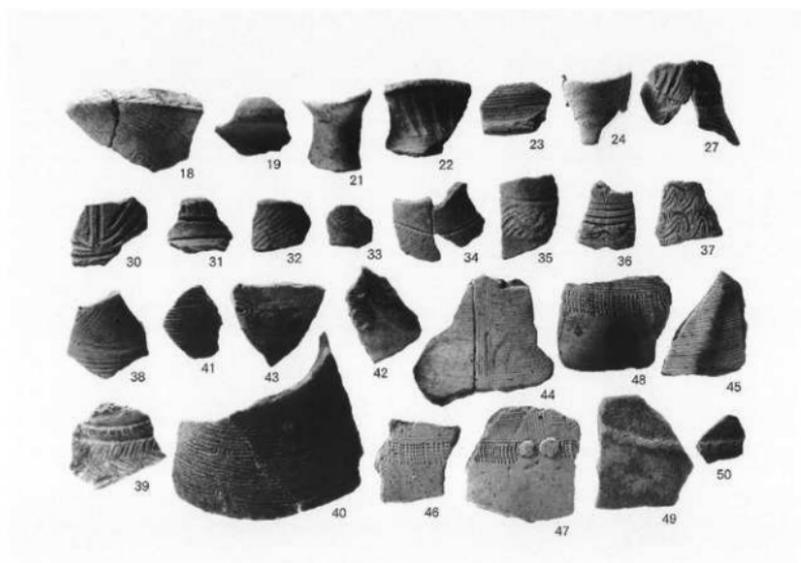
481



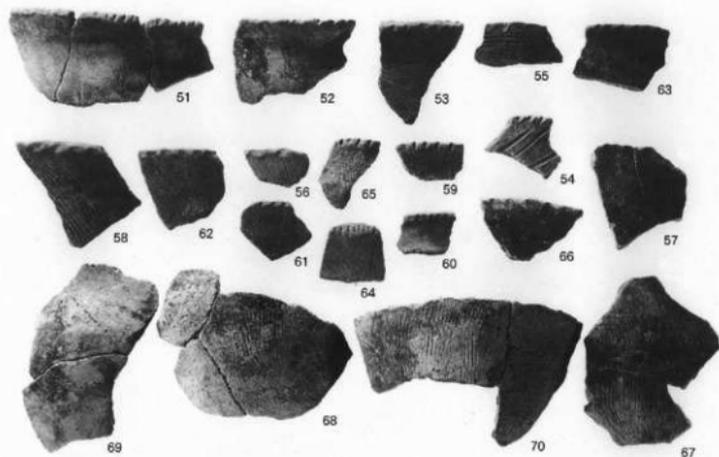
482



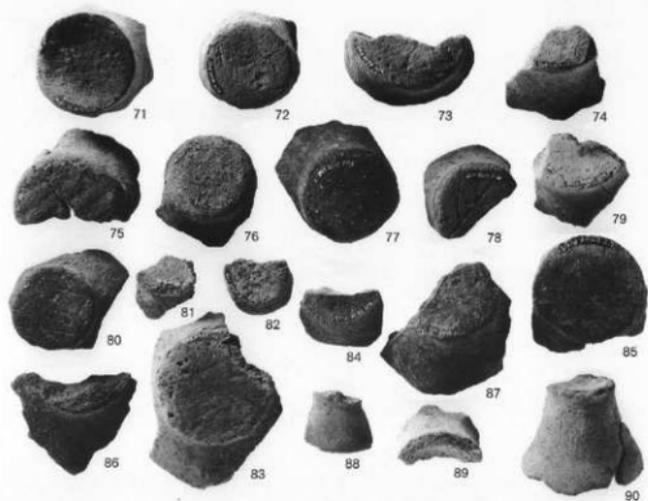
SD08・SD09・SD13出土土器



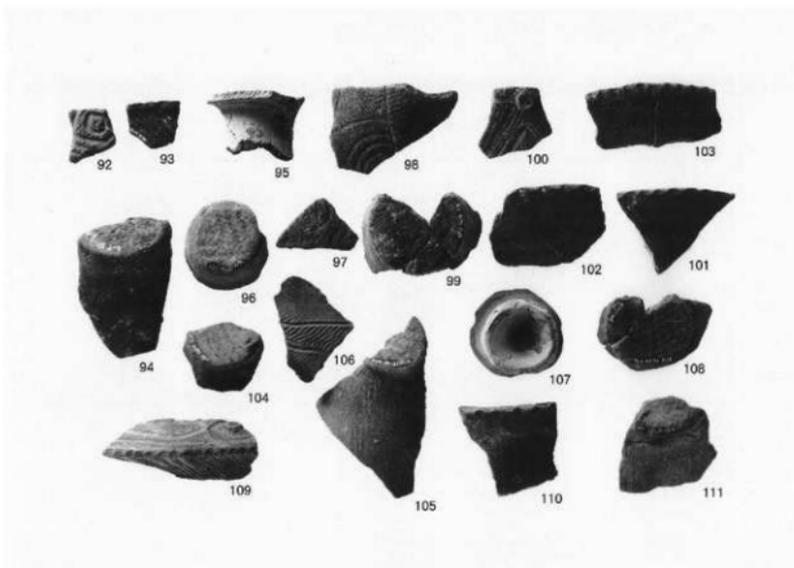
SD14出土土器(壹)



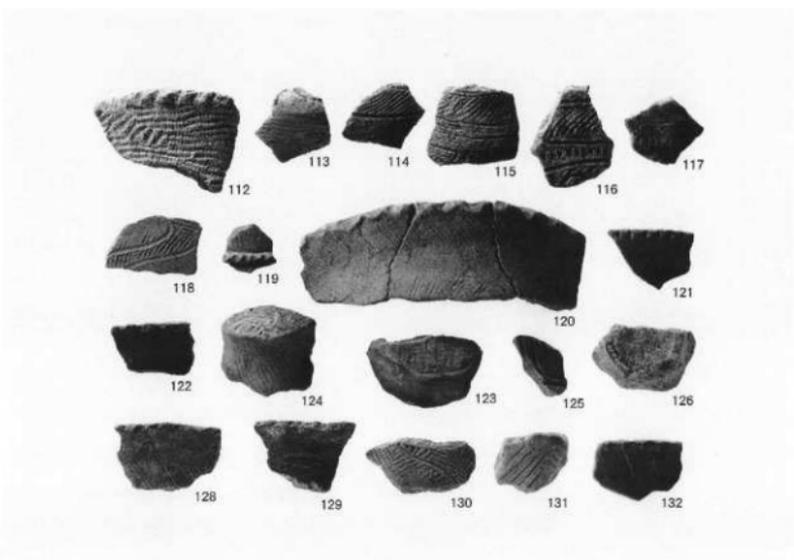
SD14出土土器 (壁)



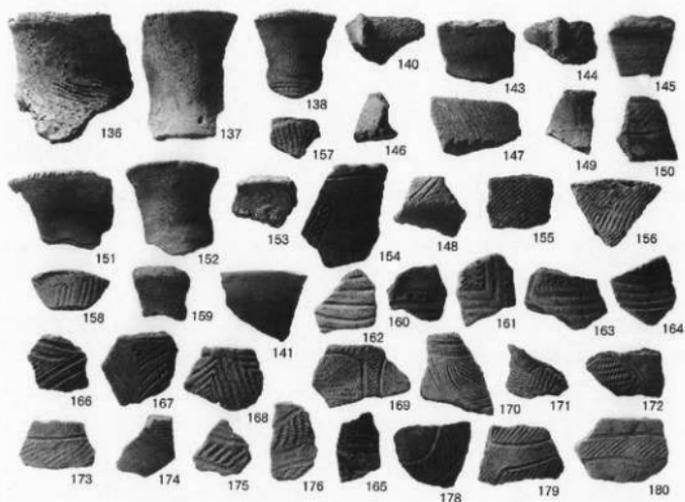
SD14出土土器 (底部)



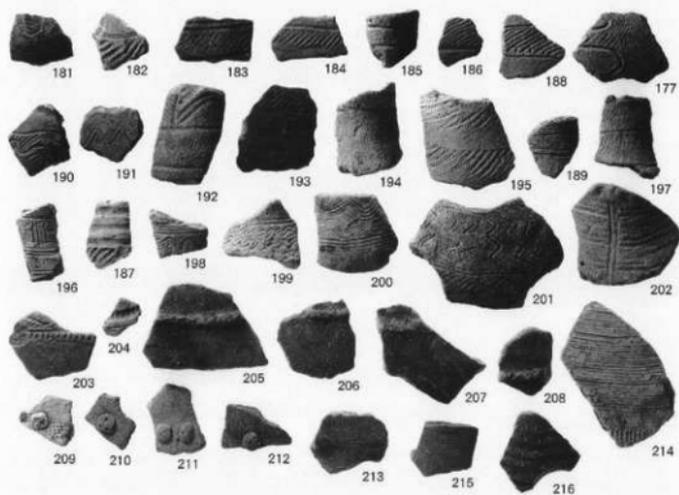
SK08~SK27出土土器



SK28・SK29出土土器

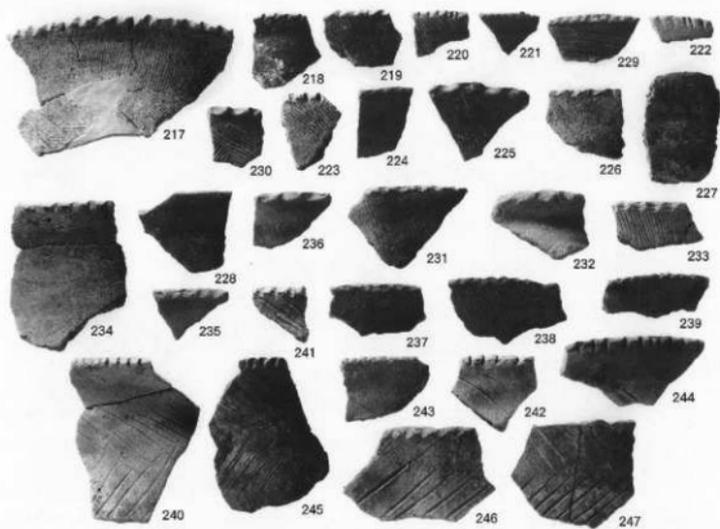


SR01 出土土器 (壹)

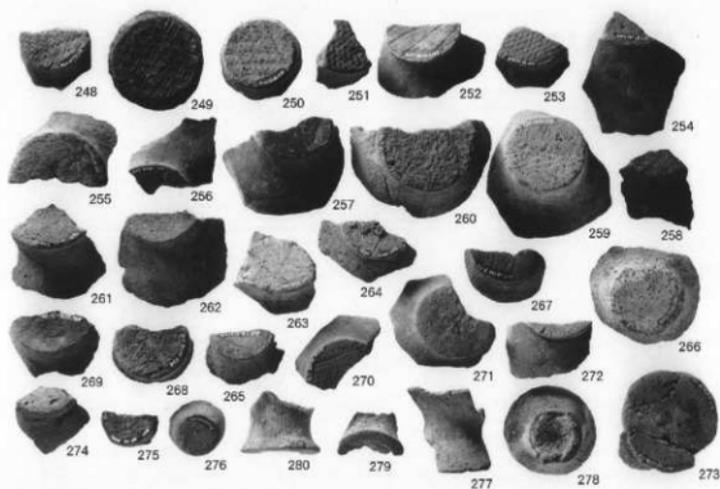


SR01 出土土器 (貳)

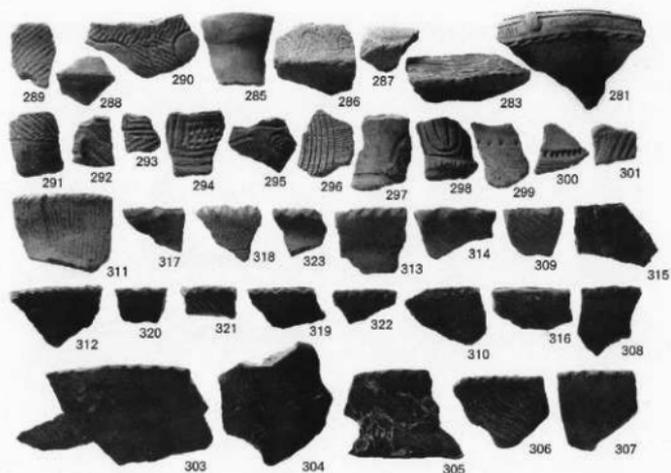
图版24



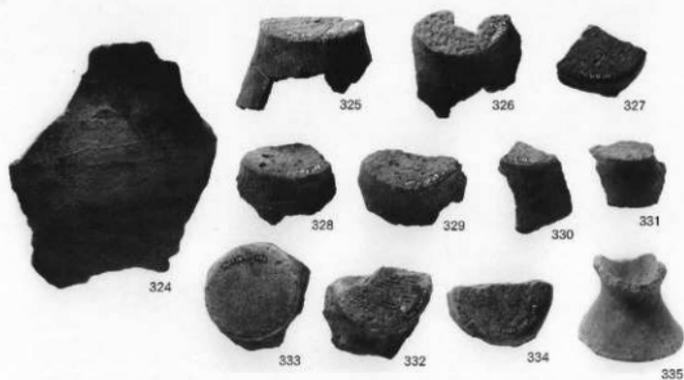
SR01 出土土器 (壘)



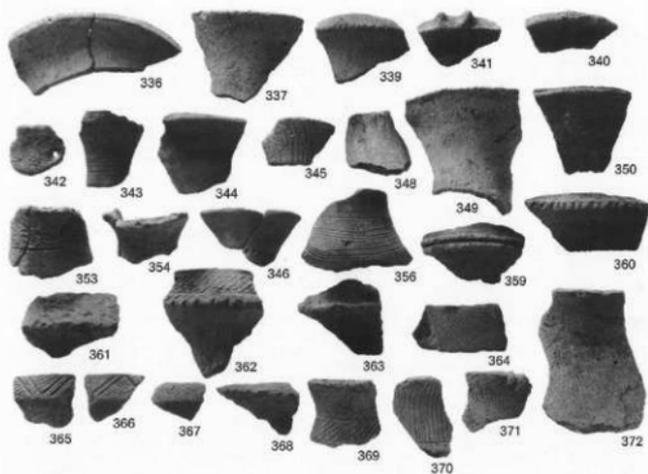
SR01 出土土器 (底部)



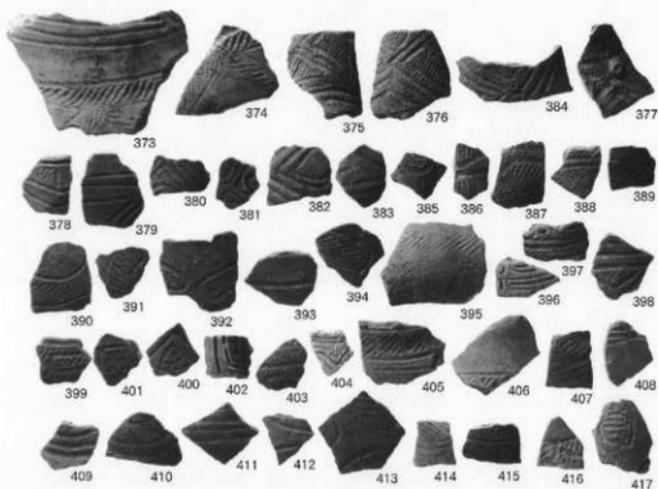
SR02出土土器(壺・甕)



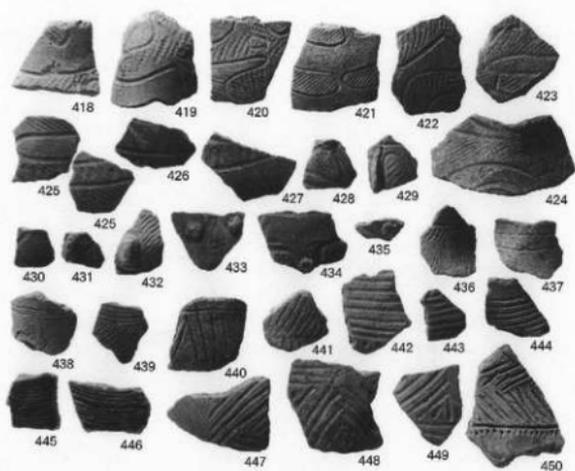
SR02出土土器(甕・底部)



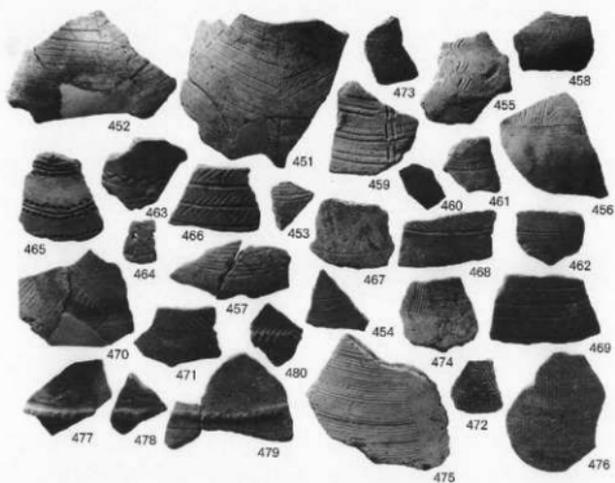
遺構外出土土器 (壹1)



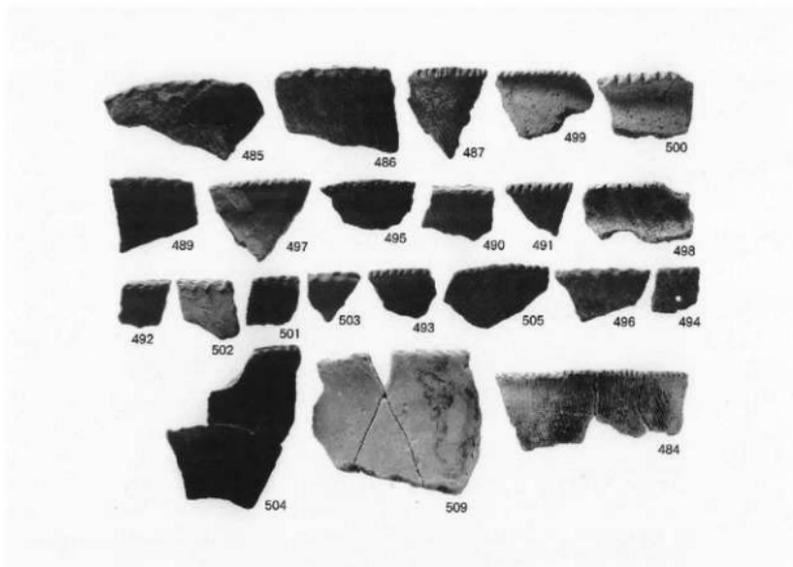
遺構外出土土器 (壹2)



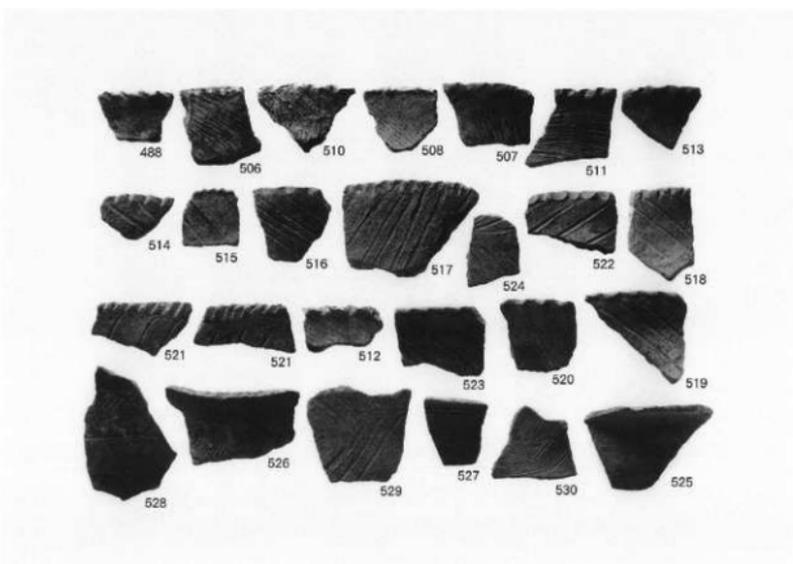
遺構外出土土器 (壺3)



遺構外出土土器 (壺4)



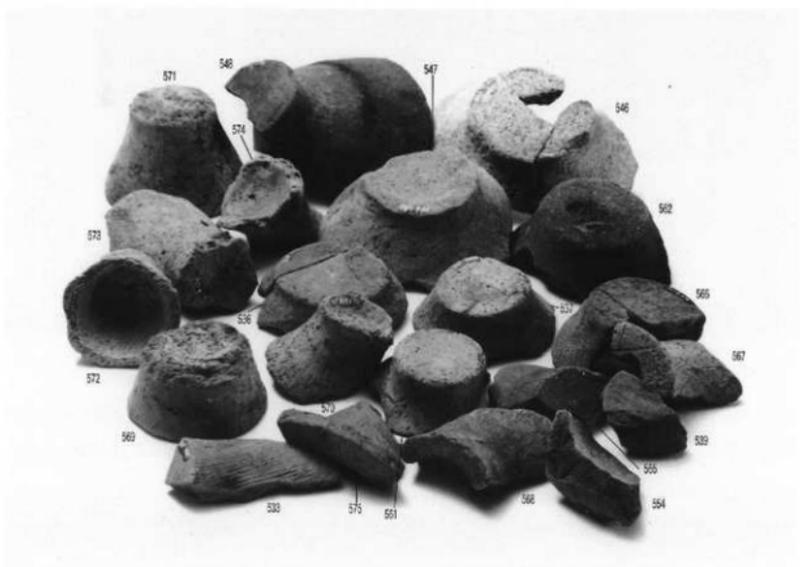
遺構外出土土器 (壺 1)



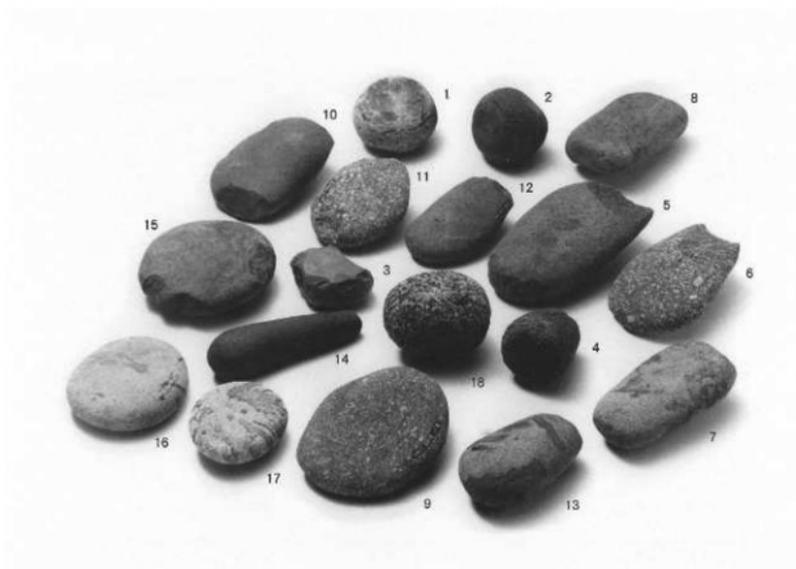
遺構外出土土器 (壺 2)



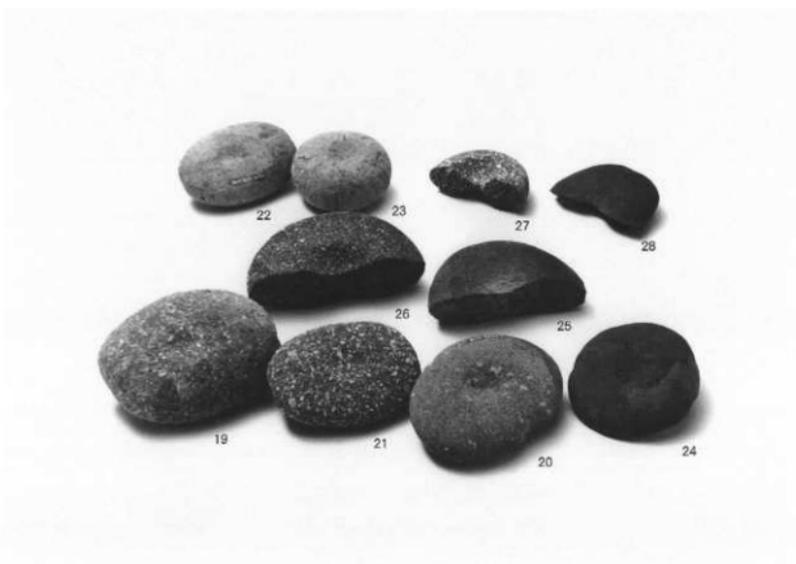
遺構外出土土器（底部1）



遺構外出土土器（底部2）



敲石



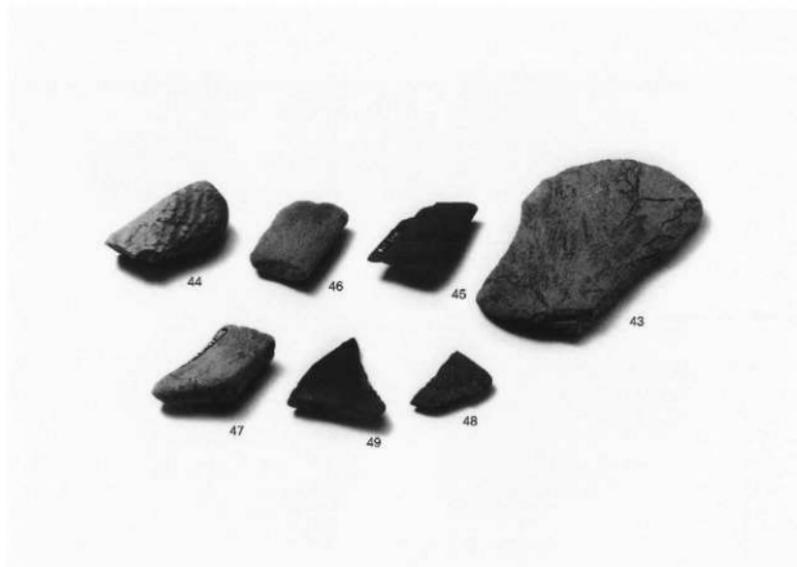
凹石



砾石 1



砾石 2



砾石 3



大型蛤刃石斧



柱状片刃石斧・乳棒状磨製石斧



扁平片刃石斧



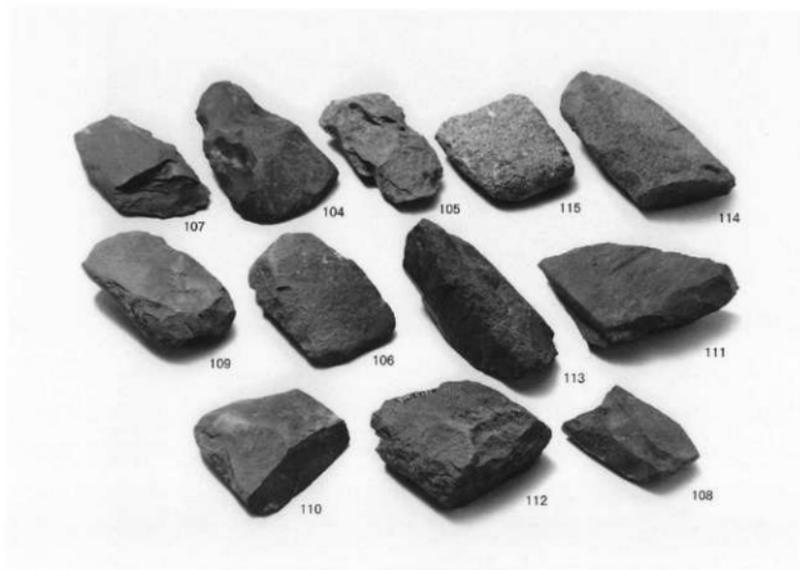
磨製石鏃・石剣



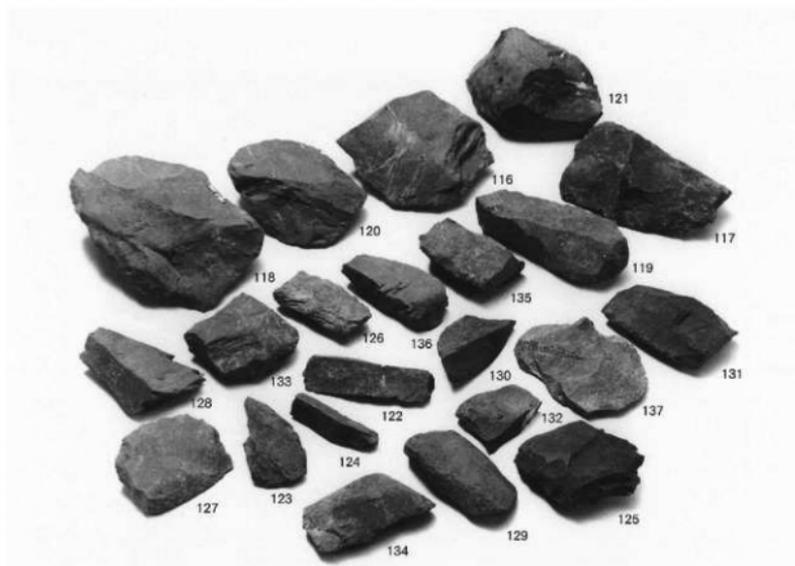
打製刃器



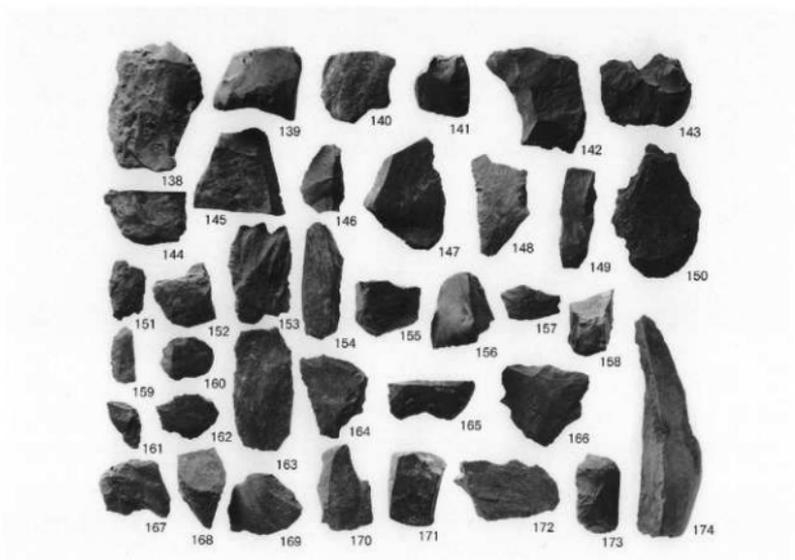
石錘



石斧未製品 1



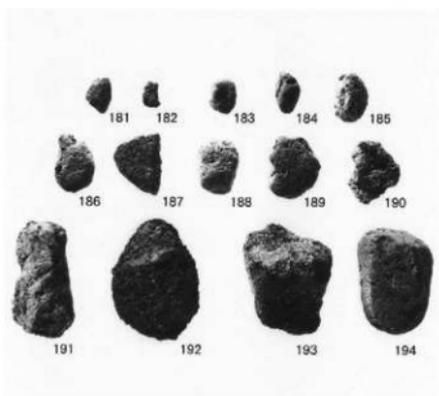
石斧未製品 2



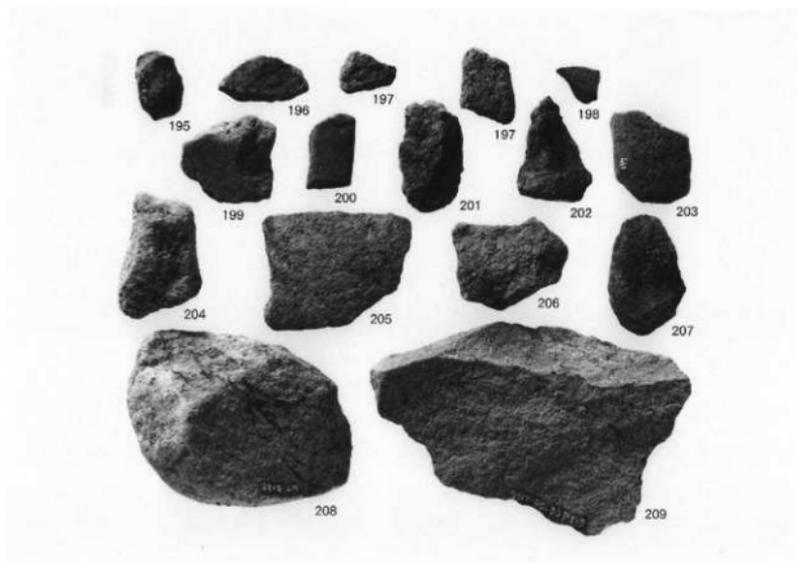
石斧未製品 3



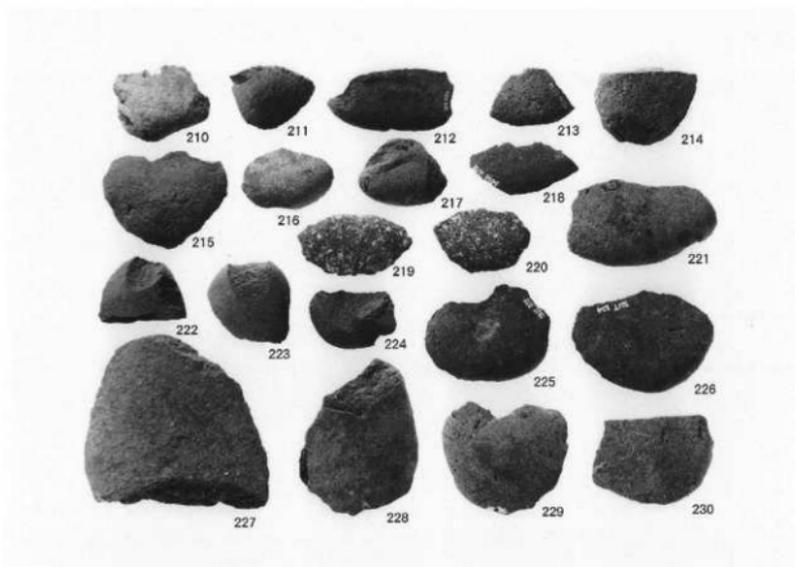
石斧未製品4



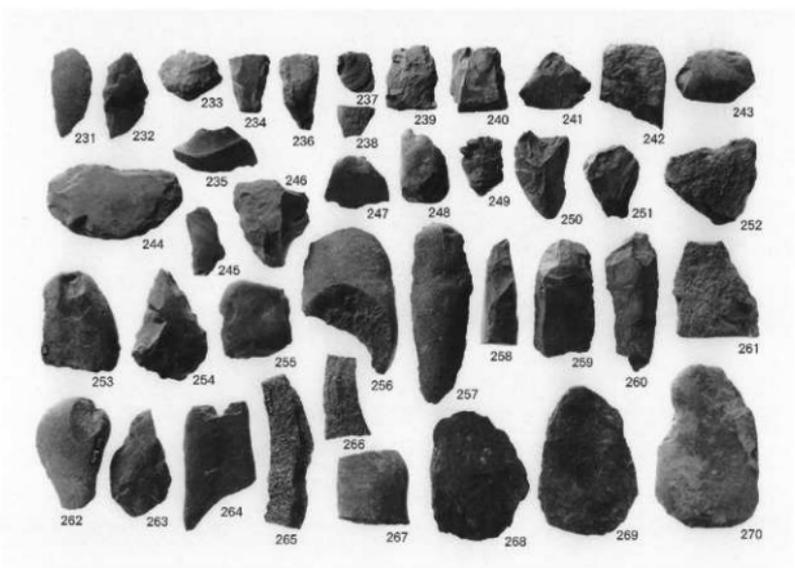
整石



砥石材



剥片 1



剥片 2



1



2



3



4



5

木製品 1



6



7



9



8



12



10



11



13



14



SD08 出土遺物



SK08 出土遺物



SK23 出土遺物



SK25 出土遺物



SK28 出土遺物



SK29 出土遺物



SD14 出土遺物



SR02 出土遺物

報 告 書 抄 録

ふりがな	うとういせき							
書名	有東遺跡							
副書名	第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ名	静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告							
シリーズ番号	第235集							
編著者名	五味赤々子							
編集機関	財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所							
所在地	〒422-8002 静岡県静岡市駿河区谷田23-20							
	TEL 054-262-4261 (代表) FAX 054-262-4266							
発行年月日	2011年1月31日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯 (世界測地系)	東経 (世界測地系)	発掘期間	発掘面積	発掘原因
		市町名	遺跡番号					
うとういせき 有東遺跡	しづおかふらたまく 静岡市駿河区 谷田 高土見台	22201	B76	34° 57' 54"	138° 24' 45"	19970521 ～ 19970723	426㎡	開発等の 事業に伴 うもの (道路)
所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
有東遺跡	田畑	弥生時代後期 ～ 古墳時代前期	水田					
	集落	弥生時代中期	掘立柱建物・溝状遺構・土 坑・流路・小穴		弥生土器・石器・木 製品			
要約	<p>弥生時代の静岡平野には多くの遺跡が分布しており、その中でも有東遺跡は弥生時代の大規模な集落跡の一つであると考えられ、これまでに多くの調査が行われてきた。今回の調査では、掘立柱建物・溝・土坑などの遺構を検出し、遺構内からは弥生時代中期後半の土器・石器・木製品が出土した。今回の調査地点は有東遺跡における弥生時代中期後半の集落域の中心部に位置すると見られる。また、石器や木製品の未製品が大量に出土しており、それらの製作工程を復元する上で貴重な資料であると言える。</p>							

静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第235集

有東遺跡

第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
静岡市 - 2

平成23年1月31日 発行

編集・発行 財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所
〒422-8002 静岡県静岡市駿河区谷田23-20
TEL. 054-262-4261☎
FAX 054-262-4266

印刷所 みどり美術印刷株式会社
〒410-0058 沼津市沼北町2丁目16番19号
TEL. 055-921-1839☎

